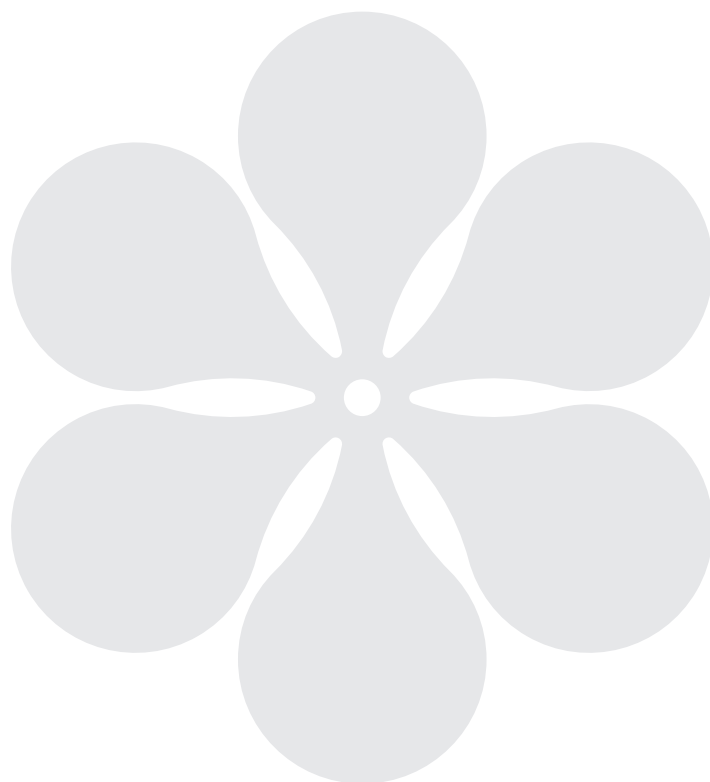


札幌市立大学年報

平成26年度

(2014年度)



札幌市立大学

SAPPORO CITY UNIVERSITY

目 次

I 概要

1 大学設置の経緯	1
2 デザイン学部の概要	3
3 看護学部の概要	4
4 デザイン研究科の概要	5
5 看護学研究科の概要	6
6 助産学専攻科の概要	7
7 平成26年度の特筆すべき事項	8
8 行事	9

II 教育活動

1 教育活動概要	10
2 共通教育・連携教育	11
3 デザイン学部	13
4 看護学部	28
5 デザイン研究科	44
6 看護学研究科	49
7 助産学専攻科	58
8 デザインと看護の連携教育	61
9 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業(産業界ニーズG P)	63

III 研究活動

1 個人研究費による研究一覧	66
2 学内公募研究課題一覧	70
3 学外からの研究費、研究補助金などの受入状況	71
4 寄附金の受入状況	74
5 その他研究助成	74
6 海外出張記録	75

IV 社会活動

1 地域貢献諸活動	78
2 公開講座開催実績	94
3 外部団体等への就任状況	96
4 ウェルネス×協奏型地域社会の担い手育成「学び舎」事業(COC事業)	98
5 空知旧産炭地域における「炭鉱(やま)の記憶」をキーワードにした地域再生のための アートマネジメント人材育成事業(文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業)	100
6 専門職支援・セミナー講師等	101
7 国際交流実績	110
8 JICA草の根技術協力事業	111
9 サテライトキャンパスの利用状況	112

V キャリア支援活動

1 デザイン学部	113
2 看護学部(助産学専攻科含む)	118
3 デザイン研究科	120

VI 平成27年度入学者選抜結果	
1 デザイン学部・看護学部	122
2 デザイン研究科・看護学研究科	128
3 助産学専攻科	132
VII 附属図書館	
1 概要	134
2 利用状況	135
VIII 役員会、経営審議会及び教育研究審議会	
1 役員会及び審議会の審議状況	136
2 役員及び審議会委員名簿	137
IX 学内運営の概要	
1 平成26(2014)年度公立大学法人札幌市立大学組織図	138
2 経営会議	138
3 部局長会議	138
4 学外連携企画会議	139
5 教育・研究企画会議	139
6 広報室	139
7 教授会	140
8 地域連携研究センター	140
9 附属図書館	142
10 アドミッションセンター	142
11 キャリア支援センター	142
12 学内委員会	142
13 FD・SD活動	150
X 資料	
1 平成26年度年度計画	152
2 平成26年度決算	159
3 教職員数	160
4 管理職一覧表	160
5 教員一覧表	161
6 学生定員及び学生数	162
7 授業料等	163
8 奨学金貸与・授業料減免実施状況	163
9 学生の入選・受賞	165
10 学生の課外活動	167
11 後援会	168
12 教育・研究刊行物一覧	168
13 施設	169
14 大学へのアクセス	175
15 札幌市立大学 大学歌『みらいの手』	176
XI 教員業績一覧	178



I 概要

1 大学設置の経緯

環境問題や少子高齢化、高度情報化、国際化などの進展に伴い、社会構造がますます複雑化する中で、学術研究の高度化、学際化とともに、社会では高い資質と能力をもった職業人が強く求められている。特に、札幌市においては、公共事業の削減が進む中、IT産業に代表される札幌の産業特性に対応したデザイン分野、積雪寒冷という札幌の気候風土に着目したデザイン分野など、地域社会に密着した産業の振興への取り組みがより重要であり、こうした取り組みに対応できる幅広いデザイン能力を持った職業人が求められている。

また、今後も当分の間、看護職の不足が続くと予測されている中、在宅医療を支える訪問看護等の需要増加を始めとして、患者の生活の質向上を目指したケアを行うことができる、広範で高度な看護能力を有する看護職の確保が求められている。

一方、今日の高等教育機関においては、その高度な教育研究機能を通じて、これまで以上に地域社会への貢献を果たすことが大きな社会的要請となっている。

平成3年に開校した札幌市立高等専門学校は中学卒業時から5年間の早期一貫教育を行うデザイン系高等教育機関として、実践的職業人を数多く輩出してきたほか、企業や行政からの受託研究などを通じて、産業の振興や市民生活の向上に貢献してきた。

また、昭和40年に開校した札幌市立高等看護学院は、高校卒業後の3年課程の専修学校として、市立札幌病院を始めとする札幌市内医療機関に看護職を多数輩出し、市民の健康支援に貢献してきた。

このような状況の中で、先の地域課題への対応や社会的要請にこたえるために、札幌市立高等専門学校と札幌市立高等看護学院の大学化の必要性和方向性について幅広い議論を行うべく、平成13年11月、「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化検討懇話会」を設置した。

大学化検討懇話会は、市民論議の中心的役割を担う立場から、インターネットを始め、さまざまな形で寄せられる市民の意見に耳を傾け、審議経過を逐次公開しながら検討を進め、平成14年12月、約1年間にわたる市民論議の集大成として、「札幌市立高等専門学校と札幌市立高等看護学院が社会構造の変化に的確に対応し、かつ、地域社会の要請にこたえていくためには、4年生大学化によるレベルアップをできるだけ早期に図る必要がある。」とした「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化に関する提言」をまとめた。

こうした市民論議の経過を踏まえて、札幌市では、平成15年9月に「(仮称)札幌市立大学基本構想」を策定し、平成18年春の札幌市立大学の開学を目指すこととした。

そして、この基本構想に盛り込まれた方向性を具体化するために、平成15年11月に大学教育の専門家を中心とする「(仮称)札幌市立大学設置準備委員会」を設置して調査・審議を進め、学部・学科や教育課程、学生の受け入れ、校地・校舎のあり方といった事項について準備委員会における検討内容を踏まえて、平成16年7月に「(仮称)札幌市立大学基本計画」を策定し、平成17年4月に札幌市立大学の設置認可申請を行った。同年12月に大学の設置が認可され、「人間重視を根幹とした人材の育成」と「地域社会への積極的な貢献」を理念とした札幌市立大学を平成18年4月に開学した。

また、デザインと看護の学部での教育を基盤として、より高度な専門的知識を有する高度専門職業人及び研究者・教育者の育成を目的として大学院修士課程を設置することとした。

大学院修士課程は大学院基本計画に基づき1期生の卒業時期に合わせた開設が計画され、平成21年5月に「札幌市立大学大学院設置認可申請書」を文部科学省に提出、10月に大学院の設置が認可され、平成22年4月に札幌市立大学大学院を開設した。

大学院の開設と合わせて、より高度な能力を持った助産師の養成が必要とする社会的要請を受け、本学に助産学専攻科を設置して助産師の養成を行うこととした。

その後、平成23年5月に「大学院(博士後期課程)設置認可申請」を文部科学省に提出、10月に大学院(博士後期課程)の設置が認可され、平成24年4月に札幌市立大学大学院(博士後期課程)を開設した。



沿革

昭和40年4月	札幌市立高等看護学院 開校
平成3年4月	札幌市立高等専門学校 開校
平成8年4月	札幌市立高等専門学校専攻科 開設 札幌市立高等専門学校附属研究所 開設
平成13年11月	「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化検討懇話会」設置
平成14年12月	同懇話会による「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化に関する提言」
平成15年9月	「(仮称) 札幌市立大学基本構想」策定
平成15年11月	「(仮称) 札幌市立大学設置準備委員会」設置
平成16年7月	「(仮称) 札幌市立大学基本計画」策定
平成17年12月	大学設置認可
平成18年3月	公立大学法人札幌市立大学 設立認可
平成18年4月	札幌市立大学 開学
平成18年10月	サテライトキャンパス 開設
平成19年4月	地域連携研究センター 開設 アドミッションセンター 開設
平成20年3月	札幌市立高等看護学院 閉校
平成20年4月	キャリア支援センター 開設
平成20年8月	認定看護管理者制度サードレベル教育課程 開講
平成21年3月	札幌市立高等専門学校本科 閉科
平成21年10月	大学院（修士課程）設置認可
平成21年12月	助産学専攻科の助産師学校指定通知
平成22年4月	大学院（修士課程）デザイン研究科・看護学研究科・助産学専攻科 開設
平成23年3月	札幌市立高等専門学校専攻科 閉校
平成23年10月	大学院（博士後期課程）設置認可
平成24年4月	大学院（博士後期課程）開設



2 デザイン学部の概要

1) 特色

デザイン学部では、大学の特色を踏まえ、幅広い職業人の育成を行うことを基盤とし、デザインという特定の専門分野の教育研究を通じて、社会に貢献することを特色としている。具体的には、優秀で創造的な人材を社会に輩出するほか、企業との共同研究や受託研究といった産学連携、個人の創造性・スキルに基盤を置き、知的資産によって価値を生み出す創造的な産業の振興などを通じて社会に貢献するものである。

また、平成17年1月中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」にある7つの機能のうち、「幅広い職業人養成」を主軸とするほか、デザインという「特定の専門的分野の教育・研究」及び「社会貢献機能」に比重を置いて教育研究に取り組むことを特色としている。

2) 教育目的

デザイン学部では、次のような人材の育成を目的とする。

① 幅広いデザイン能力を持った人材の育成

デザインの基礎的な理論や技術について幅広く教育を行い、高度な職業人に必要なデザイン能力を持った人材を育成する。

② 人間中心の視点に立ったデザインに取り組める人材の育成

造形の基盤となる芸術的要素に機能の基盤となる工学的要素を融合させ、人にやさしいデザインや使いやすいデザインなど、人間中心の視点に立ったデザインに取り組むことのできる人材を育成する。

③ 地域社会に貢献できる人材の育成

時代や社会の要請を的確に捉えた教育研究に取り組むとともに、地域産業や芸術・文化の振興をはじめ、都市機能や都市景観の向上など、まちづくり全体に幅広く貢献する人材を育成する。

3) 育成する人材像

札幌市においては、IT産業に代表される札幌の産業特性に対応したデザイン分野や、積雪寒冷という札幌の気候風土に着目したデザイン分野など、地域社会に密着した産業の振興への取組が特に重要視されており、こうした取組に対応できる幅広いデザイン能力を持った職業人が求められている。

デザイン学部では、そうした社会の人材需要にこたえるとともに、教育目的を達成するため、次の能力を備えた人材を育成する。

① 多様なコミュニケーション能力

的確に意思疎通を図り、豊かな人間関係を形成することができる能力のほか、海外とのコミュニケーションに必要な実用的な英語能力、高度情報化社会に不可欠な情報処理能力を養う。

② 課題探求能力と問題解決能力

社会の課題やニーズを自ら探求する能力と、その問題をデザインによって解決することのできる能力を養う。

③ デザインの基礎となる表現力

豊かな感性を涵養するとともに、創造的な発想と豊かな表現力を養う。

④ 人間や環境に配慮したデザイン思考能力

人間にとって使いやすいデザインや環境への負荷に配慮したデザインを行う能力を養う。

⑤ 新たな価値を発見する柔軟な発想力

固定観念にとらわれず、さまざまな視点からデザインに取り組むことのできる柔軟な発想力を養う。

⑥ 企画力や管理・運営能力

デザインを実践的に活用することのできる企画力や管理・運営能力を養う。



3 看護学部の概要

1) 特色

看護学部では、幅広い職業人を育成することを基盤として、看護学という特定の専門的分野の教育研究を通じて、社会貢献を果たしていくことを特色としている。具体的には、確実な看護実践力を持ち、高い資質を有する看護職を輩出するとともに、保健・医療・福祉行政や関係機関などと連携し、地域看護の充実や市民の健康の保持増進につながる研究を通して社会に貢献するものである。

したがって、看護学部では、平成17年1月中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」にある7つの機能のうち、「幅広い職業人養成」を主軸とするほか、看護という「特定の専門的分野の教育・研究」及び「社会貢献機能」に比重を置いて教育研究に取り組むことを特色としている。

2) 教育目的

看護学部では、看護職として活躍する次のような人材の育成を目的とする。

① 的確な実践力を有する人材の育成

看護は、看護の理論や知識を基盤とした看護実践を通して研鑽を重ねつつ、専門性を深める学問である。

高度・専門化する医療、多様化する看護ニーズに対応するためには、緻密な観察に基づく的確な判断能力と技術力、さらにこれらを基盤とした問題解決能力が求められる。また、人々がより高い水準の健康を維持・獲得するためには、科学的根拠に基づいた専門的知識・技術を用いて、自律的にケアを推進する実践的な援助能力が求められる。

このため、あらゆる健康レベルや場において、人々が快適で安全に安心して生活できるよう、理論・知識・根拠に基づき的確に看護を実践できる技術と能力を有する看護職を育成する。

② 人間性を尊重した対人関係形成能力を備えた人材の育成

看護の援助過程は、看護職と看護を必要とする人との人間関係形成により進行するものである。看護職は、人間の尊厳を重視し、安心感を与える態度・態様が求められるとともに、看護行為を実施する上では、すべての人に対する人権の擁護と倫理的判断ができるように常に志向することが肝要である。

また、医療施設における看護はもとより、福祉施設や在宅における看護、地域における看護など、看護職に求められる能力、期待される役割が増大しているとともに、高度化する医療は、さまざまな職種の医療従事者を必要としており、看護職や他の従事者と連携・協働し、対象である人間を中心とする視点に立った医療・看護を提供することが重要である。

このため、対象あるいは医療従事者間との意思疎通を図り、対人関係の形成のために、身体的側面だけではなく、心理的、社会的側面から人間を理解し、幅広い教養を基盤とした豊かな人間性と倫理観を備えた看護職を育成する。

③ 地域社会に貢献できる人材の育成

市民の健康に対するニーズの増大や価値観の多様化などに伴い、看護職に対する需要は増大、複雑化してきており、本学では、このような地域の看護需要に対応することが必須になる。

このため、保健・医療・福祉などの学びに加えて、幅広い分野・職種と連携し、創造的、主体的に学習することで、積極的に地域社会における市民の健康の保持増進に貢献できる人材を育成する。また、看護職に対する需要は、それぞれの地域ごとに異なっており、札幌市はもとより、北海道内あるいは全国的な視点から、看護の発展に寄与できる看護職を育成する。

3) 育成する人材像

札幌市には、多くの高度・専門的医療機関が立地し、北海道における高度、先進的医療技術の中核的役割を担っている。少子高齢化が急速に進行し、さらに、独居老人世帯数、高齢夫婦世帯数も増加しており、このような社会情勢に的確に対応した看護職が求められている。

このため、看護学部では、医療機関における高度・専門的医療を担う看護職を育成することはもとより、在宅の高齢者等に対する看護、保健指導など地域の看護需要に対応できる看護職を育成す



ることとし、こうした社会の人材需要の充足と教育目的を達成するため、次の能力を備えた人材を育成する。

- ① 対人関係形成能力
豊かな人間性と倫理的判断力を備え、安心感を与える的確な意思疎通により対人関係を形成できる能力を養う。
- ② 権利擁護・安全なケア提供能力
さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階、さまざまな場において、対象の権利を擁護し、安全なケアを提供できる能力を養う。
- ③ 的確な判断能力と問題解決能力に基づく看護実践技術力
緻密な観察と科学的知識に基づく的確な判断能力と問題解決能力を培い、これらを基盤とした看護実践技術力を養う。
- ④ 医療従事者間における調整・指導のための基礎的能力
看護対象者の視点から保健・医療・福祉を追究し、各分野における看護の専門性と役割を認識の上、医療従事者間の調整や指導的役割を担うための基礎的な能力を養う。
- ⑤ 課題解決力を高めるための自己研鑽能力
主体的・創造的に課題探求に取り組み、解決する力を高めるために継続的に自己研鑽できる能力を養う。

4 デザイン研究科の概要

1) 特色

デザインの役割が拡張し、従来のように造形や視覚表現にとどまらず、社会や地域、産業等の複雑な問題をデザイン課題として受け止め、人間や環境に配慮したデザイン提案によりその解決策を実現できる、高度なデザイン能力を有する人材が必要となっている中で、デザイン研究科では、よりよい地域社会の実現に貢献できる高度専門職業人及び研究者・教育者を育成するため、以下の能力を修得することを特色とする。

また、平成17年9月中央教育審議会答申「新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて－」の4つの「大学院に求められる人材養成機能」のうち「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」及び「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」に比重を置いて教育・研究に取り組む。

【博士前期課程】

- ① 複合的かつ複雑な課題・問題を解決する「課題解決能力」
- ② デザインを通じて新たな価値を見出す「創造力」
- ③ 課題・問題の発見、分析から具体的事業化までを一貫したデザインプロセスとしてまとめる「企画調整能力」
- ④ 一連のデザインプロセスを具体化する「実践能力」

【博士後期課程】

- ① 自身の専攻分野の専門的知識・技能を中心としつつ、関連近隣分野の基礎的素養をも修得し、幅広い見識から事象の本質を捉える「課題発見・分析・解決能力」
- ② デザインの視点を通じて自主的・自立的に研究や調査、分析等を実践できる「研究遂行能力」
- ③ 国内外の専門家や研究者とのコミュニケーションを図りながら、広く社会全体を俯瞰し、「リーダーシップ」を発揮できる確かな「調整力」及び「指導力」

2) 教育目的

【博士前期課程】

地域社会全体に内在する様々な課題に対してデザインによる解決策を教育・研究することにより、高度で専門的なデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、産業、芸術・文化等の振興、地域再生・活性化などの貢献を果たすことを目的としている。

**【博士後期課程】**

自立した研究者として独創的な視点から社会課題を発見するとともに、深く研究に取り組み、デザイン分野における学術理論及び技能の高度化の追求を通じて、社会への貢献を果たすことを目的としている。

3) 育成する人材像

【博士前期課程】

- ① 屋内外の様々な空間を対象とする空間デザイン分野において、人間の生活や自然環境に配慮しつつ、建築デザインや環境デザインに関する高度なデザイン能力を有する人材。
- ② 人間生活に欠かせない多様な製品並びにそれを支えるインタフェース（操作性）について、人間中心の生活システムとしての製品やそのインタフェースをデザインできる高度なデザイン能力を有する人材。
- ③ 人々の豊かなコミュニケーション活動を支えるコンテンツの制作と、多様なコンテンツのメディア展開を企画・構築し、運営に至るプロセスをプロデュースできる高度なデザイン能力を有する人材。

【博士後期課程】

- ① デザインを通じた組織構築や質改善のためのシステム開発を実践し、組織において指導的立場となり得る人材。
- ② 自立して研究活動を行い、デザインの学問的体系を構築できる人材。

5 看護学研究科の概要

1) 特色

近年、看護分野は専門分化しており、これに対応する卓越した実践能力を有する看護職及び統合的な調整能力を有する看護管理者の育成が急務となっている。

また、これら卓越した臨床能力及び看護の専門性のさらなる向上には、看護の未来を見据えた洞察力・創造力を有し、学問的理念を基盤として研究を推進する自立した教育者・研究者の果たす役割が大きい。

看護学研究科は、このような社会の要請に応える人材を育成し、札幌を発信源に、21世紀の看護の一端を担い、これを保健・医療・福祉分野へ発信できる、看護のバランス感覚に優れた人材の育成を目指している。

なお、本研究科では、平成17年9月5日中央教育審議会答申「新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて－」の4つの「大学院に求められる人材養成機能」のうち「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」及び「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」に比重を置いて教育・研究に取り組むことを特色とし、以下の能力の修得を目指している。

【博士前期課程】

- ① 正確性・緻密性及び独創性を有する高度な臨床看護実践能力
- ② 高度な倫理観に基づき、専門看護分野において分析・判断・行動・評価ができる能力
- ③ 他職種と協働し、看護における将来展望に資する統合・調整ができる能力
- ④ 積雪寒冷地における健康づくり支援に取り組む能力

【博士後期課程】

- ① 看護に対する社会的課題を的確に認識し、将来を見据えた技術開発やシステムの検証・創出、組織での施策提言等を行う能力
- ② 豊かな人間性や広い視野に加え、高度な倫理観、専門知識や技能に裏打ちされる高い管理能力、指導能力
- ③ 高度な学識と臨床の両面から、看護学の基礎研究や応用研究に自立的に取り組み、実践科学としての看護学を追究する能力



2) 教育目的

【博士前期課程】

保健・医療・福祉分野における様々な課題に主体的に取り組む高度な看護実践能力を有する看護職及び総合的な調整能力を有する看護管理者の育成を目指し、市民の健康の保持増進への貢献を果たすことを目的としている。

【博士後期課程】

自立した研究者として、様々な看護現象に対して深く研究に取り組み、看護の枠組みの再構築やシステム開発、技術開発などを行い、看護分野における学術理論及び技能の高度化の追求を通じて、社会への貢献を果たすことを目的としている。

3) 育成する人材像

【博士前期課程】

- ① 保健・医療の中核を担う高度臨床看護実践者の育成（専門看護師を含む）
- ② 総合的に看護ケアをマネジメントする看護管理者の育成
- ③ 地域や在宅においては健康な生活と福祉の向上に率先して貢献する看護職の育成
- ④ 看護の学問的基盤をもとに実践知、経験知を統合できる看護研究者の育成
- ⑤ 次世代の看護教育の中心的担い手としての教育者の育成
- ⑥ 看護技術の開発及び評価能力を備える人材の育成
- ⑦ 幅広い視野のもとで新しい看護システムや制度の開発に資する人材の育成

【博士後期課程】

- ① 看護学の基礎研究・応用研究に自立的に取り組む、人材育成システムの検証・提言ができる研究者、開発者
- ② 確かな知識や技術、倫理観を基盤として、看護職者を志す人々に質の高い教育を実現し、さらに新たな教育制度や方法、カリキュラム等の創出に寄与できる教育者
- ③ 看護現象の分析・評価を通じて、看護システムをグローバルに構築・変革し、自ら行動する高度専門職業人及び看護管理者を養成・指導できる教育者・管理者

6 助産学専攻科の概要

1) 特色

助産学専攻科では、学士課程4年間に於いて培った自己研鑽力が発揮できる教育課程を特色としている。

その1つとして、選択科目を設定せず、学生個々に助産学に広く関連した課題を発見し、自ら学びを深める機会を創っている。加えて、この学びの更なる発展に向け文献研究を行う。

また、1年間の学修では、助産師に必要な基本的知識・技術を土台に、ハイリスク事例に対応できるような高度な知識・技術を熟練した助産師と専門医のもとで修得する。この学修では看護師資格が大いに役立っている。

2) 教育目的

札幌市立大学の理念である「人間重視を根幹とした人材の育成」と「地域社会への積極的な貢献」を基盤に、各種助産技術能力の正確な修得を目指し、次のような教育を目的とする。

- ① 助産師に必要な基本的かつ高度な知識が修得できる。
- ② 助産師に必要な基本的かつ正確な助産技術が修得できる。
- ③ 助産師に必要な知識と技術を統合し、助産ケアが実践できる。

3) 育成する人材像

北海道、札幌市においては、需給見通しで助産師の不足が見込まれる一方、産科医師の減少などにより、助産師の需要がさらに増加する可能性がある。また、少子高齢化が急速に進行する中で、より一層安全で安心な分娩介助が求められるとともに、思春期や更年期への相談など、助産師が担



う役割は広範化・高度化する傾向にある。

このため、助産学専攻科においては、次のような人材を育成する。

- ① 助産に関する幅広く、高度な知識と正確な技術を有する助産師
- ② 地域社会における母子健康の向上に貢献できる助産師
- ③ 人間性豊かな助産師

7 平成26年度の特筆すべき事項

平成26年度、札幌市立大学では以下のような特筆すべき事項があった。

1) 研究科博士後期課程完成

平成24年4月に設置したデザイン研究科博士後期課程及び看護学研究科博士後期課程が、平成26年度に完成を迎えた。

博士後期課程1期生の学位審査を行い、デザイン研究科において1名の学生へ博士の学位を授与した。

2) 「産業界ニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業 テーマB」採択

北海道の5大学が協同して、産官学連携による人材育成を目的とした文部科学省の「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」に応募し、「循環型地域人材育成プラットフォーム [若者が育つ大地：北海道]」の取組が採択された。この事業のもとで札幌市立大学では、デザイン学部を中心として、早期キャリア教育やワークショップ型インターンシップの実施に取り組むとともに、大学・企業連携による地域キャリア連携体制の強化を図っている。

3) 広報室設置

本学の広報力の強化と情報共有の推進等に向け、平成25年度に広報戦略及びこの戦略を具体的に展開する行動計画を策定したが、これらを積極的に推進するため、平成26年4月に経営組織と大学組織にまたがる位置づけとして「広報室」を新たに設置した。

広報活動は、教職員・学生の参画、学内組織との連携により進めるが、「広報室」はその中核組織としての役割を担う。また、大学の多様な諸活動を広報素材とするとともに、経営的視点からの情報発信も行う。



8 行事

行 事 名	月 日
前期開始	4月1日
入学式・後援会総会	4月3日
前期ガイダンス	4月4日
前期授業開始	4月7日
前期履修登録期間	4月7日～16日
健康診断	4月14日・16日
第1回オープンキャンパス	6月14日
デザイン学部3年次編入学試験	7月19日
大学院デザイン研究科博士前期課程推薦選抜入学試験	7月19日
前期定期試験期間	8月1日～11日
夏季休業	8月12日～9月3日
看護学部3年次編入学試験	9月6日
助産学専攻科入学試験	9月6日
第2回オープンキャンパス	9月20日
大学祭	9月20日・21日・23日
後期ガイダンス	9月26日
大学院デザイン研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験	9月27日
大学院看護学研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験	9月27日
後期授業開始	9月29日
前期終了	9月30日
後期開始	10月1日
後期履修登録期間	10月1日～9日
デザイン・看護学部特別選抜入学試験（推薦入学・社会人）	11月22日
冬季休業	12月23日～1月4日
後期定期試験期間	2月5日～18日
大学院看護学研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験（2次募集）	2月7日
大学院看護学研究科博士後期課程入学試験	2月7日
デザイン・看護学部一般選抜入学試験（前期日程）	2月25日
デザイン学部特別選抜入学試験（私費外国人留学生）	2月25日
大学院デザイン研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験（2次募集）	2月28日
大学院デザイン研究科博士後期課程入学試験	2月28日
春季休業	3月5日～31日
デザイン学部一般選抜入学試験（後期日程）	3月12日
卒業式・修了式	3月19日
後期終了	3月31日



II 教育活動

1 教育活動概要

1) デザイン学部・看護学部

デザイン学部・看護学部共通の「共通教育科目」は、両学部に通ずる「人間重視」の考え方を基本に、両学部の学生が一緒に学習することにより、学部間の交流を深め、異なる分野を志す学生が互いの発想に触れ、広い視野を持つことができるよう体系化した。また、「共通教育科目」は、①大学における心構えや履修方法、あるいは基本的な学習の進め方や研究方法を学ぶ「導入科目」、②文化や人間、社会に対する理解を目的とする「教養科目」、③語学などのコミュニケーション・ツールの修得を目的とする「コミュニケーション科目」の3つの区分で構成した。

デザイン学部の「専門教育科目」は、デザインの基礎的な理論や技術から、より専門性の高い知識や技術、実践的・発展的な知識やデザインの方法までを体系的に理解できるよう、①「基本科目」、②「展開科目」、③「発展科目」の3つの科目群で構成した。また、学芸員の資格を取得するために必要となる科目を「自由科目」という区分で開講した。その他、専門教育科目を履修する上で必要となる技術や知識を補完する目的で「電気自動車(EV)の開発と未来エネルギー構想」、「データビジュアライゼーションの世界」といった特別講義を実施した。

看護学部の「専門教育科目」は、専門科目を学ぶ前提や基礎となる「専門基礎科目」と看護の専門的知識・技術を学ぶ「専門科目」で構成し、段階を踏んで学修できるよう体系化している。特に「専門科目」の各看護領域の授業カリキュラムは、まず「概論科目」により基本理念や考え方を理解した後、「演習科目」「実習科目」を学ぶことで、高度な実践的能力を修得できる構成としている。「実習科目」は、1年次から4年次まで開講し、各学年の講義・演習のレベルに応じた実習を行っている。

2) デザイン研究科

デザイン研究科博士前期課程の授業科目は、幅広い視野を身につけ、デザインと看護に通ずる関連領域の基礎的素養を涵養するため、看護学研究科と合同で行う「研究科連携科目」とデザイン分野における高度専門職業人及び研究者・教育者に必要な専門知識・技術、研究方法を修得するための「専門教育科目」の2つに区分し、「専門教育科目」はさらに「基本科目」、「展開科目」、「実践科目」及び「修了研究」の4つの科目群で構成され、学生がデザインの高度かつ専門的な知識・技術を学ぶことができるよう体系化した。

デザイン研究科博士後期課程では、「基本科目」、「展開科目」、「研究指導科目」の3つの科目区分を設け、体系的なコースワークによる教育課程を編成し、研究指導を体系的・組織的に展開する教育・研究環境を整備した。それにより、専門分野に関する高度な専門知識及び能力を修得させるとともに、関連する分野の教育を行う。

3) 看護学研究科

看護学研究科博士前期課程の授業科目は、課程制大学院の趣旨に従い、教育目標を達成するために体系化した構成としている。科目区分は、デザイン研究科と合同で授業を行う「研究科連携科目」と、看護学の各専攻分野に関する高度の専門的知識および能力を修得する「専門教育科目」に区分し、卓越した能力を発揮できる人材を育成する。また、専門看護師(CNS)教育課程の認定基準に沿った授業科目も配置し、広く保健・医療・福祉や看護学の発展に寄与することを目指している。

看護学研究科博士後期課程は、課程制大学院としてコースワークを意識し、コースワークがリサーチワークの基礎となるよう学修できる教育課程を構成している。「連携科目」、「専門科目」、「研究指導科目」の3つの科目区分に基づき体系的な授業展開を行い、看護学開発の基盤形成をねらいとする「看護学特論(1年次前期)」の学修を通じて、社会を広く俯瞰し看護学のさらなる進化、発展に取り組む提案力を形成する。各特講科目では、高度な創造性を涵養して主体的に課題発見や新たな提案を行い、「特別研究」で独創的な研究を取りまとめる。



4) 助産学専攻科

助産学専攻科では、助産に関する幅広く、高度な知識と正確な技術を有し、地域社会における母子保健の向上に貢献できる人間性豊かな助産師の育成を目標として教育課程を編成している。また、助産師活動に不可欠な技術・能力を高い次元で身につけるため、学部教育と同様に客観的臨床能力試験「OSCE」を導入し、各種助産技術能力の修得度を適正に評価している。

2 共通教育・連携教育

1) 教育活動

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
スタートアップ演習	演習・60時間	1年次前期	◎原 俊彦 町田 佳世子 張 浦華 石田 勝也 上田 裕文 片山 めぐみ 福田 大年 松井 美穂 須之内 元洋 長谷川 聡 宮崎 みち子 小田 和美 大野 夏代 清水 光子 菅原 美樹 村松 真澄 守村 洋 太田 晴美 田中 広美 工藤 京子 中田 亜由美 藪谷 祐介
哲学と倫理	講義・30時間	1年次前期	★中島 孝一
体のしくみ	講義・30時間	1年次前期	小宮 加容子
人間関係を考える	講義・30時間	1年次前期	★椿 武愛子
自然科学を学ぶ	講義・30時間	1年次前期	★小野田 波里
札幌を学ぶ	講義・30時間	1年次前期	原 俊彦
英語 I A	演習・30時間	1年次前期	★佐川 萌東子 ★清水 香
英語 I B	演習・30時間	1年次前期	町田 佳世子 松井 美穂 ★白土 淳子 ★三ツ木 真実
英語 I C	演習・30時間	1年次前期	★アイツバマイ モクター ★山田 パトリシア
日本語表現法	演習・30時間	1年次前期	★斎木 正直 ★安永 立子
基礎カウンセリング	演習・30時間	1年次前期	★小坂 守孝
情報リテラシー I (デザイン学部)	演習・30時間	1年次前期	★児玉 潤二郎
情報リテラシー I (看護学部)	演習・30時間	1年次前期	★杉野 佑太
情報リテラシー II (デザイン学部)	演習・30時間	1年次前期	大淵 一博
情報リテラシー II (看護学部)	演習・30時間	1年次後期	★杉野 佑太
宗教と思想	講義・30時間	1年次後期	★堀 雅彦
芸術と文化	講義・30時間	1年次後期	★望月 由美子
心のしくみ	講義・30時間	1年次後期	★土田 幸男
動物の暮らし	講義・30時間	1年次後期	★桑原 禎知
現代社会と家族	講義・30時間	1年次後期	原 俊彦
現代社会と経済	講義・30時間	1年次後期	★近藤 公彦
統計の世界	講義・30時間	1年次後期	原 俊彦
英語 II A	演習・30時間	1年次後期	町田 佳世子 ★赤間 荘太 ★佐川 萌東子 ★清水 香



授業科目	授業 形態 ・時数	年次	担当教員
英語ⅡB	演習・30時間	1年次後期	松井 美穂 ★白土 淳子 ★三ツ木 真実
英語ⅡC	演習・30時間	1年次後期	★アイツバマイ モクター ★山田 パトリシア
プレゼンテーション	演習・30時間	1年次後期	◎武田 亘明 柿山 浩一郎
対人コミュニケーション	演習・30時間	1年次後期	町田 佳世子
手話	演習・30時間	1年次後期	★高橋 淨
環境を考える	講義・30時間	2年次前期	矢部 和夫
生活と文化	講義・30時間	2年次前期	★幅崎 麻紀子
ジェンダーと文化 (平成23年度(編入学生は平成25 年度)以前入学生は「ジェンダー を考える」)	講義・30時間	2年次前期	松井 美穂
健康とスポーツ(デザイン学部)	講義・30時間	2年次前期	★出町 道代
現代社会と国際関係	講義・30時間	2年次前期	★青木 隆直
ボランティア活動を考える	講義・30時間	2年次前期	★大石 純
中国語(デザイン学部)	演習・30時間	2年次前期	★照井 はるみ
ロシア語(デザイン学部)	演習・30時間	2年次前期	★ジダーノフ ウラジーミル
グループ・ダイナミックス	演習・30時間	2年次前期	★山口 司
実践英語A(デザイン学部)	演習・30時間	2年次 前期・後期	町田 佳世子 松井 美穂
実践英語B	演習・30時間	2年次前期	★アイツバマイ モクター ★山田 パトリシア
実践英語A(看護学部)	演習・30時間	2年次前期	町田 佳世子 松井 美穂
健康とスポーツ(看護学部)	講義・30時間	2年次後期	★出町 道代
中国語(看護学部)	演習・30時間	2年次後期	★照井 はるみ
ロシア語(看護学部)	演習・30時間	2年次後期	★ジダーノフ ウラジーミル
教育を考える	講義・30時間	2年次後期	★光本 滋
日本国憲法を学ぶ	講義・30時間	2年次後期	★岡田 信弘
韓国語	演習・30時間	2年次後期	★松田 由紀

◎印：科目責任者(オムニバス形式等の場合)

★印：非常勤講師



3 デザイン学部

1) 平成26年度時間割

① 1年前期

		月	火		水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	情報リテラシーⅡ	造形基礎 実習Ⅰ	表現基礎 実習※ 2010年度 以降入学生	情報リテラシーⅠ	体のしくみ	人間関係を考える
2	10:40 ～ 12:10	情報リテラシーⅡ			情報リテラシーⅠ	英語ⅠA 英語ⅠB 日本語表現法	哲学と倫理
3	13:10 ～ 14:40	デザイン史	色彩設計論		英語ⅠA 英語ⅠC 日本語表現法	英語ⅠA 英語ⅠB 日本語表現法	札幌を学ぶ
4	14:50 ～ 16:20	造形基礎 実習Ⅰ	表現基礎 実習※ 2010年度 以降入学生	デザイン原論	英語ⅠA 英語ⅠC 日本語表現法	スタートアップ演習	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅠC 基礎カウンセリング
5	16:30 ～ 18:00			リメディアル	自然科学を学ぶ		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅠC 基礎カウンセリング

② 1年後期

		月	火		水	木	金	
1	9:00 ～ 10:30	デザイン方法論	プログラミングⅠ		芸術と文化	工学基礎※2010年度以降入学生	手話	
2	10:40 ～ 12:10	感性科学	プログラミングⅠ		宗教と思想	現代社会と家族	手話	
					動物のくらし	心のしくみ		
3	13:10 ～ 14:40	コンピュータ基礎 実習Ⅰ	造形基礎 実習Ⅱ	コンピュータ基礎 実習Ⅰ	造形基礎 実習Ⅱ	英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC プレゼンテーション	英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC プレゼンテーション	現代社会と経済
4	14:50 ～ 16:20					英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC	英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC	英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC 対人コミュニケーション
5	16:30 ～ 18:00					統計の世界	英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC 対人コミュニケーション	



③ 2年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	デザイン 材料加工 実習 I	コンピュ ータ基礎 実習ⅡA (3D)	現代社会と国際関係	感性デザイン論	デザイン解析論
				生活と文化		
2	10:40 ～ 12:10			ロシア語	デザイン法規	設計製図基礎
				実践英語A		
3	13:10 ～ 14:40	プログラミングⅡ		ロシア語	認知科学	実践英語B
				実践英語A		
4	14:50 ～ 16:20	ヒューマンファク ターズ入門		環境を考える	中国語	ユニバーサルデザイン論
				ジェンダーと文化 (ジェンダーを考 える)※		
5	16:30 ～ 18:00	近現代建築史		グループ・ダイナ ミックス	中国語	創造産業論
				ボランティア活動 を考える		

※ () 内の科目名は、平成23年度（編入学生は平成25年度）以前入学生用の科目名

④ 2年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	エコロジーデザイン論		コンピュータグラ フィクス		
		情報社会論				
2	10:40 ～ 12:10	空間デザイン史	韓国語	日本国憲 法を学ぶ	コンピュータ基礎実 習ⅡC (CAD)	コンピュータ基礎実 習ⅡB (ムービー)
		製品デザイン論				
		コンテンツデザイン論				
		メディアデザイン論				
3	13:10 ～ 14:40	デザイン材料加工 実習Ⅱ	家具・インテリア デザイン ※前半7.5週で終了	コンピュータ基礎実 習ⅡB (ムービー)	広告デザイン	ダイナミックオブ ジェクトデザイン
					製品造形論	
4	14:50 ～ 16:20				空間デザイン論	広告デザイン
					デザイン総合実習Ⅰ	デザイン材料加工 実習Ⅱ
5	16:30 ～ 18:00	キャリアガイダンス	実践英語A	教育を考える		



⑤ 3年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30		生涯学習概論	博物館教育論	一般構造	物語デザイン論
						環境計画論
						インタラクションデザイン
2	10:40 ～ 12:10	景観デザイン論	アニメーション I	メディア文化史	都市計画論	マルチメディアコンテンツデザイン
					製品計画論	
3	13:10 ～ 14:40	コンテンツ制作システム論	プロトタイプシミュレーション I	博物館資料論 ※1～8回目	建築計画論	ブランド構築
			出版メディアデザイン	博物館概論 ※9～15回目	感性情報学	
4	14:50 ～ 16:20	博物館概論 ※1～8回目	学外実習A インターンシップ	博物館資料論 ※9～15回目	知的財産権論	デザイン総合実習 II
			学外実習B フィールドスタディ			
5	16:30 ～ 18:00		キャリアガイダンス			

⑥ 3年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	寒冷地デザイン論	バーチャルリアリティ	建築構法	構造・材料実験	観光とデザイン
					メカトロニクス	
					インターネットメディアデザイン	
2	10:40 ～ 12:10	博物館展示論	空間デザイン法規	地場産業振興論	構造・材料実験	構造力学
			製品デザイン史		感性インタラクションデザイン	デジタル映像コンテンツデザイン
			アニメーション II		アートマネジメント論	
			デジタルアーカイブ			
3	13:10 ～ 14:40	博物館経営論		博物館資料保存論	建築生産	プロトタイプシミュレーション II
						メディア芸術論
4	14:50 ～ 16:20	デジタル映像史	学部連携演習		博物館情報・メディア論	デザイン総合実習 III
5	16:30 ～ 18:00	キャリアガイダンス				



⑦ 4年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30		デジタル音響デザイン			
2	10:40 ～ 12:10		建築設備計画	ネットワークシステムデザイン	コンテンツ流通技術	構造力学Ⅱ
			放送メディアデザイン			ヒューマンケア機器デザイン
3	13:10 ～ 14:40	博物館実習	住宅論	デザイン英語	デザインマネジメント	ロボティクス
4	14:50 ～ 16:20		起業論			
5	16:30 ～ 18:00		キャリアガイダンス			

⑧ 4年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30					
2	10:40 ～ 12:10					
3	13:10 ～ 14:40					
4	14:50 ～ 16:20					
5	16:30 ～ 18:00	キャリアガイダンス				



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

平成21年度（編入学生は平成23年度）入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件 単位				
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次						
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
共通教育科目	導入科目	スタートアップ演習	2			○										2単位		
	文化に対する理解	哲学と倫理	講義	2			○										4単位以上	
		宗教と思想	講義	2				○										
		芸術と文化	講義	2				○										
		環境を考える	講義	2						○								
		教育を考える	講義	2							○							
		生活と文化	講義		2					○								
	人間に対する理解	心のしくみ	講義	2				○									4単位以上	
		体のしくみ	講義	2				○										
		ジェンダーを考える	講義	2							○							
		人間関係を考える	講義	2				○										
		健康とスポーツ	講義	2							○							
		自然科学を学ぶ	講義		2			○										
	社会に対する理解	動物のくらし	講義		2			○									6単位以上	
		現代社会と家族	講義		2			○										
		現代社会と国際関係	講義		2						○							
		現代社会と経済	講義		2						○							
		札幌を学ぶ	講義		2			○										
		ボランティア活動を考える	講義		2						○							
	外国語	英語 I A	演習	1			○										8単位以上	
		英語 I B	演習	1			○											
		英語 I C	演習	1			○											
		英語 II A	演習	1				○										
		英語 II B	演習	1				○										
		英語 II C	演習	1				○										
		実践英語A	演習		1					○	○							
		実践英語B	演習		1					○								
		韓国語	演習		1						○							
		中国語	演習		1						○							
		ロシア語	演習		1						○							
コミュニケーション科目		日本語表現法	演習		1			○										4単位以上
		プレゼンテーション	演習	1				○										
		基礎カウンセリング	演習		1			○										
	対人コミュニケーション	演習		1			○											
	グループ・ダイナミクス	演習		1					○									
	手話	演習		1				○										
	情報リテラシー I	演習	1				○											
	情報リテラシー II	演習	1					○										
専門教育科目	デザイン基礎	デザイン原論	講義	2			○									さらに基本科目から10単位以上		
		デザイン史	講義	2			○											
		デザイン方法論	講義	2				○										
		色彩設計論	講義	2				○										
		感性科学	講義	2					○									
		感性デザイン論	講義	2							○							
		ユニバーサルデザイン論	講義	2							○							
		創造産業論	講義	2							○							
		現代芸術論	講義		2						○							
		デザイン解析論	講義		2						○							
		ヒューマンファクターズ入門	講義		2						○							
		近現代建築史	講義		2						○							
		設計製図基礎	演習		2						○							
		認知科学	講義		2						○							
	デザイン法規	講義		2						○								
	エコロジーデザイン論	講義		2							○							
	情報社会論	講義		2							○							
	造形基礎	造形基礎実習 I	実習	2				○									6単位以上	
		造形基礎実習 II	実習	2					○									
		デザイン材料加工実習 I	実習	2						○								
デザイン材料加工実習 II		実習		2						○								
情報基礎	コンピュータ基礎実習 I	実習	2				○								8単位以上			
	コンピュータ基礎実習 II A (3D)	実習		2					○									
	コンピュータ基礎実習 II B (ムービー)	実習		2						○								
	コンピュータ基礎実習 II C (CAD)	実習		2						○								
	プログラミング I	演習	2					○										
	プログラミング II	演習		2						○								



平成22～23年度（編入学生は平成24～25年度）入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位					
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次							
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
共通教育科目	導入科目	スタートアップ演習	2			○										2単位			
	文化に対する理解	哲学と倫理	講義	2			○										4単位以上		
		宗教と思想	講義	2				○											
		芸術と文化	講義	2				○											
		環境を考える	講義	2					○										
		教育を考える	講義	2						○									
	人間に対する理解	生活と文化	講義		2				○								4単位以上		
		心のしくみ	講義	2				○											
		体のしくみ	講義	2				○											
		ジェンダーを考える	講義	2						○									
		人間関係を考える	講義	2				○											
		健康とスポーツ	講義	2						○									
		自然科学を学ぶ	講義		2			○											
	動物のくらし	講義		2				○											
	社会に対する理解	現代社会と家族	講義	2				○									6単位以上		
		現代社会と国際関係	講義	2						○									
		現代社会と経済	講義	2				○											
		札幌を学ぶ	講義	2				○											
		ボランティア活動を考える	講義	2						○									
		統計の世界	講義	2					○										
	日本国憲法を学ぶ	講義		2						○									
	外国語	英語 I A	演習	1			○										8単位以上		
		英語 I B	演習	1			○												
		英語 I C	演習	1			○												
		英語 II A	演習	1				○											
		英語 II B	演習	1				○											
		英語 II C	演習	1				○											
		実践英語A	演習		1					○	○								
		実践英語B	演習		1					○									
		韓国語	演習		1						○								
		中国語	演習		1						○								
		ロシア語	演習		1						○								
		コミュニケーション科目	日本語表現法	演習		1		○											4単位以上
			プレゼンテーション	演習	1				○										
	基礎カウンセリング		演習		1			○											
	対人コミュニケーション		演習		1			○											
	グループ・ダイナミクス		演習		1					○									
	手話		演習		1				○										
	情報リテラシー I		演習	1				○											
	情報リテラシー II	演習	1				○												
	専門教育科目	デザイン基礎	デザイン原論	講義	2			○									16単位以上		
			デザイン史	講義	2			○											
			デザイン方法論	講義	2				○										
			色彩設計論	講義	2				○										
			感性科学	講義	2				○										
工学基礎			講義		2				○										
感性デザイン論			講義	2						○									
ユニバーサルデザイン論			講義	2						○									
創造産業論			講義	2						○	○								
現代芸術論			講義		2					○									
デザイン解析論			講義		2					○									
ヒューマンファクターズ入門			講義		2					○									
近現代建築史			講義		2					○									
設計製図基礎			演習		2					○									
認知科学			講義		2					○									
デザイン法規		講義		2					○										
エコロジーデザイン論		講義		2						○									
情報社会論		講義		2						○									
造形基礎		造形基礎実習 I	実習	2				○								6単位以上			
		表現基礎実習	実習	2				○											
		造形基礎実習 II	実習	2					○										
		デザイン材料加工実習 I	実習		2					○									
		デザイン材料加工実習 II	実習		2						○								
情報基礎		コンピュータ基礎実習 I	実習	2					○							8単位以上			
		コンピュータ基礎実習 II A (3D)	実習		2					○									
		コンピュータ基礎実習 II B (ムービー)	実習		2						○								
		コンピュータ基礎実習 II C (CAD)	実習		2						○								
	プログラミング I	演習	2					○											
	プログラミング II	演習		2						○									

さらに基本科目から10単位以上



平成24年度（編入学生は平成26年度）以降入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位			
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次					
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
共通教育科目	導入科目	スタートアップ演習	2			○										2単位	
	文化に対する理解	哲学と倫理	講義	2			○									4単位以上	
		宗教と思想	講義	2				○									
		芸術と文化	講義	2				○									
		教育を考える	講義	2						○							
		生活と文化	講義	2						○							
		ジェンダーと文化	講義	2						○							
	人間と自然に対する理解	心のしくみ	講義	2				○								4単位以上	
		体のしくみ	講義	2				○									
		人間関係を考える	講義	2				○									
		健康とスポーツ	講義	2						○							
		環境を考える	講義	2						○							
		自然科学を学ぶ	講義	2				○									
	社会に対する理解	動物のくらし	講義	2						○						6単位以上	
		現代社会と家族	講義	2				○									
		現代社会と国際関係	講義	2						○							
		現代社会と経済	講義	2				○									
		札幌を学ぶ	講義	2				○									
		ボランティア活動を考える	講義	2						○							
	外国語	統計の世界	講義	2				○								8単位以上	
		日本国憲法を学ぶ	講義	2							○						
		英語 I A	演習	1				○									
		英語 I B	演習	1				○									
		英語 I C	演習	1				○									
		英語 II A	演習	1					○								
		英語 II B	演習	1					○								
		英語 II C	演習	1					○								
		実践英語A	演習		1					○	○						
		実践英語B	演習		1					○	○						
	コミュニケーション・情報技術	韓国語	演習		1					○						4単位以上	
		中国語	演習		1					○							
		ロシア語	演習		1					○							
		日本語表現法	演習		1			○									
		プレゼンテーション	演習	1					○								
		基礎カウンセリング	演習		1			○									
	デザイン基礎	対人コミュニケーション	演習		1				○							16単位以上	
		グループ・ダイナミクス	演習		1					○							
		手話	演習		1					○							
		情報リテラシー I	演習	1				○									
		情報リテラシー II	演習	1				○									
		デザイン原論	講義	2				○									
		デザイン史	講義	2				○									
		デザイン方法論	講義	2					○								
		色彩設計論	講義	2				○									
		感性科学	講義	2					○								
工学基礎		講義		2					○								
感性デザイン論		講義	2						○								
ユニバーサルデザイン論		講義	2						○								
創造産業論		講義	2						○	○							
現代芸術論		講義		2					○	○							
デザイン解析論	講義		2					○	○								
ヒューマンファクターズ入門	講義		2					○	○								
造形基礎	近現代建築史	講義		2					○	○					6単位以上		
	設計製図基礎	演習		2					○	○							
	認知科学	講義		2					○	○							
	デザイン法規	講義		2					○	○							
	エコロジーデザイン論	講義		2						○							
	情報社会論	講義		2						○							
	造形基礎実習 I	実習	2				○										
	表現基礎実習	実習	2				○										
	造形基礎実習 II	実習	2					○									
	デザイン材料加工実習 I	実習		2					○								
	デザイン材料加工実習 II	実習		2						○							
	情報基礎	コンピュータ基礎実習 I	実習	2					○								8単位以上
		コンピュータ基礎実習 II A (3D)	実習		2					○							
		コンピュータ基礎実習 II B (ムービー)	実習		2						○						
		コンピュータ基礎実習 II C (CAD)	実習		2						○						
プログラミング I		演習	2					○									
プログラミング II	演習		2						○								

さらに基本科目から10単位以上



区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位				
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次						
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
専門教育科目	空間デザイン系	空間デザイン論	講義		2						○							
		空間デザイン史	講義		2						○							
		景観デザイン論	講義		2							○						
		都市計画論	講義		2								○					
		空間デザイン法規	講義		2									○				
		構造力学	講義+演習		2										○			
		建築構法	講義+演習		2											○		
		構造・材料実験	実習		2												○	
		建築設備計画	講義+演習		2													○
		建築計画論	講義		2								○					
	環境計画論	講義		2								○						
	家具・インテリアデザイン	講義+演習		2							○							
	住宅論	講義		2													○	
	製品デザイン系	製品デザイン論	講義		2						○							
		製品デザイン史	講義		2									○				
		製品造形論	講義		2						○							
		製品計画論	講義		2								○					
		感性情報学	講義		2								○					
		ヒューマンファクターズ	講義+演習		2						○							
		インタラクションデザイン	講義+演習		2							○						
		メカトロニクス	講義+演習		2									○				
		ロボティクス	講義+演習		2											○		
		感性インタラクションデザイン	演習		2									○				
	プロトタイプシミュレーションⅠ	演習		2								○						
	プロトタイプシミュレーションⅡ	演習		2									○					
	ヒューマンケア機器デザイン	演習		2											○			
	コンテンツデザイン系	コンテンツデザイン論	講義		2						○							
		デジタル映像史	講義		2										○			
		コンテンツ制作システム論	講義		2								○					
		物語デザイン論	講義		2								○					
		バーチャルリアリティ	講義		2										○			
		コンピュータグラフィクス	講義+演習		2						○							
		アニメーションⅠ	講義+演習		2							○						
		アニメーションⅡ	講義+演習		2									○				
		デジタル音響デザイン	講義+演習		2											○		
		ダイナミックオブジェクトデザイン	演習		2						○							
	マルチメディアコンテンツデザイン	演習		2								○						
	デジタル映像コンテンツデザイン	演習		2									○					
	ネットワークシステムデザイン	演習		2										○				
	メディアデザイン系	メディアデザイン論	講義		2						○							
		メディア文化史	講義		2							○						
		知的財産権論	講義		2								○					
		メディア芸術論	講義		2									○				
		アートマネジメント論	講義		2										○			
		広告デザイン	講義+演習		2						○							
ブランド構築		講義+演習		2							○							
デジタルアーカイブ		講義+演習		2									○					
コンテンツ流通技術		講義+演習		2											○			
メディアビジネス		演習		2						○								
出版メディアデザイン	演習		2							○								
インターネットメディアデザイン	演習		2									○						
放送メディアデザイン	演習		2											○				
デザイン応用	一般構造	講義+演習		2								○						
	寒冷地デザイン論	講義		2										○				
	観光とデザイン	演習		2										○				
	地場産業振興論	講義		2										○				
	建築生産	講義+演習		2										○				
	デザインマネジメント	演習		2											○			
	起業論	講義		2											○			
	デザイン英語	演習		2											○			
	構造力学Ⅱ	講義+演習		2											○			
	学外実習A (インターンシップ)	実習		2									◎					
学外実習B (フィールドスタディ)	実習		2									◎						
学部連携	学部連携演習	演習		2								○					2単位	
デザイン総合実習	デザイン総合実習Ⅰ	実習		2						○								
	デザイン総合実習Ⅱ	実習		2							○						6単位	
	デザイン総合実習Ⅲ	実習		2								○						
卒業研究	卒業研究	演習		6										○	○		6単位	
自由科目	学芸員課程関連科目	生涯学習概論	講義			2						○						
		博物館概論	講義			2						○						
		博物館経営論	講義			2							○					
		博物館資料論	講義			2							○					
		博物館資料保存論	講義			2								○				
		博物館展示論	講義			2								○				
		博物館博物館情報・メディア論	講義			2									○			
		博物館教育論	講義			2								○				
		博物館実習	実習			3											◎	

展開科目から一つの系の全科目を含め34単位以上を修得

8単位以上

注1) ◎は集中開講 注2) 展開科目(単位数の網掛け部分): 所属コース内の各科目は卒業要件単位となるため、すべて履修する必要があります。



② 卒業要件

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	13	15	28
専門教育科目	40	56	96
(基本科目)	(26)	(14)	(40)
(展開科目)	—	(34)	(34)
(発展科目)	(14)	(8)	(22)
合 計	53	71	124

3) 教育活動

授業科目	授業 形態	年次	担当教員
デザイン原論	講義・30時間	1年次前期	◎吉田 恵介 原田 昭 武邑 光裕
デザイン史	講義・30時間	1年次前期	★今村 信隆
色彩設計論	講義・30時間	1年次前期	★中井 和子
造形基礎実習 I	実習・60時間	1年次前期	◎石崎 友紀 ★外崎 由香
表現基礎実習	実習・60時間	1年次前期	◎齋藤 利明 杉 哲夫 金子 晋也
デザイン方法論	講義・30時間	1年次後期	酒井 正幸
感性科学	講義・30時間	1年次後期	張 浦華
造形基礎実習 II	実習・60時間	1年次後期	◎上遠野 敏 上田 裕文 須之内 元洋
コンピュータ基礎実習 I	実習・60時間	1年次後期	★児玉 潤二郎
プログラミング I	演習・30時間	1年次後期	大淵 一博
工学基礎	講義・30時間	1年次後期	◎斉藤 雅也 細谷 多聞 ★菊池 規雄 ★和田 義則
感性デザイン論	講義・30時間	2年次前期	張 浦華
ユニバーサルデザイン論	講義・30時間	2年次前期	酒井 正幸
創造産業論	講義・30時間	2年次前期	武邑 光裕
現代芸術論	講義・30時間	2年次前期	上遠野 敏
デザイン解析論	講義・30時間	2年次前期	中原 宏
ヒューマンファクターズ入門	講義・30時間	2年次前期	小宮 加容子
デザイン法規	講義・30時間	2年次前期	★津幡 笑
認知科学	講義・30時間	2年次前期	片山 めぐみ
デザイン材料加工実習 I	実習・60時間	2年次前期	◎上遠野 敏 石崎 友紀 齋藤 利明
コンピュータ基礎実習 II A (3D)	実習・60時間	2年次前期	◎松永 康佑 ★増田 直也
プログラミング II	演習・30時間	2年次前期	石井 雅博
近現代建築史	講義・30時間	2年次前期	◎羽深 久夫 山田 良 金子 晋也 ★池上 重康 ★小澤 丈夫 ★武田 明純 ★中渡 憲彦



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
設計製図基礎	演習・30時間	2年次前期	山田 良
エコロジーデザイン論	講義・30時間	2年次後期	矢部 和夫
情報社会論	講義・30時間	2年次後期	武田 亘明
デザイン材料加工実習Ⅱ	実習・60時間	2年次後期	◎石崎 友紀 ★川上 理恵
コンピュータ基礎実習ⅡB (ムービー)	実習・60時間	2年次後期	◎松永 康佑 ★河原 大 ★松崎 祐哉
コンピュータ基礎実習ⅡC (CAD)	実習・60時間	2年次後期	◎城間 祥之 金子 晋也
空間デザイン論	講義・30時間	2年次後期	◎吉田 恵介 山田 良
空間デザイン史	講義・30時間	2年次後期	羽深 久夫
家具・インテリアデザイン	講義+演習・ 30時間	2年次後期	◎★中村 昇 山田 良 片山 めぐみ ★澤口 将達
製品デザイン論	講義・30時間	2年次後期	◎長谷川 聡 杉 哲夫
製品造形論	講義・30時間	2年次後期	石崎 友紀
ヒューマンファクターズ	講義+演習・ 30時間	2年次後期	小宮 加容子
コンテンツデザイン論	講義・30時間	2年次後期	◎細谷 多聞 城間 祥之 石井 雅博 齋藤 利明 大淵 一博 福田 大年 松永 康佑
コンピュータグラフィクス	講義+演習・ 30時間	2年次後期	松永 康佑
ダイナミックオブジェクトデザイン	演習・30時間	2年次後期	◎齋藤 利明 細谷 多聞
メディアデザイン論	講義・30時間	2年次後期	◎武邑 光裕 上遠野 敏 吉田 和夫 武田 亘明 石田 勝也 杉本 達應 須之内 元洋
広告デザイン	講義+演習・ 30時間	2年次後期	吉田 和夫
メディアビジネス	演習・30時間	2年次後期	杉本 達應
デザイン総合実習Ⅰ (空間デザインコース)	実習・60時間	2年次後期	◎片山 めぐみ 中原 宏 羽深 久夫 矢部 和夫 吉田 恵介 齋藤 雅也 山田 良 上田 裕文 金子 晋也
デザイン総合実習Ⅰ (製品デザインコース)	実習・60時間	2年次後期	◎杉 哲夫 酒井 正幸 石崎 友紀 柿山 浩一郎 張 浦華 小宮 加容子 三谷 篤史 長谷川 聡
デザイン総合実習Ⅰ (コンテンツデザインコース)	実習・60時間	2年次後期	◎細谷 多聞 大淵 一博
デザイン総合実習Ⅰ (メディアデザインコース)	実習・60時間	2年次後期	◎吉田 和夫 武田 亘明 石田 勝也 杉本 達應
景観デザイン論	講義・30時間	3年次前期	◎吉田 恵介 ★原口 征人 ★三宅 理一
都市計画論	講義・30時間	3年次前期	中原 宏
建築計画論	講義・30時間	3年次前期	片山 めぐみ
環境計画論	講義・30時間	3年次前期	◎齋藤 雅也 矢部 和夫 吉田 恵介
製品計画論	講義・30時間	3年次前期	柿山 浩一郎



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
感性情報学	講義・30時間	3年次前期	張 浦華
インタラクティブデザイン	講義+演習・30時間	3年次前期	柿山 浩一郎
プロトタイプシミュレーションⅠ	演習・30時間	3年次前期	三谷 篤史
コンテンツ制作システム論	講義・30時間	3年次前期	福田 大年
物語デザイン論	講義・30時間	3年次前期	★望月 澄人
アニメーションⅠ	講義+演習・30時間	3年次前期	福田 大年
マルチメディアコンテンツデザイン	演習・30時間	3年次前期	細谷 多聞
メディア文化史	講義・30時間	3年次前期	武田 亘明
知的財産権論	講義・30時間	3年次前期	◎★安河内 正文 ★上野 純子 ★久保 雅一 ★高都 広大 ★濱口 英樹 ★渡邊 泰師
ブランド構築	講義+演習・30時間	3年次前期	◎武邑 光裕 杉本 達應
出版メディアデザイン	演習・30時間	3年次前期	◎吉田 和夫 杉本 達應
一般構造	講義+演習・30時間	3年次前期	羽深 久夫
学外実習A (インターンシップ)	実習・60時間	3年次前期 (学外での 実習は集 中)	◎山田 良 大淵 一博 小宮 加容子 須之内 元洋
学外実習B (フィールドスタディ)	実習・60時間	3年次前期 (学外での 研修は集 中)	◎杉 哲夫 片山 めぐみ 杉本 達應 福田 大年
デザイン総合実習Ⅱ (空間デザインコース)	実習・60時間	3年次前期	◎金子 晋也 中原 宏 羽深 久夫 矢部 和夫 吉田 恵介 斉藤 雅也 山田 良 上田 裕文 片山 めぐみ
デザイン総合実習Ⅱ (製品デザインコース)	実習・60時間	3年次前期	◎三谷 篤史 酒井 正幸 石崎 友紀 杉 哲夫 柿山 浩一郎 張 浦華 小宮 加容子 長谷川 聡
デザイン総合実習Ⅱ (コンテンツデザインコース)	実習・60時間	3年次前期	◎城間 祥之 齋藤 利明 松永 康佑
デザイン総合実習Ⅱ (メディアデザインコース)	実習・60時間	3年次前期	◎上遠野 敏 杉本 達應 須之内 元洋
空間デザイン法規	講義・30時間	3年次後期	★小林 宏
構造力学	講義+演習・30時間	3年次後期	★石丸 修二
建築構法	講義+演習・30時間	3年次後期	金子 晋也
構造・材料実験	実習・60時間	3年次後期	羽深 久夫
製品デザイン史	講義・30時間	3年次後期	杉 哲夫
メカトロニクス	講義+演習・30時間	3年次後期	三谷 篤史



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
感性インタラクシオンデザイン	演習・30時間	3年次後期	◎三谷 篤史 張 浦華
プロトタイプシミュレーションⅡ	演習・30時間	3年次後期	柿山 浩一郎
デジタル映像史	講義・30時間	3年次後期	武邑 光裕
バーチャルリアリティ	講義・30時間	3年次後期	石井 雅博
アニメーションⅡ	講義+演習・ 30時間	3年次後期	松永 康佑
デジタル映像コンテンツデザイン	演習・30時間	3年次後期	福田 大年
メディア芸術論	講義・30時間	3年次後期	武邑 光裕
アートマネジメント論	講義・30時間	3年次後期	上遠野 敏
デジタルアーカイブ	講義+演習・ 30時間	3年次後期	須之内 元洋
インターネットメディアデザイン	演習・30時間	3年次後期	須之内 元洋
寒冷地デザイン論	講義・30時間	3年次後期	◎斉藤 雅也 山田 良
観光とデザイン	演習・30時間	3年次後期	◎上田 裕文 ★貝澤 珠美 ★今野 一彦 ★敷田 麻美 ★鈴木 宏一郎 ★廣瀬 岳史 ★結城 幸司
地場産業振興論	講義・30時間	3年次後期	★内田 純一
建築生産	講義+演習・ 30時間	3年次後期	★中村 欣嗣
学部連携演習	演習・60時間	3年次後期	◎細谷 多聞 石崎 友紀 吉田 恵介 武田 亘明 山田 良 大淵 一博 小宮 加容子 杉本 達應 松永 康佑 三谷 篤史 金子 晋也 ◎定廣 和香子 山本 勝則 河原田 まり子 川村 三希子 坂倉 恵美子 スーディ神崎 和代 古都 昌子 神島 滋子 田仲 里江 坂東 奈穂美 檜山 明子 中田 亜由美 藪谷 祐介
デザイン総合実習Ⅲ (空間デザインコース)	実習・60時間	3年次後期	◎山田 良 中原 宏 羽深 久夫 矢部 和夫 吉田 恵介 斉藤 雅也 片山 めぐみ 金子 晋也 小西 敏正
デザイン総合実習Ⅲ (製品デザインコース)	実習・60時間	3年次後期	◎張 浦華 酒井 正幸 石崎 友紀 杉 哲夫 柿山 浩一郎 小宮 加容子 三谷 篤史 長谷川 聡
デザイン総合実習Ⅲ (コンテンツデザインコース)	実習・60時間	3年次後期	◎石井 雅博 福田 大年
デザイン総合実習Ⅲ (メディアデザインコース)	実習・60時間	3年次後期	◎上遠野 敏 武邑 光裕 吉田 和夫 武田 亘明 石田 勝也 杉本 達應 須之内 元洋
建築設備計画	講義+演習・ 30時間	4年次前期	斉藤 雅也
住宅論	講義・30時間	4年次前期	山田 良
ロボティクス	講義+演習・ 30時間	4年次前期	三谷 篤史
ヒューマンケア機器デザイン	演習・30時間	4年次前期	◎小宮 加容子 杉 哲夫 張 浦華



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
デジタル音響デザイン	講義+演習・ 30時間	4年次前期	◎★久保 壽光 ★伊藤 博之
ネットワークシステムデザイン	演習・30時間	4年次前期	大淵 一博
コンテンツ流通技術	講義+演習・ 30時間	4年次前期	石田 勝也
放送メディアデザイン	演習・30時間	4年次前期	杉本 達應
デザインマネジメント	演習・30時間	4年次前期	杉 哲夫
起業論	講義・30時間	4年次前期	★小林 元
デザイン英語	演習・30時間	4年次前期	松井 美穂
構造力学Ⅱ	講義+演習・ 30時間	4年次前期	★石丸 修二
卒業研究（空間デザインコース）	演習・90時間	4年次全期	◎中原 宏 羽深 久夫 矢部 和夫 吉田 恵介 齊藤 雅也 山田 良 上田 裕文 片山 めぐみ 金子 晋也
卒業研究（製品デザインコース）	演習・90時間	4年次全期	◎石崎 友紀 酒井 正幸 杉 哲夫 柿山 浩一郎 張 浦華 小宮 加容子 三谷 篤史 長谷川 聡
卒業研究 （コンテンツデザインコース）	演習・90時間	4年次全期	◎細谷 多聞 城間 祥之 石井 雅博 齋藤 利明 大淵 一博 福田 大年 松永 康佑
卒業研究 （メディアデザインコース）	演習・90時間	4年次全期	◎吉田 和夫 上遠野 敏 武邑 光裕 武田 亘明 石田 勝也 杉本 達應 須之内 元洋
生涯学習概論	講義・30時間	3年次前期	★木村 純
博物館概論	講義・30時間	3年次前期	◎矢部 和夫 ★佐藤 友哉 ★山田 悟郎
博物館資料論	講義・30時間	3年次前期	◎★岩崎 直人 ★天野 哲也
博物館教育論	講義・30時間	3年次前期	★細川 健裕
博物館経営論	講義・30時間	3年次後期	★佐藤 幸宏
博物館資料保存論	講義・30時間	3年次後期	★福岡 孝
博物館展示論	講義・30時間	3年次後期	◎★亀谷 隆 ★吉崎 元章
博物館情報・メディア論	講義・30時間	3年次後期	◎武田 亘明 武邑 光裕
博物館実習	実習・90時間	4年次前期 (学外での 実習は集 中)	矢部 和夫

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



4 看護学部

1) 平成26年度時間割

① 1年前期

		月		火	水	木	金
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)				
1	9:00 ~ 10:30				情報リテラシー I	体のしくみ	人間関係を考える
2	10:40 ~ 12:10			看護観察技術論	情報リテラシー I	英語 I A 英語 I B 日本語表現法	哲学と倫理
3	13:10 ~ 14:40	形態機能学 I		形態機能学 II	英語 I A 英語 I C 日本語表現法	英語 I A 英語 I B 日本語表現法	札幌を学ぶ
4	14:50 ~ 16:20	形態機能学 I		形態機能学 II	英語 I A 英語 I C 日本語表現法	スタートアップ演習	基礎カウンセリング 英語 I A 英語 I B 英語 I C
5	16:30 ~ 18:00	看護学原論	地域保健学概論	人間発達援助論	自然科学を学ぶ		基礎カウンセリング 英語 I A 英語 I B 英語 I C

② 1年後期

		月		火		水	木	金
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)			
1	9:00 ~ 10:30	病理病態学		看護過程論		芸術と文化		情報リテラシー II 手話
2	10:40 ~ 12:10	病理病態学		看護理論	看護過程論	宗教と思想 動物の暮らし	現代社会と家族 心のしくみ	情報リテラシー II 手話
3	13:10 ~ 14:40	基礎看護技術論		薬理学		英語 II A 英語 II B 英語 II C プレゼンテーション	英語 II A 英語 II B 英語 II C プレゼンテーション	現代社会と経済
4	14:50 ~ 16:20	基礎看護技術論		感染予防論		英語 II A 英語 II B 英語 II C	英語 II A 英語 II B 英語 II C	英語 II A 英語 II B 英語 II C 対人コミュニケーション
5	16:30 ~ 18:00						統計の世界	英語 II A 英語 II B 英語 II C 対人コミュニケーション



③ 2年前期

		月		火	水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30		人間工学	現代社会と国際関係 生活と文化	生命科学		家族社会学	老年看護学概論	環境保健	
2	10:40 ~ 12:10	疾病治療学B		実践英語A 実践英語B	医療情報	疾病治療学概論	臨床栄養学			
3	13:10 ~ 14:40	精神看護学概論	成人看護援助論	実践英語A 実践英語B	公衆衛生学	社会福祉学	成人看護学概論	症状マネジメント論		
4	14:50 ~ 16:20		成人看護援助論	環境を考える ジェンダーと文化	公衆衛生学	社会福祉学	症状マネジメント論			
5	16:30 ~ 18:00			グループ・ダイナミクス ボランティア活動を考える	生命倫理	疾病治療学A				

④ 2年後期

		月		火	水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30		精神看護援助論			臨床薬理学				
2	10:40 ~ 12:10	母性看護学概論	精神看護援助論	日本国憲法を学ぶ	疾病治療学C	小児看護学概論	看護倫理学	臨床心理学		
3	13:10 ~ 14:40	感染管理論		中国語 ロシア語	健康とスポーツ	老年看護援助論	がん看護学	援助の人間関係論	在宅看護援助論	
4	14:50 ~ 16:20	在宅看護学概論		中国語 ロシア語	韓国語	老年看護援助論	がん看護学	援助の人間関係論	在宅看護援助論	
5	16:30 ~ 18:00	教育を考える			公衆衛生看護学概論		チーム医療論			



⑤ 3年前期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ～ 10:30	認知症ケア		小児看護 援助論		成人看護 技術論		保健医療 福祉行政 論 I		保健統計	
2	10:40 ～ 12:10	認知症ケア		小児看護 援助論		成人看護 技術論		保健医療 福祉行政 論 I		保健統計	
3	13:10 ～ 14:40	在宅看護 技術論		母性看護 援助論				リハビリ テーショ ン看護学		精神看護 技術論	
4	14:50 ～ 16:20	在宅看護 技術論		母性看護 援助論				リハビリ テーショ ン看護学		精神看護 技術論	
5	16:30 ～ 18:00					疫学 I					

⑥ 3年後期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ～ 10:30	研究方法論		健康教育 指導法		看護教育学		公衆衛生看護 援助論 (前半I/後半II)		老年看護 技術論	
2	10:40 ～ 12:10	研究方法論		健康教育 指導法		透析ケア		公衆衛生看護 援助論 (前半I/後半II)		老年看護 技術論	
3	13:10 ～ 14:40	公衆衛生看護 援助論 (前半I/後半II)						小児看護 技術論		重症集中ケア	
4	14:50 ～ 16:20	公衆衛生看護 援助論 (前半I/後半II)		学部連携演習				小児看護 技術論		母性看護 技術論	
5	16:30 ～ 18:00	救急看護学						放射線医 療管理論		母性看護 技術論	



⑦ 4年前期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ∩ 10:30	国際保健学		パリアテ イブケア		看護管理学				ヘルスプロ モーション 活動論	
2	10:40 ∩ 12:10	現代専門職論		災害看護学看		看護管理学				ヘルスプロ モーション 活動論	
3	13:10 ∩ 14:40	地域看護 技術論		医療経営学		看護情報学		卒業研究		医療安全 管理論	
4	14:50 ∩ 16:20	地域看護 技術論		寒冷地医療				卒業研究		ペリネイ タルケア	
5	16:30 ∩ 18:00			国際看護学							

⑧ 4年後期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ∩ 10:30										
2	10:40 ∩ 12:10										
3	13:10 ∩ 14:40							卒業研究			
4	14:50 ∩ 16:20							卒業研究			
5	16:30 ∩ 18:00										



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

平成21～23年度（編入学生は23～25年度）入学生用

区分	授業科目	授業計画 (シラバス) 掲載頁	授業形態	単位数			配当年次（◎は集中で開講）								卒業 要件 単位			
				必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次					
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
共通教育科目	導入科目	スタートアップ演習	10	演習	2				○							2単位		
	文化に 対する 理解	哲学と倫理	11	講義		2		○									4単位 以上	
		宗教と思想	26	講義		2			○									
		芸術と文化	27	講義		2			○									
		環境を考える	39	講義		2				○								
		教育を考える	51	講義		2					○							
	人間に 対する 理解	生活と文化	40	講義			2			◎							4単位 以上	
		心のしくみ	28	講義		2			○									
		体のしくみ	12	講義		2			○									
		ジェンダーを考える	41	講義		2				○								
		人間関係を考える	13	講義		2			○									
	社会に 対する 理解	健康とスポーツ	42	講義		2					○						6単位 以上	
		自然科学を学ぶ	14	講義			2		○									
		動物の暮らし	29	講義			2			○								
		現代社会と家族	30	講義		2				○								
		現代社会と国際関係	43	講義		2					○							
	外国語	現代社会と経済	31	講義		2				○							8単位 以上	
		札幌を学ぶ	15	講義		2			○									
		ボランティア活動を考える	44	講義		2					○							
		統計の世界	32	講義	2					○								
		日本国憲法を学ぶ	52	講義			2					○						
	コミュニケーション科目	英語 I A	16	演習	1				○								4単位 以上	
		英語 I B	17	演習	1				○									
		英語 I C	18	演習	1				○									
		英語 II A	33	演習	1					○								
		英語 II B	34	演習	1					○								
		英語 II C	35	演習	1					○								
		実践英語A	45	演習	1						○							
		実践英語B	46	演習	1						○	○						
		韓国語	53	演習		1						○						
		中国語	48	演習		1						○						
	情報技術	ロシア語	49	演習		1						○						
		日本語表現法	19	演習		1			○									
		プレゼンテーション	36	演習		1				○								
		基礎カウンセリング	21	演習		1			○									
		対人コミュニケーション グループ・ダイナミックス	37	演習		1				○								
グループ・ダイナミックス		50	演習		1					○								
人間と命	手話	38	演習		1				○							5単位 以上		
	情報リテラシー I	22	演習	1				○										
	情報リテラシー II	24	演習	1					○									
	形態機能学 I	182	演習	2				○										
	形態機能学 II	183	演習	2					○									
	生命科学	196	講義		1					○								
	生命倫理	197	講義		1					○								
	環境保健	198	講義		1					○								
	人間工学	199	講義		1					○								
	健康と健康 障害と予防	薬理学	189	講義	1					○								10単位
		臨床薬理学	214	演習	1							○						
		臨床栄養学	200	演習	1						○							
		病理病態学	190	演習	2						○							
		疾病治療学概論	201	演習	1							○						
		疾病治療学A	202	演習	1							○						
疾病治療学B		203	演習	1							○							
疾病治療学C		215	演習	1								○						
感染予防論	191	講義	1					○										
保健と医 療と福祉	公衆衛生学	204	演習	1						○						7単位 以上		
	社会福祉学	205	講義	1						○								
	家族社会学	206	講義		1						○							
	チーム医療論	216	講義		1							○						
	感染管理論	217	講義		1							○						
	臨床心理学	218	講義		1							○						
	地域保健学概論	184	講義	1					○									
	保健医療福祉行政論	—	演習	1									○					
	保健統計	231	演習	1									○					
	医療情報	207	演習	1							○							

※自由科目は卒業要件単位に含まれません。



区分	授業科目	授業計画 (シラバス) 掲載頁	授業形態	単位数			配当年次 (◎は集中で開講)								卒業 要件 単位	
				必修	選択	保健師 コース 必修	1年次		2年次		3年次		4年次			
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
看護の基礎となるもの	看護学原論	185	講義	1			○									7単位
	看護理論	192	講義	1				○								
	援助的人間関係論	219	演習	1						○						
	人間発達援助論	186	演習	1			○									
	看護初期実習	187	実習	1			◎									
	看護倫理学	220	講義	1						○						
	健康教育指導法	244	演習	1							○					
	看護過程論	193	演習	1				○								
	看護観察技術論	188	演習	1			○									
	看護の基本的展開	症状マネジメント論	208	演習	2				○							
基礎看護技術論	194	演習	2				○									
基礎看護学臨地実習 I	195	実習	1				◎									
基礎看護学臨地実習 II	209	実習	2					◎								
研究方法論	245	演習	1							○						
小児	小児看護学概論	221	講義	1					○						5単位	
小児看護援助論	233	演習	1							○						
小児看護技術論	246	演習	1								○					
小児看護学臨地実習	247	実習	2								◎					
母性	母性看護学概論	222	講義	1					○						5単位	
母性看護援助論	234	演習	1							○						
母性看護技術論	248	演習	1								○					
母性看護学臨地実習	249	実習	2								◎					
成人	成人看護学概論	210	講義	1				○							8単位	
成人看護援助論	211	演習	1					○								
成人看護技術論	235	演習	1							○						
成人看護学臨地実習 I	223	実習	3						◎							
成人看護学臨地実習 II	236	実習	2							◎						
老年	老年看護学概論	212	講義	1				○							6単位	
老年看護援助論	224	演習	1					○								
老年看護技術論	250	演習	1								○					
老年看護学臨地実習 I	237	実習	1							◎						
老年看護学臨地実習 II	251	実習	2								◎					
精神	精神看護学概論	213	講義	1				○							5単位	
精神看護援助論	225	演習	1						○							
精神看護技術論	238	演習	1							○						
精神看護学臨地実習	239	実習	2							◎						
在宅	在宅看護学概論	226	講義	1					○						5単位	
在宅看護援助論	227	演習	1						○							
在宅看護技術論	240	演習	1							○						
在宅看護学臨地実習	241	実習	2							◎						
健康問題への対応	リハビリテーション看護学	242	演習	1						○					5単位以上	
がん看護学	228	演習	1						○							
認知症ケア	243	演習	1							○						
透析ケア	252	講義	1								○					
重症集中ケア	253	講義	1								○					
救急看護学	254	講義	1								○					
放射線医療管理論	255	講義	1								○					
ペリネイタルケア	260	講義	1									○				
バリアティブケア	261	講義	1									○				
寒冷地医療	262	講義	1									○				
コミュニティケアに関するもの	地域看護学概論	—	講義	1						○				9単位		
地域看護援助論	—	演習	2								○					
地域看護技術論	263	演習	1									○				
ヘルスプロモーション活動論	264	演習	1									○				
地域看護学臨地実習 I	265	実習	2									◎				
地域看護学臨地実習 II	266	実習	2									◎				
発展・統合に関するもの	看護管理学	267	演習	1									○	11単位以上		
看護教育学	258	講義	1							○						
卒業研究	276	演習	4										○			
ヘルスケアマネジメント実習	275	実習	3										◎			
看護情報学	268	講義	1										○			
災害看護学	269	講義	1										○			
国際看護学	270	講義	1										○			
国際保健学	271	講義	1										○			
医療経営学	272	講義	1										○			
医療安全管理論	273	講義	1										○			
現代専門職論	274	講義	1										○			
学部連携	学部連携演習	259	演習	2							○			2単位		



平成24～25年度（編入学生は26～27年度）入学生用

区分	授業科目	授業計画 (シラバス) 掲載頁	授業形態	単位数			配当年次（◎は集中で開講）								卒業 要件 単位			
				必修	選択	保健師 必修	1年次		2年次		3年次		4年次					
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
共通教育科目	導入科目	スタートアップ演習	10 演習	2				○									2単位	
	文化に 対する 理解	哲学と倫理	11 講義		2				○									4単位 以上
		宗教と思想	26 講義		2					○								
		芸術と文化	27 講義		2					○								
		教育を考える	51 講義		2						○							
		生活と文化	40 講義		2						○							
	人間に 対する 理解	ジェンダーと文化	41 講義		2						○							4単位 以上
		心のしくみ	28 講義		2					○								
		体のしくみ	12 講義		2					○								
		人間関係を考える	13 講義		2					○								
		健康とスポーツ	42 講義		2							○						
		環境を考える	39 講義		2							○						
	社会に 対する 理解	自然科学を学ぶ	14 講義		2					○								6単位 以上
		動物の暮らし	29 講義		2						○							
		現代社会と家族	30 講義		2						○							
		現代社会と国際関係	43 講義		2							○						
		現代社会と経済	31 講義		2							○						
		札幌を学ぶ	15 講義		2						○							
	外国語	ボランティア活動を考える	44 講義		2							○						8単位 以上
		統計の世界	32 講義		2							○						
		日本国憲法を学ぶ	52 講義		2								○					
		英語 I A	16 演習		1						○							
		英語 I B	17 演習		1						○							
		英語 I C	18 演習		1						○							
	コミュニ ケーション 科目	英語 II A	33 演習		1							○						4単位 以上
		英語 II B	34 演習		1							○						
		英語 II C	35 演習		1							○						
		実践英語A	45 演習		1								○					
		実践英語B	46 演習		1								○					
		韓国語	53 演習		1									○				
		中国語	47 演習		1										○			
		ロシア語	49 演習		1											○		
日本語表現法		19 演習		1							○							
プレゼンテーション		36 演習		1								○						
情報技術	基礎カウンセリング	21 演習		1							○						5単位 以上	
	対人コミュニケーション	37 演習		1							○							
	グループ・ダイナミクス	50 演習		1								○						
	手話	38 演習		1								○						
	情報リテラシー I	22 演習		1							○							
	情報リテラシー II	24 演習		1								○						
	形態機能学 I	182 演習		2								○						
	形態機能学 II	183 演習		2								○						
人間と命	生命科学	196 講義		1								○					12単位	
	生命倫理	197 講義		1								○						
	環境保健	198 講義		1									○					
	人間工学	199 講義		1									○					
	薬理学	189 講義		2									○					
	臨床薬理学	214 演習		1										○				
健康と健康 障害と予防	臨床栄養学	200 演習		1									○					
	病理病態学	190 演習		2										○				
	疾病治療学概論	201 演習		1										○				
	疾病治療学A	202 演習		1										○				
	疾病治療学B	203 演習		1										○				
	疾病治療学C	215 演習		1										○				
	感染予防論	191 講義		2									○					
	公衆衛生学	204 演習		1										○				
保健と医 療と福祉	社会福祉学	205 講義		1										○			9単位 以上 (保健師 コース 11単位 以上)	
	家族社会学	206 講義		1										○				
	チーム医療論	216 講義		1										○				
	感染管理論	217 講義		1										○				
	臨床心理学	218 講義		1										○				
	地域保健学概論	184 講義		1									○					
	保健医療福祉行政論 I	230 演習		1										○				
	保健医療福祉行政論 II	— 演習		1											○			
	保健統計	231 講義		2										○				
	疫学	疫学 I	232 講義		1										○			
疫学 II		— 講義		1											○			
医療情報		207 演習		1										○				



区分	授業科目	授業計画 (シラバス) 掲載頁	授業形態	単位数			配当年次 (◎は集中で開講)								卒業 要件 単位		
				必修	選択	保健師 コース 必修	1年次		2年次		3年次		4年次				
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
看護の基礎となるもの	看護学原論	185	講義	1			○									7単位	
	看護理論	192	講義	1				○									
	援助的人間関係論	219	演習	1						○							
	人間発達援助論	186	演習	1			○										
	看護初期実習	187	実習	1			◎										
	看護倫理学	220	講義	1						○							
	健康教育指導法	244	演習	1								○					
	看護の基本的展開	看護過程論	193	演習	1				○								10単位
		看護観察技術論	188	演習	1			○									
		症状マネジメント論	208	演習	2					○							
		基礎看護技術論	194	演習	2				○								
		基礎看護学臨地実習Ⅰ	195	実習	1					◎							
		基礎看護学臨地実習Ⅱ	209	実習	2						◎						
研究方法論	245	演習	1								○						
小児	小児看護学概論	221	講義	1						○						5単位	
	小児看護援助論	233	演習	1							○						
	小児看護技術論	246	演習	1								○					
	小児看護学臨地実習	247	実習	2								◎					
母性	母性看護学概論	222	講義	1						○						5単位	
	母性看護援助論	234	演習	1							○						
	母性看護技術論	248	演習	1								○					
	母性看護学臨地実習	249	実習	2								◎					
成人	成人看護学概論	210	講義	1				○								8単位	
	成人看護援助論	211	演習	1					○								
	成人看護技術論	235	演習	1							○						
	成人看護学臨地実習Ⅰ	223	実習	3						◎							
	成人看護学臨地実習Ⅱ	236	実習	2							◎						
老年	老年看護学概論	212	講義	1				○								6単位	
	老年看護援助論	224	演習	1					○								
	老年看護技術論	250	演習	1								○					
	老年看護学臨地実習Ⅰ	237	実習	1							◎						
老年看護学臨地実習Ⅱ	251	実習	2								◎						
精神	精神看護学概論	213	講義	1				○								5単位	
	精神看護援助論	225	演習	1						○							
	精神看護技術論	238	演習	1							○						
	精神看護学臨地実習	239	実習	2							◎						
在宅	在宅看護学概論	226	講義	1						○						5単位	
	在宅看護援助論	227	演習	1							○						
	在宅看護技術論	240	演習	1								○					
	在宅看護学臨地実習	241	実習	2								◎					
健康問題への対応	リハビリテーション看護学	242	演習	1							○					5単位以上	
	がん看護学	228	演習	1						○							
	認知症ケア	243	演習	1								○					
	透析ケア	252	講義	1									○				
	重症集中ケア	253	講義	1									○				
	救急看護学	254	講義	1									○				
	放射線医療管理論	255	講義	1									○				
	パリエイタルケア	260	講義	1										○			
	バリアティブケア	261	講義	1										○			
寒冷地医療	262	講義	1										○				
コミュニティケアに関するもの	公衆衛生看護学概論	229	講義	1						○						2単位 (保健師コース10単位)	
	公衆衛生看護援助論Ⅰ	256	演習	1								○					
	公衆衛生看護援助論Ⅱ	257	演習	1			1					○					
	公衆衛生看護技術論	—	演習	—			1						○				
	ヘルスプロモーション活動論	264	演習	1									○				
	公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ	—	実習	—									◎				
公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ	—	実習	—									◎					
発展・統合に関するもの	看護管理学	267	演習	1										○		12単位以上	
	看護教育学	258	講義	1										○			
	卒業研究	276	演習	4											○		
	ヘルスケアマネジメント実習	275	実習	3											◎		
	公衆衛生看護管理論	—	講義	—			1								○		
	看護情報学	268	講義	1											○		
	災害看護学	269	講義	1											○		
	国際看護学	270	講義	1											○		
	国際保健学	271	講義	1											○		
	医療経営学	272	講義	1											○		
	医療安全管理論	273	講義	1											○		
	現代専門職論	274	講義	1											○		
学部連携	学部連携演習	259	演習	2									○		2単位		

※単位数 (選択) の網掛け部分は保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。
(保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。)



平成26年度（編入学生は28年度）以降入学生用

区分	授業科目	授業計画 (シラバス) 掲載頁	授業形態	単位数			配当年次 (◎は集中で開講)								卒業 要件 単位			
				必修	選択	保健師 必修	1年次		2年次		3年次		4年次					
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
共通教育科目	導入科目	スタートアップ演習	10 演習	2			○										2単位	
	文化に 対する 理解	哲学と倫理	11 講義		2			○										4単位 以上
		宗教と思想	26 講義		2				○									
		芸術と文化	27 講義		2				○									
		教育を考える	51 講義		2						○							
		生活と文化	40 講義		2						○							
	人間に 対する 理解	ジェンダーと文化	41 講義		2						○							4単位 以上
		心のしくみ	28 講義		2				○									
		体のしくみ	12 講義		2				○									
		人間関係を考える	13 講義		2				○									
		健康とスポーツ	42 講義		2							○						
		環境を考える	39 講義		2						○							
	社会に 対する 理解	自然科学を学ぶ	14 講義		2				○									6単位 以上
		動物の暮らし	29 講義		2					○								
		現代社会と家族	30 講義		2					○								
		現代社会と国際関係	43 講義		2						○							
		現代社会と経済	31 講義		2						○							
		札幌を学ぶ	15 講義		2					○								
	外国語	ボランティア活動を考える	44 講義		2						○							8単位 以上
		統計の世界	32 講義		2					○								
		日本国憲法を学ぶ	52 講義		2							○						
		英語 I A	16 演習	1					○									
		英語 I B	17 演習	1					○									
		英語 I C	18 演習	1					○									
	コミュニ ケーション 科目	英語 II A	33 演習	1						○								4単位 以上
		英語 II B	34 演習	1						○								
		英語 II C	35 演習	1						○								
		実践英語A	45 演習	1							○							
		実践英語B	46 演習	1							○							
		韓国語	53 演習	1								○						
中国語		47 演習	1								○							
ロシア語		49 演習	1								○							
日本語表現法		19 演習	1						○									
プレゼンテーション		36 演習	1							○								
情報技術	基礎カウンセリング	21 演習	1						○								5単位 以上	
	対人コミュニケーション	37 演習	1						○									
	グループ・ダイナミクス	50 演習	1							○								
	手話	38 演習	1							○								
	情報リテラシー I	22 演習	1						○									
	情報リテラシー II	24 演習	1							○								
専門基礎科目	形態機能学 I	182 演習	2						○								5単位 以上	
	形態機能学 II	183 演習	2						○									
	生命科学	196 講義		1							○							
	生命倫理	197 講義		1							○							
	環境保健	198 講義		1							○							
	人間工学	199 講義		1							○							
	健康と健康 障害と予防	薬理学	189 講義		2						○							12単位
		臨床薬理学	214 演習		1							○						
		臨床栄養学	200 演習		1							○						
		病理病態学	190 演習		2						○							
		疾病治療学概論	201 演習		1							○						
		疾病治療学A	202 演習		1							○						
		疾病治療学B	203 演習		1							○						
		疾病治療学C	215 演習		1							○						
		感染予防論	191 講義		2						○							
公衆衛生学		204 演習		1							○							
保健と医 療と福祉	社会福祉学	205 講義		1							○						9単位 以上 (保健師 コース 11単位 以上)	
	家族社会学	206 講義		1							○							
	チーム医療論	216 講義		1								○						
	感染管理論	217 講義		1								○						
	臨床心理学	218 講義		1								○						
	地域保健学概論	184 講義		1						○								
	保健医療福祉行政論 I	230 演習		1								○						
	保健医療福祉行政論 II	- 演習		1									○					
	保健統計	231 講義		2								○						
	疫学 I	232 講義		1								○						
疫学 II	- 講義		1									○						
医療情報	207 演習		1							○								



区分	授業科目	授業計画 (シラバス) 掲載頁	授業形態	単位数			配当年次 (◎は集中で開講)								卒業 要件 単位				
				必修	選択	保健師 コース 必修	1年次		2年次		3年次		4年次						
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
看護の基礎となるもの	看護学原論	185	講義	1				○										7単位	
	看護理論	192	講義	1					○										
	援助的人間関係論	219	演習	1							○								
	人間発達援助論	186	演習	1					○										
	看護初期実習	187	実習	1					◎										
	看護倫理学	220	講義	1								○							
	健康教育指導法	244	演習	1									○						
	看護の基本的展開	看護過程論	193	演習	1					○									10単位
		看護観察技術論	188	演習	1					○									
		症状マネジメント論	208	演習	2						○								
		基礎看護技術論	194	演習	2						○								
		基礎看護学臨床実習 I	195	実習	1							◎							
		基礎看護学臨床実習 II	209	実習	2								◎						
		研究方法論	245	演習	1									○					
	小児	小児看護学概論	221	講義	1							○							5単位
		小児看護援助論	233	演習	1								○						
		小児看護技術論	246	演習	1									○					
		小児看護学臨床実習	247	実習	2										◎				
母性	母性看護学概論	222	講義	1							○							5単位	
	母性看護援助論	234	演習	1								○							
	母性看護技術論	248	演習	1									○						
	母性看護学臨床実習	249	実習	2											◎				
成人	成人看護学概論	210	講義	1						○								8単位	
	成人看護援助論	211	演習	1						○									
	成人看護技術論	235	演習	1								○							
	成人看護学臨床実習 I	223	実習	3									◎						
	成人看護学臨床実習 II	236	実習	2										◎					
老年	老年看護学概論	212	講義	1						○								6単位	
	老年看護援助論	224	演習	1							○								
	老年看護技術論	250	演習	1									○						
	老年看護学臨床実習 I	237	実習	1										◎					
精神	精神看護学概論	213	講義	1						○								5単位	
	精神看護援助論	225	演習	1							○								
	精神看護技術論	238	演習	1								○							
	精神看護学臨床実習	239	実習	2											◎				
在宅	在宅看護学概論	226	講義	1							○							5単位	
	在宅看護援助論	227	演習	1							○								
	在宅看護技術論	240	演習	1								○							
	在宅看護学臨床実習	241	実習	2											◎				
健康問題への対応	リハビリテーション看護学	242	演習	1							○							5単位以上	
	がん看護学	228	演習	1							○								
	認知症ケア	243	演習	1								○							
	透析ケア	252	講義		1								○						
	重症集中ケア	253	講義		1									○					
	救急看護学	254	講義		1									○					
	放射線医療管理論	255	講義		1									○					
	パリエイタルケア	260	講義		1										○				
	バリアティブケア	261	講義		1											○			
寒冷地医療	262	講義		1												○			
コミュニティケアに関するもの	公衆衛生看護学概論	229	講義	1							○							2単位 (保健 師コース10単位)	
	公衆衛生看護援助論 I	256	演習	1								○							
	公衆衛生看護援助論 II	257	演習		1								○						
	公衆衛生看護技術論	-	演習		1										○				
	ヘルスプロモーション活動論	264	演習		1											○			
	公衆衛生看護学臨床実習 I	-	実習			2											◎		
発展・統合に関するもの	看護管理学	267	演習	1													○	12単位 以上	
	看護教育学	258	講義	1													○		
	卒業研究	276	演習	4													○		
	ヘルスケアマネジメント実習	275	実習	3													◎		
	公衆衛生看護管理論	-	講義		1												○		
	看護情報学	268	講義		1												○		
	災害看護学	269	講義		1												○		
	国際看護学	270	講義		1												○		
	国際保健学	271	講義		1												○		
	医療経営学	272	講義		1												○		
	医療安全管理論	273	講義		1												○		
	現代専門職論	274	講義		1												○		
	学部連携	学部連携演習	259	演習	2									○					2単位

※単位数 (選択) の網掛け部分は保健師コース必修部分、保健師コース選択の学生の必修科目です。
(保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。)



② 卒業要件

平成21～23年度（編入学生は23～25年度）入学生

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	12	16	28
専門教育科目	94	6	100
(専門基礎科目)	(20)	(2)	(22)
(専門科目)	(74)	(4)	(78)
合 計	106	22	128

平成24年度（編入学生は26年度）以降入学生

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	12	16	28
専門教育科目	91	7	98
(専門基礎科目)	(24)	(2)	(26)
(専門科目)	(67)	(5)	(72)
合 計	103	23	126

3) 教育活動

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
形態機能学Ⅰ	演習・60時間	1年次前期	★高野 廣子
形態機能学Ⅱ	演習・60時間	1年次前期	★高野 廣子
地域保健学概論	講義・15時間	1年次前期	◎清水 光子 河原田 まり子 山田 典子
看護学原論	講義・15時間	1年次前期	◎定廣 和香子 猪股 千代子
人間発達援助論	演習・30時間	1年次前期	◎山本 勝則 中村 恵子 坂倉 恵美子 松浦 和代 宮崎 みち子
看護初期実習	実習・45時間	1年次前期	◎村松 真澄 大野 夏代 貝谷 敏子 菊地 ひろみ 菅原 美樹 古都 昌子 守村 洋 山田 典子 太田 晴美 神島 滋子 田中 広美 原井 美佳 藤井 瑞恵 三上 智子
看護観察技術論	演習・30時間	1年次前期	◎檜山 明子 大野 夏代 古都 昌子 田中 広美
薬理学	講義・30時間	1年次後期	★松本 真知子
病理病態学	演習・60時間	1年次後期	★小林 正伸
感染予防論	講義・30時間	1年次後期	富樫 武弘
看護理論	講義・15時間	1年次後期	定廣 和香子 檜山 明子
看護過程論	演習・30時間	1年次後期	◎古都 昌子 大野 夏代 田中 広美 檜山 明子
基礎看護技術論	演習・60時間	1年次後期	◎田中 広美 樋之津 淳子 大野 夏代 古都 昌子 檜山 明子



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
基礎看護学臨地実習Ⅰ	実習・45時間	1年次後期	◎田中 広美 定廣 和香子 樋之津 淳子 大野 夏代 古都 昌子 檜山 明子 工藤 京子 坂東 奈穂美 田仲 里江 石引 かずみ 小田嶋 裕輝 柏倉 大作 星 幸江 御厩 美登里 横川 亜希子
生命科学	講義・15時間	2年次前期	★山田 恵子
生命倫理	講義・15時間	2年次前期	★市毛 幹彦
環境保健	講義・15時間	2年次前期	★齋藤 健
人間工学	講義・15時間	2年次前期	◎樋之津 淳子 檜山 明子 ★佐藤 秀一
臨床栄養学	演習・30時間	2年次前期	★高野 良子
疾病治療学概論	演習・30時間	2年次前期	◎★高野 廣子 ★伊東 義忠
疾病治療学A	演習・30時間	2年次前期	◎★柳澤 克之 ★秋江 研志 ★甲谷 哲郎
疾病治療学B	演習・30時間	2年次前期	★永坂 敦
公衆衛生学	演習・30時間	2年次前期	★築島 恵理
社会福祉学	講義・15時間	2年次前期	★大内 高雄
家族社会学	講義・15時間	2年次前期	◎原 俊彦 山田 典子
医療情報	演習・30時間	2年次前期	★小笠原 克彦
症状マネジメント論	演習・60時間	2年次前期	◎貝谷 敏子 菅原 美樹 村松 真澄 神島 滋子 藤井 瑞恵 工藤 京子
基礎看護学臨地実習Ⅱ	実習・90時間	2年次前期	◎大野 夏代 定廣 和香子 樋之津 淳子 古都 昌子 田中 広美 工藤 京子 坂東 奈穂美 田仲 里江 檜山 明子 石引 かずみ 小田嶋 裕輝 柏倉 大作 御厩 美登里 星 幸江 横川 亜希子
成人看護学概論	講義・15時間	2年次前期	◎川村 三希子 中村 恵子 小田 和美
成人看護援助論	講義・30時間	2年次前期	◎藤井 瑞恵 小田 和美 貝谷 敏子 菅原 美樹 神島 滋子 工藤 京子
老年看護学概論	講義・15時間	2年次前期	坂倉 恵美子
精神看護学概論	講義・15時間	2年次前期	山本 勝則
臨床薬理学	演習・30時間	2年次後期	★唯野 貢司 ★後藤 仁和
疾病治療学C	演習・30時間	2年次後期	★三澤 一仁
チーム医療論	講義・15時間	2年次後期	◎太田 晴美 ★猪股 千代子 坂東 奈穂美
感染管理論	講義・15時間	2年次後期	◎スーディ神崎 和代 ★土佐 理恵子
臨床心理学	講義・15時間	2年次後期	◎山本 勝則 ★菊池 浩光
援助の人間関係論	演習・30時間	2年次後期	◎守村 洋 山本 勝則 古都 昌子 藤井 瑞恵
看護倫理学	講義・15時間	2年次後期	宮崎 みち子 古都 昌子
小児看護学概論	講義・15時間	2年次後期	松浦 和代
母性看護学概論	講義・15時間	2年次後期	宮崎 みち子



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
成人看護学臨地実習Ⅰ	実習・135時間	2年次後期	◎菅原 美樹 小田 和美 川村 三希子 貝谷 敏子 神島 滋子 藤井 瑞恵 工藤 京子 田仲 里江 坂東 奈穂美 檜山 明子 石引 かずみ 小田嶋 裕輝 柏倉 大作 星 幸江 御厩 美登里 横川 亜希子
老年看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎村松 真澄 坂倉 恵美子 原井 美佳 ★川人 由美子
精神看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎守村 洋 ★武村 史 ★松原 良治 ★山本 晋
在宅看護学概論	講義・15時間	2年次後期	スーディ神崎 和代
在宅看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎菊地 ひろみ スーディ神崎 和代 ★工藤 和子 ★石崎 剛
がん看護学	演習・30時間	2年次後期	◎川村 三希子 松浦 和代 貝谷 敏子
公衆衛生看護学概論	講義・15時間	2年次後期	◎河原田 まり子 清水 光子
保健医療福祉行政論Ⅰ	演習・30時間	3年次前期	◎清水 光子 守村 洋 田仲 里江
保健統計	講義・30時間	3年次前期	◎★片倉 洋子 ★榎 洋一
疫学Ⅰ	講義・15時間	3年次前期	★喜多 歳子
小児看護援助論	演習・30時間	3年次前期	◎松浦 和代 三上 智子 富樫 武弘
母性看護援助論	演習・30時間	3年次前期	◎山本 真由美 多賀 昌江 ★奥 毅公雄
成人看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎工藤 京子 小田 和美 川村 三希子 貝谷 敏子 菅原 美樹 神島 滋子 藤井 瑞恵
成人看護学臨地実習Ⅱ	実習・90時間	3年次前期	◎神島 滋子 小田 和美 川村 三希子 貝谷 敏子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 工藤 京子 柏倉 大作
老年看護学臨地実習Ⅰ	実習・45時間	3年次前期	◎原井 美佳 坂倉 恵美子 村松 真澄
精神看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎守村 洋 山本 勝則
精神看護学臨地実習	実習・90時間	3年次前期	◎守村 洋 山本 勝則 星 幸江
在宅看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎菊地 ひろみ スーディ神崎 和代
在宅看護学臨地実習	実習・90時間	3年次前期	◎菊地 ひろみ スーディ神崎 和代
リハビリテーション看護学	演習・30時間	3年次前期	◎神島 滋子 ★平山 光久 ★石井 陽史
認知症ケア	演習・30時間	3年次前期	スーディ神崎 和代
健康教育指導法	演習・30時間	3年次後期	◎山田 典子 清水 光子 櫻井 繭子 田仲 里江
研究方法論	演習・30時間	3年次後期	◎貝谷 敏子 松浦 和代 山田 典子 神島 滋子
小児看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎三上 智子 松浦 和代
小児看護学臨地実習	実習・90時間	3年次後期	◎三上 智子 松浦 和代
母性看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎多賀 昌江 山内 まゆみ 山本 真由美
母性看護学臨地実習	実習・90時間	3年次後期	◎山本 真由美 宮崎 みち子 山内 まゆみ 多賀 昌江



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
老年看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎原井 美佳 村松 真澄
老年看護学臨地実習Ⅱ	実習・90時間	3年次後期	◎村松 真澄 坂倉 恵美子 原井 美佳
透析ケア	講義・15時間	3年次後期	◎藤井 瑞恵 ★木村 剛
重症集中ケア	講義・15時間	3年次後期	◎菅原 美樹 中村 恵子 ★小山 昭人
救急看護学	講義・15時間	3年次後期	◎菅原 美樹 中村 恵子 ★三上 剛人
放射線医療管理論	講義・15時間	3年次後期	◎★池田 光 ★神島 保
公衆衛生看護援助論Ⅰ	演習・30時間	3年次後期	◎櫻井 繭子 山田 典子 清水 光子 田仲 里江
公衆衛生看護援助論Ⅱ	演習・30時間	3年次後期	◎清水 光子 山田 典子 櫻井 繭子 田仲 里江
看護教育学	講義・15時間	3年次後期	◎定廣 和香子 古都 昌子 田中 広美
学部連携演習	演習・60時間	3年次後期	◎定廣 和香子 河原田 まり子 川村 三希子 坂倉 恵美子 スーディ神崎 和代 山本 勝則 古都 昌子 神島 滋子 田仲 里江 坂東 奈穂美 檜山 明子 ◎細谷 多聞 石崎 友紀 吉田 恵介 武田 亘明 山田 良 大淵 一博 小宮 加容子 杉本 達應 松永 康佑 三谷 篤史 金子 晋也 中田 亜由美 藪谷 祐介
ペリネイタルケア	講義・15時間	4年次前期	◎三上 智子 多賀 昌江 田仲 里江
パリアティブケア	講義・15時間	4年次前期	◎川村 三希子 菊地 ひろみ ★石垣 靖子 ★松山 茂子
寒冷地医療	講義・15時間	4年次前期	◎坂倉 恵美子 ★前沢 政次
地域看護技術論	演習・30時間	4年次前期	◎田仲 里江 清水 光子 山田 典子
ヘルスプロモーション活動論	演習・30時間	4年次前期	◎山田 典子 清水 光子 田仲 里江
地域看護学臨地実習Ⅰ	実習・90時間	4年次前期	◎山田 典子 河原田 まり子 清水 光子 田仲 里江
地域看護学臨地実習Ⅱ	実習・90時間	4年次前期	◎清水 光子 河原田 まり子 山田 典子 櫻井 繭子 田仲 里江
看護管理学	演習・30時間	4年次前期	◎猪股 千代子 太田 晴美 坂東 奈穂美
看護情報学	講義・15時間	4年次前期	★佐藤 ひとみ
災害看護学	講義・15時間	4年次前期	◎太田 晴美 ★浅井 康文
国際看護学	講義・15時間	4年次前期	◎大野 夏代 スーディ神崎 和代
国際保健学	講義・15時間	4年次前期	★玉城 英彦
医療経営学	講義・15時間	4年次前期	◎猪股 千代子 スーディ神崎 和代 坂東 奈穂美
医療安全管理論	講義・15時間	4年次前期	◎猪股 千代子 古都 昌子 檜山 明子
現代専門職論	講義・15時間	4年次前期	◎樋之津 淳子 中村 恵子



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
ヘルスケアマネジメント実習	実習・135時間	4年次後期	◎太田 晴美 猪股 千代子 大野 夏代 貝谷 敏子 菊地 ひろみ 菅原 美樹 古都 昌子 村松 真澄 守村 洋 神島 滋子 田中 広美 原井 美佳 藤井 瑞恵 三上 智子 坂東 奈穂美
卒業研究	演習・120時間	4年次全期	◎菊地 ひろみ 猪股 千代子 小田 和美 河原田 まり子 川村 三希子 坂倉 恵美子 定廣 和香子 スーディ <small>イ</small> 神崎 和代 松浦 和代 宮崎 みち子 山本 勝則 大野 夏代 貝谷 敏子 清水 光子 菅原 美樹 古都 昌子 村松 真澄 守村 洋 山田 典子 太田 晴美 神島 滋子 櫻井 繭子 田中 広美 原井 美佳 藤井 瑞恵 三上 智子 工藤 京子 多賀 昌江 田仲 里江 坂東 奈穂美 檜山 明子

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



4) 実習概要

※機関種別

科目名	実習期間	実習機関	延べ人数
看護初期実習	平成26年6月2日～6日	医療機関	84名
		障がい児通園施設	34名
		老人福祉センター	84名
		地域包括支援センター・居宅介護支援事業所	12名
		保健所・保健センター	25名
		その他	13名
基礎看護学臨地実習Ⅰ	平成26年10月20日～24日	医療機関	336名
基礎看護学臨地実習Ⅱ	平成26年5月19日～30日	医療機関	810名
成人看護学臨地実習Ⅰ	平成26年10月27日～11月14日	医療機関	1,079名
老年看護学臨地実習Ⅰ	平成26年5月12日～16日	老人福祉センター	252名
成人看護学臨地実習Ⅱ	平成26年6月16日～7月25日	医療機関	813名
精神看護学臨地実習	平成26年6月16日～7月25日	医療機関	728名
在宅看護学臨地実習	平成26年6月16日～7月25日	医療機関	30名
		訪問看護ステーション	308名
		地域包括支援センター・居宅介護支援事業所	305名
母性看護学臨地実習	平成26年11月17日～12月12日 平成27年1月19日～30日	医療機関	729名
小児看護学臨地実習	平成26年11月17日～12月12日 平成27年1月19日～30日	医療機関	494名
		保育所	240名
老年看護学臨地実習Ⅱ	平成26年11月17日～12月12日 平成27年1月19日～30日	医療機関	380名
		介護老人保健施設	180名
地域看護学臨地実習Ⅰ	平成26年6月9日～7月4日	保健所・保健センター	880名
地域看護学臨地実習Ⅱ	平成26年7月7日～18日	事業所	88名
		教育機関	176名
ヘルスケアマネジメント実習	平成26年9月29日～10月17日	医療機関	1,066名
		介護老人保健施設	78名



5 デザイン研究科

1) 平成26年度時間割

① 前期

		月		火	水	木		金	土
		芸森キャンパス		芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス		芸森キャンパス	桑園キャンパス
		博士前期1年生	博士後期課程	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期2年生	博士前期1年生	博士前期1年生
1	9:00 ～ 10:30								国際関係特論
2	10:40 ～ 12:10	環境マネジメント特論				製品造形特論			コミュニケーション特論
3	13:10 ～ 14:40			構法デザイン特論		形状情報処理特論		景観デザイン特論	少子高齢社会特論
4	14:50 ～ 16:20	環境共生デザイン特論		インターシッピ I (事前講義)		インタラクティブデザイン特論			連携プロジェクト演習
				インターシッピ II (事前講義)					
5	16:30 ～ 18:00		人間空間デザイン研究法	ビジュアルデザイン特論	建築構造デザイン特論	地域創成デザイン特別セミナーA			
6	18:10 ～ 19:40	ソシオデザイン特論	人間情報デザイン研究法	デザイン特論	メディアプロデュース特論		地域プロジェクト演習	デザイン研究法	
7	19:50 ～ 21:20								

※建築計画特論は集中開講。

※デザイン特別演習、特別研究および横断型連携特別演習の開講時期は担当教員により異なる。

② 後期

		月		火	水	木		金	土
		芸森キャンパス		芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス		芸森キャンパス	桑園キャンパス
		博士前期1年生	博士後期課程	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期1年生		博士前期1年生	博士前期1年生
1	9:00 ～ 10:30			建築環境学特論					健康福祉政策特論
2	10:40 ～ 12:10			製品評価特論		造形表現特論		デザインマネジメント特論	地域経済政策特論
3	13:10 ～ 14:40			認知・感性科学特論		インタフェースデザイン特論	映像デザイン特論		ヒューマニティ特論
4	14:50 ～ 16:20	日本建築史特論			地域ブランド構築特論			地域創成デザイン特別セミナーB	
5	16:30 ～ 18:00	地域環境評価特論				メカトロニクス特論			
6	18:10 ～ 19:40	現代芸術特論	人間空間デザイン特講						
			人間情報デザイン特講						
7	19:50 ～ 21:20								



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

< 博士前期課程 >

科目区分	授業科目の名称	配当年次 (時期)	単位数			空間デザイン分野		製品デザイン分野		コンテンツ・メディア デザイン分野	
			必修	選択	自由	建築デザイン	環境デザイン	プロダクト デザイン	インタフェース デザイン	コンテンツ 制作	メディア展開
研究科 連携科目	国際関係特論	1・2 前期		2					△		△
	少子高齢社会特論	1・2 前期		2							
	健康福祉政策特論	1・2 後期		2		△	△				
	地域経済政策特論	1・2 後期		2			△	△			△
	コミュニケーション特論	1・2 後期		2						△	
	コミュニケーション特論	1・2 前期		2					△	△	
	連携プロジェクト演習	1 通年		2		△		△			
小計 (7科目)	—	—	14	—	4	4	4	4	4	4	
基本 科目	デザイン特論	1 前期	2			◎	◎	◎	◎	◎	◎
	デザイン研究法	1 前期		2			△		△	△	
	デザインマネジメント特論	1 後期		2		△		△		△	
小計 (3科目)	—	2	4	—	4	4	4	4	4	4	
専門 教育 科目	建築計画特論	1・2 前期		2		△■					
	建築環境学特論	1・2 後期		2		△■					
	建築構造デザイン特論	1・2 前期		2		△■					
	構法デザイン特論	1・2 前期		2		△■					
	日本建築史特論	1・2 後期		2		△					
	景観デザイン特論	1・2 前期		2			△				
	地域環境評価特論	1・2 後期		2			△				
	環境共生デザイン特論	1・2 前期		2			△				
	環境マネジメント特論	1・2 前期		2			△	△			
	製品造形特論	1・2 前期		2				△			
	ソシオデザイン特論	1・2 前期		2				△	△		
	製品評価特論	1・2 後期		2				△	△		
	メカトロニクス特論	1・2 後期		2				△	△		
	インタフェースデザイン特論	1・2 後期		2					△		
	認知・感性科学特論	1・2 後期		2					△	△	
	インタラクションデザイン特論	1・2 前期		2						△	
	形状情報処理特論	1・2 前期		2						△	
	造形表現特論	1・2 後期		2						△	
	映像デザイン特論	1・2 後期		2						△	△
	ビジュアルデザイン特論	1・2 前期		2							△
	現代芸術特論	1・2 後期		2							△
	メディアプロデュース特論	1・2 前期		2							△
	地域ブランド構築特論	1・2 後期		2							△
	デザイン特別演習	1 前・後	2			◎■	◎	◎	◎	◎	◎
小計 (24科目)	—	2	46	—	12	12	12	12	12	12	
実践 科目	地域プロジェクト演習	2 前期	2			◎■	◎	◎	◎	◎	◎
	地域創成デザイン特別セミナーA	1・2 前期		2							△
	地域創成デザイン特別セミナーB	1・2 後期		2					△	△	
	インターンシップ I	1・2 集中		2		△■	△	△			
	インターンシップ II	1・2 集中			4	△■					
小計 (5科目)	—	2	6	4	8	4	4	4	4	4	
研究 了	特別研究	1・2 通年	6	—	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	小計 (1科目)	—	6	—	—	6	6	6	6	6	6
合計 (40科目)			12	70	4	34	30	30	30	30	30

※自由科目は卒業要件単位に含まれません。

< 博士後期課程 >

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
基本 科目	横断型連携特別演習	1 通	2				○	
	人間空間デザイン研究法	1 前		2		○		
	人間情報デザイン研究法	1 前		2		○		
小計 (3科目)	—	2	4	0		—		
展開 科目	人間空間デザイン特講	1 後		2		○		
	人間情報デザイン特講	1 後		2		○		
	博士デザイン特別演習	2 前	2				○	
小計 (3科目)	—	2	4	0		—		
研究 指導 科目	博士特別研究 I	1 通	2				○	
	博士特別研究 II	2 通	2				○	
	博士特別研究 III	3 通	4				○	
	小計 (3科目)	—	8	0	0		—	
合計 (9科目)			12	8	0			



② 修了要件

<博士前期課程>

科目区分		修了要件	
研究科連携科目		4単位以上	
専門教育科目	基本科目	4単位以上	
	展開科目	空間デザイン分野	12単位以上
		製品デザイン分野	
		コンテンツ・メディアデザイン分野	
実践科目	4単位以上		
修了研究		6単位	
合計		30単位以上	

<博士後期課程>

科目区分	修了要件
基本科目	4単位以上
展開科目	4単位以上
研究指導科目	8単位以上
合計科目	16単位以上

3) 教育活動

<博士前期課程>

研究科連携科目

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
国際関係特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎スーディ神崎 和代 大野 夏代 城間 祥之 石井 雅博 ★玉城 英彦
少子高齢社会特論	講義・30時間	1・2年次前期	原 俊彦
コミュニケーション特論	講義・30時間	1・2年次前期	町田 佳世子
健康福祉政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎山本 勝則 ★大久保 一郎
地域経済政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	★佐藤 孝一
ヒューマニティ特論	講義・30時間	1・2年次後期	★藤尾 均
連携プロジェクト演習	演習・30時間	1年次通年	◎城間 祥之 石井 雅博 上田 裕文 三谷 篤史 ◎定廣 和香子 貝谷 敏子 菊地 ひろみ

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



専門教育科目

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
デザイン特論	講義・30時間	1年次前期	原田 昭
デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎中原 宏 矢部 和夫 柿山 浩一郎
デザインマネジメント特論	講義・30時間	1・2年次後期	★近藤 公彦
建築計画特論	講義・30時間	1・2年次前期	★那須 聖
建築環境学特論	講義・30時間	1・2年次後期	斉藤 雅也
建築構造デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	★渡邊 和之
構法デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	小西 敏正
日本建築史特論	講義・30時間	1・2年次後期	羽深 久夫
景観デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	吉田 恵介
地域環境評価特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎中原 宏 矢部 和夫
環境共生デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎上田 裕文 山田 良
環境マネジメント特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎上田 裕文 片山 めぐみ
製品造形特論	講義・30時間	1・2年次前期	石崎 友紀
ソシオデザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	蓮見 孝
製品評価特論	講義・30時間	1・2年次後期	柿山 浩一郎
メカトロニクス特論	講義・30時間	1・2年次後期	三谷 篤史
インタフェースデザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	酒井 正幸
認知・感性科学特論	講義・30時間	1・2年次後期	石井 雅博
インタラクションデザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	細谷 多聞
形状情報処理特論	講義・30時間	1・2年次前期	城間 祥之
造形表現特論	講義・30時間	1・2年次後期	齋藤 利明
映像デザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	松永 康佑
ビジュアルデザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	吉田 和夫
現代芸術特論	講義・30時間	1・2年次後期	上遠野 敏
メディアプロデュース特論	講義・30時間	1・2年次前期	★久保 俊哉
地域ブランド構築特論	講義・30時間	1・2年次後期	★内田 純一
デザイン特別演習	演習・30時間	1年次 前期・後期	◎城間 祥之 蓮見 孝 酒井 正幸 上遠野 敏 原田 昭 石井 雅博 石崎 友紀 齋藤 利明 中原 宏 羽深 久夫 細谷 多聞 矢部 和夫 吉田 和夫 吉田 恵介 柿山 浩一郎 斉藤 雅也 山田 良 三谷 篤史 小西 敏正
地域プロジェクト演習	演習・30時間	2年次前期	◎城間 祥之 羽深 久夫 斉藤 雅也 山田 良
地域創成デザイン特別セミナーA	演習・30時間	1・2年次前期	羽深 久夫
地域創成デザイン特別セミナーB	演習・30時間	1・2年次後期	酒井 正幸
インターンシップ I	実習・60時間	1・2年次集中	◎中原 宏 羽深 久夫 斉藤 雅也 山田 良



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
インターンシップⅡ	実習・120時間	1・2年次集中	◎羽深 久夫 中原 宏 斉藤 雅也 山田 良
特別研究	演習・90時間	1～2年次全期	◎城間 祥之 蓮見 孝 酒井 正幸 上遠野 敏 原田 昭 石井 雅博 石崎 友紀 齋藤 利明 中原 宏 羽深 久夫 細谷 多聞 矢部 和夫 吉田 恵介 柿山 浩一郎 斉藤 雅也 山田 良 三谷 篤史 小西 敏正

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

< 博士後期課程 >

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
人間空間デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎中原 宏 羽深 久夫 矢部 和夫
人間情報デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎城間 祥之 原田 昭 石井 雅博
横断型連携特別演習	演習・30時間	1年次全期	◎斉藤 雅也 石崎 友紀 町田 佳世子 柿山 浩一郎 山田 良 坂倉 恵美子 スーディ神崎 和代 ★佐藤 孝一
人間空間デザイン特講	講義・30時間	1年次後期	◎羽深 久夫 中原 宏 矢部 和夫 斉藤 雅也 小西 敏正
人間情報デザイン特講	講義・30時間	1年次後期	◎酒井 正幸 城間 祥之 原田 昭 石井 雅博 細谷 多聞
博士特別研究Ⅰ	演習・30時間	1年次全期	酒井 正幸 城間 祥之 原田 昭 石井 雅博 石崎 友紀 中原 宏 羽深 久夫 細谷 多聞 矢部 和夫 柿山 浩一郎 斉藤 雅也 山田 良 小西 敏正
博士デザイン特別演習	演習・30時間	2年次前期	酒井 正幸 城間 祥之 原田 昭 石井 雅博 石崎 友紀 中原 宏 羽深 久夫 細谷 多聞 矢部 和夫 柿山 浩一郎 斉藤 雅也 山田 良 小西 敏正
博士特別研究Ⅱ	演習・30時間	2年次全期	酒井 正幸 城間 祥之 原田 昭 石井 雅博 石崎 友紀 中原 宏 羽深 久夫 細谷 多聞 矢部 和夫 柿山 浩一郎 斉藤 雅也 山田 良 小西 敏正
博士特別研究Ⅲ	演習・30時間	3年次全期	酒井 正幸 城間 祥之 原田 昭 石井 雅博 石崎 友紀 中原 宏 羽深 久夫 細谷 多聞 矢部 和夫 柿山 浩一郎 斉藤 雅也 山田 良 小西 敏正

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



6 看護学研究科

1) 平成26年度時間割

<博士前期課程>

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ～ 10:30						
2	10:40 ～ 12:10						
3	13:10 ～ 14:40						
4	14:50 ～ 16:20	看護理論特論	看護コンサルテーション特論	看護研究法特論	寒冷地生活支援看護学特論	看護専門職教育特論 小児看護学特論D クリティカルケア看護学特論 がん看護学・緩和ケア特論 精神看護学特論IV	臨床哲学特論 がん看護学・緩和ケア援助特論 クリティカル精神看護学演習
5	16:30 ～ 18:00	地域生活看護学特論 母子看護学特論 成人看護学特論 精神看護学特論I 看護技術学特論I 看護教育・看護マネジメント学特論	老年看護学特論 在宅看護学特論 地域看護学特論 母性看護学特論 小児看護学特論B 急性期看護学特論 慢性期看護学特論 がん看護学特論 精神看護学特論II 看護技術学特論II 看護教育学特論 看護マネジメント学特論	看護管理学特論	家族看護学特論	看護倫理学特論	継続教育特論
6	18:10 ～ 19:40	地域生活看護学特論 母子看護学特論 成人看護学特論 精神看護学特論I 看護技術学特論I 看護教育・看護マネジメント学特論	老年看護学特論 在宅看護学特論 地域看護学特論 母性看護学特論 小児看護学特論B 急性期看護学特論 慢性期看護学特論 がん看護学特論 精神看護学特論II 看護技術学特論II 看護教育学特論 看護マネジメント学特論	看護研究法特論	寒冷地生活支援看護学特論	看護専門職教育特論 小児看護学特論D クリティカルケア看護学特論 がん看護学・緩和ケア特論 精神看護学特論IV	臨床哲学特論 がん看護学・緩和ケア援助特論 クリティカル精神看護学演習
7	19:50 ～ 21:20	看護理論特論	看護コンサルテーション特論	看護管理学特論	家族看護学特論	看護倫理学特論	継続教育特論

※ 開講曜日・時間は週によって変更する場合があります。

※ 集中講義の日程は別途、掲示する。



木		金		土	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
				国際関係特論	健康福祉政策特論
				コミュニケーション特論	地域経済政策特論
				少子高齢社会特論	ヒューマニティ特論
地域生活看護学演習 母子看護学演習 成人看護学演習 精神看護学演習Ⅰ 看護技術学演習Ⅰ 看護教育・看護マネジメント学演習		特別研究 課題研究		連携プロジェクト演習	
		小児看護学特論A アドバンスト・フィジカルアセスメント 看護学演習 腫瘍学特論 精神看護学特論Ⅵ	小児看護学特論C 急性期病態管理学特論 病態治療特論 精神看護学特論Ⅴ	リハビリテーション 精神看護学演習	小児看護学演習B クリティカルケア看護学演習 がん看護学演習Ⅱ
地域生活看護学演習 母子看護学演習 成人看護学演習 精神看護学演習Ⅰ 看護技術学演習Ⅰ 看護教育・看護マネジメント学演習		小児看護学特論A アドバンスト・フィジカルアセスメント 看護学演習 腫瘍学特論 精神看護学特論Ⅵ		小児看護学特論C 急性期病態管理学特論 病態治療特論 精神看護学特論Ⅴ	
		特別研究 課題研究			



<博士後期課程>

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ∟ 10:30						
2	10:40 ∟ 12:10						
3	13:10 ∟ 14:40						
4	14:50 ∟ 16:20			後期特別研究 I II			
5	16:30 ∟ 18:00			(横断型連携特別演習)			
6	18:10 ∟ 19:40			後期特別研究 I II			
7	19:50 ∟ 21:20			(横断型連携特別演習)			

- ※ 開講曜日・時間は週によって変更する場合がある。
- ※ 「後期特別研究 I II」は、教員と学生が協議の上で授業時間帯を確定する。
- ※ 集中講義の日程は別途、掲示する

木		金		土	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
看護学特講				横断型連携特別演習	
看護技術学特別演習 実践看護学特別演習 機能看護学特別演習					
看護学特講					
看護技術学特別演習 実践看護学特別演習 機能看護学特別演習					



2) カリキュラム

① 授業科目一覧
 <博士前期課程>

科目区分	授業科目の名称	掲載頁	配当年次	単位数			授業形態			修了要件
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
研究科連携科目	国際関係特論	36	1・2 前		2			○		4単位以上
	少子高齢社会特論	37	1・2 前		2			○		
	健康福祉政策特論	38	1・2 後		2			○		
	地域経済政策特論	39	1・2 後		2			○		
	コミュニティ特論	40	1・2 後		2			○		
	コミュニケーション特論	41	1・2 前		2			○		
	連携プロジェクト演習	42	1 通		2			○		
専 門 基 礎 科 目	看護理論特論	44	1 前		2			○		8単位以上
	看護研究法特論	45	1 前	2				○		
	看護倫理学特論	46	1 前		2			○		
	看護管理学特論	47	1 前		2			○		
	臨床哲学特論	48	1 後		2			○		
	看護コンサルテーション特論	49	1 後		2			○		
	看護専門職教育特論	50	1 前		2			○		
	継続教育特論	51	1 後		2			○		
	寒冷地生活支援看護学特論	52	1 後		2			○		
	家族看護学特論	53	1 後		2			○		
	地域生活看護学特論	56	1 前		2			○		
	老年看護学特論	57	1・2 後		2			○		
	在宅看護学特論	58	1・2 後		2			○		
	地域看護学特論	59	1・2 後		2			○		
専 門 実 践 科 目	地域生活看護学演習	60	1 通		2			○		1つの領域から8単位以上(専門看護師認定希望者16単位以上)
	老年看護学演習	61	1・2 通		2			○		
	在宅看護学演習	62	1・2 通		2			○		
	地域看護学演習	63	1・2 通		2			○		
	母子看護学特論	64	1 前		2			○		
	母性看護学特論	65	1・2 後		2			○		
	小児看護学特論A	66	1 前		2			○		
	小児看護学特論B	67	1 後		2			○		
	小児看護学特論C	68	1 後		1			○		
	小児看護学特論D	69	2 前		1			○		
	母子看護学演習	70	1 通		2			○		
	母性看護学演習	71	1・2 通		2			○		
	小児看護学演習A	72	1 通		2			○		
	小児看護学演習B	73	1・2 通		2			○		
小児看護学実習 I	74	1・2 通		4			○			
小児看護学実習 II	75	1・2 通		2			○			
専 門 科 学 科 目	成人看護学特論	76	1 前		2			○		1つの領域から8単位以上(専門看護師認定希望者16単位以上)
	急性期看護学特論	77	1・2 後		2			○		
	慢性期看護学特論	78	1・2 後		2			○		
	がん看護学特論	79	1・2 後		2			○		
	急性期病態管理学特論	80	1・2 後		2			○		
	クリティカルケア看護学特論	81	1 前		1			○		
	がん看護学・緩和ケア特論	82	1 前		1			○		
	がん看護学・緩和ケア援助特論	83	1 後		1			○		
	腫瘍学特論	84	1 前		2			○		
	病態治療特論	85	1 後		2			○		
	成人看護学演習	86	1 通		2			○		
	急性期看護学演習	87	1・2 通		2			○		
	アドバンスト・フィジカルアセスメント演習	88	1 前		1			○		
	クリティカルケア看護学演習	89	1 通		2			○		
慢性期看護学演習	90	1・2 通		2			○			
がん看護学演習 I	91	1・2 通		2			○			
がん看護学演習 II	92	2 通		2			○			
急性期看護学実習	93	1・2 通		6			○			
がん看護学実習 I	94	1 後		2			○			
がん看護学実習 II	95	2 通		4			○			
専 門 目 野	精神看護学特論 I	96	1 前		2			○		1つの領域から8単位以上(専門看護師認定希望者16単位以上)
	精神看護学特論 II	97	1・2 後		2			○		
	精神看護学特論 III	-	1・2 前		2			○		
	精神看護学特論 IV	98	1・2 前		1			○		
	精神看護学特論 V	99	1 後		2			○		
	精神看護学特論 VI	100	2 前		2			○		
	精神看護学演習 I	101	1 通		2			○		
	精神看護学演習 II	-	1・2 通		2			○		
	精神看護学演習 III	102	1・2 通		2			○		
	クリティカル精神看護学演習	103	1 後		1			○		
	リハビリテーション精神看護学演習	104	2 前		1			○		
	精神看護学実習 I	105	1 後		2			○		
	精神看護学実習 II	106	2 通		4			○		
	看護技術学特論 I	107	1 前		2			○		
看護技術学特論 II	108	1・2 後		2			○			
看護技術学演習 I	109	1 通		2			○			
看護技術学演習 II	110	1・2 通		2			○			
専 門 教 育 科 目	看護教育・看護マネジメント学特論	111	1 前		2			○		8単位(専門看護師認定希望者4単位)
	看護教育学特論	112	1・2 後		2			○		
	看護マネジメント学特論	113	1・2 後		2			○		
	看護教育・看護マネジメント学演習	114	1 通		2			○		
	看護教育学演習	115	1・2 通		2			○		
	看護マネジメント学演習	116	1・2 通		2			○		
研究	特別研究	117	1~2 通		8			○		
	課題研究	118	1~2 通		4			○		



< 博士後期課程 >

科目区分	授業科目の名称	シラバス掲載頁	配当年次	単位数			授業形態			修了要件
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
連携科目 博士後期	横断型連携特別演習	146	1 通	2				○		2 単位
博士後期専門科目	看護学特講	148	1 前	2			○			4 単位以上
	看護技術学特別演習	149	1 通		2			○		
	実践看護学特別演習	150	1 通		2			○		
	機能看護学特別演習	151	1 通		2			○		
博士後期研究指導科目	後期特別研究 I	154	1 通	2				○		8 単位
	後期特別研究 II	158	2 通	2				○		
	後期特別研究 III	162	3 通	4				○		

② 修了要件

< 博士前期課程 >

※修士論文コース

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
研究科連携科目	—	4	—	4
専門教育科目	4	20	—	24
専門基礎科目	4	4	—	8
専門科目	—	16	—	16
選択する領域・分野から	—	8	—	8
研究	—	8	—	8
合計	4	26	—	30

※専門看護師コース

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
研究科連携科目	—	4	—	4
専門教育科目	4	24	—	28
専門基礎科目	4	4	—	8
専門科目	—	20	—	20
選択する領域・分野から	—	16	—	16
研究	—	4	—	8
合計	4	30	—	34



< 博士後期課程 >

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
博士後期連携科目	2	—	—	2
博士後期専門科目	2	2	—	4
博士後期研究指導科目	8	—	—	8
合計	12	2	—	14

3) 教育活動

< 博士前期課程 >

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
国際関係特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎スーディ神崎 和代 城間 祥之 石井 雅博 大野 夏代 ★玉城 英彦
少子高齢社会特論	講義・30時間	1・2年次前期	原 俊彦
健康福祉政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎山本 勝則 ★大久保 一郎
地域経済政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	★佐藤 孝一
ヒューマニティ特論	講義・30時間	1・2年次後期	★藤尾 均
コミュニケーション特論	講義・30時間	1・2年次前期	町田 佳世子
連携プロジェクト演習	演習・30時間	1年次通年	◎定廣 和香子 貝谷 敏子 菊地 ひろみ ◎城間 祥之 石井 雅博 上田 裕文 三谷 篤史
看護理論特論	講義・30時間	1年次前期	◎中村 恵子 ★黒田 裕子 菅原 美樹
看護研究法特論	講義・30時間	1年次前期	◎松浦 和代 貝谷 敏子 菊地 ひろみ
看護倫理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎宮崎 みち子 川村 三希子 古都 昌子 ★今井 道夫
看護管理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎猪股 千代子 中村 恵子
臨床哲学特論	講義・30時間	1年次後期	★尾形 敬次
看護コンサルテーション特論	講義・30時間	1年次後期	◎猪股 千代子 古都 昌子 ★藤野 智子
看護専門職教育特論	講義・30時間	1年次前期	定廣 和香子
継続教育特論	講義・30時間	1年次後期	◎古都 昌子 ★佐藤 紀子 ★舟島 なをみ ★中山 登志子
寒冷地生活支援看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎坂倉 恵美子 ★池田 貴夫 ★前沢 政次
家族看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎山田 典子 ★柳原 清子 ★吉川 由希子
地域生活看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎河原田 まり子 坂倉 恵美子 スーディ神崎 和代 山田 典子
老年看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	坂倉 恵美子
在宅看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	スーディ神崎 和代
地域看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎河原田 まり子 山田 典子
地域生活看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎河原田 まり子 坂倉 恵美子 スーディ神崎 和代 山田 典子 村松 真澄 菊地 ひろみ



授業科目	授業 形態・時数	年次	担当教員
老年看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	坂倉 恵美子
在宅看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	スーディ神崎 和代
地域看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎河原田 まり子 山田 典子
地域生活看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎河原田 まり子 坂倉 恵美子 スーディ神崎 和代 山田 典子 村松 真澄 菊地 ひろみ
老年看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎村松 真澄 坂倉 恵美子
在宅看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎菊地 ひろみ スーディ神崎 和代
地域看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎山田 典子 河原田 まり子
母子看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎宮崎 みち子 松浦 和代
母性看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	宮崎 みち子
小児看護学特論A	講義・30時間	1年次前期	松浦 和代
小児看護学特論B	講義・30時間	1年次後期	松浦 和代
小児看護学特論C	講義・15時間	1年次後期	松浦 和代
小児看護学特論D	講義・15時間	2年次前期	松浦 和代
母子看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎宮崎 みち子 松浦 和代 山内 まゆみ
母性看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎宮崎 みち子 山内 まゆみ
小児看護学演習A	演習・60時間	1年次通年	松浦 和代
小児看護学演習B	演習・60時間	1・2年次通年	松浦 和代
小児看護学実習Ⅰ	実習・180時間	1・2年次通年	松浦 和代
小児看護学実習Ⅱ	実習・90時間	1・2年次通年	松浦 和代
成人看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎中村 恵子 川村 三希子 小田 和美
急性期看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	中村 恵子
慢性期看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	小田 和美
がん看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	川村 三希子
急性期病態管理学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎★田中 秀治 ★浅井 康文 ★山口 芳裕
クリティカルケア看護学特論	講義・15時間	1年次前期	◎中村 恵子 菅原 美樹
がん看護学・緩和ケア特論	講義・15時間	1年次前期	川村 三希子
がん看護学・緩和ケア援助特論	講義・15時間	1年次後期	◎川村 三希子 ★荒尾 晴恵
腫瘍学特論	講義・30時間	1年次前期	★小林 正伸
病態治療特論	講義・30時間	1年次後期	◎★小林 正伸 ★鈴木 恵士郎 ★小池 和彦
成人看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎中村 恵子 小田 和美 川村 三希子 貝谷 敏子 菅原 美樹
急性期看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎中村 恵子 菅原 美樹 ★平尾 明美 ★藤野 智子 ★伊藤 伸子
アドバンスト・フィジカルアセスメント演習	演習・30時間	1年次前期	◎菅原 美樹 中村 恵子
クリティカルケア看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎中村 恵子 菅原 美樹
慢性期看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	小田 和美 貝谷 敏子



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
がん看護学演習Ⅰ	演習・60時間	1・2年次通年	◎川村 三希子 菊地 ひろみ 松永 直子
がん看護学演習Ⅱ	演習・60時間	2年次通年	◎川村 三希子 菊地 ひろみ 松永 直子 ★田村 恵子 ★石岡 明子 ★田中 いずみ
急性期看護学実習	実習・270時間	1・2年次通年	◎菅原 美樹 中村 恵子 ★藤野 智子
がん看護学実習Ⅰ	実習・90時間	1年次後期	◎川村 三希子 松永 直子 ★石岡 明子 ★田中 いずみ
がん看護学実習Ⅱ	実習・180時間	2年次通年	◎川村 三希子 松永 直子 ★石岡 明子 ★田中 いずみ
精神看護学特論Ⅰ	講義・30時間	1年次前期	◎山本 勝則 ★阿保 順子
精神看護学特論Ⅱ	講義・30時間	1・2年次後期	◎山本 勝則 ★藤井 博英
精神看護学特論Ⅳ	講義・15時間	1・2年次前期	◎山本 勝則 守村 洋
精神看護学特論Ⅴ	講義・30時間	1年次後期	◎山本 勝則 ★藤井 博英
精神看護学特論Ⅵ	講義・30時間	2年次前期	◎山本 勝則 守村 洋
精神看護学演習Ⅰ	演習・60時間	1年次通年	◎守村 洋 山本 勝則
精神看護学演習Ⅲ	演習・60時間	1・2年次通年	◎守村 洋 山本 勝則
クリティカル精神看護学演習	演習・30時間	1年次後期	◎山本 勝則 守村 洋
リハビリテーション精神看護学演習	演習・30時間	2年次前期	◎山本 勝則 守村 洋
精神看護学実習Ⅰ	実習・90時間	1年次後期	◎山本 勝則 守村 洋
精神看護学実習Ⅱ	実習・180時間	2年次通年	◎守村 洋 山本 勝則
看護技術学特論Ⅰ	講義・30時間	1年次前期	樋之津 淳子
看護技術学特論Ⅱ	講義・30時間	1・2年次後期	樋之津 淳子
看護技術学演習Ⅰ	演習・60時間	1年次通年	◎樋之津 淳子 大野 夏代 ★山内 豊明
看護技術学演習Ⅱ	演習・60時間	1・2年次通年	◎大野 夏代 樋之津 淳子
看護教育・看護マネジメント学特論	講義・30時間	1年次前期	◎定廣 和香子 猪股 千代子
看護教育学特論	講義・30時間	1・2年次後期	定廣 和香子
看護マネジメント学特論	講義・30時間	1・2年次後期	猪股 千代子
看護教育・看護マネジメント学演習	演習・60時間	1年次後期	◎定廣 和香子 猪股 千代子 古都 昌子
看護教育学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎定廣 和香子 古都 昌子
看護マネジメント学演習	演習・60時間	1・2年次通年	猪股 千代子
特別研究	演習・240時間	1～2年次通年	◎中村 恵子 猪股 千代子 小田 和美 河原田 まり子 川村 三希子 坂倉 恵美子 定廣 和香子 スーディ神崎和代 樋之津 淳子 松浦 和代 宮崎 みち子 山本 勝則 大野 夏代 貝谷 敏子 菊地 ひろみ 菅原 美樹 古都 昌子 村松 真澄 守村 洋 山田 典子 山内 まゆみ
課題研究	演習・120時間	1～2年次通年	◎中村 恵子 川村 三希子 松浦 和代 山本 勝則 菅原 美樹 守村 洋

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



< 博士後期課程 >

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
横断型連携特別演習	演習・30時間	1年次通年	◎松浦 和代 中村 恵子 河原田 まり子 坂倉 恵美子 定廣 和香子 スーディ神崎和代 樋之津 淳子 宮崎 みち子 山本 勝則
看護学特講	講義・30時間	1年次前期	◎中村 恵子 スーディ神崎和代 松浦 和代 河原田 まり子 ★木村 純 ★真田 弘美 ★松下 博宣
看護技術学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎樋之津 淳子 村松 真澄
実践看護学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎山本 勝則 中村 恵子 坂倉 恵美子 スーディ神崎和代 松浦 和代 宮崎 みち子 菊地 ひろみ 守村 洋
機能看護学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎定廣 和香子 河原田 まり子
後期特別研究Ⅰ	演習・60時間	1年次通年	◎中村 恵子 樋之津 淳子 村松 真澄 坂倉 恵美子 スーディ神崎和代 山本 勝則 菊地 ひろみ 守村 洋 ◎松浦 和代 宮崎 みち子 ◎定廣 和香子 河原田 まり子
後期特別研究Ⅱ	演習・60時間	2年次通年	◎中村 恵子 樋之津 淳子 村松 真澄 坂倉 恵美子 スーディ神崎和代 山本 勝則 菊地 ひろみ 守村 洋 ◎松浦 和代 宮崎 みち子 ◎定廣 和香子 河原田 まり子
後期特別研究Ⅲ	演習・120時間	3年次通年	◎中村 恵子 樋之津 淳子 村松 真澄 坂倉 恵美子 スーディ神崎和代 山本 勝則 菊地 ひろみ 守村 洋 ◎松浦 和代 宮崎 みち子 ◎定廣 和香子 河原田 まり子



7 助産学専攻科

1) 平成26年度時間割

① 前期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ～ 10:30	妊娠期助産診断・技術学		分娩期助産診断・技術学		周産期ハイリスク援助論		分娩期助産診断・技術学		産褥期助産診断・技術学	
2	10:40 ～ 12:10	妊娠期助産診断・技術学		分娩期助産診断・技術		周産期ハイリスク援助論		分娩期助産診断・技術学		産褥期助産診断・技術学	
3	13:10 ～ 14:40	助産学総論		助産学フィールド演習		周産期医学論		乳幼児支援論		助産管理論	
4	14:50 ～ 16:20	助産学総論		助産学フィールド演習		周産期医学論		乳幼児支援論			
5	16:30 ～ 18:00			地域母子保健論							

※開講曜日時間は週によって変更する場合がある。

② 後期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ～ 10:30	助産学演習									
2	10:40 ～ 12:10	助産学演習									
3	13:10 ～ 14:40	助産学課題研究									
4	14:50 ～ 16:20	助産学課題研究									
5	16:30 ～ 18:00										

※開講曜日時間は週によって変更する場合がある。



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

区分	授業科目の名称	授業形態	単位数 (全科目：必修)
基礎助産学	助産学総論	講義	2
	周産期医学論	講義	2
	乳幼児支援論	講義	2
	妊娠期助産診断・技術学	演習	1
	分娩期助産診断・技術学	演習	2
	産褥期助産診断・技術学	演習	1
実践助産学	助産学フィールド演習	演習	1
	周産期ハイリスク援助論	演習	1
	地域母子保健論	講義	1
	助産管理論	講義	1
	助産学実習Ⅰ	実習	3
	助産学実習Ⅱ	実習	3
	助産学実習Ⅲ	実習	3
	助産学実習Ⅳ	実習	2
	助産学実習Ⅴ	実習	1
統合助産学	助産学演習	演習	2
	助産学課題研究	演習	2
合計			30

② 修了要件

30単位（全科目必修）

3) 教育活動

授業科目	授業 形態・時数	年次	担当教員
助産学総論	講義・30時間	前期	宮崎 みち子
周産期医学論	講義・30時間	前期	◎渡邊 由加利 ★堀本 江美 ★小泉 基生 ★高野 良子 ★唯野 貢司 ★西 基 山内 まゆみ 山本 真由美
乳幼児支援論	講義・30時間	前期	◎渡邊 由加利 ★小林 正樹 ★丸山 知子 多賀 昌江
妊娠期助産診断・技術学	演習・30時間	前期	◎山内 まゆみ 多賀 昌江 石引 かずみ
分娩期助産診断・技術学	演習・60時間	前期	◎渡邊 由加利 ★堀本 江美 山内 まゆみ 山本 真由美 多賀 昌江 石引 かずみ
産褥期助産診断・技術学	演習・30時間	前期	◎山本 真由美 渡邊 由加利 石引 かずみ
助産学フィールド演習	演習・30時間	前期	◎山内 まゆみ 山本 真由美



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
周産期ハイリスク援助論	演習・30時間	前期	◎★平山 恵美 ★川原田 修義 ★鈴木 伸和 ★紅粉 睦男 ★佐野 敬夫 ★中島 健夫 ★水島 正人 ★山田 俊 ★林 桐代 ★城戸 真紗美
地域母子保健論	講義・15時間	前期	◎宮崎 みち子 ★山中 洋子 大野 夏代
助産管理論	講義・15時間	前期	◎宮崎 みち子 ★荻田 ヒロミ ★浪花 弘美 ★成瀬 恵 ★水野 栄子 中村 恵子
助産学実習Ⅰ	実習・135時間	通年	◎渡邊 由加利 山内 まゆみ 山本 真由美 多賀 昌江 石引 かずみ
助産学実習Ⅱ	実習・135時間	通年	◎渡邊 由加利 山内 まゆみ 山本 真由美 多賀 昌江 石引 かずみ
助産学実習Ⅲ	実習・135時間	通年	◎山内 まゆみ 渡邊 由加利 山本 真由美 多賀 昌江 石引 かずみ
助産学実習Ⅳ	実習・90時間	後期	◎渡邊 由加利 ★成瀬 恵 山内 まゆみ 山本 真由美 多賀 昌江 宮崎 みち子 石引 かずみ
助産学実習Ⅴ	実習・45時間	後期	◎山本 真由美 山内 まゆみ 渡邊 由加利 多賀 昌江 宮崎 みち子 石引 かずみ
助産学演習	演習・60時間	通年	◎宮崎 みち子 羽深 久夫 渡邊 由加利 山内 まゆみ 山本 真由美 多賀 昌江 石引 かずみ
助産学課題研究	演習・60時間	通年	◎宮崎 みち子 渡邊 由加利 山内 まゆみ 山本 真由美

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

4) 実習概要

(単位：名)

科目名	実習期間	実習機関	延べ人数
助産学実習	平成26年7月1日～平成27年2月28日	医療機関	775
	平成26年7月1日～12月27日	母子健康センター	10



8 デザインと看護の連携教育

「デザイン」・「看護」という、異なる学部の学生たちが、共に学ぶことが札幌市立大学の特色である。常識にとらわれない多彩なカリキュラムと自由な雰囲気での授業で、地域社会に根ざした豊かな人間性と柔軟な感性を育む。

1年次前期「スタートアップ演習」（共通教育科目）では、「デザインと看護の連携」をテーマに、大講義室での合同講義や少人数編成によるグループ活動、地域調査を通じ、主体的に勉学・研究を進めるための基礎的な学習方法や課題解決の手法などを学ぶ。また、調査・分析プロジェクトを通じ、地域社会に対する関心や貢献の姿勢を育てる。

平成26年度（2014年度）「スタートアップ演習」

テーマ	チーム名
藤野フラワージャム&健康 フルーツアイスの提供大作戦	wisteriaだドン！
定山溪をより活発な地域にするために ～かっぱん幸せ家族弁当～	19人の河童
もい輪 ～マップで藻岩下を一つに～	まこもいわ
人がつながる盆踊り	インターホン
おいでよ芸術の森 ～森を元気モリモりにしよう～	メメント森
食の地産地消による地域の活性化	グルメ開発室おいしやま
澄川改革	仏の土曜日。
health & community	おはぎすっごいエドウィン団
TAC・藻岩地区三配推進計画・	くぱり隊
簾舞新発見 ～いますみたい、ついた！みすまい～	Ms.My南菌Joy

3年次後期「学部連携演習」（専門教育科目）では、スタートアップ演習から2年を経て、基本的な専門教育の上に、相互の専門性を尊重し合い、それぞれがデザイン・看護の専門家として積極的に取り組む姿勢を身につける。両学部生を少人数グループに編成し、デザイン・看護相互に関わりのあるテーマや課題を、札幌市南区の地域に見出し、相互の学生が共同・協力しながら、課題発見・解決に取り組む。

平成26年度（2014年度）「学部連携演習」

地区	テーマ	チーム名
定山溪	定山溪 都市計画プロジェクト	じょごまる（仮）都市計画班
	定山溪 観光推進プロジェクト	じょごまる（仮）観光班
藻岩下	藻岩山写景録 写真を媒介とした地域内交流の提案	上藻岩下チーム
	住民間交流を生む多目的スペース”moimoi”およびそのスペースを利用した企画の提案	下藻岩下チーム
芸術の森	峠 芸術の森地区の魅力をつなぐ新たな観光資源の提案 ～RE START GEIMORI～	峠上 Team
		峠下 Team



地区	テーマ	チーム名
簾舞	「ルート簾舞」簾舞のブランド化を目的とした歩道橋の考案	みすまひ 歩道橋チーム
	「み住まい」子育てのための移住を目的とした広報の提案	みすまひ 広報チーム
藻岩	藻岩地区伝統のアイスクャンドルを核とした地域住民のためのイベント提案	妖怪こけもんのまごころ こけもんイベントチーム
	こけもん商店街～まごころを込めた移動販売でつながろう～	妖怪こけもんのまごころ こけもんキッチンチーム
澄川	おすそわ家	I・KA・SU・miチーム
	澄川守くん 自然災害時用スマホアプリ	安心安全チーム
石山	軟石クエスト	岩-KIZUKU-軟石チーム
	いしやまなぶカルタ ーカルタを通じた地域活動の担い手の育成ー	岩-KIZUKU-かるたチーム
真駒内	人と人をつなぐ真駒内駅の提案「健康カフェ」	真駒内.comチーム
	人と人をつなぐ真駒内駅の提案「ほっとstation」	真駒内.jpチーム
藤野	親子で楽しむ、ワクワク！アート体験～むくどりホームを参考にした藤野地区における子育てイベントの提案～	しふおんけーき 企画運営チーム 制作チーム
南沢	南沢をもっと好きになるカレンダー	南沢地域みなみちゃん カレンダーチーム
	南沢をもっと元気になる運動会の提案	南沢地域みなみちゃん 運動会チーム



9 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業（産業界ニーズG P）

1) 概要

文部科学省補助事業「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」について、本学を含む北海道・東北ブロックの17校が平成24年度から平成26年度までの3ヵ年事業として採択された。当ブロック協同テーマ「産官学連携による地域・社会の未来を拓く人材の育成」を基に、3つの取組テーマ、①『企業構造・地域課題を踏まえた教育内容の評価と改善』②『産業界と大学のニーズを踏まえたインターンシップの実施』③『早い段階から「将来目標」「社会・企業」を意識させる正課外取組』に基づき、本学では下記の実施体制の下実施した。

2) 実施体制

【全体会議】

①G P推進会議、②広報部門、③評価部門、④FD部門

【学部内会議】

デザイン学部

①早期キャリア教育班、②ワークショップ型インターンシップ班、
③ポートフォリオ班、④キャリアデータベース班、⑤地域キャリア連携班

看護学部

①実務家教員導入班、②往還型（シャトル）研修班、
③ポートフォリオ班、④キャリアデータベース班、⑤地域キャリア連携班

3) 「産官学連携による地域・社会の未来を拓く人材の育成」平成26年度の主な事業実績

年月日	事業実績	部門・班	
平成26年4月1日	SCU看護キャリアデータベースマニュアル第4版発行（学生用・教員用）	看護学部	キャリアデータベース班
平成26年4月4日	ポートフォリオ作成率アンケート調査①	デザイン学部	ポートフォリオ班
平成26年5月16日	「大学と病院連携協力意見交換会」開催（参加者40名）	看護学部	地域キャリア連携班
平成26年5月16日・27日	新入生対象キャリアデータベース講習会（参加者102名）	看護学部	キャリアデータベース班
平成26年5月27日	ポートフォリオ作成指導講習会「人に伝わるポートフォリオ」（講師：STUDIO VERNO 山中みどり氏、参加者63名）	デザイン学部	ポートフォリオ班
平成26年6月5日	1年次生対象キャリアガイダンス「Who am I?自分の未来を考えるためのトーク&レクチャー」（講師：札幌オオドオリ大学学長 猪熊梨恵氏、参加者50名）	デザイン学部	早期キャリア教育班
平成26年6月6日	「卒業生の経験を活かしたワークショップ」開催（講師：卒業生4名、参加者47名）	デザイン学部	ワークショップ型インターンシップ班・ポートフォリオ班・キャリアデータベース班
平成26年6月18日	キャリアデータベースFD研修会「SCUデータベースの活用の促進」開催（参加者36名）	看護学部	キャリアデータベース班
平成26年6月18日	卒業前・卒業後動向調査結果パンフレット作成・配布	看護学部	キャリアデータベース班
平成26年7月5日	第1回往還型（シャトル）研修（札幌会場） 「お元気ですか？へこんでませんか？」（参加者20名）	看護学部	往還型研修班
平成26年7月11日	第1回往還型（シャトル）研修（東京会場） 「お元気ですか？へこんでませんか？」（参加者30名）	看護学部	往還型研修班



年月日	事業実績	部門・班	
平成26年7月18日	看護学部臨地教授称号授与式（参加者10名）	看護学部	実務家教員導入班
平成26年9月1日	キャリアデータベース修正・改善	デザイン学部	キャリアデータベース班
平成26年9月1日	卒業生アンケート（Webサイト）実施	デザイン学部	キャリアデータベース班
平成26年9月12日	「コンソーシアムモデル構築に向けた討論会」開催（参加者26名）	看護学部	地域キャリア連携班
平成26年9月21日	地域の若手従事者を交えたワークショップ「企業デザイナーの仕事とは」開催（講師：㈱サイバーエージェント 藤原大記氏、カシオ計算機㈱ 若山玄晃氏、参加者30名）	デザイン学部	ワークショップ型インターンシップ班・ポートフォリオ班・キャリアデータベース班
平成26年9月26日	1・2年次生対象Joint Meeting開催（参加者16名）	看護学部	ポートフォリオ班
平成26年9月26日	ポートフォリオ作成率アンケート調査②	デザイン学部	ポートフォリオ班
平成26年9月26日	3・4年次生対象Joint Meeting開催（参加者24名）	看護学部	ポートフォリオ班
平成26年10月15日	FD研修会「航空機からチョコレートへ」（講師：㈱マサール代表取締役古谷勝氏）	全学	FD部門
平成26年10月18日	第2回往還型（シャトル）研修（札幌会場）「私のキャリアアップ」開催（参加者23名）	看護学部	往還型研修班
平成26年10月22日	1年次生対象キャリアガイダンス「JOURNEYES」（講師：㈱スタジオシズ 代表取締役 清水卓氏、参加者38名）	デザイン学部	ワークショップ型インターンシップ班・ポートフォリオ班・キャリアデータベース班
平成26年10月31日	ポートフォリオ作成指導講習会「ポートフォリオ作成ワークショップ」（講師：岩本康治氏、参加者16名）	デザイン学部	ポートフォリオ班
平成26年10月～12月	卒業後動向調査	看護学部	キャリアデータベース班
平成26年11月13日	第3回往還型（シャトル）研修（東京会場）「若手看護職員のためのアサーティブコミュニケーション」（参加者14名）	看護学部	往還型研修班
平成26年11月13日	第4回往還型（シャトル）研修（東京会場）「若手看護職員のためのアサーティブコミュニケーション」（参加者1名）	看護学部	往還型研修班
平成26年11月14日	第3回往還型（シャトル）研修（札幌会場）「若手看護職員のためのアサーティブコミュニケーション」（参加者8名）	看護学部	往還型研修班
平成26年11月14日	第4回往還型（シャトル）研修（札幌会場）「若手看護職員のためのアサーティブコミュニケーション」（参加者5名）	看護学部	往還型研修班
平成26年11月18日	「コンソーシアムモデル構築準備のためのワーキンググループの立上げ」開催（参加者26名）	看護学部	地域キャリア連携班
平成26年12月4日	講演会「デザイン人材の活用の可能性」開催（講師：地方独立行政法人北海道立総合研究機構 及川雅稔氏、参加者56名）	デザイン学部・看護学部	地域キャリア連携班
平成26年12月12日	ポートフォリオ作成指導講習会「ポートフォリオとは何か」（講師：㈱東芝 デザインセンター 佐川崇氏、参加者24名）	デザイン学部	ポートフォリオ班
平成27年1月15日	キャリアデータベースアンケート実施	看護学部	キャリアデータベース班



年月日	事業実績	部門・班	
平成27年1月9日	ポートフォリオ講習会「臨床での新人看護職員育成におけるポートフォリオ活用の実際について」（講師：手稲溪仁会病院 田中いずみ氏、北海道こども総合医療・療育センター 稲田早苗氏、参加者18名）	看護学部	ポートフォリオ班
平成27年1月19日	卒業前動向調査実施	看護学部	キャリアデータベース班
平成27年1月21日	キャリアデータベースFD研修会「SCU看護データベースの活用の現状と課題」開催（講師：富士ゼロックス北海道㈱、参加者33名）	看護学部	キャリアデータベース班
平成27年2月14日	公開フォーラム（成果報告会）開催（参加者70名）	全学	広報部門
平成27年2月26日～3月13日	卒業前スキルアップトレーニング（参加学生48名、卒業生インストラクター13施設24名）	看護学部	往還型研修班
平成27年3月13日	キャリアポートフォリオ説明会（80名参加）	看護学部	ポートフォリオ班



Ⅲ 研究活動

1 個人研究費による研究一覧

デザイン学部

教員名	研究課題
蓮見 孝	ウェルネスに着目した療養環境改善と地域創成に関する研究
酒井 正幸	ユニバーサルデザイン研究 生態展示施設のグランドデザイン
城間 祥之	デザインの価値の測定・評価方法に関する研究 ー中国由来加工食品のパッケージデザインの印象評価ー
上遠野 敏	現代美術創作研究 同時代の美術研究 日本の美意識研究
原田 昭	感性による文化創発の方法論に関する研究
石井 雅博	視覚の認知および感性に関する研究
石崎 友紀	地域様式デザイン研究 道具学的な技術文化の探求 工学的性能と審美的性能・情緒的性能の相対的な考察 造形教育
齋藤 利明	オールビスクによる創作人形制作研究と人形を主体とした空間演出
杉 哲夫	看護とデザイン連携のプロダクトデザイン事例研究およびデザイン開発
武邑 光裕	文化多様性とソーシャルメディア環境
中原 宏	地域の多様性とコミュニティデザインに関する研究
羽深 久夫	北海道における歴史的建造物の保存・再生・活用 米国・東欧・北欧及び東アジア（韓国・台湾）における木造建築の保存・再生・活用 日本および世界における医療施設・福祉施設の調査 世界の高等教育機関における建築教育調査と相互交流
原 俊彦	ドイツと日本における無子の増加に関する研究（継続） 超少子高齢化・人口減少社会に対応した社会保障システムのデザイン（継続） 地域社会の人口減少・少子高齢化に対する施策の研究
細谷 多聞	視覚的環境情報の電子化とその活用に関する研究
町田 佳世子	現代の若者のコミュニケーション能力の構造に関する研究 語用論を切り口とした英語文法編成の試み
矢部 和夫	地域の湿原やその他の生態系における生物多様性の保全・再生と創出に関する研究
吉田 和夫	組織活性化におけるVI（ビジュアル・アイデンティティ）の役割とその生成について
吉田 恵介	コミュニティデザイン手法によるエリアマネジメントの可能性に関する研究
柿山 浩一郎	講義内容改善を目的とした、学生からの講義に対する意見収集システムの開発
斉藤 雅也	異分野連携による建築環境デザインの展開手法に関する研究
武田 亘明	クリエイティブ人材育成のための実践的学びの場のデザイン
張 浦華	形態の感性評価の相関要因に関する研究
山田 良	環境芸術の地域に果たす役割
石田 勝也	サウンドアンドビジュアルを使用した空間的創造性の構築



教員名	研究課題
上田 裕文	風景イメージスケッチ手法を用いた風景計画に関する研究
大淵 一博	デザイン学習者向け教材の開発と教育効果測定に関する研究
片山 めぐみ	スマートフォンアプリケーションによるシークエンスデザイン教育支援ツールの効果検証
小宮 加容子	子どもを対象にした安全かつ使いやすい形状およびサインのデザインに関する研究
杉本 達應	情報の視覚化に関する技術調査と教材開発
福田 大年	デザイン学部生のプロジェクト活動におけるスケッチ作業を活かしたアイデア発想 ディスカッションの可能性に関する研究
松井 美穂	アメリカ南部文学研究
松永 康佑	セルオートマトン法による実時間粒子表現の研究
三谷 篤史	小児を対象とした被験者実験によるメカトロ積木の評価
金子 晋也	北海道における建築構法とその意匠性に関する研究
須之内 元洋	地域文化資産のデジタルアーカイブデザイン手法の開発 オンライン音響編集プラットフォームを活用したサウンドスケープ活動の展開 音響パターン認識技術の研究
長谷川 聡	人の行為を誘因する製品・空間に関する研究
小西 敏正	北海道における石造建築構法の地域特性

看護学部

教員名	研究課題
中村 恵子	大学院教育における高度実践看護に関する研究（継続）
樋之津 淳子	看護基礎教育と臨床教育をつなぐ卒後研修プログラムの開発と評価
山本 勝則	精神看護学におけるシミュレーション教育
宮崎 みち子	胎児の生きる権利に関する研究 助産学専攻科における客観的臨床能力試験（OSCE）を用いた教育プログラムの評価
小田 和美	慢性期看護に携わる熟練看護師の療養支援の実践知の可視化に関する研究 一般病棟において糖尿病患者を支援する看護師の学習ニーズに関する研究
猪股 千代子	地域で暮らす高齢者・難病患者の生を支える全人的統合医療ケアリング・ヒーリングプログラムの研究
河原田 まり子	ソーシャルキャピタルを活用した公衆衛生看護活動の推進
川村 三希子	認知症を伴うがん患者の質の高いエンド・オブ・ライフケアの検討
坂倉 恵美子	積雪寒冷地の地域在住高齢者の生活と主観的幸福感の関連
定廣 和香子	実習安全に向けた教授活動自己評価尺度の開発
スーディ神崎 和代	認知症と環境に関する研究：ICTを用いた自主健康管理システム構築研究（E-KURASHI）と遠隔看護（E-KANGO）運用インターフェイス構築 認知症と環境に関する研究：五感覚への刺激と症状緩和
松浦 和代	低学年児童の基礎活動力を高める転倒予防マットレスの開発と運動プログラムへの適用
上村 浩太	看護師への継続学習支援「リレー方式学習」の展開・評価
大野 夏代	マッサージなど看護技術や統合医療に関する研究 国際的活動の計画や評価に関する研究
貝谷 敏子	リソースナースの地域活用によるシームレスな連携体制の構築と効果の検証



教員名	研究課題
菊地 ひろみ	訪問看護ステーションの看護師教育プログラムの開発に係る基礎研究
清水 光子	都市に暮らす高齢者のソーシャル・キャピタルの実態と今後の地域保健福祉活動
菅原 美樹	高度実践看護師のシミュレーション教育と評価に関する文献検討と視察による調査
古都 昌子	看護学を学ぶ学生の学習遂行上の困難に着眼した支援プログラムの作成 看護学生の臨地実習における環境の事態と改善策の検討
村松 真澄	介護保険施設における口腔ケアに関する看護管理的取り組みの介入が対象者（入院、入所者）の心身に及ぼす影響に関する調査
守村 洋	メンタルヘルスに関する研究（主として精神障害セルフヘルプ・グループへの地域生活支援および自殺予防に関する研究）
山田 典子	フォレンジック看護とセーフティプロモーション
太田 晴美	看看連携アクションリサーチー災害への備えー
神島 滋子	高次脳機能障害患者・家族の生活の実態と生活上の工夫について 看護大学教員の一般病院への看護記録指導による効果
櫻井 繭子	産業保健に関わるシステムに関する研究
田中 広美	看護基礎教育における看護実践能力に関する研究
原井 美佳	中年期女性の尿失禁リスク要因解明と尿失禁への対処行動促進に関する研究
藤井 瑞恵	壮年期の透析者における生活と関連要因の関係 ー寒冷地の影響に焦点をあててー
三上 智子	小児看護学OSCE課題の検討と評価 ～看護技術獲得に向けて～
山内 まゆみ	「私はこんな助産師になるぞプロジェクト2014」の運営と評価 「看護系大学が行える卒後助産師を対象とした卒後教育プランの開発」
山本 真由美	母性看護学における実践能力を強化するための教材の開発 助産師に求められる実践能力の強化ー助産師外来との関連ー
渡邊 由加利	妊娠期にある夫婦の夫婦間の情緒的関係を維持・促進するためのコミュニケーション支援プログラムを開発 助産技術の実践力を高めるための教育内容の検討
工藤 京子	HOT患者の災害に関する認識と酸素業者の認識の共通点と違い
多賀 昌江	死産児出産の悲しみを癒す棺の感性デザインに関する研究
田仲 里江	ソーシャルキャピタル(SC) について
坂東 奈穂美	看護師と看護補助者の協働の現状と抱えている課題 看護学生の経年的コミュニケーションスキルの構造化
檜山 明子	入院患者に対する転倒予防対策に関する研究
石引 かずみ	助産師の専門職的自律性と参加医師との協働に関する研究
小田嶋 裕輝	2型糖尿病患者の首尾一貫感を高める患者教育プログラムの開発
柏倉 大作	周手術期における患者の栄養状態と術後合併症の関連および看護ケアプログラムの構築 注射技術取得のための動画によるシミュレーション教育
星 幸江	長期入院統合失調症患者の退院好機を見定める臨床判断要素 ～熟練看護師の関わりに焦点を当てて～
御厩 美登里	在宅死を促進する要因に関する研究 訪問看護師の職務継続意向に関連する要因



教員名	研究課題
横川 亜希子	医療事故を克服した看護師の経験に関する研究 －就職後1年以内に医療事故の当事者となった看護師に焦点を当てて－
松永 直子	一般病棟で終末期がん看護を行う看護師の困難感と対処方法 ～がん看護の経験を重ねた看護師に焦点を当てて～



2 学内公募研究課題一覧

学術奨励研究

教員名	研究課題
杉本 達應	データ視覚化のためのモバイルアプリ開発研究
松永 康佑	身体計測システムを用いたダンス教育用コンテンツに関する研究
金子 晋也	デザインサーベイを通じた北海道沿岸部の空間特性に関する研究
古都 昌子	コミュニケーションに苦手意識を持つ看護学生の「会話コミュニティ（ナーシングしゃべり場）」への参加による効果と課題
守村 洋	統合失調症者の親が感じる困難と求める支援
渡邊 由加利	妊娠期にある夫婦の夫婦間の情緒的関係を維持・促進するためのコミュニケーション支援プログラムを開発
柏倉 大作	動画を活用した自己学習型の注射のシュミレーション教育に関する研究

共同研究

教員名	研究課題
◎田中 広美 杉 哲夫 樋之津 淳子 檜山 明子	からだにやさしい移動・移乗支援補助用具の試作と実用性の検証
◎石田 勝也 杉本 達應 須之内 元洋	札幌国際芸術祭を通じた大学の地域貢献への実証研究
◎小宮 加容子 杉本 達應 福田 大年	世代間交流と地域づくりに活用できる協同遊びをデザインするための基礎研究
◎上田 裕文	積雪寒冷地の冬季都市景観イメージに関する北海道とラップランドの比較研究
◎大淵 一博 清水 光子 守村 洋 柏倉 大作 檜山 明子	タブレット型端末を活用した看護OSCE運営・評価支援システムの開発と検証
◎三谷 篤史 村松 真澄	口腔ケアシミュレーションモデルの開発
◎村松 真澄 大淵 一博	口腔ケアのEBMを作るためのデータベースの開発の基礎的研究
◎山本 真由美 羽深 久夫 宮崎 みち子 多賀 昌江 渡邊 由加利 石引 かずみ	看護実践能力を向上させるための教材の開発ー装着型産褥子宮モデルー
◎坂東 奈穂美 町田 佳世子 田中 広美 山本 真由美 柏倉 大作	看護学生の経年的コミュニケーションスキルの構造化

◎印：代表者

田村ICT基金

教員名	研究課題
松永 康佑	数理モデルに基づく雪の結晶の生成シミュレーション研究

採択状況

学術奨励研究		共同研究		田村ICT基金		合計	
応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数
8	7	10	9	2	1	20	17



3 学外からの研究費、研究補助金などの受入状況

科学研究費助成事業（科研費）

研究代表者	研究課題	研究種目	金額（円）
町田 佳世子	動物園を舞台とした教育・啓蒙活動における専門的実践家の役割とその効果の解明	基盤研究(C)	1,170,000
松浦 和代	低学年児童の基礎活動力を高める転倒予防マットレスの開発と運動プログラムへの適用	基盤研究(C)	1,300,000
矢部 和夫	低地泥炭湿原の群落の景観と種組成における地理的変異の把握とその生成機構の解明	基盤研究(C)	1,690,000
藤井 瑞恵	地域一般住民のアルコール摂取量とアディポカイトサイン、生活習慣病リスクとの関係	基盤研究(C)	390,000
村松 真澄	介護保険施設において実践されている口腔ケアに関する看護管理的取り組みの実態調査	基盤研究(C)	910,000
山田 典子	外傷サーベイランスが現場にもたらす課題とシミュレータを用いたスタッフ育成	挑戦的萌芽	1,040,000
檜山 明子	「疼痛アセスメント能力自己評価尺度－精神科看護師用－」の開発	若手研究(B)	260,000
松永 康佑	仮想身体における筋肉の隆起と揺れ表現のための全身筋電計開発に関する研究	基盤研究(C)	1,820,000
小宮 加容子	散剤に適した子どもの服用動作分析および処方薬分包袋のデザイン提案	基盤研究(C)	650,000
羽深 久夫	明治期以降の北海道における枠内構法の民家の歴史的展開過程	基盤研究(C)	1,430,000
工藤 京子	北海道における患者を主体とした自助行動としてのHOT患者災害時避難システム	基盤研究(C)	910,000
菅原 美樹	高度実践看護師の臨床推論・判断能力を強化するシミュレーション教育プログラムの開発	基盤研究(C)	910,000
河原田 まり子	地域保健活動評価のためのソーシャル・キャピタル測定尺度の開発	基盤研究(C)	1,560,000
清水 光子	都市に暮らす高齢者のソーシャル・キャピタルの実態と今後の地域保健福祉活動	基盤研究(C)	2,210,000
貝谷 敏子	看護経済学の構築に向けた基盤研究－褥瘡患者立脚型QOL評価指標の開発－	基盤研究(C)	1,690,000
石井 雅博	視対象への能動的関与による視聴覚の変調	基盤研究(C)	1,560,000
湯川 崇	積雪寒冷地における住宅地の雪処理に配慮した住宅設計システムの開発	基盤研究(C)	2,990,000
原井 美佳	中年期女性の尿失禁リスク要因解明と尿失禁への対処行動促進に関する研究	基盤研究(C)	1,430,000
定廣 和香子	学生による医療事故防止に向けた実習安全FD展開モデルの開発	基盤研究(C)	1,300,000
菊地 ひろみ	多発性硬化症患者に対する認知行動療法の導入およびアウトカム評価	基盤研究(C)	520,000
川村 三希子	認知症高齢がん患者の疼痛マネジメントの質の向上を目指した疼痛アセスメント指標の開発	基盤研究(C)	1,430,000
スーディ神崎 和代	在宅死を可能にするための在宅ケア基盤づくりの方略－フィンランドと日本の比較	基盤研究(C)	2,080,000



研究代表者	研究課題	研究種目	金額 (円)
斉藤 雅也	小学児童の想像温度に基づく地域住育プログラムの開発研究	挑戦の萌芽	1,690,000
柿山 浩一郎	無意識動作で測るポジティブ感・ネガティブ感に関する研究	若手研究(B)	3,640,000
片山 めぐみ	高揚感記録モバイルアプリ開発による新しい景観資源収集と観光客誘致の仕掛けづくり	若手研究(A)	3,770,000
上田 裕文	森林利用型樹木葬墓地の導入可能性と課題に関する研究	若手研究(B)	910,000
小田嶋 裕輝	2型糖尿病患者の首尾一貫感を高めるための患者教育プログラムの作成と検証	若手研究(B)	650,000

※課題番号順

科学研究費助成事業基盤研究A (科研A)

研究代表者	研究課題	研究種目	金額 (円)
蓮見 孝	タイム・スペースシェアリング型地域連携による地域創成デザイン研究	基盤研究(A)	18,460,000

①概要

本研究は、地方市町村と大都市の双方における暮らしの質の維持、および魅力創出のための手法の構築を目的として、平成25年度からの3カ年の計画で、アート&デザインを核に地方市町村と大都市を相補・連携させる「タイム・スペースシェアリング (略称:TSS)」手法による地域創成活動の実証実験を行い、その効果を検証するものです。

平成25年度の複数のフィールドでの活動をもとに、「人」「事」「場」「物」が地域の魅力のキーになる4要素になるとの仮説を構築しました。これを受け平成26年度は、北海道札幌市南区、三笠市、夕張市、寿都郡寿都町、虻田郡喜茂別町、沙流郡平取町で継続活動を行いました。また、北海道有珠郡壮瞥町の全面的な協力を得て、夏期と冬期の札幌 - 壮瞥町間の5組7名のシェアリング「居住実験」を行うと共に、延べ60名の3回に亘る「井戸端寺子屋WS」を実施しました。

「居住実験」の実施により得られた知見としては、短期居住の生活は、周辺の観光施設の訪問が日常生活の中心となるため、観光施設の良否がワクワク感に直結すること、観光施設や食堂などのサービスは自分が生活している地域を基準に評価され、都会のサービスの充実度合いと地方サービスの充実度合いとのマッチングが課題であること、日常生活が基盤となる為、基本的な住宅設備の充実が、居住中のワクワク感に大きく影響すること、などが得られました。

また、「井戸端寺子屋WS」の実施により得られた知見としては、TSSを成功させるためには「人」「事」「場」「物」の魅力が、2地域それぞれに備わっている必要があるが、4要素のうちいくつか欠けている地域も存在し、存在しない魅力要素を短期間に作り出すことは難しいこと、また「短期居住」を地域創生を目的とした地域の活性化手法の一つと位置づけた場合、前述の4要素の魅力はその地域のポテンシャルそのものであり、この魅力を短期居住者に体感してもらうための短期居住の仕組みづくりが有効であること、実際に短期居住を試みる際の解決すべき課題(日常生活を中断し、他地域で生活する際の問題)が「金銭・仕事」「医療(介護)」「移動(交通)」「情報」「環境差」「気候」「目的」等の要素から構成されることなどが得られました。

平成27年度には居住実験で得られたデータをさらに補完するため、短期居住型ワークショップを開催し、研究期間全体の成果をまとめる予定です。

②実施体制

研究代表者：蓮見 孝

研究分担者：酒井 正幸、城間 祥之、中原 宏、上遠野 敏、原 俊彦、石井 雅博、斉藤 雅也、山田 良、柿山 浩一郎、上田 裕文、片山 めぐみ

研究補助員：南部 麻子

③研究組織

統括、大都市(札幌市)の魅力分析班、過疎市町村の魅力分析班、地域創成先行事例分析班、暮らし満足度定量化手法班、事務局



④主な事業実績	
年月日	事業実績
平成26年4月12日	「喜茂別だより・寿都だより弁当」ワークショップ（参加者：50名）
平成26年4月26日	シンポジウム「TSS井戸端寺子屋会議 in 札幌 ひと・こと・ば・ものでつなぐ3つの森の協演」（参加者：36名）
平成26年5月～7月	平取町：鹿革商品開発プロジェクト 大学ベンチャー起業セミナー（のべ参加者：約50名）
平成26年6月25日～7月1日	五感を通して地域に伝える仕掛けとしてのお弁当開発 実験販売（販売数：150食）
平成26年6月～10月	地域で取り組むグリーンカーテンの栽培と住民意識の調査研究（調査対象者：33世帯）
平成26年7月～11月	奥洞爺ロゴデザイン・観光促進グッズ提案における調査研究（調査対象者：40名）
平成26年7月14日・18日～20日	寿都町：風車アートプロジェクト 寿都小学校・潮路小学校子供教室（のべ参加者：約30名）
平成26年8月24日・9月13日	そらち炭坑の記憶アートプロジェクト2014 来場者への意識調査（調査対象者：70名）
平成26年9月～平成27年1月	居住体験実証実験（参加者：5組7名）
平成26年9月30日・10月12日・20日	井戸端寺子屋ワークショップ（のべ参加者：約60名）
平成26年10月11日	講演会「緑のカーテンから広がる豊かな暮らし」（参加者：28名）
平成26年10月12日	「奥洞爺だより弁当」お披露目会ワークショップ（参加者：27名）
平成26年10月14日	ミニセミナーと健康ウォーキング体験講座「ドイツをモデルとした健康保養地づくり」（参加者：12名）
平成27年3月15日	シンポジウム「TSS井戸端寺子屋会議 高知&北海道 二地域居住で見えてくる『地域創生』」（参加者：40名）

受託研究費

研究代表者	研究課題	委託者	金額（円）
石井 雅博	共生社会に向けた人間調和型情報技術の構築 知覚中心ヒューマンインターフェースの開発 視覚特性の計測と評価	(独)科学技術振興機構	6,500,000
上田 裕文	地域力向上を支援するまちづくり研究事業	寿都町	1,500,000
吉田 恵介	都市緑化空間の可能性に関する研究	札幌市(環境局)	2,851,200
斉藤 雅也	温熱環境・エネルギーマネジメントに配慮した在宅医療拠点の デザイン研究	(医)オレンジ	1,000,000
武邑 光裕	芸術文化導入によるまちづくりに関する研究	美瑛町	3,000,000
斉藤 雅也	大規模複合商業施設を拠点とする地域住民・テナント事業者向け 省エネルギー行動の普及に関する研究	(株)札幌副都心開発 公社	960,000
福田 大年	北海道の風土と文化にちなんだ色の選定と言葉の生成に関する 研究ー北海道ココロカラープロジェクト	(株)マーケティング・コミュニケー ション・エルグ	1,000,000
福田 大年	子どもの能動的参加を促す遊びの屋内・屋外への展開方法を構築 するための基礎研究	札幌市(市長政策 室)	1,401,840



研究代表者	研究課題	委託者	金額 (円)
中原 宏	創成東地区が持つものづくりの歴史を活かしたまちづくりの手法開発	札幌市(市長政策室)	1,419,660
吉田 和夫	ユニバーサルデザイン視点からの動物園のサイン計画研究ー地下鉄円山公園駅からのアプローチ誘導サインー	札幌市(環境局)	500,000
斉藤 雅也	ホッキョクグマ・アザラシ館(仮称)のデザイン研究	札幌市(環境局)	500,000
福田 大年	アフリカゾーンの飼育展示・サイン計画のデザイン監修	札幌市(環境局)	500,000
矢部 和夫	円山動物園の森ビオトープの生物多様性向上のための研究	札幌市(環境局)	500,000
守村 洋	「平成26年度札幌市自殺未遂者実態調査」調査研究	札幌市(障がい保健福祉部)	574,560
武邑 光裕	オリジナルロゴマークのデザイン研究	美瑛町	162,000

4 寄附金の受入状況

教員名	寄附目的	寄附元	金額 (円)
中村 恵子	看護研究の促進及び看護の質の向上のため	北海道勤労者医療協会	200,000
矢部 和夫	平成26年度美々川自然再生に関する調査研究「ウトナイ湖北岸における高茎湿生草原の再生手法検討ー現地での野外実験を想定した事前調査ー」に対する研究助成	(公財)リバーフロント研究所	800,000
中村 恵子	看護研究の促進及び看護の質の向上のため	JA北海道厚生連札幌厚生病院	210,000
中村 恵子	札幌市民のニーズに応じた教育支援のため	(医)鳩仁会札幌中央病院	80,000
中村 恵子	看護研究の促進及び看護の質の向上のため	(医)溪仁会手稲溪仁会病院	210,000
中村 恵子	教育を基にした人材育成のための支援 看護教育の促進強化	(医)徳州会札幌徳州会病院	240,000

5 その他研究助成

教員名	研究課題	寄附元	金額 (円)
三谷 篤史	メカトロ積木を用いた視覚性トレーニングツールの開発	(公財)北海道科学技術総合振興センター	2,000,000
多賀 昌江	思春期前の男の子をもつ親を対象とした家庭向け性教育教材の開発に関する研究	(公財)日本教育公務員弘済会	888,000



6 海外出張記録

期間	教員名	目的国	目的
平成26年4月23日 ～30日	杉本 達應	ペルー	国際会議（HASTAC2014）発表
平成26年5月3日 ～7日	河原田 まり子	アメリカ	AAOHN 第2回グローバルサミット参加
平成26年5月3日 ～7日	坂倉 恵美子	アメリカ	米国産業看護学会総会出席
平成26年5月11日 ～15日	山田 典子	韓国	The 7th Asian Conference on Safe Communitiesへの参加、発表
平成26年5月15日 ～23日	石井 雅博	アメリカ	視覚科学学会年次大会参加、発表、情報収集
平成26年5月21日 ～25日	スーディ神崎 和代	アメリカ	Alzheimer's Disease and Related Dementias 学会参加
平成26年5月30日 ～6月7日	山内 まゆみ	チェコ	The 30th ICM Triennial Congress 出席 成果発表
平成26年5月30日 ～6月7日	渡邊 由加利	チェコ	The 30th ICM Triennial Congress 出席 成果発表
平成26年5月31日 ～6月7日	石引 かずみ	チェコ	The 30th ICM Triennial Congress 出席 成果発表
平成26年6月1日 ～7日	宮崎 みち子	チェコ	The 30th ICM Triennial Congress 出席 成果発表
平成26年6月3日 ～9日	川村 三希子	スペイン	ヨーロッパ緩和医療学会出席
平成26年6月5日 ～17日	須之内 元洋	イタリア、スイス、フランス、ドイツ	ヴェネツィア建築ビエンナーレ・アールブリュット美術館・ドイツ建築博物館の視察・調査、Centre Des Artsでの作品展示設営・メンテナンス・解説
平成26年6月13日 ～17日	多賀 昌江	イギリス	第14回世界乳幼児精神保健会議（WAIMH）参加、示説発表
平成26年6月14日 ～21日	定廣 和香子	スウェーデン	シグマセタウインターナショナル ヨーロピアンカンファレンス国際学会発表（共同研究）、情報収集、病院視察
平成26年6月21日 ～29日	片山 めぐみ	ルーマニア	International Association People-Environment Studies 2014での研究発表
平成26年6月26日 ～7月2日	城間 祥之	中国	BIT主催3D Printingに関する第1回世界会議（3D Printing 2014）での研究発表、清華大学美術学院との学術交流
平成26年7月12日 ～17日	スーディ神崎 和代	デンマーク	2014AAIC 学会参加および研究発表
平成26年7月23日 ～28日	定廣 和香子	中国 香港	STTI 国際学会学術集会発表
平成26年7月31日 ～8月9日	小西 敏正	オーストリア	ICGG（国際図学会）出席・発表、近代建築の保存活用状態の調査
平成26年8月3日 ～14日	武邑 光裕	ドイツ、ベルギー	パブリックアート・ラボ滞在研究・調査、ニューメディアのための打ち合わせ、欧州議会事務局での研究調査
平成26年8月9日 ～16日	松永 康佑	カナダ	コンピュータグラフィックスにおける先端技術および資料収集のため



期間	教員名	目的国	目的
平成26年8月15日 ～31日	定廣 和香子	デンマーク、ノルウェー	実地調査（精神療養施設、大学病院、ナーシングホーム訪問）
平成26年8月21日 ～9月7日	山田 良	ノルウェー	空間デザイン・ワークショップのデザイン指導と制作実践
平成26年8月26日 ～30日	町田 佳世子	オーストリア	The 28th Conference of the European Health Psychology Society参加および発表
平成26年8月29日 ～9月4日	スーディ神崎 和代	フィンランド	研究対象者インタビュー、訪問看護関連事業所訪問
平成26年8月29日 ～9月4日	御厩 美登里	フィンランド	在宅死に関する意識についてフィンランドの住民の方へのインタビュー調査
平成26年9月2日 ～4日	町田 佳世子	中国 香港	The 22nd Biennial Conference of International Zoo Educators Associationでの研究成果発表
平成26年9月5日 ～14日	羽深 久夫	スイス、オランダ	ヨーロッパにおける木造架構の歴史的展開過程の調査（枠内構法の民家の歴史的展開過程との比較）
平成26年10月3日 ～10日	三谷 篤史	アメリカ	SMC2014への参加・発表
平成26年10月4日 ～13日	矢部 和夫	インドネシア	熱帯湿地の植生成立機構の解明
平成26年10月16日 ～20日	河原田 まり子	マレーシア	46th APACPH Conference in Kuala Lumpur（第46回アジア・パシフィック地区公衆衛生学会）参加
平成26年10月16日 ～20日	清水 光子	マレーシア	46th APACP Conference in Kuala Lumpur（第46回アジア・パシフィック地区公衆衛生学会）参加
平成26年10月25日 ～11月1日	斉藤 雅也	スイス、イタリア	科研費（斉藤代表）の研究発表および関連施設の視察
平成26年10月25日 ～11月4日	金子 晋也	オーストリア、イタリア	ENERGY FORUM（国際シンポジウム）での論文発表、および古典主義建築の系譜に関する研究
平成26年10月26日 ～11月4日	小西 敏正	イタリア	国際会議における研究発表及び建築構法の視察・研究打ち合わせ
平成26年10月28日 ～11月5日	原田 昭	中国	2014Tsinghua International Design Conferenceでのキーノートスピーチ、ディスカッションならびに友好交流
平成26年10月28日 ～11月5日	張 浦華	中国	2014 Tsinghua International Design Conference出席及び打合せ
平成26年11月13日 ～19日	守村 洋	フィンランド	施設視察、精神障害者家族へのインタビュー
平成26年11月26日 ～12月1日	上田 裕文	フィンランド	イメージスケッチ調査、ヒアリング調査、研究打ち合わせ
平成26年12月3日 ～10日	張 浦華	中国	清華大学美術学院主催ワークショップの引率
平成26年12月4日 ～9日	吉田 恵介	台湾	美瑛まちづくりの重点項目である自転車ルートにかかるサイン、便益休憩施設、情報環境等の事例調査
平成26年12月5日 ～11日	蓮見 孝	台湾	国立台中科技大学での講演会出席、視察
平成27年2月4日 ～6日	大野 夏代	台湾	18th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) 参加
平成27年2月4日 ～7日	藤井 瑞恵	台湾	East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS)での発表



期間	教員名	目的国	目的
平成27年2月10日 ～24日	須之内 元洋	インドネシア	サウンドスケープ及び音響作品の成立に関する調査・記録
平成27年2月17日 ～22日	上田 裕文	フィンランド	Arctic Design Week参加、ワークショップ開催、Arctic Sustainable Art and Designミーティングへの参加
平成27年3月2日 ～8日	松井 美穂	アメリカ	ウィリアム・フォークナー及び南部文化の資料調査と研究者訪問
平成27年3月21日 ～26日	山内 まゆみ	イギリス	看護教育国外視察（シミュレーション教育、看護教育）
平成27年3月21日 ～26日	神島 滋子	イギリス	高度実践看護教育に関する視察
平成27年3月21日 ～26日	菅原 美樹	イギリス	高度実践看護教育に関する視察
平成27年3月21日 ～26日	中村 恵子	イギリス	高度実践看護教育に関する視察
平成27年3月22日 ～25日	羽深 久夫	中国	歴史的建造物の調査
平成27年3月22日 ～28日	三谷 篤史	アメリカ	各施設のシミュレーション教育施設見学および口腔ケアに関する研究打ち合わせ
平成27年3月22日 ～28日	村松 真澄	アメリカ	口腔ケアに関するシミュレーションラボを見学、口腔ケアの研究の打ち合わせ



IV 社会活動

1 地域貢献諸活動

1) 受託研究一覧

研究課題	期間	概要	委託者
共生社会に向けた人間調和型情報技術の構築 知覚中心ヒューマンインターフェースの開発 視覚特性の計測と評価	平成26年4月1日 ～平成27年3月31日	三次元空間内における視覚誘導性疑似力覚の特性、両眼網膜像差による奥行き知覚の異常における視野依存性、絶対距離知覚に対する輻輳および調節刺激の効果、観察者の能動的動作が視覚認知に及ぼす影響、運動視差による奥行き知覚における頭部運動方向の影響について調べた。	(独)科学技術振興機構
地域力向上を支援するまちづくり研究事業	平成26年4月17日 ～平成27年3月25日	寿都町の豊かな自然をはじめとする地域資源や、長い間抱えてきた地域課題をこれまでの調査研究を基に検証するとともに、地域資源を活用し住民主体となって行動していくための住民活動の場の創出等によるまちづくりが図られるよう地域力の向上を支援した。	寿都町
都市緑化空間の可能性に関する研究	平成26年4月21日 ～平成26年9月30日	札幌市と本学が連携のもと、学生のアイデアを取り入れ、みどりに関する情報のほか、学生がおすすしたい各種スポットを合わせて紹介する、指定ルートを散策しながら札幌観光を楽しめる情報誌を製作した。	札幌市(環境局)
温熱環境・エネルギーマネジメントに配慮した在宅医療拠点のデザイン研究	平成26年6月9日 ～平成27年3月31日	福井県福井市中心部にある在宅医療専門施設の基本計画にあたり、温熱環境・エネルギーマネジメントに配慮した検討を行ない、それらの成果を建築の基本計画に反映することを目的として実施した。	(医)オレンジ
芸術文化導入によるまちづくりに関する研究	平成26年6月13日 ～平成27年2月27日	美瑛町における今後のまちづくりに、芸術文化をどのように取り入れていくか、札幌国際芸術祭に関連した札幌でのマルシェ会場のデザイン、芸術祭と美瑛町における相互の広報、札幌芸術祭を踏まえた美瑛町でのシンポジウムに関し、下記の具体的なプロジェクトを通じて調査研究を行った。 1) 「食とアートが会うマルシェ」開催に伴う総合的な演出企画 2) 「アートツーリズム」の開発 3) 「共同シンポジウム」開催に向けた調査研究	美瑛町
大規模複合商業施設を拠点とする地域住民・テナント事業者向け省エネルギー行動の普及に関する研究	平成26年6月20日 ～平成27年2月28日	新札幌地区にある大規模複合商業施設を拠点とする地域住民・テナント事業者向け省エネルギー行動の普及に関して、課題①夏のグリーンカーテンを活用した地域向け住環境教育の普及・啓蒙に関する調査研究と、課題②本商業施設にて改修されたエネルギー・環境設備システムの働きを学ぶエコミュージアムのデザイン研究を行なった。	(株)札幌副都心開発公社
北海道の風土と文化にちなんだ色の選定と言葉の生成に関する研究－北海道ココロカラープロジェクト	平成26年7月29日 ～平成27年3月31日	2013年4月から開始した「北海道ココロカラープロジェクト」の取り組みを発展させ、北海道の生活に根付く色の選定と、その色にちなんだ言葉(名称)の生成、そしてそれらの活用方法を検討した。	(株)マーケティング・コミュニケーション・エルグ



研究課題	期間	概要	委託者
子どもの能動的参加を促す遊びの屋内・屋外への展開方法を構築するための基礎研究	平成26年7月29日 ～平成27年3月13日	デザイン系大学の資源を活用して、子供の能動的な参加を促す遊び場を構築する取り組みの一部として、デザイン学部生と遊び場や道具を考案し、主に児童会館など地域にある施設を利用し、実験、イベント、ワークショップなどを行った。	札幌市(市長政策室)
創成東地区が持つものづくりの歴史を活かしたまちづくりの手法開発	平成26年9月12日 ～平成27年3月13日	地域住民と連携しながら、主に当地区の骨格軸である「北3条通」と「東4丁目線」の回遊性や魅力向上に資するための空間デザイン、地域コミュニティの交流の場としての「中央体育館跡地」の方向性・手法に係る研究成果を得ることを目的に、「創成東地区」が持つ歴史性を活かしたまちづくりの手法について研究を行った。	札幌市(市長政策室)
ユニバーサルデザイン視点からの動物園のサイン計画研究ー地下鉄円山公園駅からのアプローチ誘導サインー	平成26年9月2日 ～平成27年2月28日	札幌市円山動物園を対象に、ユニバーサルデザイン視点からのサイン計画の監修を目的とし、以下の項目を行った。 1) 地下鉄・円山公園駅構内でのアプローチ誘導サインのデザイン 2) 円山公園内のアプローチ誘導サインのデザイン 3) 第1駐車場のサイン改修のデザイン監修	札幌市(環境局)
ホッキョクグマ・アザラシ館(仮称)のデザイン研究	平成26年9月2日 ～平成27年2月28日	札幌市円山動物園の新施設：ホッキョクグマ・アザラシ館(仮称)の基本・実施計画の監修にあたり、1) 施設の温熱環境や省資源・省エネルギー化の観点を重視し、その知見を施設デザインに反映するとともに、2) 来場者の高揚感を創出するためのサインデザインの概念を整理した。	札幌市(環境局)
アフリカゾーンの飼育展示・サイン計画のデザイン監修	平成26年9月2日 ～平成27年2月28日	札幌市円山動物園の新施設アフリカゾーンの飼育展示・サイン計画のデザイン監修を行ない、市民に親しまれる寒冷地の動物園施設のデザイン研究を実施した。具体的には以下を実施している。 1) アフリカゾーンのサインのランドデザイン 2) サインの試作品作成	札幌市(環境局)
円山動物園の森ビオトープの生物多様性向上のための研究	平成26年9月2日 ～平成27年2月28日	円山動物園の森ビオトープの生物多様性向上のために以下の項目を行なった。 1) ササ除去による山野草回復試験 2) 外来種除去による山野草回復試験 3) 導入候補小動物の現状把握と地図化 4) 小動物の生育環境のモニタリングと導入予備実験 5) ガイドボランティアの技術向上 6) 動物園の森全体管理方針検討会議への出席	札幌市(環境局)
「平成26年度札幌市自殺未遂者実態調査」調査研究	平成26年9月22日 ～平成27年3月31日	札幌市における自殺対策の一環として、寒冷地ならではの特徴として冬季における自殺未遂者の実態を把握し、現状及び課題を明らかにした。	札幌市(障がい保健福祉部)



研究課題	期間	概要	委託者
オリジナルロゴマークのデザイン研究	平成26年12月1日 ～平成27年2月25日	地域住民との交流や共同作業を通じて、多面的機能支払交付金事業の取組内容について、普及・啓発活動を行うため、美瑛の雪上絵フェスティバルでのロゴマークの制作を行った。	美瑛町

2) 共同研究（学外との連携）一覧

事業名	期間	概要	担当教員	共同研究者
該当なし				

3) 受託事業一覧

事業名	期間	概要	担当教員	共同研究者
該当なし				

4) 地域連携研究センターへの協力依頼一覧

事業名	依頼元	担当教員
琴似再開発地区自動販売機デザイン募集事業	琴似副都心(株)	柿山 浩一郎
びらとり温泉ゆから看板デザイン	平取町役場	上田 裕文
2017冬季アジア札幌大会ポスターデザイン制作	(公財)第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会	吉田 和夫
地下鉄真駒内駅魅力アップ事業（真駒内駅ナカアート）	札幌市（南区）	吉田 和夫 大淵 一博
環境保全及び環境活動推進事業 グリーンカーテン普及プロジェクト	芸術の森地区連合会	斉藤 雅也
じゃらん×西胆振×大学生による若者の旅行需要創出事業	(株)リクルート北海道じゃらん	上田 裕文
クレピアパウダーのロゴおよびパンフレットの作成事業	寿産業(株)	三谷 篤史
大学院講義を活用した地域住民への省CO2普及啓蒙活動の推進	(株)札幌副都心開発公社	斉藤 雅也



事業名	依頼元	担当教員
札幌市アイヌアートモニュメント設置事業	札幌市（市民まちづくり局）	金子 晋也
トレンナーレにふれるアートな夏休み	芸術の森地区連合会	羽深 久夫
札幌市中央消防署モザイクアート2014	札幌市（中央消防署）	吉田 和夫 大淵 一博 松永 康佑
Connekid! in そらのガーデン「しゃぼん玉とんだ！」	札幌駅総合開発㈱	小宮 加容子 福田 大年
ものづくり「なでしこ」応援プロジェクト	北海道（経済部）	細谷 多聞
リサイクル・アート家具の制作	札幌市（環境局）	大淵 一博
さっぽろ水道フェスタ2014	(公財)さっぽろ青少年女性活動協会	須之内 元洋
壮瞥町の地域資源PRのための情報発信アイテムの提案、 奥洞爺牛及び奥洞爺のロゴマーク制作	壮瞥町商工会	石井 雅博 城間 祥之 細谷 多聞 大淵 一博 福田 大年 松永 康佑
丘のまちびえいセンチュリーライド開催事業	特定非営利活動法人美瑛エコスポー ツ実践会	武邑 光裕
札幌市グリーティングカード作成事業	札幌市（総務局）	大淵 一博
かかりつけ医普及啓発事業	札幌市（保健福祉局）	吉田 和夫
第5回ミニ大通お散歩まつり	ミニ大通お散歩まつり実行委員会	村松 真澄
レコードでつながる世代間交流プロジェクト「RECO」 における制作物協力	NPO法人ezorock	須之内 元洋
丘のまちびえい宮様国際スキーマラソン大会開催事業	宮様国際スキーマラソン組織委員会	武邑 光裕
札幌市子ども未来局「絵本の読み聞かせ推進事業」イベ ント	札幌市（子ども未来局）	小宮 加容子 福田 大年
新千歳空港ターミナルビル国内線3階壁面デザイン制作	(株)えんれいしゃ	福田 大年
大倉山ジャンプ競技場着ぐるみデザイン募集	(株)札幌振興公社	上遠野 敏



事業名	依頼元	担当教員
保養センター駒岡 PRイメージ検討業務	札幌市（保健福祉局）	吉田 和夫
「CASBEE札幌」の環境性能表示ラベルの作成	札幌市（環境局）	吉田 和夫
定山溪温泉観光魅力アップ構想におけるゲート装置の提案	(一社)定山溪観光協会	羽深 久夫
自転車押し歩き推進事業	札幌市（市民まちづくり局）	吉田 和夫
第20回芸術の森地区文化祭	芸術の森地区連合会	羽深 久夫
「北海道博物館」のロゴマーク作成事業	北海道開拓記念館	武田 亘明
真駒内駅前花いっぱい事業	札幌市（南区）	吉田 恵介
特別養護老人ホーム「セボラ・コリーナ」のロゴデザイン	(福)愛和福祉会	大淵 一博
第18回統一地方選挙に係る啓発CM	札幌市（選挙管理委員会事務局）	石田 勝也
北海道じゃらん×nittan地域戦略会議×大学生による若者の旅行需要創出事業「旅プロデュース部」のロゴ作成	(株)リクルート北海道じゃらん	上田 裕文

5) 高大連携

① デザイン学部 第7回高大連携公開講座

開催日	高校名	参加生徒数	タイトル	担当教員
平成26年9月21日	北海道札幌旭丘高等学校 北海道札幌開成高等学校 北海道札幌清田高等学校 北海道札幌新川高等学校 北海道札幌平岸高等学校 北海道札幌藻岩高等学校	27名	場のリ・バリュー／風景と空間デザイン	山田 良
			論理的思考と芸術的感性～数学とアートの話	松永 康佑



② 看護学部 高大連携講座

開催日・期間	高校名	受講生徒数	受講科目名	担当教員
平成26年4月7日 ～平成27年1月29日	北海道札幌旭丘高等学校 北海道札幌清田高等学校 北海道札幌新川高等学校 北海道札幌藻岩高等学校 北海道札幌平岸高等学校 北海道札幌開成高等学校	25名	看護学原論 (講義・15時間)	◎定廣 和香子 猪股 千代子
			地域保健学概論 (講義・15時間)	◎清水 光子 河原田 まり子 山田 典子
			人間発達援助論 (演習・30時間)	◎山本 勝則 中村 恵子 坂倉 恵美子 松浦 和代 宮崎 みち子
			チーム医療論 (講義・15時間)	◎太田 晴美 猪股 千代子 坂東 奈穂美
			国際看護学 (講義・15時間)	◎大野 夏代 スーディ神崎 和代

◎印：科目責任者（オムニバス形式などの場合）

③ 看護学部 模擬授業

開催日・期間	高校名	受講生徒数	テーマ	担当教員
平成26年9月23日	北海道札幌旭丘高等学校 市立札幌大通高等学校 北海道札幌新川高等学校 北海道札幌開成高等学校 北海道札幌平岸高等学校 北海道札幌清田高等学校 北海道札幌啓北商業高等学校 北海道札幌藻岩高等学校	94名	プレパレーションの実際	松浦 和代
			自分を知ることから始める コミュニケーション 振り返ろう！日常のキャッ チボール☆	古都 昌子



6) 高校出前講義

デザイン学部

開催日	高校名	テーマ	担当教員
平成26年7月17日	北海道帯広緑陽高等学校	デザイン学の源流	石崎 友紀
平成26年11月5日	北海道札幌新川高等学校	「アイデア発想ワークショップ」でデザイン系大学の講義を疑似体験!	福田 大年
平成26年11月11日	北海道札幌旭丘高等学校	「面白いって何?」アイデア発想ワークショップでデザインの面白さを疑似体験	福田 大年
平成26年11月12日	北海道札幌清田高等学校	人と人をつないで、まちを元気にする!	片山 めぐみ
平成26年11月12日	北海道札幌開成高等学校	メディアと身体~Bot化するヒト、ヒト化するBot~	武邑 光裕

看護学部

開催日	高校名	テーマ	担当教員
平成26年10月3日	北海道札幌新川高等学校	家庭看護・医療	スーダイ神崎和代
平成26年10月31日	北海道札幌藻岩高等学校	母性看護学ー世界の母子保健ー	宮崎 みち子
平成26年11月5日	北海道札幌新川高等学校	お腹まわりサイズと病気の予防	清水 光子
平成26年11月12日	北海道札幌開成高等学校	研究を通して見えた看護師が行う看護	定廣 和香子
平成26年12月4日	北海道苫小牧東高等学校	災害時にいのち(生命)とくらし(生活)を守る	太田 晴美

7) その他の地域貢献諸活動

デザイン学部

教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
蓮見 孝	デザイン委員	東海旅客鉄道(株)		平成26年10月7日、平成27年3月2日、27日
	倫理委員	NPOつくば臨床検査教育研究センター		平成26年9月19日
	評議員	(公財)日本サイクリング協会		平成26年6月25日
	チ・カ・ホ デザイン調整会議委員	札幌駅前通まちづくり(株)		平成26年6月9日、9月6日
	顧問	SAPPOROショートフェスト実行委員会		平成26年6月1日～平成27年3月
	委員	土浦全国花火競技会審査委員会		平成26年10月4日



教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
酒井 正幸	副理事長	NPO北のユニバーサルデザイン協議会		平成26年4月 ～平成27年3月
	評議員	(財)さっぽろ産業振興財団		平成26年4月 ～平成27年3月
	運営委員	北のケア環境研究会		平成26年4月 ～平成27年3月
	広報企画委員長	(福)北海道共同募金会		平成26年4月 ～平成27年3月
城間 祥之	理事	NPO法人「札幌ITフロント」		平成26年4月 ～平成27年3月
	講演会参加/運営	札幌なにかかができる経済人ネットワーク		平成27年3月10日
上遠野 敏	炭鉱の記憶推進事業団運営委員、各種活動に参加	NPO炭鉱の記憶推進事業団		平成26年4月 ～平成27年3月
	芸術の森活性化プロジェクト/100万人委員会委員	(公財)札幌市芸術文化財団		平成26年4月 ～平成27年3月
齋藤 利明	理事	特定非営利活動法人 テレビ日本美術家協会		平成26年4月 ～平成27年3月
羽深 久夫	札幌市南区定山溪地区まちづくり協議会委員	札幌市南区定山溪地区まちづくり協議会		平成26年4月 ～平成27年3月
	札幌市南区芸術の森地区まちづくり推進会議 特別委員	札幌市南区芸術の森地区まちづくり推進会議		平成26年4月 ～平成27年3月
	札幌市南区芸術の森地区「雪明かりの祭典」実行委員会 委員	札幌市南区芸術の森地区「雪明かりの祭典」実行委員会		平成26年4月 ～平成27年2月
	札幌市南区「こまおか夏祭り」実行委員会 委員	札幌市南区「こまおか夏祭り」実行委員会		平成26年4月 ～9月
	札幌市南区石山地区まちづくり協議会委員 (石山商店街振興組合理事として)	札幌市南区石山地区まちづくり協議会		平成26年4月 ～平成27年3月
	NPO法人北の民家の会 理事長・事務局	NPO法人北の民家の会理事長・事務局		平成26年4月 ～平成27年3月
	NPO法人日本民家再生協会 会員	NPO法人日本民家再生協会		平成26年4月 ～平成27年3月
	NPO法人アルテピアッツア美唄 会員	NPO法人アルテピアッツア美唄		平成26年4月 ～平成27年3月
	芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会 会員	芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会		平成26年4月 ～平成27年3月
	札幌市南区芸術の森地区文化祭実行委員会 委員	札幌市南区芸術の森連合町内会		平成26年8月 ～11月
	札幌市保養センター駒岡運営協議会 委員	札幌市環境福祉事業団		平成26年4月 ～平成27年3月
	北海道中小企業家同友会札幌支部南地区会 会員	北海道中小企業家同友会		平成26年4月 ～平成27年3月
	札幌市南区商店街連絡協議会 会員	札幌市南区商店街連絡協議会		平成26年4月 ～平成27年3月
細谷 多聞	理事	北海道デザインマネジメントフォーラム		
町田 佳世子	女性の地位向上および男女共同参画の実現を目指した活動	NPO法人日本BPW連合会 BPW札幌クラブ		平成26年4月 ～平成27年3月



教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
矢部 和夫	湿原再生のアドバイザーとしての役割	NPOフラット南幌		平成26年4月 ～平成27年3月
	道内の自然を守る活動（常務理事）	NPO北海道自然保護協会		平成26年4月 ～平成27年3月
	湿原植生のアドバイザーとしての役割	NPOキウシト湿原の会		平成26年4月 ～平成27年3月
	副理事長として活動を推進した	NPO湿原研究所		平成26年4月 ～平成27年3月
吉田 和夫	「CASBEE札幌」の環境性能表示ラベルの作成	札幌市（環境局）	3年生8名	平成26年12月 ～平成27年1月
	2017冬季アジア札幌大会ポスターデザイン制作	(公財)第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会	4年生4名	平成26年4月 ～平成27年6月
	かかりつけ医普及啓発事業ステッカーデザイン	札幌市（保健福祉局）	3年生8名	平成26年8月～12月
	保養センター駒岡PRイメージ検討（VIデザイン）	札幌市（保健福祉局）	3年生5名	平成26年11月 ～平成27年3月
	地下鉄真駒内駅構内ホーム等イラストレーションデザイン	札幌市（南区）	3年生9名	平成26年5月 ～平成27年3月
	自転車押し歩き推進事業 推進広告ポスターの企画制作	札幌市（市民まちづくり局）	3年生4名	平成26年12月 ～平成27年2月
	中山峠喜茂別町サイン看板デザイン	喜茂別町		平成26年9月～10月
	中央消防署モザイクアート2014制作協力	中央消防署		平成26年6月～9月
吉田 恵介	隊長として地域振興活動を支援	八剣山発見隊		平成26年4月 ～平成27年3月
	まちづくり協議会魅力開発部会委員として企画立案	簾舞連合町内会		平成26年4月 ～平成27年3月
	会長として札幌市、北海道新聞、野菜ソムリエ等からなる研究会を運営	札幌の農業を考える会		平成26年4月 ～平成27年3月
	ボランティアハンドブックの編集委員	札幌市公園緑化協会		平成26年4月 ～平成27年3月
	真駒内花壇デザイン	札幌市（南区）		平成26年11月 ～平成27年2月
齊藤 雅也	札幌市円山動物園 ゾウ導入方針 報道発表・公開用資料提供	札幌市円山動物園	4名	平成26年11月28日
	グリーンピアザ2014報告会（新さっぽろ地区グリーンカーテン栽培・普及プロジェクト報告会）	(株)札幌副都心開発公社+ (株)アズビル	2名	平成26年10月15日
	2014年グリーンカーテン普及プロジェクトへの協力+「芸森地区文化祭」への参加	札幌市南区芸術の森地区 まちづくりセンター	4名	平成26年6月～11月
	余市エコカレッジ「学び舎」改修デザインのアドバイザー	北海道エコビレッジ推進 プロジェクト		平成26年4月 ～平成27年3月
	夏季の暑熱環境緩和についての講義（小学校6年生対象）	札幌市立常盤小学校	1名	平成26年9月2日
	建築環境分野 専門委員	北海道トップランナー ネットワーク構築会議 (HTNC)		平成26年4月 ～平成27年3月
	高柳邸（札幌市北区）：住宅の温熱環境についての解説および見学会	日本建築家協会（JIA）北 海道支部		平成26年11月23日



教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
武田 亘明	web・ドメイン・サーバ管理、運営・外部対応などに関する活動	情報と教育フォーラム「オンコの木」		平成26年4月～平成27年3月
	web・ドメイン・サーバ管理、運営・外部対応などに関する活動	ハイパー風土記札幌 InterCityOroppas運営委員会		平成26年4月～平成27年3月
	web・ドメイン・サーバ管理、運営・外部対応などに関する活動	ネットワークコミュニティフォーラム事務局		平成26年4月～平成27年3月
	事務局活動、ワークショップ等プロジェクト企画運営（運営委員）	札幌メディアアートフォーラム		平成26年4月～平成27年3月
	会運営に関する活動（理事）	北海道高齢者ハートフル共同住宅・地域ケア協議会		平成26年4月～平成27年3月
	障害者就労支援、人材育成支援およびメディア戦略検討プロジェクト等の主催（代表）	北海道企画デザイン研究会、教育とコンピュータ利用研究会	10名	平成26年4月～平成27年3月
山田 良	芸術の森地区ゆきあかりの祭典支援	札幌南シーニックバイウエイ		平成26年12月～平成27年1月
	杜舞台アートプロジェクト支援	isa環境芸術推進会議		平成26年4月～平成27年3月
石田 勝也	札幌理容師会 チカホ就活イベント用映像作成	札幌理容師会		平成26年4月
	北海道のクリエイティブ産業の東アジア地域におけるPR	クリエイティブ北海道		平成26年6月23日
上田 裕文	緩和ケア病床廊下装飾	市立札幌病院	4名	平成26年4月
	例大祭への参加、風車づくりワークショップ、写真撮影会	寿都町	33名	平成26年7月
	現代アートの世界にふれる旅・モニターバスツアー	札幌市立大学		平成26年9月13日
大淵 一博	イベント用モザイクアートの制作指導等	札幌市中央消防署		平成26年5月～9月
	リサイクル家具アートの制作指導等	札幌市（環境局）	6名	平成26年6月～7月
	真駒内駅舎内壁面アート・南区オリジナルうちのデザイン制作指導等	札幌市（南区）	10名	平成26年4月～7月
	奥洞爺ブランドロゴのデザイン制作指導等	壮瞥町商工会	40名	平成26年7月～平成27年1月
	札幌市長グリーティングカードのデザイン制作指導等	札幌市（国際部）	22名	平成26年7月～12月
	法語カレンダーの挿絵デザイン制作指導等	浄土真宗本願寺派善住寺	10名	平成26年4月～5月
	特別養護老人ホームのロゴデザイン制作指導等	（福）愛和福祉会	7名	平成26年12月～平成27年3月
三谷 篤史	子ども向けロボット講習会の実施、運営	北海道ロボット教育推進会		平成26年2月15日、3月15日
	第14回ロボット・トライアスロンの実施	ロボット・トライアスロン実行委員会	9名	平成26年9月14日
金子 晋也	環境広場さっぽろ2014において研究活動の紹介	環境広場さっぽろ2014実行委員会		平成26年8月1日～3日
須之内 元洋	「すいどうフェスタ」でのワークショップ開催	札幌青少年女性活動協会	6名	平成26年6月21日～22日
	レコードのリサイクル活動「Reco」の作品制作・イベント企画	NPO法人 ezorock	6名	平成16年9月20日



看護学部

教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
中村 恵子	専門看護師認定委員会	日本看護協会		平成26年4月 ～平成27年3月
宮崎 みち子	外部顧問として運営に従事	ゆいネット北海道		平成26年4月 ～平成27年3月
	運営委員	性暴力被害者支援センターSACRACHO		平成26年4月 ～平成27年3月
	会員：留学生支援・日本文化紹介	北海道国際女性協会		平成26年10月 3・27日
	胎児の生命を守る活動	円ブリオ北海道		平成26年4月 ～平成27年3月
	北海道結婚・妊娠・出産・育児総合ポータルサイト構築事業及び結婚応援フォーラム委託事業申請への協力	(株)JTB		平成26年4月～6月
猪股 千代子	北海道を拠点に年間20回程度、こころのケアを患者さまや看護職者に実践	統合医療ヘルスケアシステム開発機構ハマナス・音楽&看護療法研究会		平成26年4月 ～平成27年3月
	神経難病患者への音楽&看護療法の成果と実際	第38回全国パーキンソン病患者大会開催行事		平成26年6月18日
河原田 まり子	札幌市立大学・道総研研究交流会研究報告(ポスター)	北海道立総合研究機構		平成26年11月頃
	ノースティック財団研究開発助成事業審査委員会専門委員	(公財)北海道科学技術総合振興センター		平成26年6月 ～平成27年3月
川村 三希子	ちえのわ代表 緩和ケア病棟見学会 ちえのわ街なかカフェ～がんと暮らしの知恵いろいろ～リンパ浮腫の予防とセルフケア	NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会 がん患者家族のための情報提供支援事業 ちえのわ代表		平成26年4月 ～平成27年3月
	常任幹事	札幌ホスピス緩和ケアネットワーク		平成26年4月 ～平成27年3月
スーディ神崎 和代	医療ボランティア団体支援 (バザー等)	やさしさジェントル		平成26年4月1日 ～平成27年3月31日
大野 夏代	看護師によるマッサージボランティア活動	手稲溪仁会病院ボランティア		平成26年4月18日、5月9日、5月16日、6月13日、7月25日、8月22日、9月19日、9月26日、10月3日、11月7日、11月21日、12月5日、12月19日、平成27年1月9日、1月30日、3月13日
貝谷 敏子	札幌芸術の森運営協議会委員	(公財)札幌市芸術文化財団		平成26年4月 ～平成27年3月
菊地 ひろみ	幹事	札幌ホスピス緩和ケアネットワーク		平成26年4月 ～平成27年3月
清水 光子	札幌市中央区社会福祉協議会評議員	(福)札幌市中央区社会福祉協議会		平成26年4月 ～平成27年3月



教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
清水 光子	子宮頸がん普及啓発プロジェクトのワークショップ	札幌市（保健福祉局）		平成26年4月 ～平成27年3月
菅原 美樹	第5回ミニ大通りお散歩まつり 救護班	第5回ミニ大通りお散歩まつり実行委員会		平成26年9月14日
村松 真澄	炭鉱の記憶推進事業団運営委員、各種活動に参加	NPO炭鉱の記憶推進事業団		平成26年4月 ～平成27年3月
	地域交流ボランティア同好会actの学生と住民への口腔の健康教育の企画運営	奔別アートプロジェクト	6名	平成26年8月31日
	研究成果発表での助言	徳洲会札幌病院		平成26年9月、 平成27年3月
	健康教育の企画運営、学生参加事業調整担当、地域交流ボランティア同好会actの学生と活動	第5回ミニ大通りお散歩祭り実行委員会	5名	平成26年9月14日
	地域交流ボランティア同好会actの学生と住民への口腔の健康教育の企画運営	清水沢アートプロジェクト	5名	平成26年9月28日
	地域交流ボランティア同好会actの学生と健康フェスタのスタッフとしてボランティア及び口腔の健康のポスター展示	中央区健康フェスタ2014	5名	平成26年10月4日
	ポスター展示、リーフレット配布	南区健康フェスタ2014		平成26年11月19日
田中 広美	看護師・介護福祉士の研究指導	西区勤医協病院		平成26年4～10月 (月1回)
	専任教員養成講習会にて研究方法の指導	北海道保健福祉部看護政策グループ		平成26年6月～8月
	研究成果発表での助言	徳洲会札幌病院		平成26年9月、 平成27年3月
藤井 瑞恵	講演会会場係、相談会会場係	北海道腎臓病協会	6名	平成26年7月4日、 10月12日
	けんこうフェスタ2014inちゅうおう 出展	札幌市（中央区）	5名	平成26年10月4日
	中央区食育ネットワーク会議	札幌市（中央区）		平成27年1月20日
三上 智子	試合大会の救護活動	グリーンイーグルスサッカースポーツ少年団		平成26年8月1日 ～3日
	南区健康まつりへの転倒予防マットレスの出展	南区保健センター		平成26年10月23日
渡邊 由加利	性暴力被害者支援センター北海道 運営委員	NPO法人ゆいねと北海道		平成26年4月 ～平成27年3月
	ママサポートタクシー 妊産褥婦を乗車させる際の留意点について	第一交通㈱		平成26年4月21日
	ママサポートタクシー 妊産褥婦を乗車させる際の留意点について	協和交通		平成26年8月27日
	『プレパパ・プレママ・育児パパ・ママを応援するおしゃべりサロン』企画運営	個人での活動		平成26年11月29日
工藤 京子	役員会出席、総会司会、医療講演会企画と運営、会報誌発行4回/年	北海道低肺の会		毎月1回+適宜
田仲 里江	桑園地区のまちづくりセンターでの行事に学生と参加	桑園地区ボランティア	8名	平成26年9月7日
			6名	平成26年10月19日
御厩 美登里	事務局担当	北海道ホームヘルスケア研究会		平成26年4月 ～平成27年3月



8) マスメディアへの掲載

デザイン学部

教員名	内容	掲載媒体	掲載日
蓮見 孝	時論	茨城新聞	平成27年2月15日
上遠野 敏	アートプロジェクト8月23日開幕 複数会場舞台に 広域的な展示も模索	北海道新聞	平成26年5月21日
	炭鉱遺産 記憶プロジェクト2014 現代アートに	北海道新聞	平成26年8月30日
	炭鉱はいま 巡る地蔵車、廃駅活用も アートプロジェクト2014 目を引くユニーク作品	北海道新聞	平成26年9月20日
	そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト 近代化再発見 格好の場 圧倒する遺構 息づく作品群	北海道新聞	平成26年9月22日
	スーパーニュース 特集・進化する歴史ファンタジー観光 昭和の記憶と現代アートの融合 廃墟に生まれた新しい命	UHB	平成26年9月30日
	そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト2014	じゃらん10月号	平成26年10月
	炭鉱舞台に現代アート展 フォトスクランブル	毎日新聞	平成26年10月5日
	北の歴史と遺産を語りつぐということの意味	北海道生活3月号	平成27年3月
	他に北海道新聞11件掲載、BSフジ及びJ:COM テレビ番組1件放映、プレス空知1件掲載、朝日新聞1件掲載、札幌国際芸術祭2014関連雑誌・書籍2件掲載		
石崎 友紀	ワンワンパッコロキャラともワールド	NHK	
羽深 久夫	探る見る札幌+「古民家鑑定」	北海道新聞	平成26年7月31日
原 俊彦	釧路と苫小牧 来年人口逆転	北海道新聞	平成26年4月12日
	道内14歳以下11.6% 全国3番目の低さ	北海道新聞	平成26年4月17日
	道内自治体、対策に苦悩、市区町村8割で若年女性半減	北海道新聞	平成26年5月10日
	今日ドキ 道内8割のマチが消滅	HBC	平成26年5月19日
	日本創成会議発表の「消滅可能性都市」30年後に北海道から8割の自治体が消える?	月刊クオリティ	平成26年6月14日
吉田 和夫	2017冬季アジア札幌大会ポスターデザイン: 「市立大生デザインのポスターで盛り上げる冬季アジア大会」	月刊クオリティ	平成26年9月号
	中央区まちづくりPRのイメージデザイン選考委員会: 顔写真、審査風景、審査コメントの掲載	広報さっぽろ(中央区版)	平成27年1月号
吉田 恵介	南区再発見	広報さっぽろ(南区版)	毎月配布
	ふらっとホーム2014 イン南区	札幌市Webサイト(南区役所)	平成27年1月19日
柿山 浩一郎	町と札幌市大が連携事業(科研Aの活動)	室蘭民報	平成26年10月7日
	東豊線新型車両「9000形」の導入について(本学学生がデザインに関する意見交換会をおこなった)	札幌市交通局Webサイト	平成26年10月31日



教員名	内容	掲載媒体	掲載日
斉藤 雅也	まちダネっ！緑のカーテン育てよう	北海道新聞	平成26年6月10日
	道内の専門家ら15人が研究、出版*雪との暮らし方 高齢者のヒントに*健康、雪かき、幸福感、住まい...幅広く紹介	北海道新聞	平成26年6月16日
	真駒内のコミュニティ暖房検討 札幌市立大 斉藤雅也准教授	北海道建設新聞	平成26年7月8日
	第743回 円山動物園の熱環境デザイナー 札幌市立大学 斉藤雅也さん	札幌人図鑑Webサイト	平成26年7月13日
	太陽熱利用 居住者自身の維持管理が重要	北海道住宅通信社	平成27年1月25日
	周壁の表面温度が快適性の鍵	北海道住宅新聞社	平成27年1月25日
	ライフスタイルの反映を パッシブ研が大合宿 札幌市立大の斉藤准教授が講演	北海道住宅通信社	平成27年3月10日
武田 亘明	北海道博物館ロゴマーク制作	読売新聞	平成27年3月5日
山田 良	Sprouting Garden	北海道新聞	平成26年7月21日
	Nakanosawagawa House	Designboom	平成27年2月23日
	Nakanosawagawa House	Archi Daily	平成27年3月22日
石田 勝也	ほっとニュース北海道 統一地方選挙公報CM制作	NHK	平成27年3月18日
上田 裕文	灰色の時間 虹色に	北海道建設新聞	平成26年4月10日
	病床前「メルヘンの森」に	北海道新聞	平成26年4月21日
	道内に樹木葬の森を	北海道新聞	平成26年6月10日
	日・独の「樹木葬」を知ろう	北海道新聞	平成26年10月13日
	樹木葬の森 北海道に	北海道新聞	平成26年10月27日
大淵 一博	駅ナカアート制作	広報さっぽろ5月号	平成26年5月1日
	奥洞爺プロジェクト	北海道新聞(胆振版)	平成26年7月26日
	「フォトモザイクアート2014」開催	札幌市Webサイト	平成26年9月19日
	札幌市長グリーティングカード制作	読売新聞	平成26年12月10日
片山 めぐみ	風のごはんや	北海道応援マガジン JP01 Vol3 2014春	平成26年4月1日
	北海道集落対策ハンドブック～集落の明日の暮らしを考えるヒント(風のごはんや)	ハンドブック	平成26年5月1日
	「北海道歴史探訪」喜茂別だより弁当について	FMアップル(エフエムとよひら)	平成26年6月21日
	「五感で味わう喜茂別弁当」	北海道新聞	平成26年6月26日
	「旧岡崎邸アートで再生」(喜茂別町「峠むこうのふる里づくり」)	北海道新聞	平成26年8月1日
	札幌☆取扱説明書(風のごはんや)	ハンドブック	平成26年12月1日
	「ほっかいどう元気びと」コミュニティデザインについて	HBCラジオ	平成26年12月28日
	広がるコミュニティ・レストラン～「公共する食卓」づくりガイドブック(風のごはんや)	ハンドブック	平成26年12月28日
	「北海道経済ナビ」風のごはんや	TVH	平成27年2月22日



教員名	内容	掲載媒体	掲載日
小宮 加容子	子どもの新たな遊び提案 市立大講師ら研究報告	北海道新聞	平成26年6月21日
	「飛び出せ車いす」(第一火曜日)に出演	三角山放送局ラジオ	毎週
杉本 達應	創造都市さっぽろ #10「札幌国際芸術祭2014 コロガル公園」	UHB	平成26年8月24日
福田 大年	ボードゲーム ファン急増	北海道新聞	平成26年6月7日
	子どもの新たな遊び提案 市立大講師ら研究報告	北海道新聞	平成26年6月21日
	24色で彩る“北海道ココロカラー”発表	STV	平成26年10月23日
	北海道 24の「色」に	朝日新聞	平成26年10月24日
	この色、北海道 札幌市立大など24種選定	北海道新聞	平成26年10月25日
松永 康佑	ビジネスEXPO 2014 会場インタビュー https://www.youtube.com/watch?v=Rp15q5zoCSY&feature=share	Web	
三谷 篤史	ロボットカー「動いた」札幌市立大企画親子向けイベント	北海道新聞	平成26年8月25日
	LEDスタンド作りに挑戦! 青少年科学館で土曜工作教室(http://atubetsu.ma-arui.jp/topics/941)	マ・アル厚別(道新デジタルメディア)	平成27年3月20日
須之内 元洋	文化面 札幌国際芸術祭コラム	北海道新聞	平成26年6月16日
	ポジティブ部	FM North Wave	平成26年7月11日
	エコチルテレビ	UHB	平成26年7月19日
	Gratitude Live From 札幌・札幌国際芸術祭2014 スペシャル	J-WAVE ラジオ	平成26年7月22日
	Sparkle Sparkle	AIR-G FM 北海道 ラジオ	平成26年8月15日
	カーナビラジオ午後一番!	HBC ラジオ	平成26年8月15日

看護学部

教員名	内容	掲載媒体	掲載日
樋之津 淳子	産官学連携し人材育成	北海道新聞	平成26年5月10日
	診る北の医療	北海道新聞	平成26年12月24日
河原田 まり子	医療・保健ジャーナリスト西内氏の取材を受けて本学保健師教育に関する記事を掲載した	保健指導リソースガイドのサイト	平成26年6月
川村 三希子	医療情報 街中で発信 千人来場 大きな手応え がん患者を支える専門家が街に出た「ちえのわ・街なかカフェ」	北海道新聞	平成26年7月16日
スーディ神崎 和代	認知症予防の市民セミナー開催:札幌市立大学のスーディ教授が講演	BEST NURSE6月号	平成26年6月
	第22回道老人保健施設大会特別講演:認知症のあした	介護新聞	平成26年9月18日
	自分の意思の具体的表明へ、日ごろから話し合いを	BEST NURSE9月号	平成26年9月
松浦 和代	国民健康ニュース「股関節脱臼ハイリスク児の看護」	テレビ:モンゴル第2放送	平成26年8月29日



教員名	内容	掲載媒体	掲載日
松浦 和代	股関節脱臼ハイリスク児の看護	モンゴル看護師協会看護新聞8月号	平成26年8月
	育児指導の技術向上へーモンゴルの看護師市立大で研修	読売新聞	平成27年2月27日
大野 夏代	国民健康ニュース「股関節脱臼ハイリスク児の看護」	テレビ：モンゴル第2放送	平成26年8月29日
	股関節脱臼ハイリスク児の看護	モンゴル看護師協会看護新聞8月号	平成26年8月
	市立大カフェのあるべき姿を一旧真駒内緑小跡地で意見交換	北海道建設新聞	平成26年9月5日
	育児指導の技術向上へーモンゴルの看護師市立大で研修	読売新聞	平成27年2月27日
清水 光子	真駒内駅中アート 南区版	広報さっぽろ4月号	平成26年4月
	国民健康ニュース「股関節脱臼ハイリスク児の看護」	テレビ：モンゴル第2放送	平成26年8月29日
	股関節脱臼ハイリスク児の看護	モンゴル看護師協会看護新聞8月号	平成26年8月
	大学生が子宮頸がん検診を啓発	HTBイチオシモーニング	平成27年1月21日
	子宮頸がんどう啓発 大学生がワークショップ	北海道新聞	平成27年1月22日
	育児指導の技術向上へーモンゴルの看護師市立大で研修	読売新聞	平成27年2月27日
村松 真澄	のみこみ安心ネット札幌第2回公開研修会	北海道医療新聞	平成26年4月18日
	口腔の健康に健口体操の紹介	UHB「U型ライブ」	平成26年4月30日
神島 滋子	高次脳機能障害者のためのパーソナルノート作成および評価の支援	脳外傷友の会コロポックルHP	平成26年4月1日
	高次脳機能障害者のためのパーソナルノート作成および評価の支援	ベストナース8月号	平成26年7月20日
工藤 京子	第3回いわて在宅酸素呼吸器患者の会の中で、北海道の患者会の現状などを紹介	岩手日報 11面(生活)	平成26年10月7日
田仲 里江	札幌市立大学 デザイン学部との連携授業に取り組む	ALL About	平成26年6月13日
	大学生が子宮頸がん検診を啓発	HTBイチオシモーニング	平成27年1月21日
	子宮頸がんどう啓発 大学生がワークショップ	北海道新聞	平成27年1月22日
御厩 美登里	自分の意思の具体的表明へ、日ごろから話し合いを	BESTNURSE9月号	平成26年9月

教育支援プロジェクトセンター

教員名	内容	掲載媒体	掲載日
藪谷 祐介	真駒内の未来を考えるまちづくりアイデアコンペ	北海道建設新聞	平成26年10月21日
	真駒内の未来を考えるまちづくりアイデアコンペ	北海道新聞	平成26年10月28日



2 公開講座開催実績

1) 札幌市立大学主催

開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
平成26年5月31日	訪問看護スキルアップ講座 2014 ① 在宅におけるがん療養者の緩和ケア ～ペインコントロールを中心に～	川村 三希子 (看護学部教授) 佐藤 明美 (札幌医科大学附属病院が ん性疼痛看護認定看護師)	68
平成26年6月2日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 国道453号線をグリーンカーテンでつなげよう ウェルカムロードプロジェクト2014キックオフ 勉強会～グリーンカーテンによる涼房効果～	斉藤 雅也 (デザイン学部准教授)	27
平成26年6月14日	事前指示書について考える会 ～自分らしく生き、自分らしい最期を迎えるた めに～	スーディ神崎 和代 (看護学部教授)	46
平成26年6月21日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 親子メカトロ教室～走れ！ロボットカー～	三谷 篤史 (デザイン学部講師)	60
平成26年7月12日	クリエイティブ・コーディング・スクールin さっぽろ① ～Processingでコーディング入門～	杉本 達應 (デザイン学部講師)	22
平成26年7月26日	クリエイティブ・コーディング・スクールin さっぽろ② ～D3.jsでデータビジュアラゼーション～	山田 興起 (武蔵野美術大学非常勤講師)	17
平成26年8月24日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 メカトロ講座～ロボットカーを走らせよう～	三谷 篤史 (デザイン学部講師)	20
平成26年8月30日	クリエイティブ・コーディング・スクールin さっぽろ③ ～Max/MSPでVJパフォーマンス～	石田 勝也 (デザイン学部講師)	20
平成26年9月9日	「気持ち良い体験」をしよう ～呼吸法・マッサージによる医療者のセルフケ アのススメ～	大野 夏代 (看護学部准教授) 山本 勝則 (看護学部教授) 鶴木 恭子 (天使大学講師) 山本 礼美子 (看護師)	30
平成26年9月11日	市民と共につくる看護学教育 ～看護教育における模擬患者参加型演習～	樋之津淳子 (看護学部教授)、ほか	23
平成26年9月13日	クリエイティブ・コーディング・スクールin さっぽろ④ ～openFrameworksでアルゴリズム表現～	田所 淳 (東京芸術大学非常勤講師)	18
平成26年10月18日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 札幌芸術の森：紅葉の中の彫刻	矢部 和夫 (デザイン学部教授)	16
平成26年10月29日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 札幌市立大学看護学部のモンゴル支援	松浦 和代 (看護学部教授) 大野 夏代 (看護学部准教授)	29
平成26年11月1日	江別市での情報交換会 「在宅での看取りを叶えるために」 ～市民・看取りを経験した家族・専門職の連携 で～	内藤 貴文 (ないとうクリニック医師)	50
平成26年11月8日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 アメリカ小説の女性たち ① ～アメリカ文学と女性－イントロダクション～	松井 美穂 (デザイン学部講師)	4
平成26年11月16日	訪問看護スキルアップ講座 2014 ② 認知症ケア講座	スーディ神崎 和代 (看護学部教授)	35



開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
平成26年11月29日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 アメリカ小説の女性たち ② ～ケイト・ショパン『目覚め』(1899)～	松井 美穂 (デザイン学部講師)	2
平成26年12月20日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 アメリカ小説の女性たち ③ ～ゾラ・ニール・ハーストン『彼らの目は神を見ていた』(1937)～	松井 美穂 (デザイン学部講師)	4
平成27年1月10日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 アメリカ小説の女性たち ④ ～カーソン・マッカーズ『悲しき酒場の唄』(1943)～	松井 美穂 (デザイン学部講師)	6
平成27年1月31日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 アメリカ小説の女性たち ⑤ ～シルヴィア・プラス『ベル・ジャー』(1963)～	松井 美穂 (デザイン学部講師)	4
平成27年2月1日	事前指示書について考える会 ～自分らしく生き、自分らしい最期を迎えるために～	スーディ神崎 和代 (看護学部教授)	38
平成27年2月13日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 真駒内のまちづくりを考える ～ヨーロッパの先進事例を通して～	杉本 達應 (デザイン学部講師) 藪谷 祐介 (教育支援プロジェクトセンターCOC部門特任助教)	35

2) 共催講座：「さっぽろ市民カレッジ」連携講座

開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
平成26年 7月22日・29日	札幌の文化財建築探訪〈夏〉～豊平館の探検～	羽深 久夫 (デザイン学部教授) 松本 優 ((公財)文化財建造物保存技術協会技術主任)	21
平成26年 11月4日・11日	札幌の文化財建造物探訪〈秋〉～豊平館の修理と活用工事～	羽深 久夫 (デザイン学部教授) 松本 優 ((公財)文化財建造物保存技術協会技術主任)	12
平成27年 2月24日・3月3日	札幌の文化財建造物探訪〈冬〉～時計台と豊平館附属棟の計画～	羽深 久夫 (デザイン学部教授) 松本 優 ((公財)文化財建造物保存技術協会技術主任)	24



3 外部団体等への就任状況

デザイン学部

教員名	名称／自治体名・主催団体名
蓮見 孝	<ul style="list-style-type: none"> ・茨城県総合計画審議会委員会／副会長／茨城県 ・茨城県総合計画審議会総合部会／委員長／茨城県 ・いばらきデザインセレクション審査委員会／委員長／茨城県 ・茨城県イメージアップ大賞審査委員会／委員／茨城県 ・都心まちづくり計画策定協議会／委員／札幌市 ・札幌市北3条広場愛称選定委員会／委員長／札幌市 ・真駒内まちづくりアイデアコンペ審査委員会／委員長／札幌市
酒井 正幸	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代博物館検討委員会／委員／札幌市 ・円山動物園の森協議会／委員／札幌市 ・図書館協議会／委員／札幌市 ・元気デザイン向上事業ワーキンググループ／委員／札幌市 ・日本女性会議実行委員会総会／委員／札幌市 ・第6回ものづくり大賞北海道地域D選考委分科会／委員／経済産業省
城間 祥之	<ul style="list-style-type: none"> ・「平成26年度 札幌市生活保護電算事務システム再構築に係る工程管理業務」の発注に係る業者選定委員会／委員／札幌市 ・札幌市特別児童扶養手当事務システム開発業務の業者選定委員会／委員／札幌市 ・「札幌市敬老優待乗車証、札幌市障がい者交通費助成の対象者及びICカード管理システム開発業務」の業者選定委員会／委員／札幌市 ・平成27年度情報処理技術専門スタッフ業務の業務発注に係る審査委員会／委員／札幌市
上遠野 敏	<ul style="list-style-type: none"> ・空知地域づくり推進委員会&ガイドマニュアル専門部会／委員／空知総合振興局 ・そらち「炭鉱の記憶」提案活動選定委員会／委員／空知総合振興局
石崎 友紀	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術の森工芸部専門委員会／委員長／（公財）札幌市芸術文化財団
中原 宏	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道建築士審査会／会長／北海道 ・旧職員住宅跡地公募提案審査委員会／委員長／札幌市 ・札幌市中高層建築物紛争調整委員会／委員／札幌市 ・真駒内緑小跡地施設・企業選考審査委員会／委員／札幌市 ・真駒内緑小跡地愛称選定委員会／委員／札幌市
羽深 久夫	<ul style="list-style-type: none"> ・豊平館修理整備等検討委員会／委員長代理／札幌市 ・札幌芸術の森運営協議会／委員／（公財）札幌市芸術文化財団 ・北海道地域づくりアドバイザー／委員／北海道 ・札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓定山溪ルート運営代表者会議／委員／札幌市南区 ・厚真町古民家再生推進協議会／委員長／厚真町 ・喜茂別町水の郷喜茂別まちづくり振興基金事業選定審査会／委員／喜茂別町 ・喜茂別町地域防災委員会／委員／喜茂別町 ・喜茂別町民間賃貸住宅促進事業公募型プロポーザル審査委員会／委員／喜茂別町
原 俊彦	<ul style="list-style-type: none"> ・国立社会保障・人口問題研究所研究評価委員会／委員長／厚生労働省 ・内閣府「選択する未来」委員会「日本の人口の現状・課題等に関する勉強会」／委員／内閣府 ・石狩市総合計画策定委員会／委員／石狩市
細谷 多聞	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌スタイル認証審査委員会／委員長／札幌市 ・札幌スタイルブランドマネジメント委員会／委員／札幌市
町田 佳世子	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭裁判所 参与員／委員／裁判所 ・北海道立近代美術館協議会／委員／北海道 ・（一財）札幌市水道サービス協会評議員会／委員／札幌市
矢部 和夫	<ul style="list-style-type: none"> ・植生凡例検討委員会／委員／環境省 ・釧路湿原自然再生協議会／委員／環境省・国土交通省 ・美々川自然再生事業技術検討委員会／委員／北海道 ・平岡公園原っぱ会議／委員／札幌市緑化推進部 ・円山動物園の森協議会／委員／円山動物園 ・成東・東金食虫植物群落保護検討会作業部会／委員／千葉県山武市 ・石狩川下流幌向地区自然再生ワークショップ／委員長／国土交通省・江別河川事務所
吉田 和夫	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌市広告アドバイザー会議／委員／札幌市 ・中央区まちづくりPRのイメージデザイン選考委員会／委員／札幌市 ・元気デザイン向上事業企画運営会議／委員／札幌市



教員名	名称／自治体名・主催団体名
吉田 恵介	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市公園緑化協会／理事／札幌市 札幌市環境影響評価審議会／委員／札幌市 札幌市屋外広告物審議会／委員／札幌市 丘珠縄文遺跡公園整備基本構想計画検討委員会／委員／札幌市 北海道縄文遺跡群保存管理計画検討会／委員／北海道 民族共生の象徴となる空間における民族共生公園基本構想検討会／委員／国土交通省 美瑛町住生活基本計画及び美瑛町公営住宅等長寿命化計画策定にかかる策定委員会／委員長／美瑛町
斉藤 雅也	<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎建設基本・実施設計アドバイザー／委員／北広島市 生涯学習センター改築基本設計業務プロポーザル選定委員会／委員／上士幌町 中高層建築物紛争調整委員会／委員／札幌市
武田 亘明	<ul style="list-style-type: none"> 北海道学校・家庭・地域の連携による教育活動促進事業推進委員会／委員長／北海道 第12期北海道生涯学習審議会／副会長／北海道 「視聴覚教育・情報教育功労者表彰」選考委員会／委員／北海道 札幌市視聴覚センター意見を聞く会／委員／札幌市 北海道札幌藻岩高等学校学校評議員会／委員／札幌市 札幌市立西岡小学校学校評議員会／委員／札幌市 北海道博物館「愛称・ロゴマーク」選考委員会／副委員長／北海道
山田 良	<ul style="list-style-type: none"> 定山溪地区まちづくり協議会／委員／札幌市南区 札幌南シーニックバイウエイ協議会／委員／札幌市
上田 裕文	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市みどりの審議会／委員／札幌市 北海道特定開発行為審査会／委員／北海道
大淵 一博	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市公式外国語ホームページ等制作業務公募型プロポーザル選定委員会／委員／札幌市
片山 めぐみ	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動の場整備支援事業審査委員会／委員／札幌市 札幌市都市景観審議会／委員／札幌市 「子どもの体験活動の場」運営事業者選考委員会／委員／札幌市
福田 大年	<ul style="list-style-type: none"> 札幌スタイル認証審査委員会／委員／札幌市 札幌スタイルブランドマネジメント委員会／委員／札幌市

看護学部

教員名	名称／自治体名・主催団体名
中村 恵子	<ul style="list-style-type: none"> 医道審議会 保健師助産師看護師分科会／委員／厚生労働省 救急業務検討委員会／委員／札幌市 プロトコール専門委員会／委員／札幌市 救急安心センターさっぽろ運営会議／委員／札幌市
宮崎 みち子	<ul style="list-style-type: none"> 独立行政法人日本学術振興会／委員／日本学術振興会
河原田 まり子	<ul style="list-style-type: none"> 北海道建築審査会／委員／北海道
川村 三希子	<ul style="list-style-type: none"> 北海道がん対策推進委員会委員／委員／北海道
松浦 和代	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市都市計画審議会／委員／札幌市
清水 光子	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市地域包括支援センター運営協議会／委員／札幌市 札幌市桑園地区民生児童委員準備会／委員／札幌市 子宮頸がん普及啓発プロジェクト実行委員会／委員長／札幌市
守村 洋	<ul style="list-style-type: none"> 北海道精神医療審査会／委員／北海道 札幌市社会福祉協議会権利擁護審査会／委員長／札幌市 札幌市社会福祉総合センター管理運営委員会／委員長／札幌市 札幌市自殺対策実施担当者意見交換会／委員／札幌市
山内 まゆみ	<ul style="list-style-type: none"> 保健師助産師看護師試験委員会／委員／厚生労働省
田仲 里江	<ul style="list-style-type: none"> 子宮頸がん普及啓発プロジェクト実行委員会／委員／札幌市



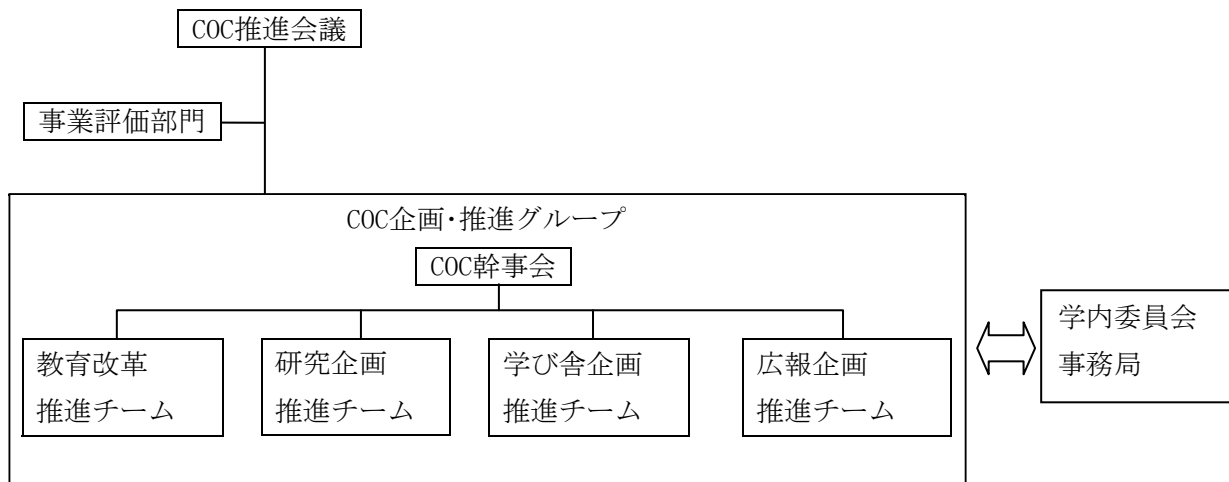
4 ウェルネス×協奏型地域社会の担い手育成「学び舎」事業（COC事業）

1) 概要

平成25年度に公募された文部科学省の「地（知）の拠点整備事業」に本学が申請し、採択された「ウェルネス×協奏型地域社会の担い手育成『学び舎』事業」（事業期間：平成25～29年度）について、引き続き事業に取り組んだ。

本事業は、札幌市立大学と札幌市が連携し、札幌市南区の廃校となった小学校の一部に「COCキャンパス（COC=Center of Community）」を設置し、本学の学生をはじめ、多世代・多セクターの人々が学び、交流し合う「学び舎」として整備し、「地域志向」の教育、研究、社会貢献活動を推進するものである。

2) 実施体制



3) 平成26年度の主な事業実績

年月日	事業実績	担当
平成26年4月14日 ・21日・28日・6月2日・9日・16日・23日・30日	SCUまちの教室大学院授業公開「ソシオデザイン特論」（講師：蓮見孝学長）	学び舎企画推進チーム（SCUまちの教室班）
平成26年5月1日	スタートアップ演習 地域訪問	教育改革推進チーム
平成26年5月22日	平成26年度COC共同研究費採択通知	研究企画推進チーム
平成26年6月2日	平成26年度COC学内組織新体制発令	全学
平成26年6月2日	SCUまちの教室公開講座「国道453号線をグリーンカーテンでつなげよう ウェルカムロードプロジェクト 2014キックオフ勉強会」（講師：斉藤雅也准教授）	学び舎企画推進チーム（SCUまちの教室班）
平成26年6月21日	SCUまちの教室公開講座「親子メカトロ教室 走れ！ロボットカー」（講師：三谷篤史講師）	学び舎企画推進チーム（SCUまちの教室班）
平成26年7月2日	全学FD研修会「教員および地域住民ファシリテーター養成に向けて」（講師：studio-L・コミュニティデザイナー 西上ありさ氏） 第1回まちの先生運営会議「まちの先生大集合！」	学び舎企画推進チーム（SCUまちの先生班）
平成26年7月24日	スタートアップ演習 活動報告会	教育改革推進チーム



年月日	事業実績	担当
平成26年8月5日	全学FD研修会「カリキュラムにおける地域志向を考える」	教育改革推進チーム
平成26年8月24日	SCUまちの教室公開講座「メカトロ講座・ロボットカーを走らせよう」（講師：三谷篤史講師）	学び舎企画推進チーム（SCUまちの教室班）
平成26年8月25日	第1回コミュニティカフェ座談会「コミュニティカフェを考えよう！！」	学び舎企画推進チーム（SCUまちの談話室班）
平成26年9月25日	南区高齢者ニーズ調査結果報告会	研究企画推進チーム
平成26年10月18日	SCUまちの教室公開講座「札幌芸術の森：紅葉の中の彫刻」（講師：矢部和夫教授）	学び舎企画推進チーム（SCUまちの教室班）
平成26年10月18日	第2回コミュニティカフェ座談会「コミュニティカフェを考えよう！！」	学び舎企画推進チーム（SCUまちの談話室班）
平成26年10月22日 ～26日	さっぽろデザインウィーク2014に参加（パネル展示）	広報企画推進チーム（催事班）
平成26年10月23日	南区健康まつりに参加	広報企画推進チーム（催事班）
平成26年10月25日	さっぽろデザインウィーク2014に参加（イベント開催）「SCUまちの先生inチ・カ・ホ（講師：札幌LRTの会・副会長 白井寛氏）」	広報企画推進チーム（催事班）・学び舎企画推進チーム（SCUまちの先生班）
平成26年10月29日	SCUまちの教室公開講座「札幌市立大学看護学部のモンゴル支援」（講師：松浦和代教授、大野夏代准教授）	学び舎企画推進チーム（SCUまちの教室班）
平成26年11月8日 ・29日・12月20日 ・1月10日・31日	SCUまちの教室公開講座「アメリカ小説の女性たち」（講師：松井美穂講師）	学び舎企画推進チーム（SCUまちの教室班）
平成26年11月11日 ・14日・21日 ・25日・12月2日 ・9日・1月20日	SCUまちの教室大学院授業公開「建築環境学特論」（講師：斉藤雅也准教授）	学び舎企画推進チーム（SCUまちの教室班）
平成26年11月19日	全学FD研修会「地域志向性を取り入れたカリキュラムを考える」	教育改革推進チーム
平成26年12月20日	第3回コミュニティカフェ座談会「コミュニティカフェを考えよう！！」	学び舎企画推進チーム（SCUまちの談話室班）
平成27年1月13日	学部連携演習発表会・展示	教育改革推進チーム
平成27年2月10日	全学FD研修会「異分野連携科目（地域セミナー）を実現する」	教育改革推進チーム
平成27年2月13日	SCUまちの教室公開講座「真駒内のまちづくりを考える～ヨーロッパの先進事例を通して～」（講師：杉本達應講師、藪谷祐介COC特任助教）	学び舎企画推進チーム（SCUまちの教室班）
平成27年2月21日	第4回コミュニティカフェ座談会「コミュニティカフェを考えよう！！」	学び舎企画推進チーム（SCUまちの談話室班）
平成27年3月16日	COC事務局をCOCキャンパスへ移転	全学
平成27年3月21日	札幌市立大学COCキャンパス まちの学校プレオープン！	全学



5 空知旧産炭地域における「炭鉱(やま)の記憶」をキーワードにした地域再生のための アートマネジメント人材育成事業 (文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業)

1) 概要

北海道空知旧産炭地域の「炭^{やま}鉱の記憶」をキーワードにした地域再生を目的としたアートマネジメント人材育成にあたり、本学のアート、デザインに関する教員、学生、教育研究機能、施設・資料等と空知旧産炭地域の地域資産である炭^{やま}鉱遺産施設、公共施設等を活用したアートプロジェクト、ワーク^{やま}ショップ、研修等の企画、実施を通して実践的な人材育成を行う。

※「炭^{やま}鉱の記憶」：地域の炭^{やま}鉱が栄えた当時の姿・様子（産業・石炭生産の姿、まちなみ・風景、炭^{やま}鉱に働く人々の働く姿・暮らし・文化など）を、現在に語り継ぐ、様々な記録や情報

2) 実施体制

事業推進責任者：上遠野 敏

事業分担者：上田 裕文

3) 主な事業実績

年月日	事業実績
平成26年5月31日	研修1 アートと「炭 ^{やま} 鉱の記憶」によるまちづくり（受講者7名）
第1部 平成26年6月7日 第2部 平成26年6月8日	研修2 札幌国際芸術祭と地域連携～出展作家とのワークショップ～（受講者9名、学生スタッフ5名、一般参加者7名、地域住民協力者3名）
平成26年6月21日	研修3 アートプロジェクト現地調査（受講者7名、学生スタッフ・作家23名）
平成26年8月8日	研修4 札幌国際芸術祭に学ぶ（受講者7名、公開講座13名）
平成26年8月23日～10月13日 ※土、日、祝開催	研修5 「そらち炭 ^{やま} 鉱の記憶アートプロジェクト」開催（受講者14名、入場者4,300名）
平成26年12月10日～12月27日	研修6 「マネジメントの実践と企画展」開催（受講者10名、学生スタッフ8名、入場者300名）
平成26年12月20日	研修7 海外のギャラリストに学ぶ（受講者6名、学生スタッフ8名、入場者30名）
平成27年1月10日	研修8 マネジメントの検証（受講者4名、学生スタッフ4名）



6 専門職支援・セミナー講師等

1) 専門職支援

①認定看護管理者教育課程サードレベル

平成26年度受講者15名（修了者15名）

開催期間	教科目/時間	単元	講義・演習 (時間数)	講師
第Ⅰ期（12日間） 平成26年8月25日 ～9月9日 第Ⅱ期（14日間） 平成26年11月4日 ～21日 第Ⅲ期（12日間） 平成27年1月6日 ～22日	保健医療福祉政策論/33時間	1.社会保障の概念	講義(3)	★大平 幸治
		2.諸外国の保健医療福祉	講義(3)	スーディ神崎和代
		3.保健医療福祉政策	講義(6)	★矢野 公一 ★石田 宗博
		4.看護制度・政策	講義(6)	★齋藤 訓子
		5.制度・政策に影響を及ぼす看護管理者	講義(3)	★齋藤 訓子
		6.保健医療福祉政策演習	演習(9)	★工藤 昭子 ★須田 倫子 ★松田 久代 猪股 千代子 古都 昌子
		7.小論文プレゼンテーション	演習(3)	中村 恵子 猪股 千代子 古都 昌子
	保健医療福祉組織論/30時間	1.保健医療福祉サービスのマーケティング	講義(6)	★松下 博宣
		2.組織デザイン論	講義(6)	★永池 京子
		3.ヘルスケアサービスの創造	講義(6)	★砂山 圭子 スーディ神崎和代
		4.保健医療福祉組織論統括演習	演習(12)	★勝見 真澄 ★土井 正子 ★中村 敦子 猪股 千代子 古都 昌子
	経営管理論/60時間	1.医療福祉と経済論	講義(6)	★大内 講一
		2.医療福祉経営	講義(6)	★工藤 高
		3.財務管理	講義(6)	★玉川 真弓
		4.経営分析	講義(6)	★水野 克也
		5.ヘルスケアサービスの経営と質管理・経済性	講義(9)	★宮城 領子 ★児玉 真利子
		6.看護経営の今後のあり方	講義(6)	★齋竹 一子 ★深澤 優子
		7.労務管理	講義(6)	★和田 昌代 ★榎引 久丸
		8.人材フローのマネジメント	講義(3)	★樋口 春美
		9.危機管理	講義(3)	★加藤 久美子



開催期間	教科目/時間	単元	講義・演習 (時間数)	講師
第Ⅰ期(12日間) 平成26年8月25日 ～9月9日 第Ⅱ期(14日間) 平成26年11月4日 ～21日 第Ⅲ期(12日間) 平成27年1月6日 ～22日	経営管理論/60時間	10.経営管理論演習	演習(9)	★生江 裕子 ★樋渡 ひとみ ★萩原 直美 猪股 千代子 古都 昌子
	看護経営者論/51時間	1.経営者論	講義(6)	★河野 總子 中村 恵子
		2.管理者の倫理的意思決定	講義(6)	★近藤 ときえ 中村 恵子
		3.看護事業の開発と起業	講義(6)	★鈴木 英樹 ★原田 典子
		4.実習	実習(27)	猪股 千代子 古都 昌子
		5.特別講義	講義(6)	★榮木 実枝
統合演習/15時間	1.統合演習	演習(15)	★加藤 久美子 ★近藤 ときえ ★佐々木 衿子 ★的場 由紀子 猪股 千代子 古都 昌子	

★印：非常勤講師



2) セミナー講師等

① デザイン学部

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者等
蓮見 孝	平成26年4月1日 ～平成27年3月31日	「筑波大学特別講義ー大学と学問ー」	筑波大学
	平成26年5月21日	「クロストーク」ゲストスピーカー	(一社)日本デザインコンサル タント
	平成26年8月8日	「医療デザイン研究センター」開設式講演	名古屋市立大学病院
	平成26年8月21日	公益財団法人全国調理師養成施設協会 講師	(公財)全国調理師養成施設協 会 関東甲信越地区協議会
	平成26年12月5日	茨城大学COC事業キックオフシンポジウム 講演会 講師	茨城大学
	平成27年2月2日	平成26年度第2回どうなん地域づくりセミ ナー 講師	函館開発建設部
酒井 正幸	平成26年6月18日	北のユニバーサルデザイン協議会 講演会 講師	特定非営利活動法人 北の ユニバーサルデザイン協議 会
	平成26年10月31日	「さっぽろ市民カレッジ2014秋期講座」講 師	(公財)札幌市生涯学習振興財 団
	平成26年11月18日	「さっぽろ活用促進ゼミ～さつ活2014」で の講演	札幌市 (市長政策室)
石崎 友紀	平成27年3月28日	造形活動の実技研修会 講師	札幌・石狩地区幼児放送教 育研究会
杉 哲夫	平成26年11月1日	中小企業家同友会第8期経営者大学『経営学 コース』講師	北海道中小企業家同友会
武邑 光裕	平成26年7月10日 ～11日	「アートカレッジ in びえい」教育サポー ター	美瑛町教育委員会
	平成26年10月22日	浜松市創造都市推進会議勉強会 講師	浜松市創造都市推進会議
羽深 久夫	平成25年7月1日 ～8月31日	平成26年度工芸館企画事業の実施にかかる検 討会議等への派遣	(公財)札幌市芸術文化財団
	平成26年7月22日・ 29日	さっぽろ市民カレッジ・札幌市立大学連携講 座 講師	(公財)札幌市生涯学習振興財 団
	平成27年2月24日・ 3月3日	「さっぽろ市民カレッジ2015冬期講座」講 師	(公財)札幌市生涯学習振興財 団
原 俊彦	平成26年6月24日	第42回全道結婚相談研究協議会講演会 講師	特定非営利活動法人北海道 マリッジ・カウンセリング センター
	平成26年8月21日	弟子屈町「人口減少下における弟子屈町のま ちづくり」講師	弟子屈町
	平成26年9月5日・ 10月8日	「選択する未来」委員会における日本の人口 の現状・課題等に関する勉強会 講師	内閣府政策統括官 (経済社 会システム担当)
	平成26年10月22日	道新室蘭政経文化懇話会講演会 講師	道新室蘭政経文化懇話会
	平成27年2月13日	第1回北のシニアビジネス交流会in札幌 講 師	法務会計プラザパートナ ーズ会
	平成27年2月19日	厚真町まちづくり講演会 講師	厚真町



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者等
矢部 和夫	平成26年6月22日	「平岡公園春の湿生植物観察ツアー」	(公財)札幌市公園緑化協会
	平成26年6月28日	苫小牧市美術博物館大学講座 講師	苫小牧市美術博物館
	平成26年7月1日 ～平成27年3月31日	室蘭建設管理部管内河川等に係る環境学習会等の講師	北海道(胆振総合振興局)
	平成26年7月31日 ～8月2日	トライアス☆カル2014実行委員会・体験学習 講師	江別市教育委員会・トライアス☆カル実行委員会
	平成26年9月27日	湿地保全講演会 講師	豊田市自然観察の森
吉田 和夫	平成26年5月14日 ～平成27年3月31日	2017冬季アジア札幌大会ポスター選考アドバイザー	(公財)第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会
吉田 恵介	平成26年11月8日	ふらっとホーム2014in南区～市民と市長の2時間談義～司会	札幌市(南区)
斉藤 雅也	平成26年6月9日 ～平成27年3月20日	新庁舎建設設計業務アドバイザー	北広島市
	平成26年10月8日・11日	平成26年度北海道旭川西高校「SS特別講座」講師	北海道旭川西高校
	平成26年11月17日	熊本県立大学 特別講師	熊本県立大学
	平成27年1月13・21・28日	BIS認定事業に係る養成講習会並びに更新講習会 講師	(一社)北海道建築技術協会
武田 亘明	平成26年12月13日	平成26年度後志地域教育力向上研究会第1回研修会 講師	後志地域教育力向上研究会
片山 めぐみ	平成26年9月4日	「まちづくり研修会」講師	(一社)北海道まちづくり協議会
	平成26年11月25日	「かしまみらいカフェ」への講師派遣について	(公社)かしま青年会議所
福田 大年	平成26年7月15日	(公財)日本技術士会北海道本部平成26年度第1回研修会 講師	(公財)日本技術士会北海道本部青年技術士交流委員会
	平成26年9月24日	(公財)日本技術士会北海道本部平成26年度第2回研修会 講師	(公社)日本技術士会
	平成26年10月8日	札幌市養護教員会厚別ブロック研修会 講師	札幌市養護教員会
	平成27年2月21日	北海道理学療法士会札幌支部 特別講演講師	(公社)北海道理学療法士会札幌支部
	平成27年3月3日	平成26年度札幌市養護教員全市研究会分科会講師	札幌市養護教員会



② 看護学部

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
中村 恵子	平成26年9月7日	日本救急看護学会主催基礎病態セミナー（福岡会場）の講師「救急看護師の役割」	（一社）日本救急看護学会
	平成26年9月11日	看護職復職支援講習会の講師「看護職をめぐる最近の動向」	札幌市（保健福祉局）
	平成26年10月2日、3日	平成26年度看護師救急医療業務実地修練の講師「救急患者への対応とトリアージ」ワークショップ「救急トリアージの実際」	（一財）日本救急医療財団
	①平成26年10月29日 ②平成26年11月7日	公益社団法人北海道看護協会の講師第1回①「看護管理の概要」②「看護管理者の役割と活動」	（公社）北海道看護協会
	①平成27年1月27日 ②平成27年1月30日	公益社団法人北海道看護協会の講師第2回①「看護管理の概要」②「看護管理者の役割と活動」	（公社）北海道看護協会
樋之津 淳子	平成26年7月～8月	平成26年度専任教員養成講習会の講師「看護論」	北海道（保健福祉局）
山本 勝則	平成26年11月15日	公益社団法人北海道看護協会札幌第一支部看護研究発表会の講師	（公社）北海道看護協会札幌第一支部
猪股 千代子	平成26年6月18日	一般社団法人全国パーキンソン病友の会北海道支部医療講演会の講師「神経難病患者への音楽&看護療法の成果と実際」	（一社）全国パーキンソン病友の会北海道支部
	平成26年6月28日	日本アロマテラピー学会平成26年度北海道・東北地方会の講師「統合医療におけるアロマテラピーの可能性」	（一社）日本アロマテラピー学会
	平成26年1月～平成27年3月	北海道済生会小樽病院看護部看護指導の講師「統合医療と看護ケア」	（福）恩賜財団済生会支部北海道済生会小樽病院
河原田 まり子	平成26年6月21日	全国保健師教育機関協議会北海道・東北ブロック北海道地区会議（第1回）教育実践報告の講師	（一社）全国保健師教育機関協議会
	平成27年2月9日	平成26年度看護職員研修「看護研究発表会」の講師「看護研究論文の査読・看護研究発表の講評」	札幌市病院局市立札幌病院
川村 三希子	平成26年5月9日、10日、11日	第11回ELNEC-Jコアカリキュラム指導者養成プログラムの講師	（特非）日本緩和医療学会
	平成26年5月17日	日本ホスピス緩和ケア協会「北海道支部 第12回年次大会」の講師「大切な人をなくした方へのケア～さまざまな立場から」	（特非）日本ホスピス緩和ケア協会北海道支部
	平成26年7月26日、27日	北海道大学病院腫瘍センター主催ELNEC-Jコアカリキュラム看護師養成プログラムの講師	北海道大学病院
	平成26年9月18日、19日	独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター看護師教育「ELNEC-J」の講師	（独）国立病院機構北海道がんセンター
	平成26年11月30日	札幌ホスピス緩和ケアネットワーク定例会の講師「看取り講座ワークショップin札幌」	札幌ホスピス緩和ケアネットワーク
	平成27年2月13日、14日、15日	NPO法人日本ホスピス緩和ケア学会ELNEC-J指導者養成プログラムの講師	（特非）日本ホスピス緩和ケア学会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
定廣 和香子	平成26年7月～8月	平成26年度専任教員養成講習会の講師「看護論」	北海道（保健福祉局）
スーディ神崎 和代	平成26年6月4日	新陽パソコン倶楽部 Project SHINYO 情報通信月間参加行事の講師「ICTでE-KURASHI」	新陽パソコン倶楽部 Project SHINYO
	平成26年8月22日	一般社団法人北海道老人保健施設協議会第22回北海道老人保健施設大会の講師「めざそう夢のある老健を」	（一社）北海道老人保健施設協議会
	平成26年9月11日	看護職復職支援講習会の講師「高齢者看護の特徴、在宅看護の実際」	札幌市（保健福祉局）
	平成26年9月18日、19日	平成26年度訪問看護師要請講習会（北海道委託事業）の講師「Ⅱ 訪問看護対象論」	（公社）北海道看護協会
	平成26年10月18日	公益社団法人北海道看護協会札幌第4支部看護師職能委員会講演会の講師「『個』を理解して地域につなぐ～異文化アセスメント～」	（公社）北海道看護協会 札幌第4支部
	平成26年10月25日	エーザイ株式会社南北北海道統括部第1回夕張認知症ケアフォーラムの講師	エーザイ（株）南北北海道統括部
松浦 和代	平成26年6月25日、27日	平成26年度新人看護職員研修制度における実地指導者研修の講師「新人看護職員の学習支援」	（大）札幌医科大学附属病院
	平成26年11月10日	帯広大谷高等学校思春期保健講演会の講師「10代を生きるみなさんへのメッセージ～見つめよう 心と体、そして性～」	（学）帯広大谷学園 帯広大谷高等学校
上村 浩太	平成26年10月31日	特定非営利活動法人北海道子育て支援ワーカーズ千歳市緊急サポートネットワークの講師「病児・病後児保育の基礎A～保育管理・代表的な症状や疾患への対応」「病児・病後児保育の基礎B～病気の子の心理とその対応」	（特非）北海道子育て支援ワーカーズ
	平成26年11月10日	特定非営利活動法人北海道子育て支援ワーカーズおたるファミリーサポートセンター提供会員養成講習会の講師「病児支援の基礎知識」	（特非）北海道子育て支援ワーカーズ
大野 夏代	平成26年6月～7月 平成26年10月～11月	IMSグループ看護部職員新卒入職者対象精神的サポート”ほっとライン”面談講師「入職1ヵ月後面」「入職6ヵ月後面談」	IMSグループ
貝谷 敏子	平成26年4月20日	第39回創傷・スキンケア研究会の講師「看護に取り入れたい経済学的評価方法」	金沢大学医薬保健研究域保健学系創傷・スキンケア研究会
	平成26年8月9日	看護職員研修会「看護研究 基調講義」の講師「研究方法について学ぶー課題に基づいた研究デザインの選択、概念枠組みを知るー」	札幌市病院局市立札幌病院
	平成26年8月30日	第16回日本褥瘡学会学術集会教育講演8の講師「エビデンスに基づいたドレッシング材の選択ードレッシング材の基本とスキンケアの基本知識ー」	第16回日本褥瘡学会学術集会
	平成27年3月19日	平成26年度褥瘡委員会学習会の講師	（公社）勤医協札幌西区病院



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
菊地 ひろみ	平成26年10月23日、 24日	平成25年度訪問看護師養成講習会総合演習助 言者	(公社) 北海道看護協会
清水 光子	平成26年7月11日	平成26年度札幌シニア大学講座の講師「認知 症の方と家族をサポートする地域福祉活動に ついて」	(一社) 札幌市老人クラブ 連合会
菅原 美樹	平成27年2月9日	平成26年度看護職員研修「看護研究発表会」 の講師「看護研究論文の査読・看護研究発表 の講評」	札幌市病院局市立札幌病院
古都 昌子	平成26年10月9日、 10日	平成26年度中国四国グループ内実習指導者講 習会の講師	(独) 国立病院機構 中国 四国グループ
村松 真澄	平成26年4月12日	『のみこみ安心ネット・札幌』公開研修会の 講師「口腔ケアの必要性・重要性」	のみこみ安心ネット・札幌
	平成26年6月11日	北海道大学大学院歯学研究科高齢者歯学研究 科高齢者歯科学教室の講師「在宅訪問歯科診 療」	北海道大学大学院歯学研究 科高齢者歯学研究科高齢者 歯科学教室
	平成26年7月9日	平成26年度全道ホームヘルプサービス研究大 会分科会の講師「ホームヘルパーのための口 腔ケアとアセスメント」	北海道ホームヘルプサービ ス協議会
	平成26年8月21日	口腔ケアについての講演会の講師	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院
	平成26年10月25日	平成26年度北海道ホームヘルプサービス協議 会札幌・石狩・空知地区の講師「ホームヘル パーのための口腔ケアの実践」	北海道ホームヘルプサービ ス協議会
守村 洋	平成27年1月20日	千歳市こころのケア講座の講師	千歳市
山田 典子	平成26年7月23日	公益社団法人あおもり被害者支援センター 相談員・支援員に対する性犯罪被害者に関 する研修の講師「性犯罪被害者支援とは(概 論)」	(公社) あおもり被害者支 援センター
	平成26年10月4日	浦安市市民フォーラム分科会「WHO推奨 セーフコミュニティに学ぶ」の講師「セーフ コミュニティの広がりを目指して」	日本市民安全学会
	平成26年12月13日	山梨県女性相談所、女性の人権サポートく ろーばー共催事業の講師「女性と子どもを守 るまちづくり」	山梨県立男女共同参画推進 センター
太田 晴美	平成26年7月4日	リーダーシップ研修、災害研修の講師	滝川市立病院
	平成26年7月7日	市立釧路総合病院の講師「・看護課長補佐研 修Ⅰ「チームへの教育的関わり」(計画作 成)・看護課長補佐研修Ⅱ「チームへの教育 的関わり」(実践報告)」	市立釧路総合病院
	平成26年8月8日	平成26年度 地域別総合防災研修<北海道>の 講師	明治大学危機管理研究セン ター/有名人材育成研修タス クフォース
	平成26年8月28日、 29日	「災害看護研修会(南空知支部)」の講師	(公社) 北海道看護協会
	平成26年9月9日	救急隊員研修会の講師「災害現場におけるト リアージ」	北広島市消防署
	平成26年9月11日	看護職復職支援講習会の講師「グループ意見 交換」	札幌市(保健福祉局)



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
太田 晴美	平成26年10月25日	小規模病院等看護技術強化事業主催臨床研修会の講師「災害看護」	北海道自治体病院協議会/小規模病院等看護技術強化研修事業
	平成26年11月1日	一般社団法人札幌臨床検査技師会第20回札幌セミナーの講師「緊急検査」	(一社) 札幌臨床検査技師会
	平成26年11月6日	リーダーシップ研修の講師	滝川市立病院
	平成26年11月10日、12月5日	苫小牧市立病院 災害訓練・災害研修	苫小牧市立病院
	平成26年11月11日、14日	医療法人溪仁会法人本部看護職リーダー研修会の講師「災害看護と管理」	(医) 溪仁会法人本部
	平成26年11月17日	北海道立子ども総合医療・療育センター災害対策についての講演会の講師「災害の現状と災害に対する心構え(仮)」	北海道立子ども総合医療・療育センター
	平成26年11月26日	北海道開発局防災セミナーの講師「災害看護について」	北海道開発局
	平成27年1月24日	北海道自治体病院協議会 小規模病院等看護技術強化研修事業(釧路) 災害看護研修の講師	北海道自治体病院協議会/小規模病院等看護技術強化研修事業(釧路)
	平成27年2月12日	手稲溪仁会病院災害看護研修の講師	(医) 溪仁会手稲溪仁会病院
	平成27年2月18日	平成26年度地域保健関係職員研修「保健危機管理に関する研修」の講師	札幌市(保健福祉局)
	平成27年3月3日	平成26年度北海道農政事務所防災研修の講師「業務継続計画の運用に資する訓練に向けた演習(仮題)」	農林水産省北海道農政事務所
	平成27年3月4日	JA北海道厚生連札幌厚生病院メンター研修の講師	JA北海道厚生連北海道厚生農業協同組合連合会札幌厚生病院
平成27年3月9日	リーダーシップ研修の講師	滝川市立病院	
神島 滋子	平成26年8月～平成27年2月	札幌市立大学看護学部OSCE体験コースの講師	(医) 溪仁会手稲溪仁会病院 (公) 札幌市立大学
田中 広美	平成26年6月～8月	平成26年度専任教員養成講習会の講師「研究方法(演習)」	北海道(保健福祉部)
原井 美佳	平成26年7月12日	北のくらしと地域ケア研究所ケアアセスメントに関する研修会の講師「高齢者の尿失禁～アセスメントとケアの方法」	北のくらしと地域ケア研究所
藤井 瑞恵	平成26年11月15日	北海道看護協会札幌第一支部看護研究発表会の講師	(公社) 北海道看護協会 札幌第一支部
三上 智子	平成26年7月9日	北海道札幌平岸高等学校健康講話の講師「高校生としての性への対応について」	北海道札幌平岸高等学校
山内 まゆみ	平成26年11月15日、16日	一般社団法人日本母乳の会第24回ワークショップの講師	(一社) 日本母乳の会
山本 真由美	平成26年5月16日	独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター「看護研究計画書の作成について」の研修会講師	(独) 国立病院機構北海道がんセンター
渡邊 由加利	平成26年8月27日	協和交通株式会社 社員研修の講師「妊産婦と送迎の仕方」	協和交通(株)



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
工藤 京子	平成26年8月 ～平成27年2月	札幌市立大学看護学部OSCE体験コースの講師	(医) 湊仁会手稲湊仁会病院 (公) 札幌市立大学
多賀 昌江	平成25年5月11日、 9月7日	ワーキングマタニティスクールの講師「お勤めしている妊婦さんとパートナーのための教室」	(財) 母子衛生研究会
坂東 奈穂美	平成26年7月4日	滝川市立病院リーダーシップ研修の講師	滝川市立病院
	平成26年9月11日	札幌市保健福祉局看護職復職支援講習会の講師「グループ意見交換」	札幌市 (保健福祉局)
星 幸江	平成26年4月25日	医療法人社団研成会札幌鈴木病院外来看護師の看護課程の学習会	医療法人社団研成会札幌鈴木病院

③ 教育支援プロジェクトセンター

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者等
藪谷 祐介	平成26年12月1日	サイエンス・カフェでの講演会 講師	サイエンストークをやる会代表
	平成27年1月24日	第1回さっぽろ若者会議 講師	さっぽろ若者会議



7 国際交流実績

教員名	内容	
平成26年6月29日 ～7月6日	派遣	華梵大学（台湾）とのデザインワークショップ実施（学生15名、教員2名）
平成26年7月	交流協定更新	清華大学美術学院（中国）交流協定更新
平成26年7月1日	派遣	清華大学美術学院（中国）にて交流協定記念講演派遣（教員1名）
平成26年7月7日 ～14日	受入	清華大学美術学院（中国）の研究訪問として関係者受入（教員1名）
平成26年8月5日	受入	国立台中科技大学（中国）関係者来学（教員6名）
平成26年8月 ～平成27年7月	派遣	ラップランド大学（フィンランド）へ留学（学生1名）
平成26年8月中旬 ～9月下旬の1ヵ月半	派遣	フィンランドロヴァニエミ市でインターンシップ（学生3名）
平成26年9月5日	受入	ポーランドの関係者を受入 札幌市の国際交流部と連携（札幌市4名、ポータランド2名）
平成26年9月10日	受入	華梵大学（台湾）関係者図書館視察受入（教員1名）
平成26年9月25日 ～平成27年8月31日	受入	華梵大学（台湾）特別聴講留学生受入（学生1名）
平成26年10月2日	受入	JENESYS2.0 ASEAN メディア訪日団（フィリピン大学生）の受け入れを行った。（学生30名）
平成26年10月19日 ～24日	受入	承德医学院（中国）短期交流プログラム実施（学生5名、教員1名）
平成26年10月30日 ～11月5日	派遣	清華大学美術学院（中国）30周年記念学会における基調講演にて特別講演、学会コーディネータとして派遣（教員2名）
平成26年11月5日 ～7日	派遣	ラップランド大学（フィンランド）で実施されたサステナビリティウィークに教員を派遣（教員2名）
平成26年12月3日 ～10日	派遣	清華大学美術学院（中国）主催のワークショップへ参加（教員1名、学生4名）
平成26年12月5日 ～10日	受入	ラップランド大学（フィンランド）関係者受入（教員3名）
平成26年12月5日	受入	フィンランドロヴァニエミ市関係者受け入れ（2名）
平成26年12月8日 ～11日		国立台中科技大学（台湾）へ学長訪問
平成27年2月17日 ～22日	派遣	ラップランド大学（フィンランド）で開催されたArctic Sustainable Art and Design(ASAD)ミーティングへの参加、研究打ち合わせのため派遣。（教員1名）
平成26年2月17日 ・22日	展示	ラップランド大学（フィンランド）で開催されたArctic Design weekで卒業生4名の作品を展示



8 JICA草の根技術協力事業

1) 概要

独立行政法人国際協力機構（以下、JICAという。）草の根技術協力事業は、日本の大学・地方自治体等の団体とJICAが共同で実施する、開発途上国の地域住民を対象とした協力活動である。平成25年度に本学がJICAに応募した草の根協力事業は、平成26年1月～平成28年3月までの2年3ヶ月間の事業として採択され、モンゴル国を対象として育児方法の指導の研修を実施した。

モンゴルでは、乳児の手足を伸展し身体全体をぐるぐると巻くような布おむつが伝統的に用いられている。このようなおむつの装着方法は、先天性股関節脱臼（developmental dysplasia of the hip）の原因となることが知られている。先天性股関節脱臼は、成人の変形性股関節症の原因にもなる代表的な股関節疾患であり、装具装着や手術による治療によっても痛みや可動域制限が生涯続くこともある。かつて日本は、布おむつを縦・横方向からきつく巻く習慣があったが、1960年代後半から乳児健診においてマスキリーニングや育児方法等の啓発に取り組み、先天性股関節脱臼の発症率を大幅に低下させた実績を有する。

日本の経験に基づき、おむつのあて方を含む育児方法の指導を行い、先天性股関節脱臼の予防を行う国際的技術協力活動が、本事業の目的である。

平成26年度は、第1回専門技術研修及び第2回招聘研修を実施した。専門技術研修ではモンゴル国のこども病院において先天性股関節脱臼のマスキリーニングと初期診療に従事している医療チームの育児指導担当者25名を対象とした。研修期間は1週間であり、モンゴル国立母子保健センターこども病院において講義等を行い、育児指導実施要項及び育児指導用教材を作成した。招聘研修ではモンゴル国のこども病院産後ケア病棟に勤務する小児看護師・助産師6名を対象とした。研修期間は2週間であり、本学における講義のほか、札幌市（保健福祉局保健所および病院局市立札幌病院）の協力のもと、見学および実習等の研修を行った。

2) 実施体制

【プロジェクトマネージャー】 中村 恵子

【担当者】 松浦 和代、上村 浩太、大野 夏代、清水 光子、三上 智子

【現地プログラムオフィサー】 BYAMBAA TSETSGEE（バヤンバ ツェツェゲー）氏

3) 平成26年度の主な事業実績

年月日	事業実績	開催地
平成26年8月27日 ～9月3日	第1回専門技術研修	モンゴル国（ウランバートル）
平成27年2月25日 ～3月11日	第2回招聘研修	日本（札幌）

参加研修員

国籍：モンゴル国

所属：モンゴル国立母子保健センターこども病院

人数：31名（第1回専門技術研修25名、第2回招聘研修6名）



9 サテライトキャンパスの利用状況

利用目的	学内利用件数	学外貸出件数	計
セミナー	24	0	24
会議	80	0	80 ※内訳 会議（学内者のみ）18 産学連携・会議（学外者を含む）62
学会	171	0	171
その他	41	0	41
合計	316	0	316



V キャリア支援活動

1 デザイン学部

1) 概要

デザイン学部キャリア支援委員会は、デザイン学部の学生を対象としたキャリア支援の取り組みを図る目的で平成20年4月に設立された。本委員会は、定例会議（毎月1回程度）において学生の支援方法及び企業へのPR・求人開拓活動などを協議し、コース毎の独自企画と連携しながら運営を行った。

平成20年4月には、キャリア支援室を開設し、教職員による就職相談体制を開始した。また、キャリア支援室は、後援会からの支援により、就職関連図書や什器などの備品・設備を整備した。平成21年5月には就職相談員1名を配置し、きめ細かく個別指導できる体制を整備した。活動実績の詳細については、下記のとおりである。

学部4年生への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導（就職相談、面接・履歴書・ES対策など）（平成26年4月～） ・学内企業説明会（平成26年4月～5月） ・求人情報の提供（随時）
学部3年生への支援 大学院1年生への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアガイダンス（平成26年4月～平成27年2月） ・就職活動ハンドブックの配布（平成26年4月） ・進路希望調査（平成26年10月） ・学内業界セミナー（平成27年1月～2月） ・求人情報の提供（随時） ・インターンシップ・企業実習情報の提供（随時）
後援会からの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就職模擬筆記試験（平成26年5月・11月・12月） ・履歴書用証明写真撮影補助（平成26年11月～） ・エントリーシート個別相談会（平成26年11月） ・デザイン系就職講話（平成26年12月） ・グループディスカッション対策講座（平成26年12月） ・模擬面接、履歴書添削（平成27年1月） ・企業情報誌購入（平成27年3月）
大学改革推進等事業（GP）による支援	<ul style="list-style-type: none"> ・企業デザイナーによるポートフォリオ講習会（平成26年5月・10月・12月） ・1年生対象早期キャリア講習会（平成26年6月・10月） ・OBOGによるポートフォリオワークショップ（平成26年7月） ・OBOGによる講演会（平成26年9月） ・メディアアーティスト等による講演会・ワークショップ（平成26年11月、平成27年1月） ・企業のデザイナーによる講演会（平成26年11月）

2) 支援体制

デザイン学部のキャリア支援は、本委員会の委員、4コースのゼミ担当教員及び事務局（学生課 学生支援係、就職相談員）が行っている。主な役割分担として、事業の企画・運営は本委員会の委員が、就職先の開拓は全教員及び学生支援係が、学生相談のうち専門分野に関わることはキャリア支援室の就職相談員及び学生支援係がそれぞれ行っている。



3) 就職・進学結果

(6期生) 平成27年3月卒業生

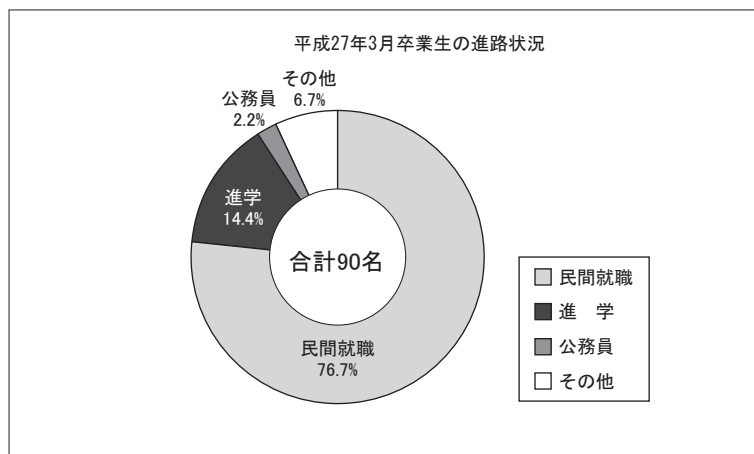
就職先	<p>■建設業 (株)一条工務店/(株)土屋ホームトピア/(株)藤和設計/(株)ファウンド</p>
	<p>■製造業 OGK技研(株)/(株)写真工房/シンセメック(株)/(株)須田製版/総合商研(株)/(株)大和パッケージ/東洋印刷(株)/(株)中川政七商店/プラス(株)/(株)ホワイトパープル/六花亭(株)</p>
	<p>■情報通信業（放送・ゲームソフト・インターネット関連・映像制作等） (有)アイウォズ・ア・バレリーナ/(株)アジェンダ/アドウェイズ(株)/NHN PlayArt(株)/(株)クリーク・アンド・リバー社/(株)ジャパンテクニカルソフトウェア/(同)ソーシャルクリエイト/太陽企画(株)/(株)DMM.com OVERRIDE/(株)桐光クリエイティブ/(株)トップシーン札幌/トランスコスモス(株)/(株)ネクスト夕張/(株)プリズム/(株)ホープス</p>
	<p>■卸売業・小売業 (株)アンテプリマジパン/(株)オカダヤ/(株)オルゴール堂/(株)北一硝子/久月(株)/(株)シャンブルドゥシャーム/大丸藤井(株)/(株)ハンプティエーダンプティエー/(株)ビショップ/(株)三好商会</p>
	<p>■専門・技術サービス業（デザイン業・広告業等） (有)アリカデザイン/(有)クォーターパックスクリエイティブ/(独)国際協力機構/(株)シビテック/(株)シミズオクト/(株)スタイル/スペースラボ(株)/(株)フロンティアコンサルティング/(株)マーケティング・コミュニケーション・エルグ</p>
	<p>■サービス業 (株)北の達人コーポレーション/(株)近畿日本ツーリスト北海道/(株)サントリーショッピングクラブ/日本ビジネスアート(株)/(株)パーキングマーケット/北海道アンソロボロジー(株)/(株)夢カンパニー</p>
	<p>■教育・学習支援業 (公財)さっぽろ青少年女性活動協会/(株)書峰社書道/国立大学法人等職員（旭川医科大学）</p>
	<p>■その他 日本グランデ(株)</p>
<p>■公務 札幌市役所（技術職：造園）/石狩市役所（建築）</p>	
進学先	<p>札幌市立大学大学院、北海道大学大学院、東京工業大学大学院、東京藝術大学大学院、札幌医療リハビリ専門学校</p>



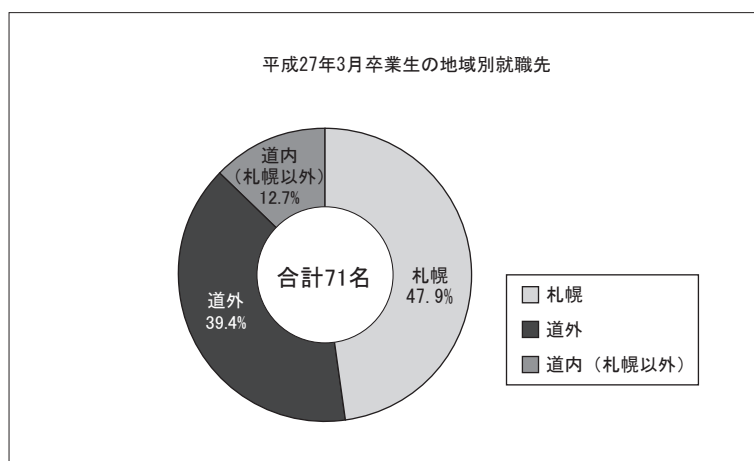
(6期生)

札幌市立大学デザイン学部 平成27年3月卒業生 就職状況 (平成27年5月1日現在)

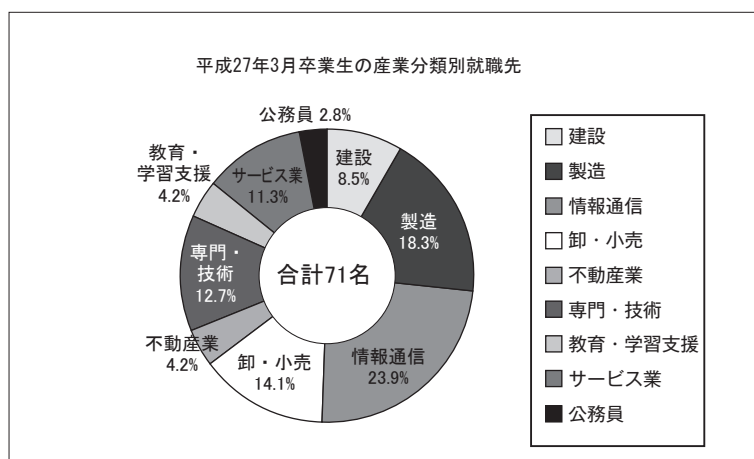
進路状況	人数(名)	割合(%)
民間就職	69	76.7
進学	13	14.4
公務員	2	2.2
その他	6	6.7
合計	90	—



地域別就職先	人数(名)	割合(%)
札幌	34	47.9
道外	28	39.4
道内(札幌以外)	9	12.7
合計	71	—



産業分類	人数(名)	割合(%)
建設	6	8.5
製造	13	18.3
情報通信	17	23.9
卸・小売	10	14.1
不動産業	3	4.2
専門・技術	9	12.7
教育・学習支援	3	4.2
サービス業	8	11.3
公務員	2	2.8
合計	71	—





4) コース別概要

(6期生) 平成27年3月卒業生

1. コース別進路状況

(単位：名)

コース	卒業生数①	1. 就職希望者		就職者 (起業含)		2. 進学希望者		3. その他 ⑥※2
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑤	
空間	22	16	2	15	2	5	5	1
製品	18	17	0	16	0	1	1	0
コンテンツ	30	25	0	24	0	3	3	2
メディア	24	17	0	16	0	4	4	3
合計	94	75	2	71	2	13	13	6
割合		79.8%	2.7%	94.7%(※1)	2.8%(※1)	13.8%	100.0%(※3)	6.4%
		②÷①		③÷②		④÷①	⑤÷④	⑥÷①

(備考)

※1：就職希望者に対する就職者の割合

※2：就職希望・進学希望以外の者（アルバイト・公務員浪人等、将来的な就職に関する進路選択をしたもの）

※3：進学希望者に対する進学先決定者の割合

2. 内定先の内訳（市内31社34名、道内9社9名、道外27社28名）

コース	道内企業（札幌市内含む）		道外企業
空間	市内	(株)ファウンド〔建設業:設計職〕 (株)土屋ホームトピア〔建設業:設計職〕 (株)書峰社書道〔書道教育・学習支援業:書道指導員〕 (株)シビテック〔専門・技術サービス業:総合職〕 札幌市（造園）〔公務:造園職〕	スペースラボ(株)〔専門・技術サービス業:技術職〕 プラス(株)〔製造業:営業職〕 (株)一条工務店〔建設業:設計職〕 (株)藤和設計〔建設業:設計職〕 (株)フロンティアコンサルティング 〔専門・技術サービス業:設計職〕
	道内	石狩市（建築）〔公務:建築職〕	(株)シミズオクト〔専門・技術サービス業:施行管理〕 独）国際協力機構（派遣）〔専門・技術サービス業:その他〕
製品	市内	(株)北の達人コーポレーション〔サービス業:企画職〕 北海道アンソロポロジー(株)〔サービス業:総合職〕 (株)ホワイトパープル〔製造業:デザイナー職〕 (株)スタイル〔専門・技術サービス業:総合職〕	(株)パーキングマーケット〔サービス業:営業職〕 (株)中川政七商店〔製造業:企画職〕 (株)サントリーショッピングクラブ〔サービス業:総合職〕 (株)オカダヤ〔卸・小売業:販売職〕
	道内	(株)北一硝子〔卸・小売業:販売職〕 国立大学法人等職員（旭川医科大学）〔教育・学習支援業:事務職〕 シンセメック(株)〔製造業:設計職〕	日本ビジネスアート(株)〔サービス業:アートディレクター職〕 (株)ハンブティーターダンブティーター〔卸・小売業:販売職〕 OGK技研(株)〔製造業:デザイナー職〕 (株)シャンブルドゥシャーム〔卸・小売業:販売職〕



コース	道内企業（札幌市内含む）		道外企業	
コンテンツ	市内	(株)アジェンダ〔情報通信業:企画職〕 (株)近畿日本ツーリスト北海道〔サービス業:総合職〕 (有)ア리카デザイン〔専門・技術サービス業:デザイナー職〕 (株)北の達人コーポレーション〔サービス業:企画職〕 総合商研(株)〔製造業:デザイナー職〕 (株)ホープス〔情報通信業:プログラマー〕 (株)マーケティング・コミュニケーション・エルグ 〔専門・技術サービス業:企画職〕 (株)DMM.com OVERRIDE〔情報通信業:デザイナー職〕 (公財)さっぽろ青少年女性活動協会 〔教育・学習支援業:指導員〕 (株)桐光クリエイティブ〔情報通信業:総合職〕 (同)ソーシャルクリエイト〔情報通信業:デザイナー職〕 (株)須田製版〔製造業:コーディネーション職〕 (株)写真工房〔製造業:デザイナー職〕	アドウェイズ(株)〔情報通信業:デザイナー職〕 NHN PlayArt(株)〔情報通信業:デザイナー職〕 トランスコスモス(株)〔情報通信業:Webデザイナー職〕 (有)アイウォズ・ア・バレリーナ 〔情報通信業:アシスタント〕	
	道内	(株)オルゴール堂〔卸・小売業:総合職〕 東洋印刷(株)〔製造業:デザイナー職〕 (株)大和パッケージ〔製造業:デザイナー職〕		
メディア	市内	大丸藤井(株)〔卸・小売業:総合職〕 (株)三好商会〔卸・小売業:総合職〕 (株)夢カンパニー〔サービス業:芸人〕 (株)ジャパンテクニカルソフトウェア〔情報通信業:SE職〕 (株)トップシーン札幌〔情報通信業:映像制作〕 (株)プリズム〔情報通信業:アシスタント〕 (株)日本グランデ〔不動産業:企画・広報〕 (有)クオーターパックスクリエイティブ 〔専門・技術サービス業:コピーライター〕	(株)ビショップ〔卸・小売業:販売職〕 久月(株)〔卸・小売業:営業職〕 (株)クリーク・アンド・リバー社〔情報通信業:総合職〕 (株)一条工務店〔建設業:営業職〕 (株)アンテプリマジャパン〔卸・小売業:総合職〕 太陽企画(株)〔情報通信業:プロダクションマネージャー〕	
	道内	六花亭(株)〔製造業:総合職〕 (株)ネクスト夕張〔情報通信業:総合職〕		
小計	40社 43名		27社 28名	
合計	67社 71名			

3. 進学状況（大学院12名、その他1名）

コース	進学先（名）		人数小計(名)
空間	大学院	札幌市立大学大学院（4）、東京工業大学大学院（1）	5
	研究生		
	その他		
製品	大学院	札幌市立大学大学院（1）	1
	研究生		
	その他		
コンテンツ	大学院	札幌市立大学大学院（3）	3
	研究生		
	その他		
メディア	大学院	札幌市立大学大学院（1）、東京藝術大学大学院（1）、北海道大学大学院（1）	3
	研究生		
	その他	札幌医療リハビリ専門学校（1）	1
合計	大学院 12 研究生 0 その他 1		13



2 看護学部（助産学専攻科含む）

1) 概要

看護学部キャリア支援委員会は、学生の進路相談や就職活動、国家試験への支援だけでなく、就職後の支援も視野に入れ、学生を支援する体制を整えている。

看護学部における支援体制には、①進路相談、②就職活動支援、③国家資格試験対策、④卒業後のキャリア支援の4つの取組を軸に、次のような活動計画を定めた。①看護学部キャリア支援相談室の管理・運営、②進路希望調査の実施、③看護学部キャリア支援・進路活動ガイダンスの実施、④各種就職・進学説明会の開催、⑤国家試験自主ゼミの組織化、⑥国家試験受験に向けたガイダンスの実施。

また、学生のニーズ調査に基づき平成26年度から新たに「模擬面接プログラム」を実施した。これは、採用に関わってきた経験豊かな看護管理者（現在は採用業務を行っていない）に模擬面接官の役割を担って貰い、より現実に近い面接を行った上で適切なアドバイスを受けるという取組で、経験した学生から好評価を得た。

上記に加え平成24年度から引き続き文部科学省の「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」の支援を受けて3年生、4年生、5年生を対象としたシャトル研修を実施するなど、卒後のキャリア支援も行った。

これらの活動が学生のニーズに合う内容であること及び学生の将来に有用な指針を示すものであることを念頭におき、進路希望調査の結果などにおける学生の声を重視するとともに、これらを計画立案に反映させながら支援することに努めている。

2) 支援体制

看護学部キャリア支援委員7名により、次の表のとおり年間活動計画及び進路相談などを行った。また、学生による国家試験対策自主ゼミグループを組織し、自主ゼミリーダー会議を定期的に開催した。

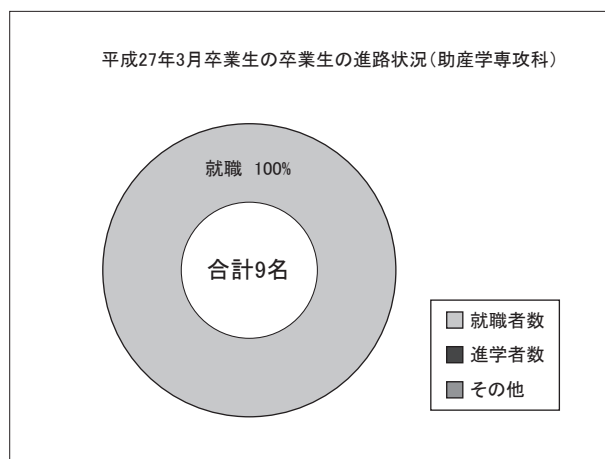
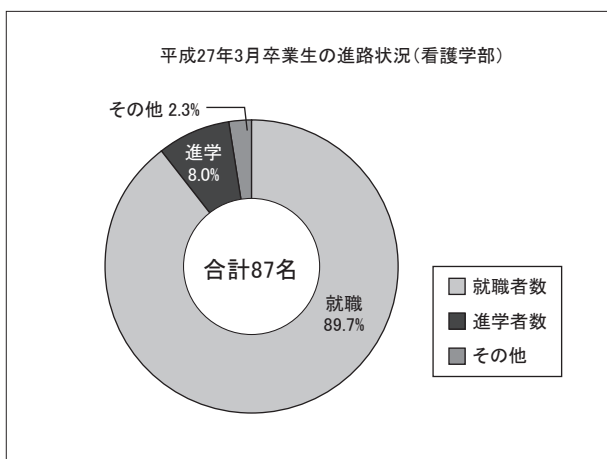
月	4年次生、助産学専攻科生	3年次生
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・前期ガイダンス ・国家試験受験ガイダンス ・キャリアハンドブック配布（専攻科生） ・進路希望調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期ガイダンス ・キャリアハンドブック配布（編入生）
5月		
6月	①看護師模試	
7月		
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・再学修セミナー（5回） ・模擬面接 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬面接 ②保健師模試 ・後期ガイダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路活動ガイダンス ・後期ガイダンス
10月	<ul style="list-style-type: none"> ③看護師模試 ④助産師模試 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験対策自主ゼミ結成
11月	<ul style="list-style-type: none"> ⑤保健師模試 ・国家試験説明会 	
12月		
1月	<ul style="list-style-type: none"> ⑥看護師模試 ⑦助産師模試 ⑧保健師模試 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路希望調査
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験受験事前説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ・学内キャリア説明会 ①低学年用国家試験模試
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・労務支援特別講座 	



3) 就職・進学結果

① 進路状況

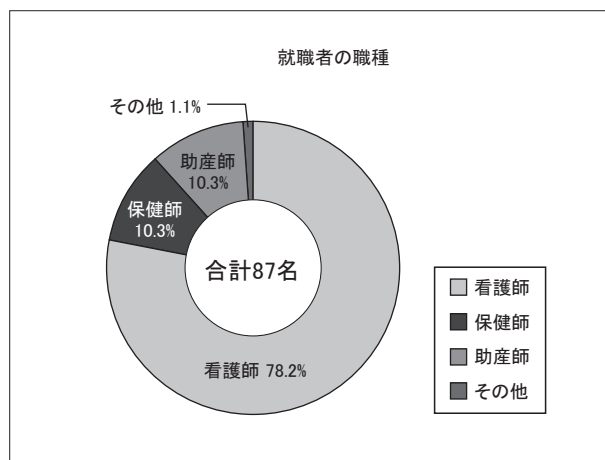
	在籍数（名）	就職希望者数（名）	進学者数（名）	就職者数（名）	就職率（%）
学生数	87	80	7	78	97.5
（うち編入学）	10	9	1	9	100.0
助産学専攻科	9	9	0	9	100.0



② 就職者の職種

(単位：名)

看護師	68
保健師	9
助産師	9
その他	1
合計	87



4) 国家試験の結果

	出願者数（名）	受験者数（名）	合格者数（名）	合格率（%）
看護師	77	77	75	97.4
保健師	87	87	87	100.0
助産師	9	9	9	100.0



3 デザイン研究科

1) 就職・進学結果

(4期生) 札幌市立大学デザイン研究科博士前期課程 平成27年3月修了生

就職先	■情報通信業（放送・ゲームソフト・インターネット関連・映像制作等） 3KG/タップシステム(株)
	■専門・技術サービス業（デザイン業・広告業等） フィールドクラブ(株)
	■公務 札幌市役所（技術職：建築）

2) 進路決定状況概要

1. 進路状況

(4期生) デザイン研究科博士前期課程 平成27年3月修了生

(単位：名)

	修了生数①	1. 就職希望者		就職者（起業含）		2. 進学希望者		3. その他
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑤	⑥※2
人数	6	4	1	4	1	1	1	1
割合	100.0%	66.7%	0	100.0%(※1)	0	16.7%(※3)	100.0%(※3)	16.7%
	①÷①	②÷①		③÷②		④÷①	⑤÷④	⑥÷①

(1期生) デザイン研究科博士後期課程 平成27年3月修了生

(単位：名)

	修了生数①	1. 就職希望者		就職者（起業含）		2. 進学希望者		3. その他
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑤	⑥※2
人数	1	0	0	0	0	0	0	1
割合	100.0%	0%				0%		100.0%
	①÷①	②÷①				④÷①	⑤÷④	⑥÷①

(備考)

※1：就職希望者に対する就職者の割合

※2：就職希望・進学希望以外の者（アルバイト・公務員浪人・アーティスト等、将来的な就職に関する進路選択をしたもの）

※3：進学希望者に対する進学先決定者の割合

2. 内定先の内訳（市内5社5名、道内0社0名、道外3社3名）

	道内企業（札幌市内含む）	道外企業
市内	(株)ダーウィنز〔サービス業:総合職〕 札幌市役所〔公務:建築職〕 (株)金星〔製造業:企画営業職〕 JTB北海道〔サービス業 総合職〕 (株)パブリックリレーションズ〔情報通信業:SE職〕	上海現代設計院（中国）〔建設業:設計職〕 東リ(株)〔製造業:企画職〕 (株)建築設備設計研究所〔建設業:設計職〕
道内		
小計	5社 5名	3社 3名
合計	8社 8名	

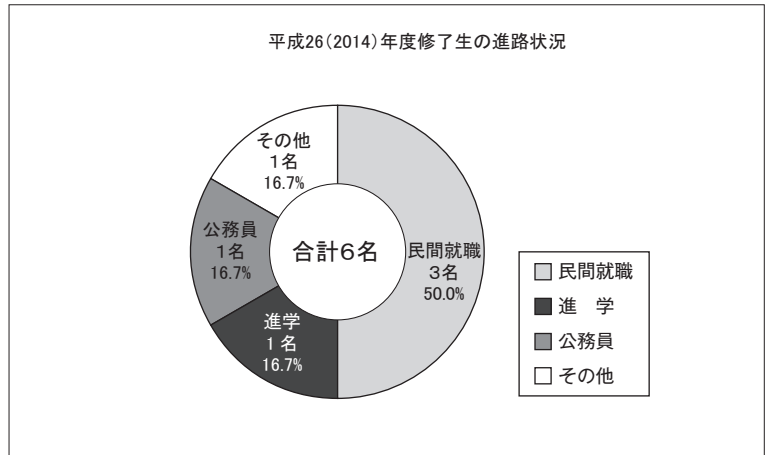


3. 進学状況（大学院博士後期課程 1名）

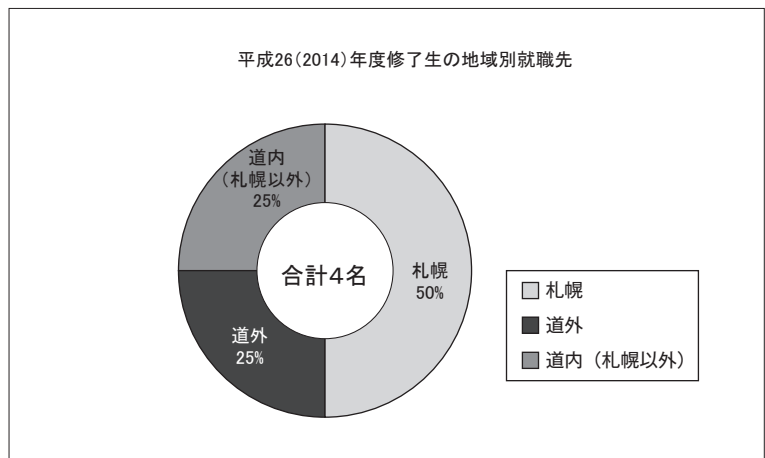
課 程	進学先（名）		人数小計(名)
デザイン研究科博士前期課程	大学院	札幌市立大学大学院博士後期課程（1）	1
	研究生		
	その他		
合計	大学院博士後期課程 1 研究生 0 その他 0		1

（4期生）デザイン研究科博士前期課程 平成27年3月修了生 就職状況

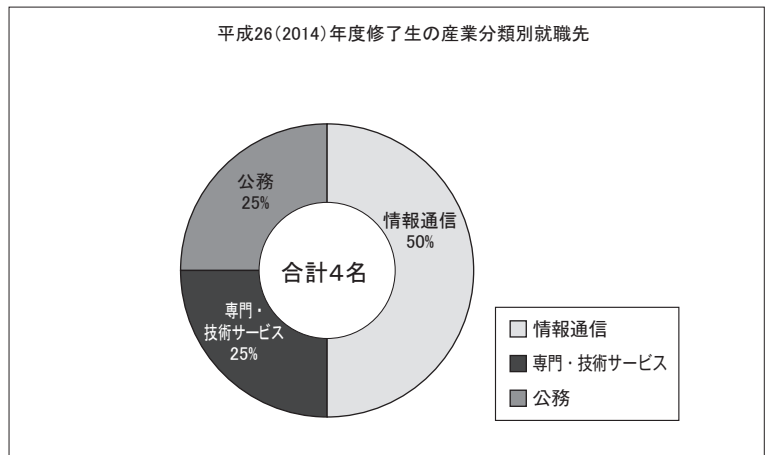
進路状況	人数(名)	割合(%)
民間就職	3	50.0
進学	1	16.7
公務員	1	16.7
その他	1	16.7
合計	6	—



地域別就職先	人数(名)	割合(%)
札幌	2	50.0
道外	1	25.0
道内（札幌以外）	1	25.0
合計	4	—



産業分類	人数(名)	割合(%)
情報通信	2	50.0
専門・技術サービス	1	25.0
公務	1	25.0
合計	4	—





VI 平成27年度入学者選抜結果

1 デザイン学部・看護学部

1) 入学者選抜要項

① アドミッションポリシー

<教育研究の理念>

本学は、デザイン学と看護学を教育研究の対象とする。デザイン学と看護学は、いずれも人間を対象とした学問領域であることから、両者に共通する「人間重視」の考え方を常に基本とし、一人の人間から社会全体までを対象に、安全で快適な暮らしを創造できる幅広い教養と豊かな人間性を有する職業人を育成する。市民の負託にこたえ、「市民に開かれた大学」「市民の力になる大学」「市民が誇れる大学」という三つの視点を掲げて、地域貢献という使命を果していくため、時代の要請に柔軟に対応しながら質の高い教育研究を追求する。

<教育研究の特長>

デザイン学と看護学それぞれの専門性を極める教育を行うとともに、幅広くデザインと看護の連携を目指す。また、市民、産業界、公的機関などと連携することにより、幅広いネットワークを持った大学とし、地域課題等に対応した教育研究を積極的に展開する。

<デザイン学部の求める学生像>

- 1 人間尊重・人間重視の姿勢を持ち、デザインを通して社会に貢献しようとする姿勢を持った人
- 2 豊かな感性と見識を持って、主体的かつ協同して未来のデザインを創造することに意欲のある人
- 3 デザインを通じ、地域活性化のリーダーとして文化・産業の発展に寄与する意志を持った人

このため、入学者には、日ごろから、人間及びその生活を豊かにするデザインに興味・関心を持ち、地域社会が抱える課題の発見や解決に向けて、日々の学習の中で幅広い基礎学力・思考力・発想力を身に付けるとともに、多くの人々と協働するためのコミュニケーション能力を備えていることが求められます。

<看護学部の求める学生像>

- 1 人々の健康、心、暮らしに関心を持ち、生命の尊厳を理解しようとする姿勢を持った人
- 2 豊かな感性と探究心を持って、柔軟に物事を考え、自主的に学修できる人
- 3 他者と協調し、信頼関係を築くことができ、積極的に地域に貢献する意志を備えた人

そのためには、高等学校における国語、英語、数学、理科などの基礎的な学力、及び課外活動等によって培われた協調性や責任感のある人を求めています。



② 平成27年度入学者選抜概要

入学定員・募集人員

(単位：名)

学部・学科名	入学定員	募集人員				
		一般選抜		特別選抜		
		前期日程	後期日程	推薦入学	社会人	私費外国人留学生
デザイン学部 デザイン学科	85名	59名	14名	12名	若干名	若干名
看護学部 看護学科	80名	48名	—	32名	若干名	—

選抜日程

選抜区分		出願期間	試験日	合格発表等
特別選抜	推薦入学 社会人	平成26年11月4日 ～11月7日	平成26年11月22日	平成26年12月9日 【入学手続期間】 平成26年12月9日～12月16日
	私費外国人留学生(※)	平成27年1月26日 ～2月4日	平成27年2月25日	平成27年3月6日 【入学手続期間】 平成27年3月6日～3月13日
一般選抜	前期日程	平成27年1月26日 ～2月4日	平成27年2月25日	平成27年3月6日 【入学手続期間】 平成27年3月6日～3月13日
	後期日程(※)	平成27年1月26日 ～2月4日	平成27年3月12日	平成27年3月20日 【入学手続期間】 平成27年3月20日～3月26日

(※) は、デザイン学部のみ実施

試験会場

学部・学科名	試験会場
デザイン学部デザイン学科	芸術の森キャンパス
看護学部看護学科	桑園キャンパス



選抜方法

選抜区分		学部・学科名	選抜方法
特別選抜	推薦入学	デザイン学部 デザイン学科	「小論文（課題解決型の論述問題）」又は「実技（鉛筆デッサン）」（いずれかを選択）、面接及び調査書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
		看護学部 看護学科	小論文（看護を学ぶ上で必要な読解力、論理的思考力、文章表現力を見る。）、面接及び調査書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	社会人	デザイン学部 デザイン学科	「小論文（課題解決型の論述問題）」又は「実技（鉛筆デッサン）」（いずれかを選択）、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
		看護学部 看護学科	総合問題（国語、英語、自然科学、論述）、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	私費外国人留学生	デザイン学部 デザイン学科	「小論文（課題解決型の論述問題）」又は「実技（鉛筆デッサン）」（いずれかを選択）、面接、日本留学試験の成績及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
一般選抜	一般選抜	デザイン学部 デザイン学科	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び本学が実施する個別学力検査等の成績並びに調査書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
		看護学部 看護学科	

一般選抜試験の大学入試センター試験及び個別学力検査等の教科・科目

学部・学科名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等 科目名等
		教科	科目名等	
デザイン学部 デザイン学科	前期日程	国語	「国」（古文・漢文を含む。）	「小論文（課題解決型の論述問題）」又は「実技（鉛筆デッサン）」のいずれかを選択
		地歴公民	「世A」「世B」「日A」「日B」「地理A」「地理B」「現社」「倫理」「政・経」「倫理、政・経」から1科目	
		数学	「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」の2科目	
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目	
	外国語	「英」（筆記及びリスニング）		
	後期日程	国語	「国」（古文・漢文を含む。）	
		数学	「数Ⅰ・数A」	
外国語		「英」（筆記及びリスニング）		
看護学部 看護学科	前期日程	国語	「国」（古文・漢文を含む。）	面接
		数学	「数Ⅰ・数A」	
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目	
		外国語	「英」（筆記及びリスニング）	

**※注1【デザイン学部（前期日程）】**

- ・地歴・公民について、2科目選択した場合は、第1解答科目を合否判定に利用します。
- ・理科について、「基礎を付した科目」（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）2科目を選択せずに、「基礎を付していない科目」（「物理」「化学」「生物」「地学」）を選択した場合には、「基礎を付した科目」2科目のかわりに「基礎を付していない科目」1科目（100点満点）の得点を利用します。
ただし、「基礎を付していない科目」2科目を選択した場合には、第1解答科目の得点（100点満点）を利用します。

※注2【看護学部（前期日程）】

- ・理科について、「基礎を付した科目」（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）2科目を選択せずに、「基礎を付していない科目」（「物理」「化学」「生物」「地学」）2科目を選択した場合には、「基礎を付した科目」2科目のかわりに「基礎を付していない科目」2科目の合計得点（200点満点）を利用します。

※注3【旧教育課程履修者への経過措置】

旧教育課程履修者は、上表の科目を選択せずに以下の科目を選択することができます。

①デザイン学部（前期日程）

- ・数学について、『旧数学Ⅰ・旧数学A』『旧数学Ⅱ・旧数学B』を選択することができます。
- ・理科について、『物理Ⅰ』『化学Ⅰ』『生物Ⅰ』『地学Ⅰ』から1科目（100点満点）を選択することができます。ただし、2科目を選択した場合には、第1解答科目（100点満点）の得点を利用します。

②デザイン学部（後期日程）

- ・数学について、『旧数学Ⅰ・旧数学A』を選択することができます。

③看護学部（前期日程）

- ・数学について、『旧数学Ⅰ・旧数学A』を選択することができます。
- ・理科について、『物理Ⅰ』『化学Ⅰ』『生物Ⅰ』『地学Ⅰ』から2科目を選択することができます、2科目の合計得点（200点満点）を利用します。



③平成27年度3年次編入学者選抜概要

募集人員 (単位：名)

学部・学科名等	募集人員
デザイン学部デザイン学科	10
看護学部看護学科	10

選抜日程・試験会場

学部・学科名	出願期間	試験日	試験会場	合格発表
デザイン学部 デザイン学科	平成26年6月20日 ～6月27日	平成26年7月19日	芸術の森キャンパス	平成26年8月1日 【入学手続期間】 平成26年8月1日～8月8日
看護学部 看護学科	平成26年8月8日 ～8月14日	平成26年9月6日	桑園キャンパス	平成26年9月24日 【入学手続期間】 平成26年9月24日～10月1日

選抜方法

学部・学科名	選抜方法
デザイン学部 デザイン学科	入学者の選抜は、本学が実施する小論文（課題解決型の論述問題）、英語、面接・試問及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学部 看護学科	入学者の選抜は、本学が実施する論述試験、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。

2) 選抜状況

① 入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

デザイン学部

(単位：名)

選抜区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	前期日程	59	178	173	63	61
	後期日程	14	199	113	15	13
特別選抜	推薦入学	12	32	32	12	12
	社会人	若干	0	0	0	0
	私費外国人留学生	若干	3	3	3	3



看護学部

(単位：名)

選抜区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	前期日程	48	122	120	48	47
特別選抜	推薦入学	32	89	89	33	33
	社会人	若干	19	18	3	3

b. 入学者の内訳

(単位：名)

学部	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン学部	89	48	25	16	27	62
看護学部	83	48	32	3	8	75
合計	172	96	57	19	35	137

② 編入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

(単位：名)

学部		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
デザイン学部	空間	10	5	5	3	3
	製品		0	0	0	0
	コンテンツ		3	3	3	3
	メディア		0	0	0	0
	計	10	8	8	6	6
看護学部		10	22	22	10	10

b. 入学者の内訳

(単位：名)

学部	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン学部	6	1	2	3	2	4
看護学部	10	4	5	1	0	10
合計	16	5	7	4	2	14



2 デザイン研究科・看護学研究科

1) 博士前期課程

① 入学者選抜要項

a. アドミッションポリシー

【デザイン研究科博士前期課程】

本課程は、地域社会全体に内在する様々な課題に対してデザインによる解決策を教育・研究することにより、高度で専門的なデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、産業・芸術・文化等の振興、地域再生・活性化などの貢献を果たすことを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりとします。

＜デザイン研究科博士前期課程の求める学生像＞

- 1 デザインに関する基礎的知識を備え、豊かな感性と深い見識を持ち、人間重視の視点からデザインの発展に寄与できる人
- 2 各種のデザインを統合し、先導的なプロジェクトを主体的・戦略的に展開することに意欲のある人
- 3 デザインを通じ、地域を創成していくリーダーとして文化・産業の発展に貢献する意思を持った人

【看護学研究科博士前期課程】

本課程では、広い視野に立って看護学の基盤を学修した個々人の専門性及び学識を深めつつ、看護学の発展、様々な形態での看護の実践及び幅広く地域社会に貢献できる高度で専門的な人材を育成することを目的としている。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりである。

＜看護学研究科博士前期課程が求める学生像＞

- 1 看護学の基礎知識と総合的な学力を有し、豊かな人間性と高い探究心を持って、自主的・意欲的に看護実践の向上に寄与できる人
- 2 柔軟で論理的な思考を持って保健・医療・福祉の諸問題に積極的に取り組み、問題解決に向けた研究を遂行できる人
- 3 高い倫理観を有し、地域社会や国際社会に貢献する意志と責任感を持った人

b. 平成27年度入学者選抜概要

募集人員

(単位：名)

研究科・専攻名	推薦選抜	一般選抜	特別選抜 (社会人)	特別選抜 (私費外国人留学生)
デザイン研究科 デザイン専攻	9	9	若干	若干
看護学研究科 看護学専攻		18 (一般選抜、特別選抜を含む)		

※デザイン研究科の特別選抜(社会人・私費外国人留学生)の若干名は推薦選抜及び一般選抜の合計18名を含む。



選抜日程

研究科・専攻名	選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
デザイン研究科 デザイン専攻	推薦選抜	平成26年6月20日 ～6月27日	平成26年7月19日	平成26年8月1日 【入学手続期間】 平成26年8月1日～8月8日
	一般選抜	平成26年8月29日 ～9月5日	平成26年9月27日	平成26年10月14日 【入学手続期間】 平成26年10月14日～10月21日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）			
	一般選抜 【第2次募集】	平成27年1月30日 ～2月6日	平成27年2月28日	平成27年3月13日 【入学手続期間】 平成27年3月13日～3月19日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生） 【第2次募集】			
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	平成26年8月22日 ～8月29日	平成26年9月27日	平成26年10月14日 【入学手続期間】 平成26年10月14日～10月21日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）			
	一般選抜 【第2次募集】	平成27年1月9日 ～1月16日	平成27年2月7日	平成27年2月26日 【入学手続期間】 平成27年2月26日～3月5日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生） 【第2次募集】			

試験会場

研究科名	試験会場
デザイン研究科	芸術の森キャンパス
看護学研究科	桑園キャンパス

選抜方法

研究科・専攻名	選抜区分	選抜方法
デザイン研究科 デザイン専攻	推薦選抜	本学大学院が実施する面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	一般選抜	本学大学院が実施する学力検査、面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。 ※英語はTOEICのスコアにより評価する。
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）	本学大学院が実施する学力検査、面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	本学大学院が実施する筆記試験（英語、専門科目）、面接（口頭試問含む）及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）	



② 選抜状況

a. 選抜・入学状況

デザイン研究科【第1次・第2次募集合計】

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
推薦選抜	9	2	2	2	2
一般選抜	9	7	6	6	6
特別選抜 (社会人)	若干	1	1	1	1
特別選抜 (私費外国人留学生)	若干	1	1	1	1

看護学研究科【第1次・第2次募集合計】

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	18	19	18	15	13
特別選抜 (社会人)					
特別選抜 (私費外国人留学生)		0	0	0	0

b. 入学者の内訳

(単位：名)

学部	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン研究科	10	10	0	0	7	3
看護学研究科	13	11	2	0	2	11
合計	23	21	2	0	9	14

2) 博士後期課程

① 入学者選抜要項

a. アドミッションポリシー

【デザイン研究科博士後期課程】

<教育研究の理念>

本課程は、人間重視を根幹とした高度な教育・研究を実践し、「知と創造の拠点」として地域からの負託に応え、高度の専門知識・技術を基盤に地域社会の発展に寄与します。さらに、高度で先進的な教育・研究の中核機関として機能し、新たな理論構築や技術開発に独創的に取り組み、新たな社会価値の創造を図ることを教育研究の理念とします。

<教育研究の目的>

本課程は、地域社会に内在する様々な課題をデザインの視点から幅広く発見するとともに、高度な教育・研究の成果を通じて、その解決策を見出し、より豊かな人間生活や地域社会の実現に貢献できる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。



＜デザイン研究科博士後期課程の求める学生像＞

- 1 柔軟な思考と独創的な視点に立って地域課題を発見・明確化し、その課題解決に向けて旺盛な探究心を持って自立した研究を遂行できる人
- 2 豊かな感性と深い見識を持ち、高度な教育・研究による成果をもとにデザインの発展に貢献しようとする意識を有する人
- 3 既成の概念にとらわれず、自立して独自のデザイン理論構築や技術開発に取り組み、新たな社会価値の創造を目指す意欲と実行力を有する人

【看護学研究科博士後期課程】

本課程では、高度な学識と豊かな実践経験を基礎に様々な看護現象の分析や評価を行い、その研究成果をもとに将来を見据えた看護の枠組みを再構築し、システム開発などを行うことができる人材を育成することを目的としている。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりである。

＜看護学研究科博士後期課程が求める学生像＞

- 1 解決に向けて旺盛な探究心を持って自立した教育・研究を遂行できる人
- 2 保健医療福祉分野における新たな理論構築や技術開発等を通じて、より質の高い看護サービスのあり方を探求する意欲を有する人
- 3 卓越した看護知識と高い倫理観に基づく実践能力を有し、教育・管理能力の研鑽に励み、将来を見据えた保健医療福祉分野の指導者となりうる人

b. 平成27年度入学者選抜概要

募集人員

(単位：名)

研究科・専攻名	一般選抜
デザイン研究科 デザイン専攻	3
看護学研究科 看護学専攻	3

選抜日程

研究科・専攻名	選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
デザイン研究科 デザイン専攻	一般選抜	平成27年1月30日 ～2月6日	平成27年2月28日	平成27年3月13日 【入学手続期間】 平成27年3月13日～3月19日
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	平成27年1月9日 ～1月16日	平成27年2月7日	平成27年2月26日 【入学手続期間】 平成27年2月26日～3月5日

試験会場

研究科名	試験会場
デザイン研究科	芸術の森キャンパス
看護学研究科	桑園キャンパス



選抜方法

研究科・専攻名	選抜区分	選抜方法
デザイン研究科 デザイン専攻	一般選抜	本学大学院が実施する面接（研究計画書に基づくプレゼンテーション、口頭試問を含む）の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	本学大学院が実施する筆記試験（英語）、面接（研究計画書に基づくプレゼンテーション、口頭試問を含む）及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。

② 選抜状況

a. 選抜・入学状況

デザイン研究科

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	3	3	3	3	3

看護学研究科

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	3	2	2	0	0

b. 入学者の内訳

(単位：名)

研究科	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン研究科	3	3	0	0	2	1
看護学研究科	0	0	0	0	0	0
合計	3	3	0	0	2	1

3 助産学専攻科

1) 入学者選抜要項

① アドミッションポリシー

本専攻科は、看護学を基盤に、助産に関する幅広く高度な知識と正確な技術を育み、地域社会における母子保健の向上に貢献できる人間性豊かな助産師の育成を目的としている。

これらの目的を達成するために、本専攻科が求める学生像は次のとおりである。

<助産学専攻科の求める学生像>

- 1 「生命の誕生」に、責任を持って真摯に向き合える誠実で優しい人
- 2 看護学を基盤に、倫理観を持ち、主体的に「助産学」を積み重ねることができる人
- 3 広い視野で現代社会をとらえ、母子保健を取り巻くさまざまな課題の解決を追求できる人



② 平成27年度入学者選抜概要

募集人員 (単位：名)

専攻科名	募集人員
助産学専攻科	10

選抜日程

出願期間	試験日	合格発表等
平成26年8月8日 ～8月14日	平成26年9月6日	平成26年9月24日 【入学手続期間】 平成26年9月24日～10月1日

試験会場

専攻科名	試験会場
助産学専攻科	桑園キャンパス

選抜方法

専攻科名	選抜方法
助産学専攻科	入学者の選抜は、本学専攻科が実施する筆記試験（専門科目（看護学一般）、小論文）、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。

2) 選抜状況

a. 選抜・入学状況 (単位：名)

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
10	42	40	14	9

b. 入学者の内訳 (単位：名)

入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
	道内		道外	男	女
	札幌市内	札幌市外			
9	6	2	1	—	9



Ⅶ 附属図書館

1 概要

1) 施設規模

芸術の森キャンパス図書館...延べ床面積／1,500㎡

桑園キャンパス図書館...延べ床面積／500㎡

2) 図書・雑誌・視聴覚資料・電子ジャーナル所蔵数

(平成27年3月31日現在)

図書館の名称	図書の冊数				雑誌の種数		
	和書	洋書	視聴覚資料	計	和雑誌	洋雑誌	電子 ジャーナル
芸術の森 キャンパス図書館	66,275	8,858	3,425	78,558	366	54	552
桑園 キャンパス図書館	35,494	1,683	1,227	38,404	378	7	1,972
合計	101,769	10,541	4,652	116,962	744	61	2,524

3) 平成26年度年間受入状況

区分			和	洋	計
芸術の森 図書館 キャンパス	図書 (冊)	購入	2,134	105	2,239
		寄贈	171	12	183
		計	2,305	117	2,422
	雑誌 (種)	購入	30	8	38
		寄贈	38	0	38
		計	68	8	76
桑園 図書館 キャンパス	図書 (冊)	購入	1,424	27	1,451
		寄贈	111	5	116
		計	1,535	32	1,567
	雑誌 (種)	購入	92	5	97
		寄贈	129	0	129
		計	221	5	226



2 利用状況

1) 開館時間・休館日

開館時間	平 日：午前9時～午後10時 土曜日：午前10時～午後4時 大学の長期休業期間中：午前9時～午後5時（平日）
休 館 日	日曜・祝日・年末年始

2) 利用資格

- ① 本学学部学生・大学院生及び教職員
- ② 札幌市に在住・在勤する18歳以上の方
- ③ 北海道地区大学図書館相互利用サービス加盟館所属の方

3) 貸出冊数・期間

利用者	貸出冊数	貸出期間
学部生 (科目等履修生を含む)	10冊	図書：2週間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可） 視聴覚資料：1週間
教職員	無制限	図書：2ヶ月間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可） 視聴覚資料：1週間
市民等学外者	3冊	図書：2週間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可）

4) 年間利用者数・貸出冊数等

図書館の 名称	利用者	開館 日数	入館 者数	貸出 人数	貸出 冊数	ILL件数	
						受付	依頼
芸術の森 キャンパス図書館	学生・ 教職員	272	13,645	3,535	7,718	16	87
	市民等 学外者	272	1,364	335	749	—	—
桑 園 キャンパス図書館	学生・ 教職員	274	22,177	6,291	14,392	258	1,471
	市民等 学外者	274	2,224	491	1,094	—	—
合計		—	39,410	10,652	23,953	274	1,558

ILL：Inter-Library Loan（相互貸借）



Ⅷ 役員会、経営審議会及び教育研究審議会

1 役員会及び審議会の審議状況

回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
6月23日 第1回	<ul style="list-style-type: none"> 公立大学法人札幌市立大学理事長選考会議委員の選出について 平成25年度事業報告及び決算について 平成25事業年度業務の実績に関する報告について 公立大学法人札幌市立大学大学院デザイン研究科倫理審査会規程及び公立大学法人札幌市立大学大学院看護学研究科倫理審査会規程の制定等について 	<ul style="list-style-type: none"> 公立大学法人札幌市立大学理事長選考会議委員の選出について 平成25年度事業報告及び決算について 平成25事業年度業務の実績に関する報告について 公立大学法人札幌市立大学大学院デザイン研究科倫理審査会規程及び公立大学法人札幌市立大学大学院看護学研究科倫理審査会規程の制定等について 	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度事業報告及び決算について 平成25事業年度業務の実績に関する報告について
8月25日 第2回 持ち回り	<ul style="list-style-type: none"> 平成25事業年度の業務実績に関する評価結果案に対する意見について 	<ul style="list-style-type: none"> 平成25事業年度の業務実績に関する評価結果案に対する意見について 	<ul style="list-style-type: none"> 平成25事業年度の業務実績に関する評価結果案に対する意見について
9月29日 第3回		<ul style="list-style-type: none"> 教員の再任について 	
11月5日 第3回	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度予算編成方針について 公立大学法人札幌市立大学出納規程の改正について 	第4回 <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度予算編成方針について 公立大学法人札幌市立大学出納規程の改正について 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度予算編成方針について 公立大学法人札幌市立大学出納規程の改正について
12月25日 第5回		<ul style="list-style-type: none"> 教員再任再審査について 	
3月30日 第4回	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度年度計画及び予算について 規則等の制定及び改正等について 	第6回 <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度年度計画及び予算について 規則等の制定及び改正等について 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度年度計画及び予算について



2 役員及び審議会委員名簿（平成26年7月1日現在）

1) 役員

役職	氏名	現職
理事長	蓮見 孝	札幌市立大学 学長
理事（常勤）	中村 恵子	札幌市立大学 副学長
理事（非常勤）	横内 龍三	㈱北洋銀行 取締役会長
理事（非常勤）	山岸 正美	㈱マーケティング・コミュニケーション・エルグ 代表取締役
理事（非常勤）	橋本 道政	(公財)札幌市芸術文化財団 副理事長
監事（非常勤）	橋場 弘之	田村・橋場法律事務所（札幌市任命）
監事（非常勤）	高松 謹也	公認会計士 高松謹也事務所（札幌市任命）

2) 経営審議会委員

役職	氏名	現職
理事長	蓮見 孝	
理事	中村 恵子	
理事	横内 龍三	㈱北洋銀行 取締役会長
理事	橋本 道政	(公財)札幌市芸術文化財団 副理事長
事務局長	林 泰男	
学外委員	菊嶋 明廣	札幌商工会議所 常務理事
学外委員	福井 知克	(一財)さっぽろ産業振興財団 専務理事
学外委員	秋野 豊明	溪仁会グループ 会長
学外委員	花井 秀勝	フュージョン㈱ 代表取締役会長
学外委員	町野 和夫	北海道大学大学院経済学研究科 教授

3) 教育研究審議会委員

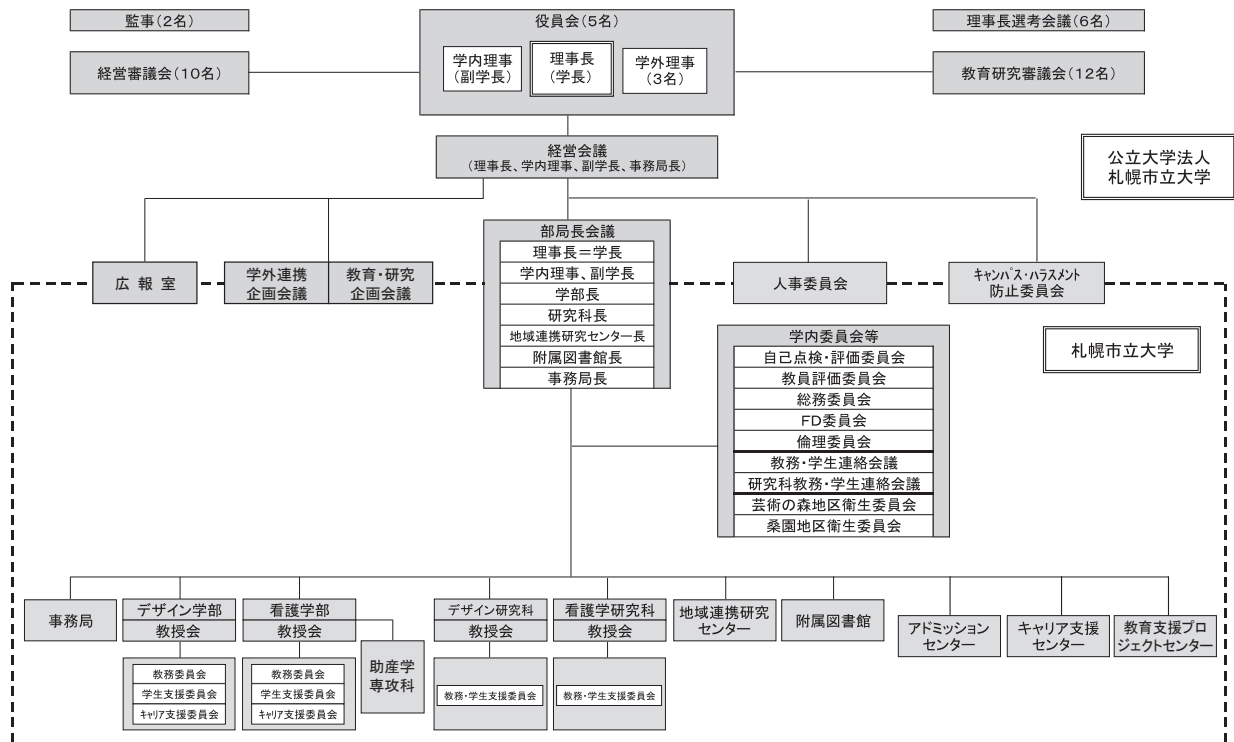
役職	氏名	現職
学 長	蓮見 孝	
理 事	中村 恵子	
理 事	山岸 正美	㈱マーケティング・コミュニケーション・エルグ 代表取締役
デザイン学部長	酒井 正幸	
看護学部長	樋之津 淳子	
デザイン研究科長	城間 祥之	
附属研究所長	上遠野 敏	
附属図書館長	山本 勝則	
事務局 長	林 泰男	
学 外 委 員	山中 善夫	札幌市教育委員会 委員長
学 外 委 員	平山 妙子	(公社)北海道看護協会 会長
学 外 委 員	石垣 靖子	北海道医療大学 客員教授

任期：平成28年3月31日まで



Ⅸ 学内運営の概要

1 平成26(2014)年度公立大学法人札幌市立大学組織図



2 経営会議

平成26年度は12回の会議を開催した。

会議では、法人の経営及び札幌市立大学の教育研究に関する重要事項について協議を行った。

3 部局長会議

回数	開催日	議題
第1回	4月9日	平成26年度学内委員会について
第2回	5月7日	なし
第3回	6月4日	(1)平成25年度年度計画の実績報告にかかる点検結果について (2)平成25年度決算について (3)研究科倫理審査会規程の策定等について (4)デザイン学部特別選抜入学者選抜試験の変更について (5)清華大学美術学院との学術交流協定の更新について
第4回	7月9日	札幌市立大学学術機関リポジトリ基本方針(案)について
第5回	7月14日	札幌市地方独立行政法人評価委員会によるヒアリングへの対応について
第6回	7月25日	本学学生の行為がネット上で炎上した事案への対応等について
第7回	8月13日	(1)法人評価結果案について (2)2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた大学連携協定の締結について



回数	開催日	議題
第8回	9月3日	(1)公的研究費ガイドラインへの対応について (2)札幌市立大学出納規程の改正について (3)札幌市立大学学術機関リポジトリ基本方針(案)について (4)Office365に備わる各機能の活用について
第9回	10月1日	(1)電子ジャーナル契約の見直しについて (2)2017冬季アジア札幌大会に関する包括連携協定書の締結について (3)喜茂別町との連携協定書の締結について
第10回	11月5日	ラップランド大学との提携について
第11回	12月3日	平成26年～平成27年卒業式・入学式スケジュールについて
第12回	1月7日	(1)平成27年度年度計画の策定スケジュールについて (2)授業料減額・免除制度について
第13回	2月4日	(1)国立台中科技大学との「学術交流協定調印に向けた覚書」の調印について (2)大学施設の学外者への貸出しの変更について
第14回	3月4日	(1)公的研究費不正防止計画について (2)役員会・審議会に諮る規則等改正について (3)大学施設の学外者への貸出しの変更について (4)国立台中科技大学との「学術交流協定調印に向けた覚書」の調印について (5)キャンパス活用プラン骨子について
第15回	3月18日	規則等改正について

4 学外連携企画会議

学外連携企画会議は、平成24年度に策定された第二期経営戦略に基づき平成25年度に新設された会議であり、経営戦略の3つの基本戦略のうち、「大学を学外に開く戦略」を所管し、平成26年度は1回開催した。

平成26年度の主な活動としては、ラップランド大学との交流協定の締結に向けた協議を行った。

5 教育・研究企画会議

教育・研究企画会議は、平成24年度に策定された第二期経営戦略に基づき平成25年度に新設された会議であり、経営戦略の3つの基本戦略のうち、「学内体制を充実・強化する戦略」を所管し、平成26年度は9回開催した。

平成26年度の主な活動としては、教育課程の体系化を進めるため、現行のカリキュラム体系や成績評価、ナンバリング等に関する協議を行ったほか、研究における倫理についての全学FD/SD研修会を開催した。

6 広報室

広報室は、平成25年度末に策定された広報戦略及び行動計画を効果的に推進していくことを目的として平成26年4月に新設された組織であり、平成26年度は12回開催した。

平成27年度版大学案内を21,000部発行し、また、平成28年度版大学案内の検討・制作を行った。

学生の視点を活かした新しい広報誌を制作するため、広報誌の編集・発行に協力してくれる学生スタッフの募集を行い、7名の応募があった。広報室の教員がサポートしながら、学生スタッフが企画や取材等に取り組み、年度末には学生広報誌「ex:)」第1号を発行した。

大学のキャッチコピーの公募（教職員、学生、卒業生対象）を行い、126点の応募の中から、入



賞作品（最優秀賞1作品、優秀賞3作品）の選考を行った。最優秀作品「人と向きあう、未来を創る。」は、平成28年度版大学案内に掲載したほか、様々な広報媒体で活用した。

平成25（2013）年度版の年報を電子データで制作し、公式ウェブに掲載した。

7 教授会

1) デザイン学部教授会

デザイン学部教授会は、平成26年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他学部の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、教授会終了後には、毎回、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

2) 看護学部教授会

看護学部教授会は、平成26年度に臨時教授会2回を含む14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、進級卒業判定及びその他学部の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、助産学専攻科における教育課程の編成、修了判定及びその他専攻科の教育研究に関する事項などについても本教授会において、幅広く審議を行った。

教授会終了後には、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

3) デザイン研究科教授会

デザイン研究科教授会は、平成26年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他研究科の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、デザイン研究科博士後期課程に関する事項について審議するため、博士後期課程会議（研究科教授会代議員会）を開催した。

4) 看護学研究科教授会

看護学研究科教授会は、平成26年度に臨時教授会3回を含む15回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、修了判定及びその他研究科の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、各学内委員会等からの報告も行い、必要に応じて看護学研究科科目担当専任教員を構成員とする拡大会議として開催した。

8 地域連携研究センター

地域・産学連携部門、人材育成部門、国際交流部門、紀要編集委員会の4セクションに構成員を配置して、研究活動、地域貢献および国内外ネットワーク形成の推進を担い、活動を行った。また、運営会議（計11回開催）で課題や情報を集約したほか、知的財産委員会を構成し、学内の知的財産に係わる管理・運営を行った。主な活動内容は以下のとおりである。

<地域・産学連携>

地域からの協力要請に対して、本学教員・学生が本来の活動の延長上で教育・研究の成果を地域に還元するため、地域連携活動の協力を行った。また、教員の研究成果を学外に周知し産官学連携のきっかけを探るために、「ビジネスEXPO」等の展示会へ出展したほか、産官学連携を目的とした学外向けの研究交流会の開催や、北海道立総合研究機構との共催研究交流会を開催し、更なるネットワークづくりを図った。

<人材育成>

大学が持つ知的資源をデザイン・看護の視点に基づき地域に還元し、地域の産業、まちづくり、保健・医療・福祉等への貢献をすることを目的として、公開講座を開催した。専門職業人や市民を対象



とした13コース（22コマ）【うちCOC関連7コース（11コマ）】の講座を、延べ525名が受講した。平成26年度年度計画に基づき、公開講座を、体系的に整理することにより、全体の傾向を把握し、且つ、今後の公開講座の企画運営において、大学が保有する知的資源を有効に活用することを目的として、受講希望者及び企画運営における2つの視点から、公開講座の体系を大項目として「一般市民向け」「専門職向け」を、中項目として「デザイン分野」「看護分野」「学際分野」を設けた。大項目・中項目に加え、小項目に「4コース9領域」と「共通教育」を加えることにより、分野別に講座の実施状況を把握し、企画運営を行った。

<国際交流>

第2期中期計画で策定した大学の国際化に関する基本方針および行動計画に基づき、4つの戦略を推進した。

国際化に関する方針に基づき、4つの戦略を下記の通り、推進している。

・「学生の国際化」

デザイン学部生が華梵大学でのワークショップに参加した。承德医学院関係者の来学時の学生交流については、学生が主体的に企画し受入を行った。デザイン学部生が清華大学主催のワークショップに参加した。このことに加え、まだ提携校ではないが、フィンランドとの交流を活発にしていることに伴い、1ヵ月半のインターンシップへの参加、1年間のデザイン学部学生のフィンランド留学等の支援を行っている。さらに、ラップランドで開催したArctic Design weekに本学卒業生の作品展示をしたほか、国際学生ワークショップへ学生が参加した。さらに、外務省が実施している「JENESYS2.0」を受け入れ、フィリピンの学生と本学学生との交流を行った。

・「教職員の国際化」

学術奨励研究において、教員の国際学会・国際展示会への発表を促すための補助制度を継続し、国際学会誌に発表した際の補助制度を新設した。

・「提携校との交流の活性化」

本学と清華大学美術学院との学術交流協定の更新を行い、本学教員が清華大学美術学院にて学術交流協定更新の記念講演を行った。また、清華大学美術学院教員受入や清華大学美術学院の製品デザイン分野が30周年を迎えることから本学関係者が訪問し発表した。また、国立台中科技大へ学長が訪問した。さらに、ラップランド大にて開催されたサステナビリティウィークに本学教員が参加した。ラップランド大学関係者が共同研究の打ち合わせのため来学した。ラップランド大学へ共同研究の打ち合わせ、Arctic Design Week大学展示に参加、Arctic Sustainable Art and Design(ASAD)ミーティングへの参加のため教員の派遣を行った。

・「海外とのネットワーク化」

札幌国際芸術祭の連携企画として、《7×10：アート&デザインの学生選抜展》を実施した他、札幌市長の紹介もあり、札幌市の姉妹都市であるポートランド（アメリカ、オレゴン州）のパシフィック・ノースウェスト・カレッジ・オブ・アート（PNCA）から関係者が今後の交流の可能性を検討するために来学した。また、タイ王国の医療系大学関係者が看護学部を訪問し、主に医療分野の人材育成教育における教育の質保証について情報交換を行った。

<紀要編集>

前年度に発行準備をしていた研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第8巻」を平成26年5月末に発行した。また、第9巻を平成27年6月末に発行することとし、投稿論文について査読を行い、発行の準備をした。

<研究推進>

地域や産業界から依頼された受託研究15件、寄附金6件の受入れを行い、次年度の学内競争的研究費（学術奨励研究費・共同研究費）の公募と審査に係わる制度設計を行い、学術論文掲載料等補助の制度を改善した。また、両学部の教員の交流を図るため研究交流会を、産学官連携のシーズ創出を図るため産学官連携研究交流会及び北海道立総合研究機構との研究交流会を企画・実施した。



<知的財産>

「広域大学知的財産アドバイザー派遣事業：（工業所有権情報・研修館主催）における広域大学知的財産ネットワーク」（①デザイン利活用による地域貢献ネットワーク②看工連携によるものづくりプロジェクト創出ネットワーク③北海道地域中小規模大学知財ネットワーク）へ加盟した。当該事業から派遣される大学知的財産アドバイザーによる「知的財産出前セミナー全4回」を全学FDとして開催した。また、発明2件の特許申請を行った。

9 附属図書館

平成26年度は全11回運営会議を開催し、附属図書館の運営に係る事項について協議を行った。主な協議内容は、図書館予算の考え方、後援会からの寄附、データベース・電子ジャーナルの契約方針、購読雑誌の契約検討、JAIRO Cloud導入、機関リポジトリの運用方針、研究室蔵書点検の実施方法の検討、等であった。

この他、北海道地区大学図書館協議会総会（8月29日開催）の当番館、公立大学協会図書館協議会北海道東北ブロック地区館会議（9月5日開催）の当番館をつとめた。

芸術の森図書館では、札幌芸術の森美術館との連動企画展を開催（5月15日～6月14日）、札幌芸術の森工芸館との連動企画展を開催（7月15日～8月15日）、アートブックフェアへ参加（11月17日～12月6日）した。

10 アドミッションセンター

入学者選抜試験及びそれに伴う入試広報、入学者選抜方法の調査研究及び統計等に関する事業の計画的な推進を行った。

平成26年度は計10回の会議を開催し、前年度の入試結果の分析、入学者選抜方法の検討、高校訪問・進学相談会の実施計画の策定、入試区分ごとの学生募集要項・選抜試験実施要領に関する審議、入学者選抜試験に係る現状分析を行った。なお、デザイン学部について、平成28年度入学者選抜試験からの特別選抜（推薦入学）における高等学校からの推薦人数の変更及び平成29年度入学者選抜試験からの一般選抜（後期日程）における大学入試センター試験の利用科目の変更を決定した。

また、学生募集に係る具体的な取組として、オープンキャンパス、大学・大学院等説明会、高校訪問及び中学生向け広報活動等を企画・実施した。

11 キャリア支援センター

キャリア支援センター会議は、両学部に関係するキャリア支援に係る改善・充実を目的として、平成20年4月に設置された。両学部のキャリア支援委員会において各学部の特性や特徴及び社会情勢に応じたキャリア支援を行った。

12 学内委員会

1) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、主に認証評価や年度計画の進捗管理等に関する事項を所管しており、平成26年度は7回開催した。

平成26年度の主な活動としては、平成25年度年度計画の実績報告書（案）の作成を行ったほか、平成26年度年度計画について半期（一部の項目は四半期）ごとに取組状況の進捗管理を行った。

進捗管理の点検結果は部局長会議等へ報告し学内で共有することにより、取組の遅れている項目



の改善を促すことができ、年度計画の着実な達成に向けた取組を行うことができた。

2) 教員評価委員会

平成26年度は3回の委員会のほか、ワーキングや専門部会を開催し、各教員から提出された教員活動実績申告書の確認作業や教員評価書の作成作業を行うとともに、次年度に向けた、記入要領及び申告書様式等の検証や教員評価制度の見直しを行った。

評価結果については、平成26年度末に任期満了を迎える教員の再任審査に活用し、また、研究費の追加配分にも活用した。

3) 総務委員会

平成26年度は9回の委員会を開催した。

委員会では、平成25年度に策定した「キャンパスの活用等に関するプラン骨子（案）」を基に、学内アンケート等を実施し、「プラン骨子」を策定した。

また、大学施設の学外利用について、見直しを行った。

なお、昨年を引き続き、夏季及び冬季の節電対策について検討を行い実施した。

4) FD委員会

FD委員会は、教員の資質向上、FDに関する情報の共有化・情報収集のため、学内研修会の開催及び学外研修会への教員派遣等を積極的に行った。委員会を10回開催し、FD活動の方針について論議するとともに、具体的な取り組みについて、内容を検討し、実施した。

平成26年度の具体的な活動として、FD委員会が主催・共催の全学FD研修会（3回）、学外研修会への教職員派遣（7回延べ7名）、授業評価アンケート集計結果に対する所見の公開を実施した。

なお、学内で実施されたFD研修会の実施状況については、FDマップを作成することで整理している。また、「北海道地区FD・SD推進協議会」に幹事校として参加し、北海道内の大学間のFD活動の交流にも関わっている。

5) 倫理委員会

倫理委員会は研究を遂行する際に、被験者（研究協力者）等の人権擁護の観点から、研究倫理に則った十分な配慮をした研究計画になっているかを審査している。

平成26年度は原則、毎月末日を研究倫理審査申請の締切りとし、毎月第4水曜日に委員会を開催した（計12回開催）。また、平成24年度から倫理委員会における審査の前段として、倫理委員が審査資料の確認をし、申請者へコメントを送付することにより、審査時間の短縮と研究倫理審査の申請から研究開始までの迅速化を図っている。年間の審査申請総数は42件であり、1回当たり平均3.5件の審査を実施した。審査結果は「承認」、「条件付承認」、「変更の勧告」、「非該当」のいずれかとし、「条件付承認」となった申請については、修正箇所を確認し承認する「迅速審査」を行った。

また、倫理審査の社会的透明性及び客観性を担保し、同時に申請者や委員に係るリスク管理の保全のために、平成23年度から引き続き、法律家を外部委員として委嘱し、吉岡直樹弁護士が委員として審査に加わった。

このほか、人を対象とする医学系研究の倫理指針が交付されたことを受け、倫理審査の基準作成の検討を開始した。

6) 教務・学生連絡会議

教務・学生連絡会議は、平成26年度に11回開催し、共通教育、デザイン・看護両学部の連携教育に関する事項及び学生生活、課外活動支援に関する事項等について、年度計画を見据え、かつ実際の授業運営等に即した事項について審議した。

具体的には、学事暦、時間割、シラバス、定期試験及び授業評価アンケートに関すること、また、奨学金、大学祭、チューター制度に関すること等について審議したほか、年度計画に対応した取り組みとしては、共通教育科目の効果検証、授業評価アンケートの見直し、成績評価状況の確認



等を行った。また、毎回、両学部の教務委員会及び学生支援委員会から教務及び学生支援に関する課題を報告し、両学部の情報を共有した。

7) 研究科教務・学生連絡会議

研究科教務・学生連絡会議は、平成26年度に11回開催し、デザイン・看護学両研究科の連携教育に関する事項、研究科連携科目に関する事項及び学生生活に関する事項等について、年度計画を見据え、かつ実際の授業運営等に即した事項について審議した。

具体的には、研究科連携科目である連携プロジェクト演習の効果検証、日本学生支援機構奨学金返還免除者の選考基準の策定、院生研究支援費、チューター制度等に関する事項について審議した。

構成員名簿

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	経営会議	◎蓮見 孝 中村 恵子 林 泰男	理事長 副学長 兼 看護学研究科長 事務局長
	部局長会議	◎蓮見 孝 中村 恵子 酒井 正幸 樋之津 淳子 城間 祥之 上遠野 敏 山本 勝則 林 泰男	理事長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 地域連携研究センター長 附属図書館長 事務局長
	学外連携企画会議	◎蓮見 孝 上遠野 敏 山本 勝則 林 泰男	理事長 地域連携研究センター長 附属図書館長 事務局長
	教育・研究企画会議	◎中村 恵子 酒井 正幸 樋之津 淳子 城間 祥之	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長
	広報室	◎蓮見 孝 中原 宏 齋藤 利明 スーディ神崎 和代 守村 洋 福田 大年 神島 滋子	理事長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 看護学部講師
	人事委員会	◎蓮見 孝 中村 恵子 酒井 正幸 樋之津 淳子 城間 祥之 林 泰男	学長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 事務局長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	キャンパス・ハラスメント防止委員会	◎蓮 見 孝 中村 恵子 酒井 正幸 樋之津 淳子 城間 祥之 林 泰男	学長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 事務局長
	地域連携研究センター	◎上 遠野 敏 原 俊彦 矢部 和夫 石井 雅博 松浦 和代 小田 和美 張 浦華 菊地 ひろみ 村松 真澄 石田 勝也 松井 美穂 三谷 篤史 田中 広美 藤井 瑞恵 金子 晋也 坂東 奈穂美 吉田 雅博 上田 理子	地域連携研究センター長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 デザイン学部助教 看護学部助教 事務局桑園事務室長 兼 調整担当部長 事務局地域連携課長
	図書館	◎山本 勝則 矢部 和夫 町田 佳世子 定廣 和香子 松永 康佑 原井 美佳 長谷川 聡 工藤 京子 上田 理子	附属図書館長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部講師 看護学部講師 デザイン学部助教 看護学部助教 事務局地域連携課長
	教育支援プロジェクトセンター	◎蓮 見 孝 中村 恵子 中原 宏 林 泰男	理事長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部教授 事務局長
	アドミッションセンター	◎酒井 正幸 樋之津 淳子 羽深 久夫 石井 雅博 宮崎 みち子 斉藤 雅也 山田 典子 杉本 達應	デザイン学部長 看護学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師



区分	委員会等	委員・構成員		
		教職員名	所属・職位等	
	アドミッションセンター	太田 晴美 丞野 直樹 布廣 成規	看護学部講師 事務局学生課長 事務局桑園担当課長	
	キャリア支援センター	酒井 正幸 ◎樋之津 淳子 石井 雅博 スーディ神崎 和代 吉田 雅博	デザイン学部長 看護学部長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局桑園事務室長 兼 調整担当部長	
学内委員会	常置委員会	自己点検・評価委員会	◎中村 恵子 酒井 正幸 樋之津 淳子 城間 祥之 吉田 和夫 松浦 和代 川上 敏正	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局次長 兼 経営企画課長
		教員評価委員会	◎蓮見 孝 中村 恵子 酒井 正幸 樋之津 淳子 城間 祥之 矢部 和夫 宮崎 みち子 林 泰男	学長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局長
		総務委員会	吉田 恵介 河原田 まり子 三谷 篤史 杉本 達應 山内 まゆみ 三上 智子 ◎林 泰男	デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 事務局長
		FD委員会	◎上 遠野 敏 武 邑 光裕 川村 三希子 山田 良 貝谷 敏子 清水 光子 大 渕 一博 檜山 明子 丞野 直樹 布廣 成規	地域連携研究センター長 デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 看護学部助教 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
		倫理委員会	◎山本 勝則 石崎 友紀 猪股 千代子 武田 亘明 大野 夏代	附属図書館長 デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授



区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
学内委員会	常置委員会	倫理委員会	菅原 美樹 片山 めぐみ 上田 理子	看護学部准教授 デザイン学部講師 事務局地域連携課長
	学部間	教務・学生連絡会議	◎酒井 正幸 樋之津 淳子 羽深 久夫 原 俊彦 細谷 多聞 河原田 まり子 川村 三希子 烝野 直樹 布廣 成規	デザイン学部長 看護学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
連絡調整会議		研究科間	◎中村 恵子 ◎城間 祥之 中原 宏 猪股 千代子 烝野 直樹 布廣 成規	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン研究科長 附属図書館長 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
	衛生委員会	芸術の森地区衛生委員会	町田 佳世子 武田 亘明 長谷川 聡 ◎川上 敏正	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部助教 事務局次長 兼 経営企画課長
桑園地区衛生委員会		坂倉 恵美子 山田 典子 田仲 里江 ◎吉田 雅博	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部助教 事務局桑園事務室長 兼 調整担当部長	
学部委員会	デザイン学部	教務委員会	◎細谷 多聞 町田 佳世子 山田 良 柿山 浩一郎 大渊 一博 須之内 元洋 金子 晋也	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部助教 デザイン学部助教
		学生支援委員会	◎羽深 久夫 上田 裕文 片山 めぐみ 小宮 加容子 杉本 達應 福田 大年 松井 美穂	デザイン学部教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師
		キャリア支援委員会	◎石井 雅博 杉 哲夫 斉藤 雅也 石田 勝也 上田 裕文	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学部委員会	デザイン学部 キャリア支援委員会	小宮 加容子 福田 大年 松永 康佑	デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師
	看護学部 教務委員会	◎河原田 まり子 定廣 和香子 上村 浩太 貝谷 敏子 古都 昌子 守村 洋 神島 滋子 田中 広美 原井 美佳 山本 真由美 坂東 奈穂美 星 幸江 御厩 美登里 柏倉 大作	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助手 看護学部助手 看護学部助手
	看護学部 学生支援委員会	◎川村 三希子 小田 和美 菊地 ひろみ 清水 光子 太田 晴美 渡邊 由加利 工藤 京子 田仲 里江 石引 かずみ 小田嶋 裕輝	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助手 看護学部助手
	看護学部 キャリア支援委員会	◎スーディ神崎 和代 村松 真澄 櫻井 繭子 藤井 瑞恵 三上 智子 多賀 昌江 横川 亜希子	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助手
研究科委員会	デザイン研究科 教務・学生支援委員会	◎中原 宏 石井 雅博 羽深 久夫 細谷 多聞 町田 佳世子 矢部 和夫 柿山 浩一郎 斉藤 雅也	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授
	デザイン研究科 研究科倫理審査会	◎石崎 友紀 原 俊彦 片山 めぐみ 吉田 雅博	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部講師 事務局桑園事務室長 兼 調整担当部長



区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
研究科委員会	看護学研究科	教務・学生支援委員会	◎猪股 千代子 古都 昌子 大野 夏代 菅原 美樹 山内 まゆみ	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師
		研究科倫理審査会	◎定廣 和香子 猪股 千代子 村松 真澄 吉田 雅博	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 事務局桑園事務室長 兼 調整担当部長

◎印：所管部局長等



13 FD・SD活動

FD活動 年間活動概要

(単位：名)

全学FD・SD		研修会名（講師）	場所	参加者数
7月2日	FD	教員および地域住民ファシリテーター養成に向けて (Studio-L・コミュニティデザイナー 西上ありさ氏)	芸森：階段教室	29
8月5日	FD	COCに関わる地域志向科目を考える (細谷教授、河原田教授、藪谷特任助教)	桑園：大講義室、 各教室	55
8月26日	FD	平成26年度札幌市立大学研究交流会	桑園：体育館、講義室1、 講義室2、講義室3	80
10月15日	FD	航空機からチョコレートへ (株式会社マサール 代表取締役 古谷勝氏)	桑園：講義室1 芸森：大講義室 ※遠隔で配信	61
①11月4日 ②11月12日	FD	他学部授業参観（看護学部開講科目） (①山田（典）准教授、②定廣教授)	①桑園：講義室5、3階 実習室、体育館 ②桑園：講義室2	①3 ②2
①11月19日 ②12月19日	FD	他学部授業参観（デザイン学部開講科目） (①小宮講師、②上田講師)	①芸森：C103 ②芸森：C303	①3 ②4
11月19日	FD	地域志向性を取り入れたカリキュラムを考える (定廣教授、細谷教授)	桑園：講義室1 芸森：大会議室 ※遠隔で配信	67
1月7日	FD/SD	知的財産出前セミナー (知的財産アドバイザー 丞村宏氏)	桑園：1階会議室	7
2月9日	FD	研究における倫理について～論文作成における不正 防止と研究経費の執行～ (独立行政法人科学技術振興機構 研究倫理室 副調査 役 高柳氏、主査 田口氏)	桑園：講義室1 芸森：C201 ※遠隔で配信	74
2月10日	FD	SCU=D×Nを語ろう2015 「異分野連携科目（地域 セミナー）」を実現する (COC教育改革推進チーム、FD委員)	桑園：大会議室、 演習室	64

(単位：名)

デザイン学部・研究科 FD・SD		研修会名（講師）	場所	参加者数
4月4日	FD	TAの心構えとTA受け入れについて (城間祥之教授)	芸森：レクチャールーム	3
4月23日	FD	模擬面接担当官から見たSCU学生の特徴・傾向 (有限会社プロ・アシスト 代表取締役 後藤真澄氏)	芸森：大会議室	35
5月27日	FD	デザイン学部コースプレゼンテーション (斉藤准教授、柿山准教授、福田講師、須之内助教)	芸森：大講義室	22
①9月26日 ②9月29日	FD	TAの心構えとTA受け入れについて（城間祥之教授）	①芸森：レクチャールーム ②芸森：E棟 講義室2	9



(単位：名)

看護学部・研究科 FD・SD		研修会名（講師）	場所	参加者数
4月23日	FD	卒業研究説明会－卒業研究の進め方と倫理審査について 看護学部卒業研究科目責任者（菊地ひろみ准教授）	桑園：講義室4	36
6月25日	FD	学位論文における研究倫理審査の課題と展望（宮崎みち子教授）	桑園：講義室4	49
7月16日	FD	SCUデータベースの活用の促進（キャリアデータベース班 山田准教授、村松准教授、三上講師、藤井講師）	桑園：講義室4	36
1月21日	FD	SCUデータベースの活用の現状と課題（キャリアデータベース班 山田典子准教授）	桑園：講義室4	33
3月5日	FD	学生を育てるための、模擬患者と教員の協働について考える（樋之津教授、御厩助手）	桑園：講義室5	52

(単位：名)

SD	研修名	形態	受講者数
4月2日	接遇マナー研修	外部	2
4月10日～11日	新採用職員研修	内部	3
5月14日・21日	Googleアナリティクス×アクセス解析基礎講座	外部	1
5月20日	新任管理・監督者特別講座	外部	1
5月27日	「真・報連相」実践講座	外部	1
7月2日	事例から学ぶ！クレーム対応研修	外部	1
7月14日～16日	平成26年度公立大学職員セミナー	外部	1
7月17日	タイムマネジメントセミナー	外部	2
7月23日	平成26年度公立大学協会 公立大学法人会計基礎セミナー	外部	1
7月31日	学生が大学を訴えた（西沢学園事件）」	内部	5
8月4日	自立型社員養成研修	外部	2
8月5日～7日	平成26年度公立大学協会 公立大学法人会計基礎セミナー	外部	1
9月29日	アサーティブコミュニケーション研修	委託	7
10月2日	ロジカルシンキング強化セッション	外部	1
10月21日	労働契約等解説セミナー2014	外部	1
12月17日	メディアコンテンツを活用した”WebPR”戦略	外部	1
3月20日	公立大学を取り巻く社会環境について	内部	10



X 資料

1 平成26年度年度計画

I 大学の教育研究の質の向上に関する目標を達成するための措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

(1) 教育の内容及び成果に関する目標を達成するための措置

ア 特色ある教育の実施

- 卒業時のアンケート等により共通教育科目の効果検証を実施し、抽出された課題を踏まえ、新カリキュラム導入に向けた共通教育科目の見直し案を検討する。
※指標：共通教育科目の効果検証の実施 26年度
- 学部及び研究科ごとの課題を踏まえ、横断型連携教育を実施するとともに、公開発表会のアンケート等による効果検証を継続して行う。
※指標：学部及び研究科における横断型連携教育の効果検証の実施 26年度
- 博士後期課程の完成に向けて、設置認可申請に基づいた教育を展開するとともに、文部科学省への履行状況報告を適切に実施する。
- 博士前期課程教育の検証に着手する。
- 平成25年度に実施した本学におけるグローバルな人材育成教育にかかる現状の課題整理及び先進事例の調査結果を踏まえ、新カリキュラムの導入に向けた取り組みを進める。

イ 時代に即した教育課程の編成

- ディプロマポリシー（学位授与の方針）に基づき、カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施方針）を検討する。
- 卒業時のアンケート等に基づき、学部学生の卒業時の学習到達度の検証を本格実施する。
※指標：学習到達度検証の本格実施 26年度

ウ 入学者選抜方法の検証と見直し

- アドミッションポリシーの他大学調査を継続し、明文化されたディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーの検討状況を踏まえ、アドミッションポリシーの見直しに向けた検討を行う。
- 各入学者選抜方法を検証するため、入学者アンケート結果及び志願状況（小論文又は実技の科目選択状況を含む）の分析を行うとともに、平成19～25年度入学者の入学後の成績等をもとに、追跡調査を行う。
- 高校生、保護者等へ本学の活動内容を周知するため、オープンキャンパスの開催、進学相談会、出前授業等への参加により多様な機会を設けるとともに、高等学校の教員を対象とする大学説明会を継続して開催する。
※指標：オープンキャンパス受入計画数 延べ880名
- 本学に関心をもってもらうため、中学生を対象とした広報活動を継続して実施する。

エ 教育方法の改善等

- 平成25年度に導入した、1年次における半期ごとの登録単位の上限の適切性について、学生の履修状況等を調査する。
- GPA制度を活用した履修指導を継続する。
- 公平かつ適切な成績評価を実施するため、各科目における成績評価基準や成績評価の状況を検証する。
- 平成25年度に導入した学部連携演習の評価基準、評価方法について検証する。
※指標：成績評価の検証 26年度

(2) 教育の実施体制に関する目標を達成するための措置

- 授業内容及び方法の改善を図るため、学生に対する授業評価アンケート及び卒業時の学生



に対する調査を実施し、その結果を教員へフィードバックする。

※指標：授業評価アンケート 学期ごと実施

授業評価アンケートの検証 26年度

卒業時の学生に対する調査 年1回実施

- ・ 教育内容の充実や教員の資質向上を図るため、平成24・25年度に開催した教員ワークショップ等のFD研修会の内容及び平成25年度に作成したFDマップをもとに、平成26年度FD研修会実施計画を策定し、成績評価・授業方法等の改善に資するFD研修会を計画的に実施し検証を行う。

※指標：FD研修会開催 7回以上

(3) 学生への支援に関する目標を達成するための措置

- ・ 産業界、保健・医療・福祉関係とのコンソーシアム（共同事業体）構築に向けて、デザイン関係団体、経済団体、保健・医療・福祉関係団体と連携し、平成24年度に採択された文部科学省の補助事業「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」の取り組み（3ヵ年）を実施する。

平成26年度には往還型研修や業界別のポートフォリオ研修会等を実施し、この取り組みを通して、企業、各団体及び卒業生と意見交換・討論会やワークショップなどを行い連携を強化し、コンソーシアム構築へ準備を進める。

- ・ 通年のキャリアガイダンスを継続し、学生の進路希望調査をもとに、学部の特長や学生ニーズに合わせて職場適応力及び職業適応力に留意したプログラムを実施する。
- ・ 就職活動解禁日(3月1日)の後ろ倒し及びそれに伴う企業採用活動の実質早期化への対応のため、特に影響の大きいデザイン学部において、各年次の学習目的を明確にしたキャリアガイダンスを2年次まで拡大し充実を図る。
- ・ 学生への情報伝達の改善に向けて、現状の課題及び先進事例調査等を踏まえ、情報伝達の改善に必要なシステム機能等の仕様を策定する。
- ・ 留学生を対象にしたチューター制度を継続して実施するとともに、留学生及びチューターとなった学生からの意見聴取等によって得られた課題に基づき、支援内容の充実を図る。

2 研究に関する目標を達成するための措置

(1) 研究水準及び研究成果に関する目標を達成するための措置

- ・ デザイン分野と看護分野が連携してウェルネス研究を推進する。

※指標：デザイン分野と看護分野が連携した研究数 6件

- ・ 今後の分野横断型連携を視野に入れながら、獲得済みの大型科研費（平成25～27年度）の研究を推進する。

- ・ 科学研究費補助金の新規応募及び継続申請を合わせた申請率72%を達成する。

※指標：科学研究費補助金の新規応募及び継続申請を合わせた申請率 72%

- ・ 学術奨励研究費の「国際学会・国際展示会等発表者補助」を継続し、教員の研究成果を、評価の高い学術誌や著書、国際学会・国際展示会等に積極的に発表することを促進する。

- ・ 学術奨励研究費に「学術論文掲載料等補助」を新設し、国際学会誌への発表を促進する。

※指標：国際学会等における発表件数 10件以上

(2) 研究の実施体制等に関する目標を達成するための措置

ア 地域連携の強化

- ・ 産学連携に係る地域連携研究センターの機能強化を図るため、地域連携相談窓口への相談件数を増やすことを目的としてPR活動を行う。また、「研究・活動事例集」ならびに「研究成果報告集」を継続して発刊する。

※指標：共同研究・受託研究の数（研究支援目的の寄附金を含む） 14件/年

- ・ サテライトキャンパスの稼働率の分析を継続して行い、本学と学外機関との連携の場としての活用を促進する。

- ・ 外部機関や他大学等との連携の場として、地域連携研究センターがサテライトキャンパスを活用する。



※指標：外部機関や他大学等との連携の場としての活用 40件以上/年

II 地域貢献、国際化、大学間連携に関する目標を達成するための措置

1 地域貢献に関する目標を達成するための措置

(1) 札幌市等のまちづくりへの貢献に関する目標を達成するための措置

- ・ 学内の地域貢献に関わる情報の集約と発信に積極的に取り組む。
- ・ 産業界とのネットワークを活用し、産学連携等に関わる情報を入手し、学内に発信する。
- ・ 学内のシーズ発掘に取り組むとともに、教員の研究成果の公表等、ネットワークづくりに向けた取り組みを進める。
- ・ 北海道立総合研究機構や北海道医療福祉産業研究会等と連携して研究に取り組むとともにセミナーや講演会等を開催する。

※指標：まちづくりに貢献した事例数 100件以上/年

※指標：産業界及び保健・医療・福祉業界等とのネットワーク構築 26年度

(2) 市民への学習機会の提供に関する目標を達成するための措置

- ・ 公開講座の充実を図り、受講者の満足度をアンケート等で確認する。
- ・ 公開講座の体系化を踏まえ内容を充実させ、大学の知的資源の地域への還元に取り組む。
- ・ COC事業と連携し、さっぽろ夜学校等の専門職向けの公開講座の継続的な実施を行う。また、認定看護管理者教育課程サードレベル等の専門職業人を対象とした支援講座等を実施する。

※指標：専門職業人支援講座等開催 225時間以上/年

2 国際化に関する目標を達成するための措置

- ・ 国際化に関する方針に基づき、方針で掲げた4つの戦略である「学生の国際化」、「教職員の国際化」、「提携校との交流の活性化」、「海外とのネットワーク化」を推進する。
- ・ 海外提携校を中心とした学生及び教員の海外への派遣と受入れを実施する。
- ・ 共同研究費募集の際に、海外提携校ならびに提携の可能性がある機関との取り組みについて積極的に募集する。

※指標：教員・学生派遣受入 10人以上

3 大学間連携に関する目標を達成するための措置

- ・ 第二期経営戦略で掲げた「地域創成の核となる大学づくり（Center of Community）」を推進するとともに、地域課題の解決に資するため、他大学と連携した取り組みを検討し、将来的な大学間ネットワークの形成につなげていく。

III 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

1 運営体制・手法に関する目標を達成するための措置

(1) 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置

- ・ 平成25年度に策定した実行プログラムを踏まえ、第二期経営戦略の計画的な推進に取り組む。
- ・ 平成25年度に新設した経営会議、教育研究企画会議、学外連携企画会議を機動的に開催・運営し、理事長（学長）のリーダーシップが適切に発揮できるように取り組む。

(2) 教職員の配置・定員の適正化に関する目標を達成するための措置

ア 教職員配置の適正化

- ・ 予算及びその基準となる定員計画等に基づき、適正に教職員を配置するとともに検証を行う。

イ 職員の育成



- ・平成26年度末に、市派遣職員を1名引き上げるとともに、それに伴う職員の採用を行う。
※指標：札幌市派遣職員の引揚げ 1名/年
- ・平成24年度に策定した人材育成基本方針に基づき、研修受講機会を適切に提供するとともに、受講履歴を管理する。
- ・平成25年度に始めた研修成果発表会を継続して開催し、研修受講者の研修成果を自ら振り返り、他の事務局職員へのフィードバックを行う。

(3) 教員評価制度に関する目標を達成するための措置

- ・平成25年度に見直した新たな教員活動実績申告書により、年度上半期中に教員評価を実施する。

2 事務の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置

- ・第二期経営戦略を踏まえ、効率的な事務執行に向けた職員配置・人事異動を行う。
- ・時間外労働を削減するための取り組みを事務局全課体制で実施する。
※指標：超過勤務時間の削減 前年度比減

3 広報の充実に関する目標を達成するための措置

- ・広報戦略の行動計画を実施する。

IV 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

1 自己収入の増加に関する目標を達成するための措置

- ・科学研究費補助金を含む外部資金の募集情報に関して、e-Radなどの情報提供手段を教員に対して周知する。

※指標：教員向け情報提供 年3回実施

- ・科学研究費補助金の申請支援の強化策として、引き続き、以下の支援策を展開する。
 - －科学研究費補助金採択者の了承を得た申請書の公開
 - －原則全教員が参加する教員会議の場等を活用した申請の促進
 - －事務局内の科学研究費補助金申請支援担当者による申請書の確認
- ・寄附金等を活用した基金について、指標である平成28年度の設置に向けて継続して検討を行う。

2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置

- ・平成26年度予算の運営費交付金査定において枠として査定されている教育経費、教育研究支援経費、一般管理費について、その執行の際に義務的経費の抑制に努め、捻出された経費を優先度の高い事業等へ充当する。
- ・基幹ネットワークシステムの更新にあたり、管理費用の抑制を実現する。

V 自己点検・評価に関する目標を達成するための措置

- ・マネジメントサイクルによる自己点検・評価を実施し、半期（中期計画大項目第4、第5、第7にかかる計画は四半期ごと）の年度計画の進捗管理を行う。
- ・認証評価及び札幌市地方独立行政法人評価委員会の評価結果を受け、改善が必要な事項については、適宜大学運営に反映させる。
- ・自己点検・評価委員会は、認証評価機関の評価項目及び評価基準に基づき、次回の自己点検・評価の実施に向け必要な資料を作成、蓄積する。

VI その他業務運営に関する目標を達成するための措置

1 施設・設備の整備・維持管理に関する目標を達成するための措置

(1) 教育研究環境の充実に関する目標

- ・施設整備費補助金による冷暖房設備保全工事を適正に実施する。
- ・桑園キャンパス外壁改修工事及び芸術の森キャンパス暖房給湯設備等更新工事実施設計を



適正に実施する。

- ・ 平成27年度施設整備費補助金の予算要求を行う。
- ・ 札幌市の次期中期計画を視野に入れ、平成27年度から5年程度を目安に保全計画の内容や費用の精査を進める。
- ・ 年間2,000冊程度の図書を整備し、図書館の蔵書の充実を図る。
- ・ 電子ジャーナル、データベースの購読契約にかかわる方針を策定する。
- ・ 教育研究備品整備費（10,000千円）について、経営会議において検討し適切に執行する。
- ・ 平成27年度の予算編成に向け、学内調整を行う。
- ・ 学位論文、学術情報等の集積、提供などの機能充実のために、機関リポジトリの導入を図り、公開する。
- ・ 学内利用者に対する文献検索に関するガイダンス等を実施し、図書館利用に関する情報提供の機会を設ける。

(2) キャンパスの活用に関する目標を達成するための措置

- ・ 平成25年度に取りまとめたキャンパス活用等に関するプランの骨子（案）を基に、教員・学生等の意見集約を行い、プラン骨子を策定する。

2 安全管理等に関する目標を達成するための措置

(1) 安全管理の徹底に関する目標を達成するための措置

- ・ 全学的な安全衛生管理において、可能な限りのリスク低減を実現するため、危機管理基本マニュアルの見直しと併せた検討を進める。
- ・ キャンパスハラスメントの防止に向けた周知、啓発等を継続的に実施する。
- ・ キャンパスハラスメントに関する相談や申出があった場合には適切に対応し、防止に向けた改善策を実施する。

(2) 災害時の対応に関する目標を達成するための措置

- ・ 全学的な危機管理に関して、平成25年度に策定した見直し骨子に基づく危機管理基本マニュアルの見直しを進める。

3 環境に関する目標を達成するための措置

- ・ 施設管理支援システム（CAFM）を活用し、施設でのエネルギー使用状況を把握するとともに、学生や教職員へ節電等の意識啓発を行うなど、省エネルギー対策の取り組みを継続する。

※指標：エネルギー消費量 前年度比減

VII 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

別紙参照

VIII 短期借入金の限度額

1 短期借入金の限度額

2億円

2 想定される理由

運営費交付金の受入れ遅延及び事故の発生等により緊急に必要となる対策費として借り入れることが想定される。

IX 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

なし。

X 剰余金の使途

決算において剰余金が発生した場合、教育研究の質の向上及び組織運営の改善に充てる。



XI 施設及び設備に関する計画

- ・ 経常的修繕 8,797千円
- ・ 芸森GHAB棟空調設備更新工事 174,000千円
- ・ 芸森エントランス、アリーナ空調設備更新等設計業務 2,116千円
- ・ 桑園外壁修繕工事 29,884千円

(注) 金額については見込みであり、上記のほか、業務の実施状況に応じた施設・設備の改善や、老朽度合いに応じた改修等を追加することもあり得る。

XII 人事に関する計画

1 教職員配置の適正化

- ・ 予算及びその基準となる定員計画等に基づき、適正に教職員を配置するとともに検証を行う。(再掲)

2 職員の育成

- ・ 平成26年度末に、市派遣職員を1名引き上げるとともに、それに伴う職員の採用を行う。(再掲)

3 研修の充実

- ・ 平成24年度に策定した人材育成基本方針に基づき、研修受講機会を適切に提供するとともに、受講履歴を管理する。(再掲)
- ・ 平成25年度に始めた研修成果発表会を継続して開催し、研修受講者の研修成果を自ら振り返り、他の事務局職員へのフィードバックを行う。(再掲)

別紙 予算、収支計画、資金計画 (人件費の見積りを含む)

1. 予算

(単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	1,522
施設整備費補助金	206
授業料等収入	481
受託研究等収入及び寄附金収入	27
補助金収入	62
その他収入	22
目的積立金取崩	11
計	2,331
支出	
教育研究経費	445
受託研究等経費及び寄附金事業費等	27
人件費	1,242
一般管理費	349
施設整備費	206
補助金事業費	62
計	2,331



2. 収支計画 (単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	
経常費用	2,184
教育研究経費	454
受託研究等費	24
人件費	1,242
一般管理費	307
財務費用	4
減価償却費	153
収益の部	
経常収益	2,173
運営費交付金収益	1,504
授業料等収益	503
受託研究等収益	27
補助金収益	62
資産見返運営費交付金戻入	40
資産見返寄附金戻入	4
資産見返物品受贈額戻入	8
資産見返補助金戻入	3
雑益	22
その他収益	22
純利益（純損失）	△11
目的積立金取崩益	11
総利益（総損失）	0



3. 資金計画 (単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	2,506
業務活動による支出	2,006
投資活動による支出	224
財務活動による支出	101
翌年度への繰越金	175
資金収入	2,506
業務活動による収入	2,114
運営費交付金による収入	1,522
授業料及び入学検定料による収入	481
受託研究等による収入	27
補助金等による収入	62
その他収入	22
投資活動による収入	206
施設費による収入	206
財務活動による収入	0
前年度よりの繰越金	186

2 平成26年度決算

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,522	1,522	—	
施設整備費補助金	206	200	△ 6	
授業料等収入	481	467	△ 14	(注1)
受託研究等収入及び寄附金収入	27	35	8	
補助金収入	62	68	6	
その他収入	22	21	△ 1	
目的積立金取崩	11	18	7	(注2)
計	2,331	2,331	—	
支出				
教育研究経費	445	426	△ 19	(注3)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	27	30	3	
人件費	1,242	1,283	41	(注4)
一般管理費	349	351	2	
施設整備費	206	200	△ 6	
補助金事業費	62	69	7	
計	2,331	2,359	28	
収入-支出	—	△ 28	△ 28	

○予算と決算の差異について

- (注1) 予算積算における学生数に比べ実際の学生数が少なかったため、減少しました。
(注2) 基幹ネットワークシステム設計構築費に係る一部費用分を予算補正したため、増加しました。
(注3) 業務の効率的運営（リース契約の見直し等）により、減少しました。
(注4) 定年退職以外の教員退職金、人事院勧告及び札幌市人事委員会勧告の本学への適用等により、増加しました。



3 教職員数（平成27年3月31日現在）

1) 学部別教員数（単位：名）

学 長	1
副 学 長	1
デザイン学部	36
看護学部	42
合計	80

2) 職位別教員数（単位：名）

		教授	准教授	講師	助教	助手	計	非常勤講師
デザイン学部	男	17	4	7	3	0	31	32
	女	1	1	3	0	0	5	13
看護学部	男	1	2	0	0	2	5	32
	女	10	8	10	5	4	37	20
合計		29	15	20	8	6	78	97

3) 職員数（単位：名）

	事務系	教務系	技術・技能系	医療系	その他	計
男	22	2	0	0	0	24
女	48	4	0	0	0	52
合計	70	6	0	0	0	76

4 管理職一覧表（平成27年3月31日現在）

役職名	教職員名
学長	蓮見 孝
副学長 兼 看護学研究科長	中村 恵子
デザイン学部長	酒井 正幸
看護学部長	樋之津 淳子
デザイン研究科長	城間 祥之
地域連携研究センター長	上遠野 敏
附属図書館長	山本 勝則
事務局長	林 泰男
事務局次長 兼 経営企画課長	川上 敏正
事務局桑園事務室長 兼 調整担当部長	吉田 雅博
事務局総務課長	西村 剛
事務局地域連携課長	上田 理子
事務局学生課長	烝野 直樹
事務局桑園担当課長	布廣 成規



5 教員一覧表（平成27年3月31日現在）

デザイン学部		看護学部		教育支援プロジェクトセンター	
職位	教員名	職位	教員名	職位	教員名
教授	蓮見 孝	教授	中村 恵子	特任助教	藪谷 祐介
教授	酒井 正幸	教授	樋之津 淳子	特任助教	中田 亜由美
教授	城間 祥之	教授	山本 勝則		
教授	上遠野 敏	教授	宮崎 みち子		
名誉教授・特任教授	原田 昭	教授	猪股 千代子		
教授	石井 雅博	教授	小田 和美		
教授	石崎 友紀	教授	河原田 まり子		
教授	齋藤 利明	教授	川村 三希子		
教授	杉 哲夫	教授	坂倉 恵美子		
教授	武邑 光裕	教授	定廣 和香子		
教授	中原 宏	教授	スーディ神崎 和代		
教授	羽深 久夫	教授	松浦 和代		
教授	原 俊彦	准教授	上村 浩太		
教授	細谷 多聞	准教授	大野 夏代		
教授	町田 佳世子	准教授	貝谷 敏子		
教授	矢部 和夫	准教授	菊地 ひろみ		
教授	吉田 和夫	准教授	清水 光子		
教授	吉田 恵介	准教授	菅原 美樹		
准教授	柿山 浩一郎	准教授	古都 昌子		
准教授	斉藤 雅也	准教授	村松 真澄		
准教授	武田 亘明	准教授	守村 洋		
准教授	張 浦華	准教授	山田 典子		
准教授	山田 良	講師	太田 晴美		
講師	石田 勝也	講師	神島 滋子		
講師	上田 裕文	講師	櫻井 繭子		
講師	大渕 一博	講師	田中 広美		
講師	片山 めぐみ	講師	原井 美佳		
講師	小宮 加容子	講師	藤井 瑞恵		
講師	杉本 達應	講師	三上 智子		
講師	福田 大年	講師	山内 まゆみ		
講師	松井 美穂	講師	山本 真由美		
講師	松永 康佑	講師	渡邊 由加利		
講師	三谷 篤史	助教	工藤 京子		
助教	金子 晋也	助教	多賀 昌江		
助教	須之内 元洋	助教	田仲 里江		
助教	長谷川 聡	助教	坂東 奈穂美		
特任教授	小西 敏正	助教	檜山 明子		
		助手	石引 かずみ		
		助手	小田嶋 裕輝		
		助手	柏倉 大作		
		助手	星 幸江		
		助手	御厩 美登里		
		助手	横川 亜希子		
		特任准教授	松永 直子		



6 学生定員及び学生数（平成26年5月1日現在）

1) 学生定員 (単位：名)

学部	入学定員	3年次編入学定員	総定員
デザイン学部	85	10	350
看護学部	80	10	340
合計	165	20	690

2) 学生数 (単位：名)

学部	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン学部	1学年	30	62	92
	2学年	20	69	89
	3学年	27	70	97
	4学年	30	71	101
看護学部	1学年	2	82	84
	2学年	9	74	83
	3学年	10	84	94
	4学年	7	82	89
助産学専攻科		0	9	9
合計		135	603	738

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士前期課程	1学年	7	8	15
	2学年	5	8	13
看護学研究科 博士前期課程	1学年	1	11	12
	2学年	8	29	37
合計		21	56	77

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士後期課程	1学年	2	2	4
	2学年	1	1	2
	3学年	2	2	4
看護学研究科 博士後期課程	1学年	0	2	2
	2学年	1	2	3
	3学年	1	3	4
合計		7	12	19



3) 科目等履修生・聴講生・研究生 (単位：名)

学部	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン学部	0	0	0	0
看護学部	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

研究科	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン研究科	0	0	1	1
看護学研究科	5	0	5	10
合計	5	0	6	11

7 授業料等

(単位：名)

区分	検定料	入学料		授業料
		札幌市内居住者	札幌市外居住者	
学部	17,000	141,000	282,000	535,800
研究科	30,000	141,000	282,000	535,800
専攻科	18,000	84,600	169,200	535,800
科目等履修生・聴講生	9,800	14,100	28,200	1単位につき 14,800
研究生	9,800	42,300	84,600	月額29,700

8 奨学金貸与・授業料減免実施状況 (平成27年3月31日現在)

奨学金貸与状況

(単位：名)

学年	日本学生支援機構		その他	計
	第1種	第2種		
1学年	52	49	2	103
2学年	46	45	5	96
3学年	49	58	8	115
4学年	48	47	7	102
助産学専攻科	1	0	0	1
大学院1年生	9	4	2	15
大学院2年生	6	1	6	13
合計	211	204	30	445



授業料減免実施状況

(単位：名)

学年	学期	全額減免者	半額減免者	計
1学年	前期	0	17	17
	後期	0	18	18
2学年	前期	0	17	17
	後期	0	20	20
3学年	前期	0	23	23
	後期	0	21	21
4学年	前期	0	16	16
	後期	0	15	15
助産学専攻科	前期	0	0	0
	後期	0	0	0
大学院1年生	前期	0	3	3
	後期	0	3	3
大学院2年生	前期	0	3	3
	後期	0	2	2
大学院3年生	前期	0	0	0
	後期	0	0	0
合計	前期	0	79	79
	後期	0	79	79



9 学生の入選・受賞

年月	氏名	内容	主催者
平成26年4月	秋元 菜奈実	札幌市電の新型車両「ポラリス」ロゴマーク採用	札幌市
平成26年4月	菊池 はるか	「生物多様性シンボルマーク」最優秀賞	札幌市
平成26年5月	飯島 美咲子	北海道災害看護支援コミュニケーション『EZO看』ロゴマーク採用	北海道災害看護支援コミュニケーション『EZO看』
平成26年6月	加藤 杏奈 神谷 直子 橋本 阿子 広瀬 優衣	日本ハムファイターズ応援作戦会議合同企画「ファンが協力する満員プロジェクト！」ロゴマーク採用	私設応援組織「日本ハムファイターズ応援作戦会議」
平成26年6月	山越 双葉	親子メカトロ教室「走れ！ロボットカー」ポスターデザイン採用	(一社) 日本機械学会
平成26年7月	秋田 胡桃	「2017冬季アジア札幌大会」ポスターデザイン採用	(公財) 第8回冬季アジア大会組織委員会
平成26年7月	吉村 佑馬 横山 航 若山 健太郎 神守 優二 中島 隆紀	「札幌国際芸術祭2014 チ・カ・ホ学生展」出展	札幌国際芸術祭2014
平成26年7月	沼田 香織 平中 麻美子	「奥洞爺」ロゴマーク採用	壮瞥町商工会
平成26年7月	平中 麻美子	「奥洞爺牛」ロゴマーク採用	壮瞥町商工会
平成26年8月	村井 彩音	「2014年度 精密工学会 北海道支部 学術講演会」優秀プレゼンテーション賞	(社)精密工学会
平成26年8月	浦本 昂志	「2014年度 精密工学会 北海道支部 学術講演会」第14回CAD/CGモデリングコンテスト優秀賞	(社)精密工学会
平成26年8月	提案「HAU」 (浦本、佐藤、安田、佐々木)	第9回 金の卵 オールスター デザイン ショーケース「AXIS金の卵展」入選	アクシスギャラリー
平成26年8月	提案「de-with」 (岡沢、小林、桜井、土山)	第9回 金の卵 オールスター デザイン ショーケース「AXIS金の卵展」入選	アクシスギャラリー
平成26年9月	チーム 「ほっこりSCU」 梅川 未来 山越 双葉 廣石 健太 山代 修平	「第14回ロボット・トライアスロン」デザイン賞	ロボット・トライアスロン運営委員会
平成26年9月	梅川 未来	「第14回ロボット・トライアスロン」ポスターデザイン採用	ロボット・トライアスロン運営委員会
平成26年9月	郷家 智代	「第43回北海道学生陸上競技選手権大会」女子100m7位入賞	北海道学生陸上競技連盟
平成26年9月	郷家 智代	「第43回北海道学生陸上競技選手権大会」大会プログラム表紙デザイン採用	北海道学生陸上競技連盟
平成26年10月	廣石 健太	「SCUキャッチコピー」最優秀賞	札幌市立大学
平成26年10月	渡邊 一生	「SCUキャッチコピー」優秀賞	札幌市立大学



年月	氏名	内容	主催者
平成26年10月	園山 茉生	新斜里町立図書館イメージキャラクターデザイン採用	斜里町役場
平成26年10月	鎌田 遥	北海道ココロカラー採用	北海道ココロカラープロジェクト
平成26年10月	山田良研究室	「Sapporo Section:Architecture美術と建築、これからの札幌」 出展	札幌国際芸術祭2014
平成26年10月	神守 優二	「真駒内の未来を考えるまちづくりアイデアコンペ」 優秀賞	札幌市
平成26年11月	沼田 幸太郎	「さっぽろ学生ITアイデアコンテスト2014」 優秀賞	(一財) さっぽろ産業振興財団



10 学生の課外活動

	公認団体	主な入選・受賞等
1	バスケットボール部	
2	吹奏楽部	
3	軽音楽部	
4	美術部「noumenon (ノメノン)」	
5	YOSAKOIソーラン部「～真花～」	第23回YOSAKOIソーラン祭り セミファイナル 審査 優秀賞
6	デザイン部「GNING (グニング)」	
7	服飾制作部「Alice (アリス)」	
8	写真映像部「SEED (シード)」	
9	演劇部「デンコラ」	
10	茶道部「Cha部」	
11	絵本ボランティアサークル「しゃぼん玉」	
12	フットサルサークル「SCUギャラクシー」	
13	創作活動サークル「創・KIZ・」	
14	ダンスサークル「VOLUME (ボリューム)」	
15	バドミントンサークル	
16	映像制作研究サークル「Vomish (ボミッシュ)」	
17	陶器模様研究会「ワレモノ」	
18	カレー研究サークル「SCUカレー研究会」	
19	スポーツサークル「すぼさ」	
20	野球サークル「ウップス！」	
21	国際協力／ボランティアを考える会 (同好会) 「AMIGO (アミーゴ)」	
22	地域交流ボランティア同好会「act (アクト)」	
23	アクティ部 (同好会) 「ナースポ」 ナース+スポーツ	
24	バドミントン同好会	
25	アウトドア同好会「PEAK (ピーク)」	
26	コピーダンス同好会「CO*Peace (コピーズ)」	
27	ハンドメイド同好会「はらっぱ」	
28	バレーボール同好会	
29	合唱同好会	
30	ダンス同好会「ROOM (ルーム)」	
31	天文観測同好会「スピカ」	



11 後援会

後援会（平成19年2月発足）は、学生の福利厚生推進等、学生生活の充実に向けて必要な支援を行い、教育目的の達成に寄与することを目的として活動している。

（平成26年度）

役員	(会 長) 小林 宏史 (副会長) 中田 保之 (理 事) 鎌田 久美子、土屋 節子、今野 裕二、蛭谷 勝浩、藤島 健志、大西 和恵、 高橋 節子 (監 事) 三浦 正、本間 日出春
主な事業	・ 課外活動（部活動、大学祭、地域ボランティア活動等）支援 ・ 就職対策（就職試験対策、就職講話、資格取得支援、国家試験対策） ・ 後援会報「SSA News」発行
後援会費	40,000円（ただし、編入学生は20,000円、助産学専攻科生は10,000円）

12 教育・研究刊行物一覧

発行年月	名称
平成26年4月	平成26年度履修要項（履修の手引き、授業計画）
平成26年4月	平成26年度学生生活ハンドブック
平成26年4月	2015大学案内
平成26年5月	平成27年度デザイン学部3年次編入学学生募集要項
平成26年5月	平成27年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 推薦選抜）
平成26年5月	SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING2014 札幌市立大学研究論文集第8巻第1号
平成26年6月	平成27年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 一般選抜・特別選抜）
平成26年6月	平成27年度学生募集要項（デザイン研究科 博士後期課程）
平成26年6月	平成27年度入学者選抜要項（デザイン学部・看護学部）
平成26年6月	平成27年度看護学部3年次編入学学生募集要項
平成26年6月	平成27年度学生募集要項（看護学研究科 博士前期課程）
平成26年6月	平成27年度学生募集要項（助産学専攻科）
平成26年6月	札幌市立大学研究・成果事例集2013
平成26年7月	平成27年度学生募集要項（看護学研究科 博士後期課程）
平成26年7月	札幌市立大学研究成果報告集2013
平成26年9月	平成27年度学生募集要項（デザイン学部・看護学部 特別選抜）
平成26年11月	平成27年度学生募集要項（デザイン学部・看護学部 一般選抜）
平成26年11月	平成27年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 第2次募集）
平成26年11月	平成27年度学生募集要項（看護学研究科 博士前期課程 第2次募集）
平成27年1月	札幌市立大学附属図書館ニュースレターのほほん第8号
平成27年3月	デザイン学部・デザイン研究科卒業修了研究展（2015 図録）
平成27年3月	平成26年度 デザイン研究科修了研究梗概集
平成27年3月	平成26年度札幌市立大学看護学部キャリア支援委員会活動報告書
平成27年3月	産官学連携による地域・社会の未来を拓く人材の育成 平成26年度最終報告書
平成27年3月	ウェルネス×協奏型地域社会の担い手育成「学び舎」事業 平成26年度成果報告書



13 施設

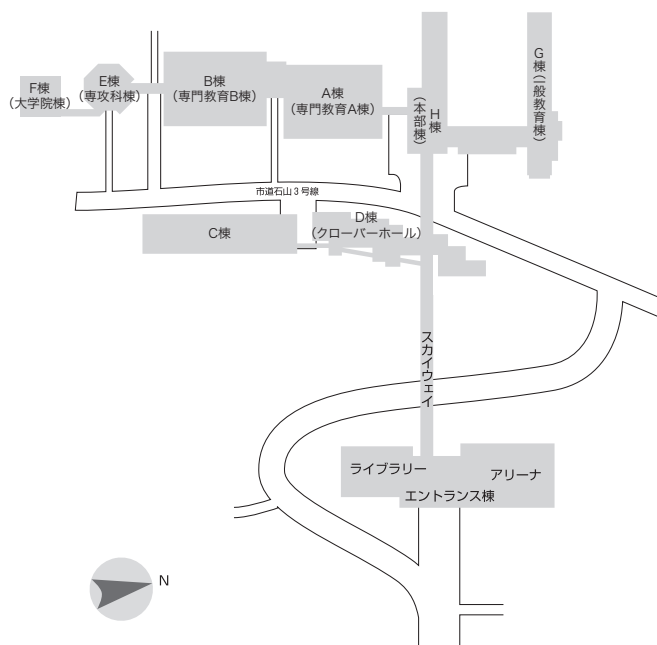
1) 校地・校舎、講義室・演習室等の面積

(平成27年3月31日現在)

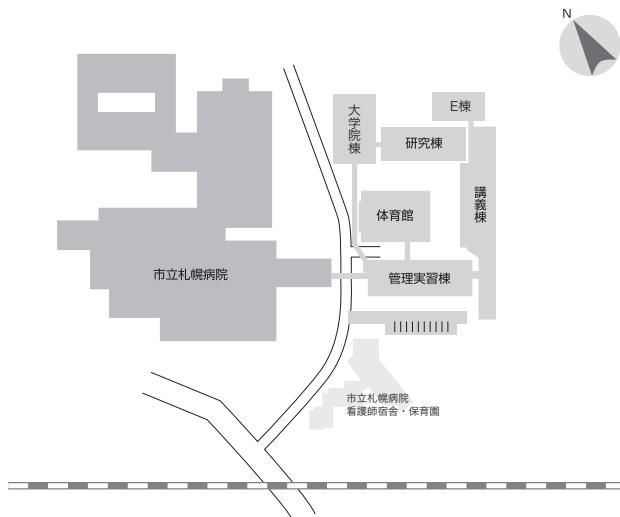
区分	校地・校舎		講義室・演習室等	
	校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	総数	面積 (㎡)
芸術の森キャンパス	167,617	23,087	53	5,696
桑園キャンパス	18,152	12,367	30	3,132
合計	185,769	35,454	83	8,828
サテライトキャンパス	178	178	2	152
COCキャンパス	764.43	764.43		

2) 芸術の森キャンパス・桑園キャンパス・サテライトキャンパス・COCキャンパス
(施設配置図・校舎配置図)

芸術の森キャンパス
〒005-0864
北海道札幌市南区芸術の森1丁目
TEL : 011-592-2300 (代)
FAX : 011-592-2369

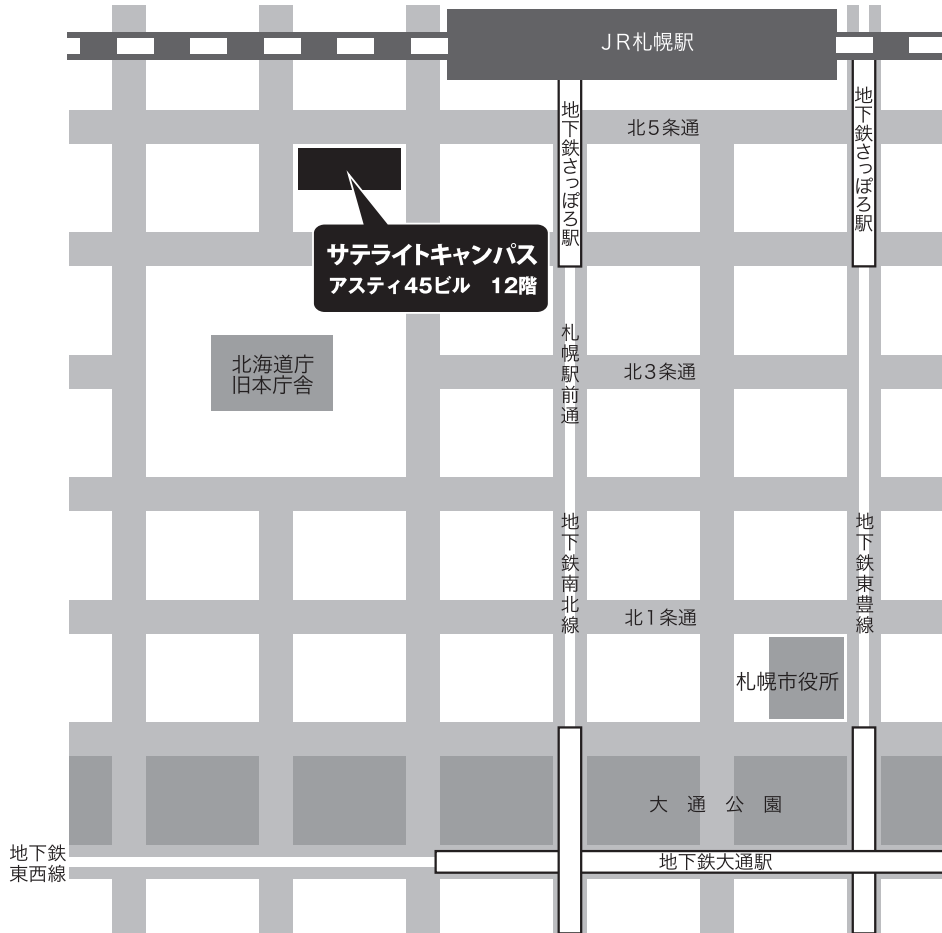


桑園キャンパス
〒060-0001
北海道札幌市中央区北11条西13丁目
TEL : 011-726-2500 (代)
FAX : 011-726-2506

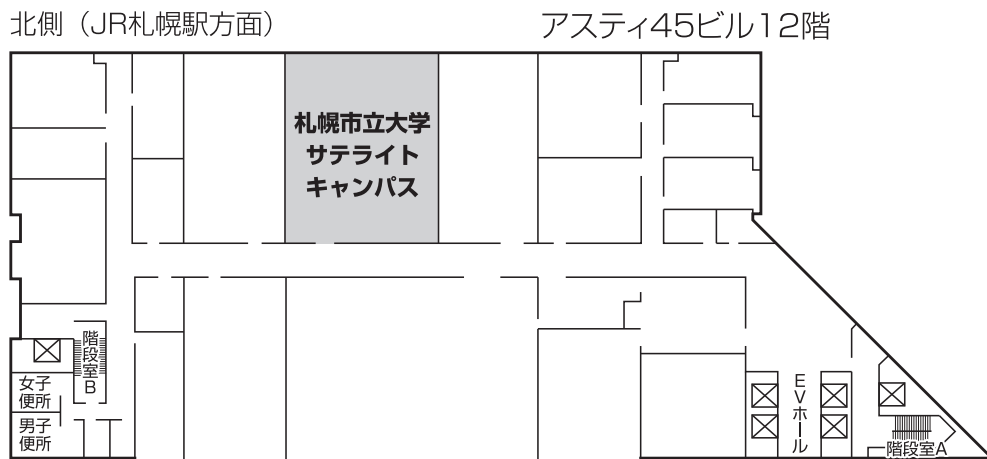




サテライトキャンパス
 〒060-0004
 北海道札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45ビル12階
 TEL : 011-218-7500 (代)
 FAX : 011-218-7507



〈施設配置図〉





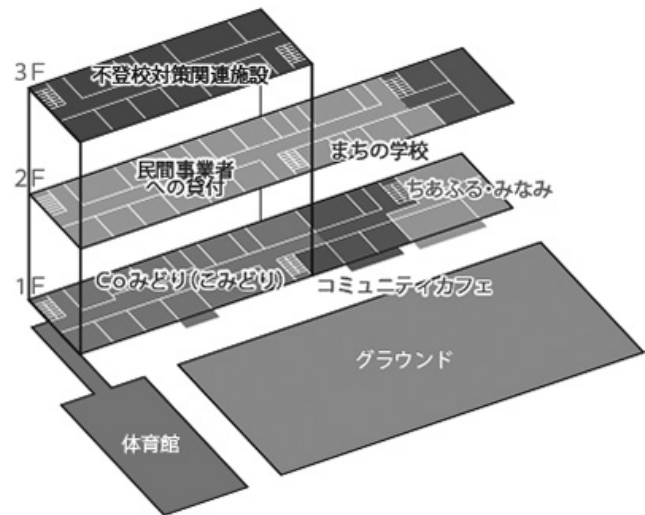
COCキャンパス

〒005-0014

北海道札幌市南区真駒内幸町2丁目2-2 まこまる（旧真駒内緑小学校）内

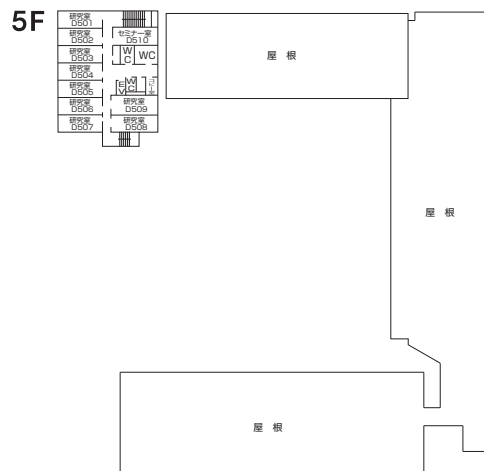
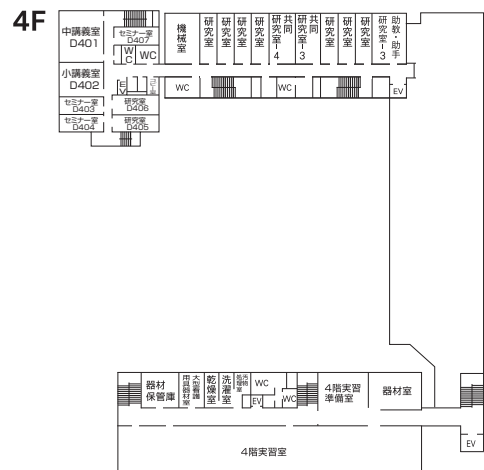
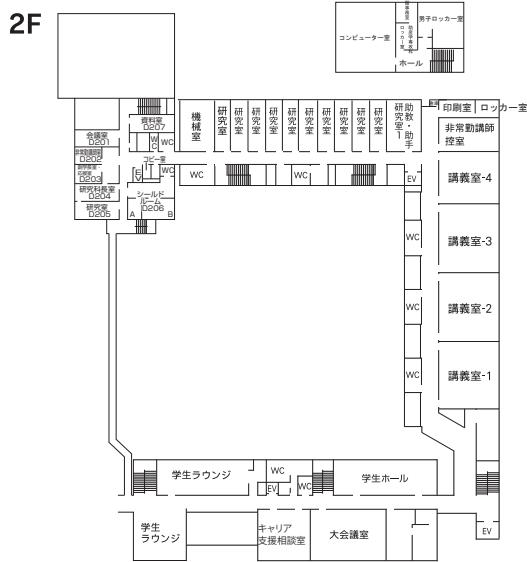
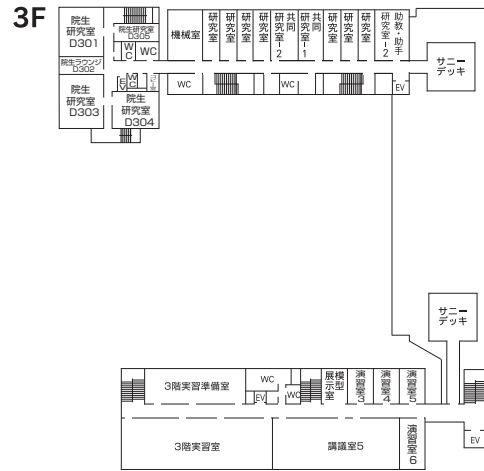
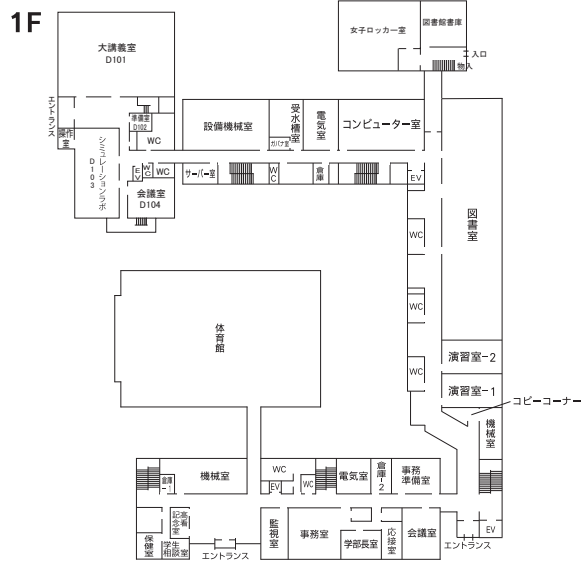
TEL：011-596-6675

FAX：011-596-6676



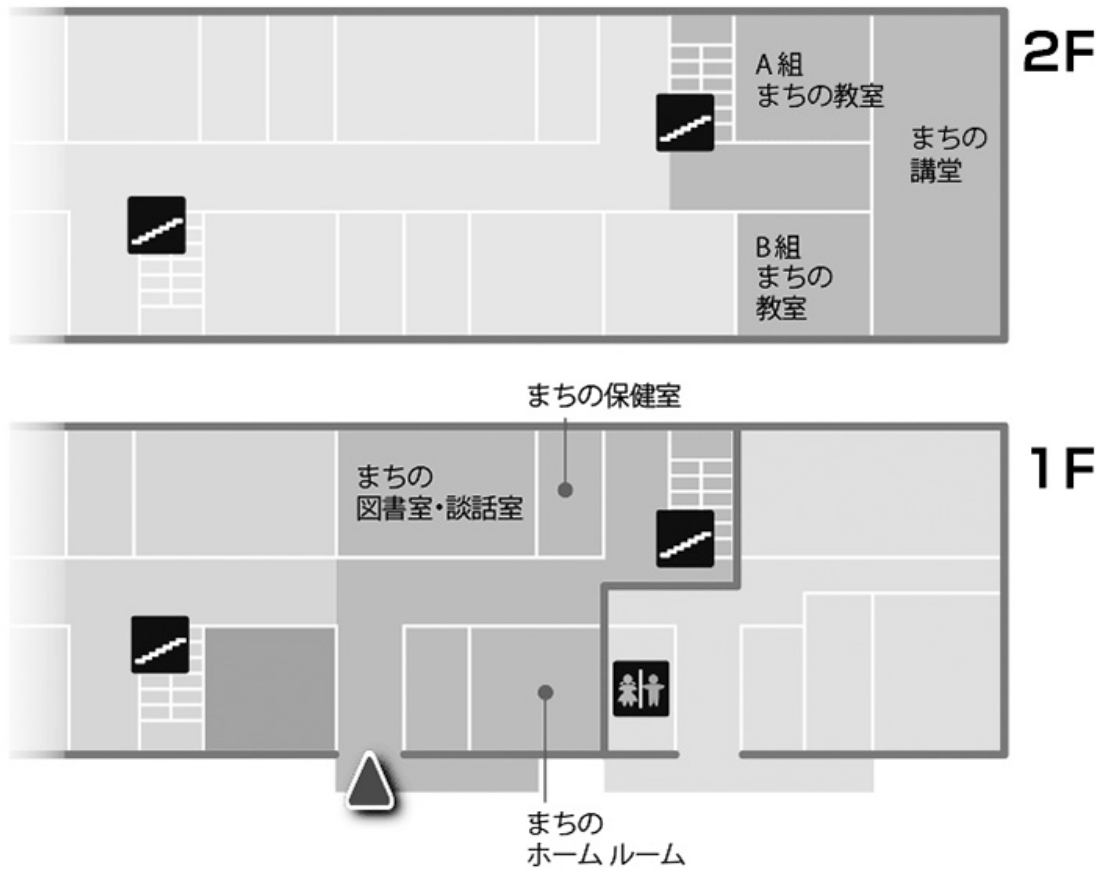


桑園キャンパス〈校舎配置図〉





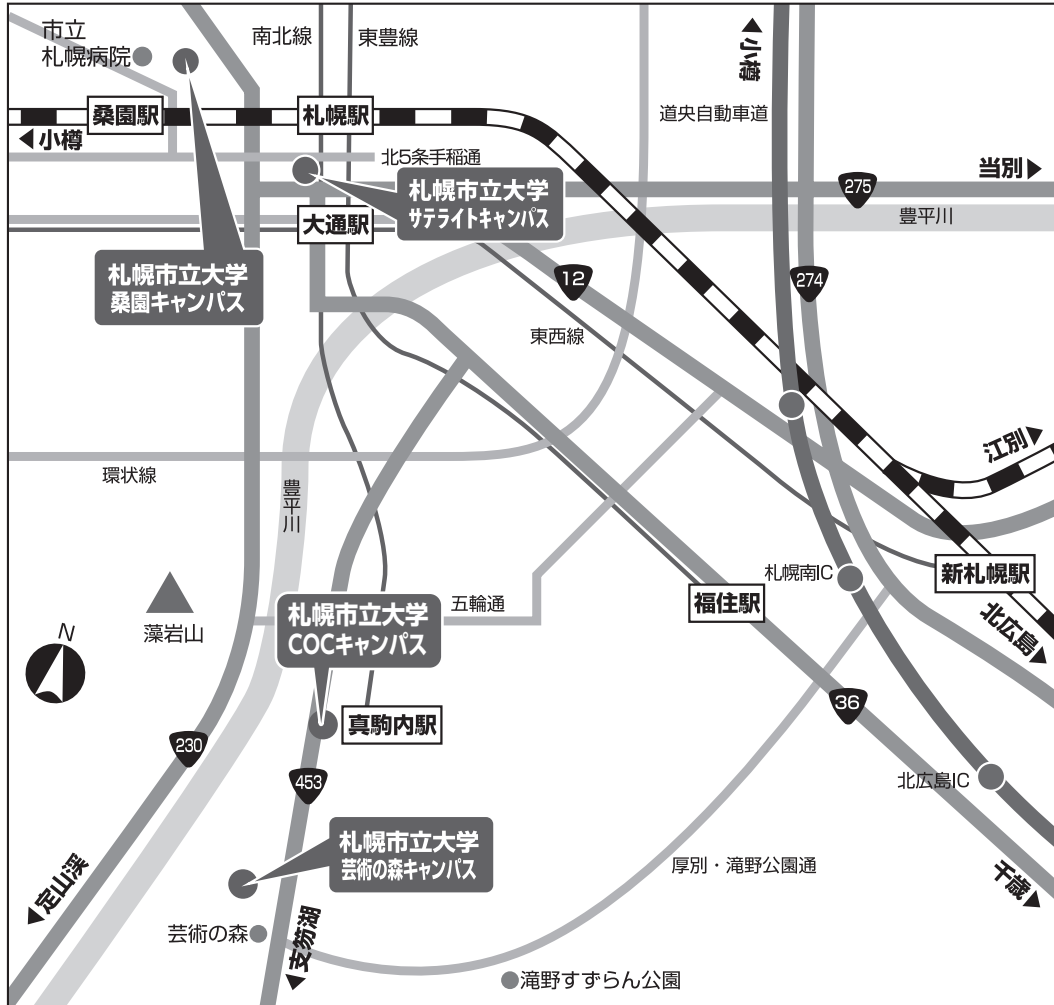
COCキャンパス〈校舎配置図〉



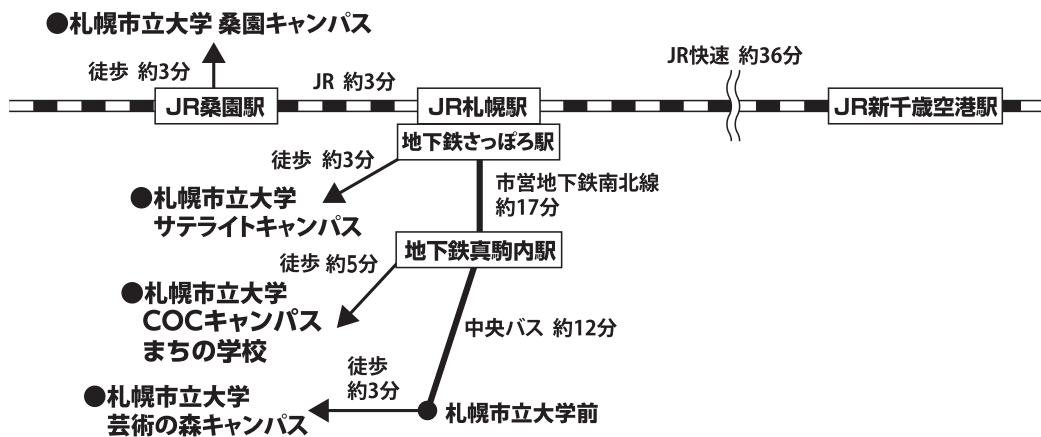


14 大学へのアクセス

1) アクセスマップ



2) 交通案内



XI 教員業績一覧

- ・研究業績
- ・社会貢献活動



デザイン学部

蓮見 孝

＜調査研究報告書＞1.平成25年度 自転車乗用に関する調査研究事業報告書ー地域活性化に資するサイクリングイベントの調査研究ー（平成26年4月）

＜学会発表＞1.能動アート「ナースコール・アート」ワークショップの実践と評価プログラムのデザイン要素と作品の考察（共同、平成26年6月、第62回日本デザイン学会春季研究発表大会）／2.Possibility of Wellness Support by Design × Nursing（単独、平成26年12月、LOCHAS2014国際大会）／3.デジタル時代の造形教育（単独、平成27年2月、未来造形2015 & ホワイトテーブル in 札幌）／

＜学会役員就任状況＞1.日本デザイン学会（理事、評議員）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞「JDCAクロストーク」（講師）（日本デザインコンサルタント協会）／機関誌「JOYO ARC」に係る座談会（ファシリテータ）（（公財）常陽地域研究センター）／特別講義（（公社）全国調理師養成施設協会）／COCキックオフシンポジウム（基調講演）（茨城大学）／みんなで協働のまちづくりシンポジウム（講演）（土浦市）／医療デザイン研究センター開所式（講演）（名古屋市立大学）／新春合同政経懇話会（講演）（茨城新聞）／どうなん地域づくりセミナー（講演）（北海道開発局）

酒井 正幸

＜調査研究報告書＞1.ホッキョクグマ・アザラシ館のデザイン研究（平成27年2月）／2.円山動物園の森ビオトープの生物多様性向上のための研究（平成27年2月）

＜学会発表＞1.生物とデザインに関する一考察（単独、平成26年9月、日本感性工学会大会）／2.昆虫生体機構の産業応用の可能性（共同、平成26年11月、日本人間工学会北海道支部大会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.第5回国際ユニヴァーサルデザイン会議2014（2件、国際ユニヴァーサルデザイン会議）

＜学会役員就任状況＞日本人間工学会（北海道支部役員、評議員）／日本人間工学会（理事会理事）

＜講演会・講習会活動＞札幌市立大通高校 ユニバーサルデザイン講座／NPO北のユニバーサルデザイン協議会講演「身の回りのユニバーサルデザイン」／さっぽろ活用促進ゼミ～さつ活2014～デザインを生かした大学と地域の連携による豊かなくらしづくり

城間 祥之

＜学会発表＞1.パッケージデザインの印象評価に関する日中比較研究ー麻婆豆腐のパッケージに対する印象度評価を通してー（共同、平成27年2月、感性フォーラム札幌2015）／2.ファンの深層心理から探るプリキュアショーの魅力発見-Twitterによるプリキュアファンとのコミュニケーションを通して-（共同、平成27年3月、日本感性工学会北海道支部学生会 研究制作発表会）／3.スマートフォン向け縦位置映像の制作研究・家族・夢・友を想起させる連作アニメーション・（共同、平成27年3月、日本感性工学会北海道支部学生会 研究制作発表会）／4.幼児教育者へのデザインのすすめ -「おたより」のためのグラフィックデザイン入門サイト制作を通して-（共同、平成27年3月、日本感性工学会北海道支部学生会 研究制作発表会）／5.ちいさな国のアリスー日常世界の非日常化ー（共同、平成27年3月、日本感性工学会北海道支部学生会 研究制作発表会）

＜学会招聘講演＞1.A Case Study on Prototype Manufacturing for a Health Care IT Appliance（平成26年6月、3D Printing 2014）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本感性工学会論文誌（2件、日本感性工学会）

＜学会役員就任状況＞日本感性工学会（第9期理事）／芸術工学会（理事）／日本感性工学会（北海道支部支部長）

＜学術集会運営＞2014年度精密工学会北海道支部学術講演会／感性フォーラム札幌2015／第16回日本感性工学会大会／第10回日本感性工学会春季大会／ISASE 2015 Session Chairman

上遠野 敏

＜作品発表＞1.皆んなでニセコの〇〇になろう。アートインスタレーション（共同、平成26年7月1



日、ニセコ倉庫邑2014) / 2.20世紀の記憶(炭鉱の記憶)(単独、2014年7月~9月、札幌国際芸術祭2014) / 3.赤帽ハイパーレスキュー六地蔵-巡礼する地蔵車-/4.モスモス-黄金郷-/5.風神雷神千手観音(単独、平成26年8月~10月、そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト2014) / 6.そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト報告パネル(単独、平成26年12月1日、そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト2014報告展) / 7.ネ・申・イ・ム・光景34作品(単独、平成27年2月~3月、上遠野敏と愉快的仲間たち展(上遠野敏:茶廊法邑個展)(愉快的仲間たち:品々法邑グループ展))

<専門職者・企業・展覧会等への支援>地域再生プロジェクト:キャラクターグッズ開発、ゲーム冊子 アートディレクター「三吉神社例大祭」(平成26年5月14日~15日、三吉神社例大祭を楽しむ会) / (公財)札幌市芸術文化財団・朝日新聞・札幌市立大学「クラフトで乾杯!」(平成26年6月、クラフトで乾杯!審査委員) / 北海道炭鉱遺産ファンクラブ「炭鉱遺産カレンダー」(平成26年6月~8月、北海道炭鉱遺産カレンダーデザイン、アートディレクター) / 札幌市立大学「そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト」(平成26年8月21日、そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト2014アートディレクター)

石井 雅博

<作品発表>1.Demo Night, Vision Sciences Society (平成26年5月) / 2.Demo Night, Asia Pacific Conference on Vision (平成26年7月)

<受賞等>1.優秀プレゼンテーション賞(平成26年8月、精密工学会北海道支部) / 2.錯視コンテスト(平成26年9月、日本基礎心理学会)

<学会発表>1.Modulation of distance estimation of visual object by stimulation of vergence and accommodation (平成26年5月、Vision Sciences Society 14th Annual Meeting (VSS 2014)) / 2.Subjective contour yielded by cue combination (平成26年5月、Vision Sciences Society 14th Annual Meeting (VSS 2014)) / 3.Illusory contours on random dot images (平成26年7月、10th Asia-Pacific Conference on Vision (APCV 2014)) / 4.Effect of display inclination on the vertical-horizontal illusion (平成26年7月、10th Asia-Pacific Conference on Vision (APCV 2014)) / 5.Effect of analytic observation on line length judgments of geometrical optical illusion stimulus (平成26年7月、10th Asia-Pacific Conference on Vision (APCV 2014)) / 6.インタラクティブな要素を加えた錯視展示の錯視量及び感性評価(平成26年8月、精密工学会 北海道支部 学術講演会) / 7.幾何学的錯視図形の線分の長さ判断における方略観察の効果(平成26年8月、精密工学会 北海道支部 学術講演会) / 8.奥行情報を含む垂直水平錯視の検討(平成26年8月、精密工学会 北海道支部 学術講演会)

<研究会発表等>1.単眼性輪郭情報が両眼立体視に及ぼす影響(平成26年12月、電子情報通信学会ヒューマン情報処理研究会) / 2.ランダムドット面上における動的輝度変化領域の見かけの奥行き(平成26年12月、電子情報通信学会ヒューマン情報処理研究会)

<論文査読・学会抄録査読>1.映像情報メディア学会(2件、映像情報メディア学会) / 2.電子情報通信学会(2件、電子情報通信学会) / 3.デザイン学会(1件、デザイン学会) / 4.感性工学会(1件、感性工学会)

<学会役員就任状況>世話人(日本視覚学会、委員) / 論文誌リエゾン委員(電子情報通信学会、委員) / 論文編集委員(映像情報メディア学会、委員) / 論文委員(日本バーチャルリアリティ学会、委員) / ヒューマン情報処理研究会副委員長(電子情報通信学会、委員) / VR心理学研究会委員(日本バーチャルリアリティ学会、委員) / 力覚と計算研究会委員(日本バーチャルリアリティ学会、委員) / 論文誌HC特集号編集(電子情報通信学会)

<学術集会運営>Asia-Pacific Conference on Vision / 日本VR学会力覚の提示と計算研究会(札幌) / 電子情報通信学会ヒューマン情報処理研究会(仙台)

<専門職者・企業・展覧会等への支援>視覚科学技術コンソーシアム(幹事)

石崎 友紀

<学術論文>1.7100形SL「七つ道具」復元工程に見る、東、西、北日本の技術文化差異(単著、平成27年3月、道具学会、20号、pp.12-27)

<作品発表>1.テーブルウェア(平成27年1月、日本クラフト展)



＜学会発表＞1.近未来の3輪オートバイのスタイリング研究（共同、平成26年7月、日本デザイン学会第61回春季研究発表大会）／2.7100形SLの七つ道具とスタイリングの評価（単独、平成27年2月、2014年度研究大会「道具学研究発表フォーラム」）／3.小さく、軽く、高い道具 リコーGRの変遷（単独、平成27年2月、2014年度研究大会「道具学研究発表フォーラム」）

＜学会役員就任状況＞道具学会（研究委員会委員長）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／道具学会

＜講演会・講習会活動＞放送教育研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞コンテスト審査委員長「公共建築フォーラム」（平成26年11月、北海道開発局）／東豊線新型車両デザイン選定（平成26年12月、札幌市交通局）

齋藤 利明

＜著書＞1.齋藤利明のビスクドール オールビスクによる球体関節人形とその作り方（単著、平成27年3月、ART BOX international、978-4-87298-900-7）

＜作品発表＞1.若竹（単独、平成26年9月30日～10月5日、齋藤利明創作人形展＜秋色少女＞石川県政記念しいのき迎賓館）／2.万葉（単独、平成26年9月30日～10月5日、齋藤利明創作人形展＜秋色少女＞石川県政記念しいのき迎賓館）／3.片鹿子（かたかご）（単独、平成26年9月30日～10月5日、齋藤利明創作人形展＜秋色少女＞石川県政記念しいのき迎賓館）／4.玉響（たまゆら）（単独、平成26年9月30日～10月5日、齋藤利明創作人形展＜秋色少女＞石川県政記念しいのき迎賓館）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道建築学会賞審査委員（平成26年5月1日～10月24日、北海道建築学会）／「生物多様性さっぽろ絵本コンテスト」（平成26年8月19日、札幌市環境局）／一般公募「アート・ボックス」審査委員（平成27年1月15日、2月16日、札幌駅総合開発（株））

中原 宏

＜著書＞1.まちづくりのための北のガーデニングボランティアハンドブック（共著、平成26年6月、北海道大学出版会、9784832974142、pp.4-5、pp.248-251）

＜論文査読・学会抄録査読＞札幌市立大学研究論文集 第9巻1号（1件、札幌市立大学）

＜学会役員就任状況＞日本建築学会（論文審査委員会査読員、委員）／北海道都市地域学会（理事）

＜講演会・講習会活動＞「COC事業2014の成果」および「COCキャンパス まちの学校」について（COCフォーラム）（平成26年3月21日）

羽深 久夫

＜学術論文＞1.旧長崎大司教館における建築工事の実態（共著、平成26年9月、日本建築学会計画系論文集、76巻、703号、pp.2029-2049）／2.鷹部屋福平「毛民青屋集」に基づいた1940年の二風谷村アイヌ集落に見られた建築物の実態（共著、平成27年1月、日本建築学会計画系論文集、79巻、706号、pp.2733-2741）／3.スイス連邦ヌーシャテル州ラ・ショー＝ド＝フォンにおける20世紀初頭のオール・ヌーヴォーの作品～「ART NOUVEAU2005~2006」における写真資料を中心に～（共著、平成27年2月、札幌市立大学、9巻、1号、pp.31-42）／4.近年の住宅建築における立面の資料整理―「真剣地区住宅特集」を資料として（共著、平成27年2月、札幌市立大学、9巻、1号、pp.43-58）／5.鷹部屋福平「毛民青屋集」に基づいた1940年の白老村アイヌ集落に見られた建築物の実態（共著、平成27年3月、日本建築学会計画系論文集、80巻、707号、pp.167-175）

＜学会発表＞1.北海道における戦後建築の変遷とその特徴（共同、平成26年6月、2014年度日本建築学会北海道支部研究発表会）

＜学会シンポジウム＞1.函館の歴史的建造物の見学「建築探訪～函館市」（単独、平成26年10月、建築文化週間企画見学会）／2.北海道における文化財建造物の保護（平成26年12月、日本建築学会北海道支部歴史意匠専門委員会）／3.室蘭市歴史的建造物見学会（単独、平成27年3月、日本建築学会北海道支部見学会）／4.北海道における戦後建築の展開（単独、平成27年3月、日本建築学会特定課題研究委員会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会計画系論文集（2件、日本建築学会）

＜学会役員就任状況＞日本建築学会（建築歴史・意匠本委員会委員、委員）／日本建築学会北海道支部日本建築学会北海道支部（歴史意匠専門委員会主査、委員長）



＜講演会・講習会活動＞連携講座 ちえりあ市民カレッジ 夏期 全2回／連携講座 ちえりあ市民カレッジ 秋期 全2回／連携講座 ちえりあ市民カレッジ 冬樹 全2回／建築審査会全国大会記念講演会／NHK新さっぽろ文化講座2013春夏講座 全6回 ルネサンス建築の概要／NHK新さっぽろ文化講座2013秋冬講座 全6回 アルプスを越えたルネサンス建築

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞「建築学および建築学関連分野」JABEE審査プログラム審査委員（日本技術者認定機構）／「乾杯」をテーマにしたデザイン公募展「クラフトで乾杯」（（公財）札幌市芸術文化財団）／北海道ヘリテージ・マネジメント専門職育成講座（北海道教育委員会）

原 俊彦

＜著書＞1.A Shrinking Society: Post-Demographic Transition in Japan ,Series: SpringerBriefs in Population Studies (単著、平成26年12月、Springer、978-4-431-54809-6、pp.1-94)

＜書評＞1.【書評】笹谷春美著『フィンランドの高齢者ケアー介護者支援・人材養成の理念とスキルー』（平成26年6月、現代社会学研究、27号、pp.115-119）

＜学会発表＞1.持続可能な人口の原理ー再生産水準回復には何が必要か（単独、平成26年6月、第66回日本人口学会大会）／2.Japan As a Shrinking Society: What Is the Condition for Recovering the Replacement Level of Fertility (単独、平成26年7月、XVIII ISA World Congress of Sociology in Yokohama)／3.《地方創生》の結婚・出生促進効果について（単独、平成27年3月、2014年度第2回日本人口学会・東日本地域部会）

＜学会シンポジウム＞1.少子化対策のパラダイム転換：新しい家族政策へ（単独、平成26年6月、第66回日本人口学会大会）

＜研究会発表等＞1.シンポジウム「日本の未来像ー人口急減・超高齢社会を乗り越えるー」（共同、平成26年10月、内閣府選出する未来委員会）／2.人口転換モデルの改良と拡張 その1：長寿化・少子化と経済成長の関係について（単独、平成27年2月、人口転換科研 第5回研究会）／

＜論文査読・学会抄録査読＞1.人口問題研究（1件、国立社会保障・人口問題研究所）／2.札幌市立大学研究論文集（1件、札幌市立大学）

＜学会役員就任状況＞日本人口学会（日本人口学会会長、会長）／北海道社会学会（北海道社会学会会長、会長）

＜所属学会・研究会＞日本人口学会／日本社会学会／日本家族社会学会／北海道社会学会／情報考古学会／日本政治学会

＜講演会・講習会活動＞第42回 全道結婚相談研究協議会 講演「「少子高齢・人口減少社会」における結婚相談の役割」（平成26年6月24日、マリッジカウンセリングセンター）／人口問題フォーラム「人口減少下における弟子屈町のまちづくり」「弟子屈町の人口ーその将来を考える」（平成26年8月21日、弟子屈町）／シンポジウム「日本の未来像ー人口急減・超高齢社会を乗り越えるー」「第2部 パネルディスカッション」（平成26年10月8日、内閣府）／室蘭政経文化懇話会「西胆振の人口ーその将来を考える」（平成26年10月22日、北海道新聞）／第1回北のシニアビジネス交流会「超高齢社会の現状と私たちの暮らし」（平成27年2月13日、北のシニアビジネス交流会実行委員会）／厚真町まちづくり講演会「厚真町の人口ーその将来を考える」（平成27年2月19日、厚真町）

細谷 多聞

＜学会発表＞1.音が人の生命観に与える影響についての研究（共同、平成26年9月、第16回日本感性工学会大会）／2.移動体の遠隔操縦を支援する視野に関する研究（単独、平成26年9月、第16回日本感性工学会大会）／3.バリアを用いたリハビリテーションの研究（1）（共同、平成26年9月、第16回日本感性工学会大会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（理事）／日本デザイン学会第1支部（幹事、委員）

＜学術集会運営＞日本デザイン学会第61回春季研究発表大会

町田 佳世子

＜学術論文＞1.体験前後の連想語から見る子どもの学びー動物園の飼育体験で伝わることー（共著、平成26年5月、札幌市立大学研究論文集、8巻、1号、pp.39-46）

＜調査研究報告書＞1.動物園を舞台とした教育・啓蒙活動における専門的実践家の役割とその効果の解



明（平成23年度－平成26年度科研費研究成果報告書（平成27年3月））（平成27年3月）

＜学会発表＞1. Identifying Factors that Motivate People to Continue Hill-Walking for Their Psychological and Physical Health Promotion.（共同、平成26年8月、28th Conference of the European Health Psychology Society in Innsbruck, Austria）／2. Evaluation of One-year Healthy Hill-walking Program for Japanese Elderly on Mood Alternation and Physical Condition（共同、平成26年8月、28th Conference of the European Health Psychology Society in Innsbruck, Austria）／3. Conversation Analysis of Zoo Keeper Utterances in "Keeper for a Day"（共同、平成26年9月、The 22nd Biennial Conference of International Zoo Educators Association in Hong Kong）／4. Acquisition of the Children's Viewpoint through 'Keeper for a Day' Activity in Japan: Using the Questions Children Guess for the Condition of Animals（共同、平成26年9月、The 22nd Biennial Conference of International Zoo Educators Association in Hong Kong）／5. 会話の構成単位は隣接対か3つの発話の連なりか－会話データからの考察（共同、平成26年10月、日本質的心理学会第11回大会（松山大学））／6. 体験型学習の効果検証の方法論に関する考察.（共同、平成26年12月、第55回日本動物園水族館教育研究会（仙台））

＜論文査読・学会抄録査読＞札幌市立大学研究論文集（1件、札幌市立大学）／Research Bulletin of English Teaching（1件、大学英語教育学会北海道支部）

＜学会役員就任状況＞一般社団法人大学英語教育学会北海道支部（研究企画委員、委員）／日本コミュニケーション学会北海道支部（監事）／一般社団法人大学英語教育学会（社員（一般社団法人に関する法律上の社員）、委員）

＜所属学会・研究会＞日本コミュニケーション学会／International Pragmatics Association／一般社団法人 大学英語教育学会／日本質的心理学会／日本語用論学会／日本動物園水族館教育研究会

＜講演会・講習会活動＞フレッシュマンコミュニケーションセミナー「コミュニケーションとは」（平成26年4月1日、株式会社アイティ・コミュニケーションズ）／札幌医科大学保健医療学部 保健医療総論における講演「人をつなぐ私たちの営み－コミュニケーションについて考える」（平成26年4月7日）

矢部 和夫

＜学術論文＞1. 熱帯植物温室の環境がもたらす高齢者の心身への効果（共著、平成26年5月、札幌市立大学、8巻、1号、pp.3-10）／2. 環境教育教材としての芸術の森地区の自然に関する研究 過去50年間の植生景観の変遷と再森林化に関わる課題（共著、平成26年5月、札幌市立大学、8巻、1号、pp.47-55）／3. 「円山動物園の森」ビオトープにおける生物多様性向上のための研究 水辺の造成と両生類の動向に関する記録および環境教育への活用に向けて（共著、平成26年5月、札幌市立大学8巻、1号、pp.57-64）／4. 札幌市市街地の2つの分断林における草本種の絶滅と移入の過程（共著、平成26年5月、札幌市立大学、8巻、1号、pp.81-92）／5. 北海道の湿原とはどういう湿地か（単著、平成27年3月、北海道自然保護協会、53巻、pp.3-10）

＜著書＞1. 北のガーデニングボランティアハンドブック（共著、平成26年6月、北海道大学出版会、9784832974142、pp.152-156、234-237）／2. 湿地への招待 1章湿地とは何か（共著、平成26年9月、北海道新聞社、9784894537521、pp.10-23）

＜学会発表＞1. 石狩川下流泥炭採取跡地における湿原植生再生モニタリング（共同、平成26年9月、日本湿地学会2013年度札幌大会）／2. 石狩川下流幌向地区における湿地再生に向けた取り組み（共同、平成26年9月、日本湿地学会2013年度札幌大会）／3. 遊水地計画のある北海道安平川湿原の植生と水文化学環境との関係（共同、平成27年3月、第62回日本生態学会大会（鹿児島））／4. 石狩低地帯南部の海跡沼で1984年から2009年に起こった水生植物群落の分布パターンの変遷（共同、平成27年3月、第62回日本生態学会大会（鹿児島））

＜学術集会運営＞ウエットランドセミナー運営幹事／日本湿地学会第6回大会準備委員

＜講演会・講習会活動＞苫小牧市美術博物館大学講座講師「弁天・安平川湿原と環境への役割」（平成26年6月28日、苫小牧市美術博物館）／環境教育（美々川）道胆振総合振興局 室蘭建設管理部主催「美々川・ウトナイ湖の保全」（平成26年7月3日、室蘭建設管理部）／トリアスカル2014体験学習「トリアスカル2014」（平成26年8月31日～9月2日、アトリエ陶）／藻岩高校 環境教育講座（デザイン学部で高校生25人対象に実施）「環境と生物の適応を生物から学ぶ」（平成26年9月5日、藻岩



高校) /ラムサール条約登録2周年記念湿地保全講習会 (豊田市) 「北の泥炭地湿原と南の湧水湿地」
(平成26年9月27日、豊田市自然観察の森)

吉田 和夫

〈学会発表〉1. Development and effects of “Life Story” as a tool to promote communication Between nurses, patients in persistent vegetative state and their families. (共同、平成27年2月、the 18th East Asia Forum of Nursing Scholars (EAFONS))

〈所属学会・研究会〉TDC 東京デザイナーズクラブ

〈専門職者・企業・展覧会等への支援〉駅前通地下広場広告デザイン審査会 委員 (平成26年4月～平成27年3月、札幌駅前通まちづくり株式会社) / 広告電通賞 地区選考委員会 委員長 (平成26年9月～平成27年8月、広告電通賞審議会、) / 2017冬季アジア札幌大会マスコットキャラクターデザイン選考委員 (平成26年11月～12月、(公財) 第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会)

吉田 恵介

〈著書〉1. 北のガーデニングボランティアハンドブック (共著、平成26年6月、北海道大学出版会、9784832974142、pp.10-11)

〈その他の論文〉1. さっぽろみどりのマップ (5種類、A3両面) (平成27年3月、札幌市環境局)

〈論文査読・学会抄録査読〉1. ランドスケープ研究 (3件、日本造園学会) / 2. デザイン学会作品集 (1件、デザイン学会)

〈学会役員就任状況〉日本造園学会北海道支部 (造園学会北海道支部運営委員、委員) / デザイン学会環境デザイン部会 (環境デザイン部会幹事、委員)

〈講演会・講習会活動〉美瑛町シンポジウム「田園とまちづくり」 (平成27年1月24日、札幌市立大学)

〈専門職者・企業・展覧会等への支援〉雪まつりポスターの審査 (平成26年5月28日、札幌市雪まつり実行委員会) / ふらっとホーム2014の運営 (平成26年11月8日、南区役所) / ワインラベルコンペ (平成27年1月20日、八剣山ワイナリー)

柿山 浩一郎

〈作品発表〉1. Tank (単独、平成26年8月16日～21日、Asia Network Beyond Design ソウル展) / 2. Vehicle (単独、平成26年10月7日～12日、Asia Network Beyond Design 台北展) / 3. Nature (単独、平成26年11月8日～15日、Asia Network Beyond Design 天津展) / 4. Creature (単独、平成26年12月20日～25日、Asia Network Beyond Design 東京展)

〈受賞等〉1. 第61回春季大会 グッドプレゼンテーション賞 (平成26年7月、日本デザイン学会)

〈学会発表〉1. 都市部と遠隔地の健康高齢者が抱く ICT サービスに対する印象差 (共同、平成26年7月、日本デザイン学会誌 第61回研究発表大会概要集) / 2. Art & Design を活かした地域創成手法の検討を目的とした住民調査 (共同、平成26年7月、日本デザイン学会誌 第61回研究発表大会概要集) / 3. ポジティブ感・ネガティブ感計測のための無意識動作測定システムの構築 (単独、平成27年2月、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2015)

〈研究会発表等〉1. 死産児安置の為に「わが子のひつぎ」プロトタイプデザイナー第4報：病院での試用を通じた製品評価ー (産学官連携研究発表会、札幌市立大学・北海道立総合研究機構 第2回研究交流会)

〈論文査読・学会抄録査読〉感性工学 (1件、日本感性工学会)

〈学会役員就任状況〉日本デザイン学会 (春季大会編集委員会幹事長、委員) / 日本感性工学会 (論文編集委員会委員) / 日本デザイン学会 (評議委員)

〈学術集会運営〉2014年度 精密工学会 北海道支部 学術講演会 / 第1回 日本感性工学会 北海道支部 学生会 研究発表会 / 日本感性工学会 北海道支部 学生会 2014年度 研究制作発表会 / 感性フォーラム札幌2015 / 日本デザイン学会 第61回春季研究発表大会

〈講演会・講習会活動〉TSSコンセプトの説明 (平成26年4月26日、日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (A) タイム・スペースシェアリング型地域連携による地域創成デザイン研究 研究チーム) / 壮瞥町と札幌市間での居住実験報告 (H27年3月15日、日本学術振興会 科学研究費助成事業 基



盤研究 (A) タイム・スペースシェアリング型地域連携による地域創成デザイン研究 研究チーム)

齊藤 雅也

〈**学術論文**〉1.健康と安全を支える住環境 (共著、平成26年8月、保健医療科学、63巻、4号、pp.383-393) / 2.寒冷地の次世代向けコミュニティ暖房システムの提案—札幌市南区真駒内地区を事例として (共著、平成26年10月、空気調和・衛生工学、88巻、10号、pp.51-55)

〈**著書**〉1.積雪寒冷地における高齢者の居場所づくり (共著、平成26年5月、ワールドプランニング、978-4863510715、pp.200-213)

〈**調査研究報告書**〉1.平成26年度受託研究報告書 ホッキョクグマ・アザラン館 (仮称) のデザイン研究 (共著、平成27年2月、札幌市立大学) / 2.平成25年度受託研究報告書 大規模複合商業施設における商学連携による地域向け住環境教育のデザイン研究 (共著、平成27年2月、札幌市立大学) / 3.平成26年度受託研究報告書 温熱環境・エネルギーマネジメントを考慮した在宅医療拠点のデザイン研究 (共著、平成27年2月、札幌市立大学) / 4.平成26年度受託研究報告書 札幌市円山動物園アフリカゾーンの飼育展示・サイン計画のデザイン監修 (共著、平成27年3月、札幌市立大学)

〈**学会発表**〉1.入浴事故の地域性—名古屋、札幌、福井の比較 (共同、平成26年5月、第84回 日本衛生学会総会) / 2.札幌市全住宅を対象にした「暖房熱需要マップ」の作成 (共同、平成26年6月、第87回 日本建築学会北海道支部研究発表会) / 3.積雪寒冷都市・札幌における中間領域をもつ“街なか広場”のデザイン研究 (共同、平成26年6月、第87回 日本建築学会北海道支部研究発表会) / 4.積雪寒冷地における住宅地街区内部の雪堆積形成に及ぼす影響に関する研究 (共同、平成26年6月、第87回 日本建築学会北海道支部研究発表会) / 5.札幌にある認定こども園を対象とした園児の温冷感に関する実測調査 (共同、平成26年9月、日本建築学会大会 (関西)) / 6.小学生の想像温度と暑熱不快・寒冷不快に関する研究 2012年夏・秋の札幌・東京・熊本を事例として日本建築学会大会 (関西) (共同、平成26年9月) / 7.大学生の建築環境に対する意識と計画・設計への表れ (共同、平成26年9月、日本建築学会大会 (関西)) / 8.A study on "building skin" and "allowable limit temperature of man" (共同、平成26年10月、Conference Proceedings of the 9th ENERGY FORUM) / 9.“Building skin” in Japan During the Age of Sustainability (共同、平成26年10月、Conference Proceedings of the 9th ENERGY FORUM) / 10.ECO-material in Japan (共同、平成26年10月、Conference Proceedings of the 9th ENERGY) / 11.トイレ事故の地域性—名古屋、札幌、福井の比較 (共同、平成26年11月、第73回日本公衆衛生学会総会) / 12.高齢者の居住空間の断熱性と血圧に関する調査研究 (福井県の高齢者を対象として) (共同、平成26年11月、第73回日本公衆衛生学会総会) / 13.最寒日と4疾患による死亡との関係性に関する分析 (共同、平成26年11月、第73回日本公衆衛生学会総会) / 14.CSVMを用いた疾病の季節性と地域特性に関する研究 (共同、平成26年11月、第73回日本公衆衛生学会総会) / 15.パッシブ換気住宅における薪ストーブ利用時のエクセルギー評価 (共同、平成27年3月、空気調和・衛生工学会北海道支部第49回学術講演会) / 16.熊本と札幌における小学児童の温熱環境の認識力と調整力 小学児童の想像温度に基づく地域住育プログラムの開発研究 (2) (共同、平成27年3月、第54回 日本建築学会九州支部 研究発表会) / 17.熊本と札幌における小学児童の夏の温熱的不快・想像温度 小学児童の想像温度に基づく地域住育プログラムの開発研究 (1) (共同、平成27年3月、第54回 日本建築学会九州支部 研究発表会)

〈**国際シンポジウム**〉1.What is the Service Design for Sustainable Architectures and Homehealth Care? (単独、平成26年11月、SUSTAINABILITY WEEKS 2014 Finnish-Japanese Joint Symposium)

〈**研究会発表等**〉1.札幌市の全住宅の熱需要MAP作成と札幌市南区真駒内での「次世代コミュニティ暖房」の検討 (共同、平成26年6月、札幌市大学提案型共同研究事業 報告会) / 2.札幌市の全住宅の熱需要MAP作成と札幌市南区真駒内での「次世代コミュニティ暖房」の検討 (共同、平成26年10月、北海道立総合研究機構×札幌市立大学 研究交流会)

〈**論文査読・学会抄録査読**〉1.日本建築学会大会選抜梗概 (5件、日本建築学会) / 2.日本建築学会環境系論文集 (3件、日本建築学会) / 3.日本建築学会技術報告集 (2件、日本建築学会) /

〈**学会役員就任状況**〉日本建築学会北海道支部 ((一社) 日本建築学会北海道支部 学術委員会、委員長) / 空気調和・衛生工学会北海道支部 ((公社) 空気調和・衛生工学会北海道支部 運営委員、委員) / 日本建築家協会北海道支部 (第5回JIA・テスクチャレンジ設計コンペ審査委員会、委員長) /



LowEx. Network (LowEX. Net、委員) / 日本建築学会 ((一社) 日本建築学会 学術推進委員会、委員)

＜学術集会運営＞空気調和・衛生工学会北海道支部 50周年記念シンポジウム/空気調和・衛生工学会北海道支部 地区セミナー「次世代都市・建築のエネルギー需給の在り方 北海道の未来はどうなる？」/日本建築学会北海道支部環境工学専門委員会主催 第9回環境工学系・卒業論文発表会

＜所属学会・研究会＞日本建築学会/空気調和・衛生工学会/日本太陽エネルギー学会/日本感性工学会/日本デザイン学会/日本公衆衛生学会/北海道自然エネルギー研究会/住まい・環境教育学会

＜講演会・講習会活動＞文部科学省スーパーサイエンスハイスクール (SSH) SS実験講座 環境科学実験「ペットボトルハウスで温房・涼房をデザインする」(平成26年10月4日、文部科学省)/熊本県立大学 特別講義「建築環境学と動物園デザイン」(平成26年11月17日、熊本県立大学)/『粘る建築』:北海道における建築のテクニカルアプローチ手法「築後27年のブロック二重積外断熱住宅の驚きの性能について」(平成27年2月13日、日本建築家協会)/TSS寺子屋井戸端会議 二地域居住で見えてくる「地域創生」(パネルディスカッションのコーディネーターとして)「TSS寺子屋井戸端会議 二地域居住で見えてくる「地域創生」」(平成27年3月15日、札幌市立大学科研A推進チーム)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞特別会員(学術的支援)(平成26年4月～平成27年3月、平成27年特定非営利活動法人 外断熱推進会議(EiPC)) / 第5回JIA・テスクチャレンジ設計コンペ 審査委員長(平成26年6月22日、日本建築家協会(JIA)北海道支部 住宅部会) / 平成26年度 建築作品選集 審査委員(平成26年6月～平成26年9月、日本建築学会) / 看護臨床分野に対しての室内温熱環境デザイン面に関する学術的支援(平成26年9月9日、平成27年北のケア環境研究会) / プロジェクト報告会と現地見学会の支援(平成26年10月5日、森とイエ プロジェクト) / 一の橋地区 地域熱供給のエクセルギー解析による評価(平成26年12月25日・26日、下川町) / 特別講義「ヒトの健康に関わる周壁面からの温・冷放射エクセルギー」(平成27年1月16日、平成27年ソトダン21の家) / BIS試験講習委員会 委員(養成・更新講習会)「開口部の計画、防暑計画、暖房設備計画」(平成27年1月21日、平成27年北海道建築技術協会) / 基調講演:「2025年に向けたパッシブな住まいの環境づくり(換気×断熱×蓄熱による複合効果を活かす)」(平成27年2月17日、平成27年NPO法人パッシブシステム研究会) / 平成26年度セミナー(パネルディスカッションのファシリテーターとして)「次世代都市・建築のエネルギー需給の在り方 北海道の未来はどうなる？」(平成27年3月2日、空気調和・衛生工学会 北海道支部)

武田 亘明

＜その他の論文＞1.初任者の就業継続のためのスタートアップサポート(単独、平成26年7月、日本教育工学会、JSET14巻、4号、pp.109-112) / 2.新しい世界を構想し創造する力の育成(単独、平成26年12月、教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会、web版)

＜学会役員就任状況＞日本教育工学協会(理事) / 教育とコンピュータ利用研究会(北海道支部長、副会長)

＜講演会・講習会活動＞平成26年度後志地域教育力向上研究会第1回研修会「地域と行政等の連携による地域の教育力向上の取組 ～さらなるネットワーク機能の拡充を目指して～」(平成26年12月13日、後志地域教育力向上研究会)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞運営(北海道クラウド導入ヒント集作成検討会) / 二次審査員(全日本中学高校Webコンテスト) / 審査委員会審査員(札幌国際短編映画祭「アイアン・フィルムメーカー・コンテスト」)

張 浦華

＜調査研究報告書＞1.寿都町におけるコミュニティ・レストランの調査研究(共同、平成27年3月、札幌市立大学、pp.1-30) / 2.「寿都町におけるブルーツーリズムと中間支援組織に関する調査研究」報告書(共同、平成27年3月、札幌市立大学、pp.1-30)

＜作品発表＞1.アジアネットワークビヨンドデザイン(ANBD) Seoul 2014(単独、平成26年8月16日～21日、Heart of Bronze) / 2.アジアネットワークビヨンドデザイン(ANBD) Taipei 2014(単独、平成26年10月7日～12日、Open Mind) / 3.アジアネットワークビヨンドデザイン(ANBD) Tianjin 2014(単独、平成26年10月14日～21日、Mental Balance) / 4.アジアネットワークビヨンドデザイ



ン (ANBD) Tokyo 2014 (単独、平成26年11月15日～21日、Mind of Hospitality) / 5.第36回北海道陶芸作家協会展 (札幌・コンチネンタルギャラリー) 流し掛け壺 (単独、平成27年3月3日～8日)、白マット朽葉鉢 (単独、平成27年3月3日～8日)

＜学会発表＞1.地域おこしプラットフォームとしてのコミュニティ・レストランの可能性 寿都町「風のごはんや」の企画提案と効果の検証 (共同、平成26年6月、日本建築学会 第87回北海道支部研究発表会)

＜学会招聘講演＞1.清華大学美術学院設立14周年記念の国際デザイン会議で開催された国際のパネリストとして招待

＜学会役員就任状況＞日本感性工学会 (日本感性工学会評議員) / 北海道陶芸作家協会 (広報・インターネット担当役員、委員)

＜学術集会運営＞感性フォーラム2014

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道地域の陶芸作家協会展覧会の企画運営 (北海道陶芸作家協会展覧会)

山田 良

＜著書＞Extreme Minimalism (共著、平成26年8月、Braun, Germany、9783037681640)

＜作品発表＞1.札幌国際芸術祭 時の座標軸 (平成26年7月) / 2.Sprouting Garden (平成26年7月) / 3.美術と建築 これからの札幌 (平成26年9月) / 4.Lighting Tower teresesgata (平成26年9月)

＜学会発表＞1.空間作品 Air Garden (単独、平成26年11月、第34回北海道建築作品発表会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.環境芸術 (論文集) (3件、環境芸術学会) / 2.札幌市立大学紀要 (1件、札幌市立大学)

＜学会役員就任状況＞環境芸術学会 (北海道支部長、理事) / 北海道芸術学会 (理事) / 日本建築学会 (常議員、評議員)

＜講演会・講習会活動＞オスロ建築大学 空間デザイン作品 (講師)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞小樽アートプロジェクト運営 (NPO小樽ワークス) / 作品審査、アドバイザー等 (ElkiPalki (ロシア) / ノボシビルスクでの作品ワークショップ (シベリア北海道文化センター))

石田 勝也

＜作品発表＞1.Heart☆Full (単独、平成26年6月、バンヌーメリック (フランス アンギャンレヴァン市アートフェス))

＜研究会発表等＞1.Slow Politics 危機の時代の力と創造性の国際会議 (共同、平成26年9月、札幌メディアアーツラボ)

＜所属学会・研究会＞芸術科学会 / 札幌メディアアーツラボ

＜講演会・講習会活動＞クリエイティブコーディング2014 (Max担当) / スマホで作る簡単ムービー～iPhoneを使ってチカホでお披露目！ / “若手作家にとってのコンテストと芸術祭”、学生CGコンテスト20周年記念イベント / “札幌国際芸術祭 センシング・ストリームズ トークシリーズ#4 クロストーク「さっぽろメディアスケープ：つながる都市」”

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞坂本龍一作品「フォレストシンフォニー」テクニカルスタッフ (平成26年7月19日～9月28日、札幌国際芸術祭) / 平成27年札幌ネオンランジョギングランナー通過感知システム構築 (平成26年12月31日、札幌ネオンラン)

上田 裕文

＜学術論文＞1.アートプロジェクトによる風景認識の変化とまちづくりへの参加意欲に関する事例研究 (共著、平成27年3月、ランドスケープ研究、78巻、5号、pp.703-706)

＜著書＞1.明治神宮以前・以後 近代神社をめぐる環境形成の構造転換 (共著、平成27年2月、鹿島出版会、9784306073104、pp.211-230)

＜調査研究報告書＞1.地域力向上を支援するまちづくり研究事業報告書 (平成27年3月)

＜受賞等＞1.研究論文部門研究奨励賞 (平成26年5月、日本造園学会)

＜学会発表＞1.札幌市の都市イメージにおけるみどりの位置づけとその利用 (共同、平成26年5月、平



成26年度日本造園学会全国大会)

＜学会招聘講演＞1. Image of Winter Scenery in Sapporo and Rovaniemi (平成27年2月、Arctic Sustainable Art and Design)

＜研究会発表等＞1. 積雪寒冷地の冬季都市景観イメージに関する北海道とラップランドの比較研究 (共同、平成26年11月、SCU産学官研究交流会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1. Landscape and Ecological Engineering (1件)

＜学会役員就任状況＞日本造園学会 (日本造園学会編集委員) / 日本造園学会 (日本造園学会北海道支部運営委員) / 日本都市計画学会 (日本都市計画学会北海道支部幹事、委員)

＜所属学会・研究会＞日本造園学会 / 日本都市計画学会 / 農村計画学会 / 日本観光研究学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞水源地域支援ネットワーク会議 ワークショップファシリテーター (平成26年10月7日、国土交通省水管理・国土保全局水資源部) / 「平成26年度第2回水源地域支援ネットワーク会議」 (平成27年2月24日)

大淵 一博

＜作品発表＞1. ビジネスExpo出展 (平成26年11月)

＜学会発表＞1. 「集合絵」で見るキャラクターデザイン (共同、平成27年2月、感性フォーラム札幌2015)

＜学会役員就任状況＞日本感性工学会北海道支部 (日本感性工学会北海道支部 幹事：会計担当、委員)

＜学術集会運営＞2014年度 日本精密工学会 北海道支部学術講演会 / 感性フォーラム札幌2015

＜所属学会・研究会＞電子情報通信学会 / 日本教育工学会 / 日本感性工学会 / 日本看護学教育学会 / 日本母性衛生学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌市公式外国語ホームページ等制作業務公募型プロポーザル選定委員 (平成26年9月24日、札幌市) / 札幌市長グリーティングカード 選考会 (平成26年10月29日、札幌市) / 札幌イメージコーディネート研究会所属メンバーへのソフトウェア利用に関する個別指導等「色彩分析ソフトウェアの活用方法」 (平成26年11月15日、札幌イメージコーディネート研究会)

片山 めぐみ

＜学術論文＞1. 世代間交流拠点としての幼老複合施設の可能性と施設運営のあり方：社会福祉法人健光園による昭和の路地裏作戦を事例として (共著、平成26年11月、日本建築学会計画系論文集、79巻、705号、pp.2395-2403)

＜著書＞1. 積雪寒冷地における高齢者の居場所づくり (共著、平成26年6月、ワールドプランニング、4863510713、pp.271-289)

＜学会発表＞1. Triple-win platform in super aged society (共同、平成26年6月、23 IAPS conference 2014) / 2. 患者・看護師にとって心理的負担の少ない ナースコールシステムのデザインの提案～“命綱”から“きずな”へ～ (共同、平成26年6月、第19回日本緩和医療学会学術大会) / 3. まちづくりプラットフォームとしてのコミュニティ・レストランの可能性 (共同、平成26年7月、地域活性学会 第6回研究大会) / 4. 地域おこしプラットフォームとしてのコミュニティ・レストランの可能性：寿都町「風のごはんや」の企画提案と効果の検証 (共同、平成26年7月、日本建築学会北海道支部研究発表会) / 5. 地域情報伝達・コミュニケーションツールとしてのお弁当デザイン (共同、平成27年3月、感性フォーラム札幌2015)

＜論文査読・学会抄録査読＞日本建築学会 (日本建築学会北海道支部都市計画委員会委員)

＜所属学会・研究会＞日本建築学会 / 日本デザイン学会 / 福祉のまちづくり学会 / 地域活性学会 / 世代間交流学会

＜講演会・講習会活動＞コミュニティデザイン講演「まちづくり研修会」 (平成26年9月4日、一般社団法人北海道まちづくり協議会) / コミュニティデザイン講演およびワークショップファシリテーター「かしまみらいカフェ」 (平成26年11月25日、一般社団法人鹿島青年会議所)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞「コミュニティデザイン講演」講師「サロンサミット (コミュニティ・レストランによる交流の場づくり)」 (10月20日、札幌市保健福祉局)



小宮 加容子

＜調査研究報告書＞1.平成26年度札幌市立大学提案型共同研究事業「子どもの能動的参加を促す遊びの屋内・屋外への発展方法を構築するための基礎研究」（共同、平成27年3月、札幌市立大学、1巻、1号）

＜作品発表＞1.こすってでるでる！もようがいっぱい！（共同、平成27年3月、キッズワークショップカーニバルinふくしま）

＜受賞等＞1.第7回キッズデザイン賞復興支援デザイン部門 遊びのワークショップ「わわわっ」（平成26年6月、キッズデザイン協議会）／2.日本デザイン学会第61回春季研究発表大会グッドプレゼンテーション賞（平成26年6月、日本デザイン学会）

＜学会発表＞1.子どもの能動的参加を意識した遊びワークショップ「わわわっ！」の活動報告―頭と体と心をつなぐ遊びの活動「コネキッド」の取組み事例の報告（5）（共同、平成26年7月、日本デザイン学会第61回研究発表会概要集）／2.複数人の遊びの形態を組み合わせた「まねっこサンタさん」の活動報告―頭と体と心をつなぐ遊びの活動「コネキッド」の取組み事例の報告（6）（共同、平成26年7月、日本デザイン学会第61回研究発表会概要集）／3.ひとりから複数人の遊びに発展する遊びワークショップ「わわわっ！」の活動報告―頭と体と心をつなぐ遊びの活動「コネキッド」の取組み事例の報告（7）（共同、平成26年8月、日本福祉のまちづくり学会第17回全国大会）／4.模倣遊びをベースに異なる遊びへと発展する「まねっこサンタさん」の活動報告―頭と体と心をつなぐ遊びの活動「コネキッド」の取組み事例の報告（8）（共同、平成26年8月、日本福祉のまちづくり学会第17回全国大会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（春季研究発表大会概要集編集委員会幹事、委員）

＜所属学会・研究会＞ヒューマンインタフェース学会／計測自動制御学会／日本リハビリテーション工学協会／日本機械学会／日本福祉のまちづくり学会／日本科学看護学会

＜講演会・講習会活動＞子ども向け遊びイベント「コネキッド2014」「コネキッド2014 in そらのガーデン「しゃぼん玉とんだ！」」（平成26年8月2日、エスタ11階プラニスホール、そらのガーデン）／札幌市生涯学習センター太平百合が原大学にて講義「あたま・こころ・からだをつなぐ遊びのお話&簡単な指先を使った造形遊びの体験」（平成26年9月26日、札幌市百合が原地区センター）／絵本読み聞かせ推進事業 遊びイベント「なりきって遊ぼう」（平成26年11月9日、札幌エルプラザ）／SORAこそだてフェスティバル2014「じいばあ・ぱばまま・ぼくわたし」（平成26年12月13日、札幌コンベンションセンター）

杉本 達應

＜作品発表＞1.「コロガル公園inネイチャー」メディアディレクション（共同、平成26年7月9日、札幌国際芸術祭2014）

＜学会発表＞1.From soroban to Tangiblock: Designing creative learning tools with tangible interfaces（単独、平成26年4月、HASTAC2014）

＜研究会発表等＞1.「コロガル公園 in ネイチャー」札幌国際芸術祭2014関連プログラム・子どもたちを取り巻く環境について考えるラウンドテーブル「絵本・公園・教室から始まる未来を創造する場づくりとは？」（単独、札幌国際芸術祭2014）／2.研究会シンポジウム「食とアートが出会うマルシェ」をふりかえる（単独、美瑛町「地域の価値創造と交流の場づくり」シンポジウム）

＜所属学会・研究会＞日本映像学会／日本デザイン学会／社会情報学会／MAGNET

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞「道民家庭の日」新イメージキャラクター審査員（12月8日、北海道青少年育成協会）

福田 大年

＜実践報告書＞1.高齢者の自己健康管理・孤立軽減を支援する 札幌発：「E-KURASHI（イークラシ）システム開発と検証」（札幌市立大学 研究・活動事例集2013）（共同、平成26年6月、札幌市立大学、pp.8-9）／2.頭と体と心をつなぐ遊びの活動“コネキッド”の取組み 広場さっぽろ2013（札幌市立大学 研究・活動事例集2013）（共同、平成26年6月、札幌市立大学、pp.22-224）

＜調査研究報告書＞1.子どもの能動的参加を促す遊びの屋内・屋外への展開方法を構築するための基礎研究（共同、平成27年3月、札幌市立大学）／2.北海道ココロカラー・プロジェクト 2014-北海道



の風土と文化にちなんだ色と言葉の選定に関する調査研究－（共同、平成27年3月、札幌市立大学）／
3.札幌市円山動物園アフリカゾーンの飼育展示・サイン計画のデザイン監修（共同、平成27年3月、札幌市立大学）

＜作品発表＞1.こすってでるでる！もようがいっぱい（共同、平成27年3月、キッズワークショップカーニバルinふくしま2015）／2.ジョブキタ×SAPPORO DESIGN WEEK 2014 北海道ココロカラープロジェクト（平成26年10月）

＜受賞等＞1.第7回キッズデザイン賞 復興支援デザイン部門（平成26年7月、キッズデザイン協議会）／2.グッドプレゼンテーション賞（平成26年7月、日本デザイン学会）／3.グッドプレゼンテーション賞（平成26年7月、日本デザイン学会）

＜学会発表＞1.子どもの能動的参加を意識した遊びワークショップ「わわわっ！」の活動報告－頭と体と心をつなぐ遊びの活動「コネキッド（Connekid）」の取組み事例の報告（5）－（共同、平成26年7月、第61回日本デザイン学会春季研究発表大会）／2.2014.07（平成26年7月）、小宮 加容子、福田大年、高橋 由衣、黒神 信実、複数の遊びの形態を組み合わせた「まねっこサンタさん」の活動報告－頭と体と心をつなぐ遊びの活動「コネキッド（Connekid）」の取組み事例の報告（6）－（共同、平成26年7月、第61回日本デザイン学会春季研究発表大会）／3.都市部と遠隔地の健康高齢者が抱くICTサービスに対する印象差（共同、平成26年7月、第61回日本デザイン学会春季研究発表大会）／4.ひとり遊びから複数人の遊びに発展する遊びワークショップ「わわわっ！」の活動報告－頭と体と心をつなぐ遊びの活動「コネキッド（Connekid）」の取組み事例の報告（7）－（共同、平成26年8月、日本福祉のまちづくり学会 第17回全国大会）／5.模倣遊びをベースに異なる遊びへと発展する「まねっこサンタさん」の活動報告－頭と体と心をつなぐ遊びの活動「コネキッド（Connekid）」の取組み事例の報告（8）－（共同、平成26年8月、日本福祉のまちづくり学会 第17回全国大会）

＜学会招聘講演＞1.スライドプレゼンテーションのコツ（単独、平成27年2月、第1回札幌理学療法学会大会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会第1支部会（日本デザイン学会 第1支部幹事、委員）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／福祉のまちづくり学会／情報文化学会／札幌アートディレクターズクラブ／札幌メディア・アート・フォーラム

＜講演会・講習会活動＞遊びイベント「コネキッド（connekid）2014 in そらのガーデン」「Connekid! in そらのガーデン「しゃぼん玉とんだ！」」（平成26年8月2日、札幌市立大学・札幌駅総合開発株式会社）／講演会「紙媒体の情報を子どもと保護者に伝えるコツ」（平成26年10月8日、札幌市養護教員会厚別ブロック研修会）／遊びイベント「なりきってあそぼう！」（平成26年11月9日、札幌市子ども未来局）／遊びイベント「じいばあ・ぱばまま・ぼくわたし」「SORAこそだてフェスティバル2014」（平成26年12月13日、札幌コンベンションセンター）／遊びイベント「コネキッド（connekid）in ふくしま 2015 こすってがでるでる！もようがいっぱい」「キッズワークショップカーニバル in ふくしま 2015」（平成27年3月7日～8日、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞技術士会のプロモーションに関する取組みへの支援（平成26年7月15日、技術士会 クルクルスケッチワークショップ）／札幌市養護教員会全市研究会（平成27年3月3日、札幌市養護教員会全市研究会 第4分科会（厚別ブロック）の助言者担当）

松井 美穂

＜解説文＞1.第170回研究談話会報告（単独、平成26年8月、日本アメリカ文学会北海道支部）

＜書評＞1.『ターミナル・ビギニングーアメリカの物語と言葉の力』所収、本村浩二著「父の認知を求める混血児ー「父と息子」と『アブサロム、アブサロム！』」（単独、平成27年3月、日本アメリカ文学会北海道支部、31号、pp.110－112）

＜学会研究発表＞1.“Like a Nigger”：オリジナル版『サンクチュアリ』におけるホレス・ベンボウの黒さについて（単独、平成26年12月、北海道アメリカ文学会第173回研究談話会）

＜学会役員就任状況＞日本アメリカ文学会北海道支部（幹事、評議員）

＜学術集会運営＞日本アメリカ文学会第53回全国大会（於 北海学園大学）

＜所属学会・研究会＞日本アメリカ文学会／日本アメリカ文学会北海道支部／日本英文学会／日本英文学会北海道支部／アメリカ学会

**松永 康佑**

＜作品発表＞1.2014 ASIA DIGITAL ART AWARD FUKUOKA（平成27年2月）／2.Sapporo North Award Ver.SIAF2014（平成27年2月）

＜特許・意匠登録＞リアルタイム動的多面投影対応型仮想表示演出装置（平成26年9月）申請中

＜受賞等＞1.2014アジアデジタルアート大賞展FUKUOKAカテゴリーA静止画部門 優秀賞（平成27年2月、2014アジアデジタルアート大賞展実行委員会）／2.Sapporo*north2 AWARD ver.SIAF2014 審査員特別賞（平成27年2月、札幌市）

＜学会発表＞1.セルオートマトン法を用いた雪の結晶形状の生成（単独、2015年度日本図学会春季大会（札幌））／2.干渉縞を用いた人の動きに反応する映像表現（共同、2015年度日本図学会春季大会（札幌））

＜研究会発表等＞北海道における図法幾何教育の現況と未来（単独、日本図学会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞CG表現に関する講義（九州大学さくらサイエンス）／モザイクアート制作指導（札幌市消防局）／ロゴデザイン（コンテンツコース教員）（喜茂別町）

三谷 篤史

＜調査研究報告書＞1.ノーステック財団福祉産業共同研究事業「操作により反応が変わるメカトロ積み木の作業療法への応用」（公益財団法人北海道科学技術総合振興センター）

＜学会発表＞1.遊び手の操作に応じて反応が変化するメカトロ積み木の開発（木材の特性を活用したモデルの検討）（共同、平成26年5月、日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門講演会 ROBOMECH2014）／2.第13回ロボット・トライアスロンにおけるロボット「RIDEN」の開発（共同、平成26年8月、精密工学会2014年度北海道支部学術講演会）／3.Interaction System Of Mechatronics-System Embedded Building Blocks ('Mechatro-Tsumiki')（共同、平成26年10月、2014 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics (SMC2014)）／4.小児医療施設における「能動アート」プログラムのワークショップと評価（共同、平成27年3月、第10回日本感性工学会春季大会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.Proceedings of ROBIO2014（5件、IEEE International conference on Robotics and Biomimetics 2014 (ROBIO2014)）／2.Proceedings of AIM2015（1件、The 2015 IEEE/ASME International Conference on Advanced Intelligent Mechatronics (AIM 2015)）

＜学会役員就任状況＞日本機械学会（日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門第2地区技術委員長、委員長）／精密工学会（精密工学会北海道支部商議員、委員）／日本トライボロジー学会（北海道トライボロジー研究会・主査、委員長）

＜学術集会運営＞精密工学会2014年度北海道支部学術講演会／感性フォーラム札幌2015／日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門講演会ROBOMECH2014／SICE Annual Conference 2014／IEEE International Conference on Robotics and Biomimetics 2014

＜講演会・講習会活動＞「センサーで光る！オリジナルスタンドを作ろう」（平成27年3月14日、札幌市青少年科学館土曜工作会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞サッポロ・ロボットコーナーにおける展示活動（通年、札幌市青少年科学館）／道内企業、研究者向け研究会の実施（平成26年9月18日・平成27年1月9日、平成27年北海道トライボロジー研究会）／北洋ものづくりテクノフェアへの出展（北洋銀行）／ビジネスEXPO2014への出展（ノーステック財団のブース、北海道技術・ビジネス交流会 実行委員会）

金子 晋也

＜学術論文＞1.壁面と天井面の変化からみた民家再生作品の内部空間の特徴に関する研究（共著、平成27年3月、日本建築学会、80巻、pp.569）

＜学会発表＞1.イギリス民家の部材用語における語義の多様性 伝統木造用語に関する比較研究 その9（共同、平成26年9月、2014年度日本建築学会大会）／2.機能ヴォリュームと開口の構成からみた現代日本の住宅建築のファサードの性格（共同、平成26年9月、2014年度日本建築学会大会）／3.ECO-material for building skins in Japan（共同、平成26年10月、9th Conference on Advanced Building Skins）／4.Adapting the building skin to climate regions in Japan（共同、平成26年10月、9th Conference on Advanced Building Skins）／5.A study on "building skin" and "allowable



limit temperature of man" (共同、平成26年10月、9th Conference on Advanced Building Skins) / 6.町内会単位からみた札幌市石山地区の地理的特性 高齢者の外出困難要因に関する基礎研究 (共同、平成26年11月、芸術工学会平成26年度秋期大会) / 7.Navigation Functions of Pictorial Schematics During the Edo Period With Emphasis on Travel Maps (共同、THE 16TH INTERNATIONAL CONFERENCE ON GEOMETRY AND GRAPHICS)

<学会役員就任状況> 日本建築学会 (木造建築構法小委員会幹事、委員)

須之内 元洋

<調査研究報告書> 1.デジタルアーカイブの営みをつくるーアートプロジェクトの現場から (共著、平成27年3月)

<実務関係書> 1.いのちと性を家庭で伝えるための助産師からのメッセージ (共著、平成27年3月、札幌市立大学)

<作品発表> 1.WORLD SOUND MIX for Bains Numeriques #8 (共同、平成26年6月、Bains Numeriques #8) / 2.43d Radio (共同、平成26年9月、TOBIU芸術祭)

<学会発表> 1.空間更新手法“TRADE”の開発 (共同、平成26年9月、2014年度日本建築学会大会)

<研究会発表等> 1.Is the Creative City a Commons? “Slow Politics” (共同、平成26年9月、International Conference on Power & Creativity in an Age of Crisis) / 2.アートプロジェクトにおける「音」の記録研究 公開研究会 (単独、平成27年2月、アートプロジェクトにおける「音」の記録研究) / 3.研究会シンポジウムデジタルアーカイブプロジェクト最終報告会 (単独、平成27年2月、デジタルアーカイブプロジェクト)

<学会役員就任状況> 日本建築学会 (空間更新手法“TRADE”の開発研究 [若手奨励] 特別研究委員会、委員)

<専門職者・企業・展覧会等への支援> 札幌国際芸術祭2014 プロジェクトマネージャー (平成26年4月、創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会) / 札幌駅前地下歩行空間北2条広場公共サイネージの運営団体審査等 (平成26年4月、札幌市市長政策室) / 札幌メディア・アーツラボ特別研究員 (平成26年4月、札幌メディア・アーツラボ) / 2017冬季アジア札幌大会公式ホームページ構築支援・運用のアドバイス (平成26年4月、第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会事務局) / アール・ブリュットに関する資料、作品のデジタルアーカイブ (平成26年4月、日本財団) / 障害者施設の制作活動に関するデジタルアーカイブ企画・構築支援 (平成26年4月、みずのき美術館) / 陶磁器デザイナー 森正洋氏のデジタルアーカイブ構築アドバイス・支援 (平成26年4月、合同会社森正洋デザイン研究所) / アーツカウンシル東京・大阪支援事業アーカイブ企画・構築の支援 (平成26年4月、株式会社SETENV)



看護学部

中村 恵子

＜学術論文＞救急看護師が外傷看護実践において重要視している看護に関する研究（共著、平成27年1月、日本救急看護学会雑誌）

＜著書＞1.改訂第3版 外傷初期看護ガイドライン（編著者）（共著、平成26年10月、へるす出版、97844892698514）／2. 高度看護OSCE（監訳）（共著、平成26年12月、へるす出版、9784892698552）

＜学会発表＞1. 救急看護師が外傷看護実践において重要視している看護の特徴（第2報）（共同、平成26年5月、日本クリティカル看護学会学術集会）／2. 転倒事例の分析による入院患者の店頭リスク行動の分析（共同、平成26年8月、第13回日本看護管理学会学術集会）／3. クリティカルケア領域の高度実践看護OSCEの開発と妥当性・信頼性の検証（共同、平成26年10月、第15回日本救急看護学会学術集会）／4. 大学主催による新人看護職員の社会化支援（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／5. 看護基礎教育における動画機能活用の有用性の検証（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／6. 北海道における低肺機能患者の災害に対する認識（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／7. 卒業前動向調査にみる就職活動に関する施設訪問の利用の実態（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞日本看護管理学会（6件）／日本看護研究学会（4件）／日本クリティカルケア看護学会（5件）／日本看護科学学会（5件）／日本看護教育学会（5件）／日本臨床救急医学会（7件）／日本災害看護学会（2件）

＜学会役員就任状況＞日本救急看護学会（一般社団法人 代表理事、理事長）／日本看護研究学会（一般社団法人 理事）／日本看護学教育学会（一般社団法人 理事）／日本災害看護学会（理事）／日本看護科学学会（公益法人 評議員）／日本看護管理学会（一般社団法人 理事、評議員）／日本臨床救急医学会（一般社団法人 社員（評議員）、評議員）／日本集団災害医学界（一般社団法人 社員（評議員）、評議員）／日本看護診断学会（評議員）／北のケア環境研究会（代表）／Doコーチング研究会（代表）／地域の包括的な医療に関する研究会（NPO法人理事）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞救急看護セミナー（日本救急看護学会）／看護師実務者研修（日本救急医療財団）／看護管理者ファーストレベル研究講師（北海道看護協会）／京都学園大学開設記念シンポジウム講演／看護職復職支援講習会講師（札幌市）

樋之津 淳子

＜学会発表＞1. 日常的な看護行為における熟練した手の使い方の可視化（共同、平成26年11月、日本看護技術学会第13回学術集会）／2. 上方移動援助が高齢者の心拍数と主観に与える影響ーボディメカニクス法とスライディングシート法の比較検討ー（共同、平成26年11月、日本看護技術学会第13回学術集会）／3. 注射シミュレーションモデルを用いた技術練習の動画撮影・視聴による学習内容（共同、平成26年11月、日本看護技術学会第13回学術集会）／4. 看護学生の採血主義における注射針の刺入角度と刺入の長さの分析（共同、平成26年11月、日本看護技術学会第13回学術集会）／5. OSCEの評価結果の看護技術教育への活用（第1報）ー血圧測定に焦点を当ててー（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／6. OSCE評価結果の看護技術教育への活用（第2報）ー上半身寝衣交換に焦点を当ててー（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／7. 看護基礎教育における動画機能活用の有用性の検証～採血の技術に着目して～（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1. 日本看護科学学会誌（1件、日本看護科学学会）／2. 看護人間工学研究誌（1件、日本人間工学会）／3. 日本看護研究学会雑誌（1件、日本看護研究学会）／4. 日本看護研究学会第40回学術集会（2件、日本看護研究学会）／5. 日本看護技術学会第13回学術集会（4件、日本看護技術学会）

＜学会役員就任状況＞看護理工学会（評議員）／日本看護技術学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本保健医療行動科学学会／日本人間工学会／日本老年泌尿器科学会／日本泌尿器科学会／日本がん看護学会／日本看護学教育学会／北のケア環境研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞大学院博士課程設置に係る指導助言（京都府立医科大学）／大



学学部学科設置認可に係る指導助言（京都学園大学）／平成26年度専任教員養成講習会（北海道保健福祉部）／研究会の運営委員、意見交換（北のケア環境研究会）

山本 勝則

＜学術論文＞1.自己理解と他者理解を深める事例検討会の意義と教育的効果－患者との援助的関係形成能力の育成に向けて－（共著、平成27年1月、保健科学研究誌）

＜著書＞1.看護実践のための根拠がわかる精神看護技術第2版（共著、平成27年1月、メヂカルフレンド、9784839215873）

＜学会発表＞1.精神障害者への関わりについての看護学生の自信の変化－精神症状を演じる模擬患者との演習の前後比較－（共同、平成26年6月、日本精神保健看護学会第24回学術集会・総会）／2.看護師から気持ちを理解された体験（共同、平成26年8月、日本応用心理学会第81回大会）／3.自己理解と他者理解を深める教育方法の検討（共同、平成26年8月、日本応用心理学会第81回大会）／4.精神障害者の社会参加を支える地域住民のための基礎的研究－民生委員児童委員を対象として－（共同、平成26年8月、第4回国際医療福祉大学学会学術大会）／5.交流セッションIXマッサージによるリスクを最小化する試み（共同、平成26年11月、日本看護技術学会第13回学術集会）／6.精神障害者への関わりによる看護学生の自己効力感の変化－精神症状を演じる模擬患者との演習の前後比較－（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／7.急性期にある精神患者を保護室に隔離する際の看護師の思い（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／8.「ラインによるケア」を支援する産業看護職の役割（共同、平成27年1月、第3回日本公衆衛生看護学会学術集会）

＜所属学会・研究会＞日本看護協会／日本看護研究学会／日本応用心理学会／日本病院・地域精神医学会／日本看護科学学会／日本行動分析学会／日本発達心理学会／日本精神保健看護学会／日本赤十字看護学会／日本公衆衛生学会／日本看護技術学会／日本公衆衛生看護学会

＜講演会・講習会活動＞1.「気持ち良い」体験をしよう～呼吸法・マッサージによる医療者のセルフケアのススメ～

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究発表会 講評講師（4演題）（北海道看護協会札幌第一支部）

宮崎 みち子

＜学会発表＞1.客観的臨床能力試験（OSCE）を用いた「子宮復古の観察」技術修得状況と課題－2年間の試験結果の評価－（共同、平成26年9月、第55回日本母性衛生学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本母性衛生学会誌（1件、日本母性衛生学会）／2.第29回日本助産学会学術集会（1件、日本助産学会）／3.日本母性衛生学会誌（1件、日本母性衛生学会）／4.第55回日本母性衛生学会総会・学術集会（7件、日本母性衛生学会）

＜学会役員就任状況＞日本母性衛生学会（評議員）／看護倫理学会（評議員）／北海道母性衛生学会（理事）／北海道公衆衛生学会（評議員）

＜学術集会運営＞第44回北海道母性衛生学会

＜所属学会・研究会＞日本助産学会／日本看護倫理学会／日本看護科学学会／日本生命倫理学会／日本医事法学会／日本看護研究学会／日本看護学教育学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞社会貢献委員会委員長：委員会運営；災害・健やか親子21・助産師希望学生・各種地域貢献の支援の企画運営（全国助産師教育協議会）／北海道・東北地区研修会の企画・運営（全国助産師教育協議会）

猪股 千代子

＜学術論文＞1.チームアプローチによる音楽・アロマ・ヨーガを活用した統合医療ケアの実践・研究を通して考察する統合医療看護の機能（共著、平成26年10月、日本統合医療学会誌、7巻、2号、pp.35－49）

＜実践報告書＞私の考える統合医療と統合医療看護の機能（平成26年10月、IMJ北海道支部事務局、1400ワード）

＜学会発表＞1.看護師長の考える中高年看護職が働き続けるための支援の実際（共同、平成26年8月、第18回日本看護管理学会学術集会）／2.役割付与を通して中堅看護師に成長を促す看護師長の関わり



(共同、平成26年8月、第18回日本看護管理学会学術集会) / 3. 難病患者に対するヨーガ療法ケアの評価 (共同、平成26年10月、日本統合医療学会北海道地方会) / 4. 神経難病患者に対する心理・社会・霊的健康に焦点をあてた異分野融合「音楽&看護療法」全人的ケアの構成要素に関する研究 (共同、平成26年10月、日本統合医療学会北海道地方会)

<学会招聘講演> 1. 統合医療におけるアロマセラピーの可能性 (平成26年6月、日本アロマセラピー学会北海道東北地方会)

<研究会発表等> 1. 統合医療における看護職の機能 (平成26年5月、日本統合医療学会看護部会北海道地区研究会)

<論文査読・学会抄録査読> 1. 日本医療マネジメント学会雑誌 (3件、日本医療マネジメント学会) / 2. 札幌市立大学紀要 (1件、札幌市立大学紀要編集委員会) / 3. 日本看護管理学会誌 (1件、日本看護管理学会誌) / 4. 京都看護大学紀要 (1件、京都看護大学図書・紀要委員会) / 5. 日本統合医療学会誌 (1件、日本統合医療学会)

<学会役員就任状況> 日本統合医療学会 (理事) / 日本看護管理学会 (評議員) / 日本医療マネジメント学会 (評議員) / 日本統合医療学会北海道支部会 (評議員) / 日本統合医療学会看護部会北海道地区研究会 (会長)

<学術集会運営> 日本医療マネジメント学会第14回北海道支部学術集会 口演座長 / 第18回日本統合医療学会シンポジウム座長・研究発表 (示説) 座長

<講演会・講習会活動> 千歳市民病院看護部研修会 / ヒーリングタッチ レベル1レベル2

小田 和美

<学会発表> 1. 「治療の看護仕立て」の専門ケアの抽出ーインスリン調整場面に焦点をあててー (共同、平成26年9月、日本糖尿病教育・看護学会)

<論文査読・学会抄録査読> 日本糖尿病教育・看護学会誌 (4件、日本糖尿病教育・看護学会) / 札幌市立大学研究論文集 (1件、平成26年11月) / 日本保健医療行動科学会雑誌 (1件、日本保健医療行動科学会)

<学会役員就任状況> 日本保健医療行動科学会 (理事) / 日本糖尿病教育・看護学会 (評議員、査読委員) / 日本循環器看護学会 (査読委員)

<専門職者・企業・展覧会等への支援> 看護研究についての講義、研究指導 (手稲溪仁会病院)

河原田 まり子

<学術論文> 1. パーキンソン病患者の介護者の負担に関する文献的考察 (共著、平成26年5月、SCU Journal of Design & Nursing、8巻、1号、pp.11-17) / 2. 看護学部卒業後の目標管理ツールの活用状況に関する実態調査 (共著、平成26年5月、SCU Journal of Design & Nursing、8巻、1号、pp.101-105) / 3. 67. Identifying the contents of a type 1 diabetes outpatient care program based on the self adjustment of insulin using the Delphi method (共著、平成26年11月、Japan Journal of Nursing Science、11号、pp.299-309) / 4. 職場のソーシャル・キャピタルと看護師の抑うつとの関連 (単著、平成27年2月、北方産業衛生、51号、pp.2-7)

<著書> 1. 積雪寒冷地における高齢者の居場所づくり (共著、平成26年5月、ワールドプランニング、111、pp.94-106)

<その他の論文> 1. 地域看護に活用できるインデックスーソーシャル・キャピタル (単独、平成27年3月、日本地域看護学会誌、8000字、17巻、3号、pp.85-88)

<解説文> 1. 今月の海外文献 Workplace social capital and mental health among Chinese employees: a multi-level, cross-sectional study (単独、平成26年6月、産業看護、1100字、6巻、5号、pp.76-76)

<学会発表>

1. 住民の暮らしから見たソーシャルキャピタル (共同、平成26年8月、日本地域看護学会第17回学術集会) / 2. 112. 地域保健活動において保健師が認識するソーシャルキャピタル (共同、平成26年8月、日本地域看護学会第17回学術集会) / 3. The Relationship between Depression and Workplace Social Capital in Nurses (単独、平成26年9月、ACOH The 24th Japan-China-Korea Joint Conference on Occupational Health) / 4. 2型糖尿病患者の首尾一貫感を高めるための支援内容ー有



意味感に焦点をあててー（共同、平成26年9月、日本糖尿病教育・看護学会）／5.SOCIAL CAPITAL IN JAPAN:LOCAL COMMUNITY SUPPORT OF THE ELDERLY IN URBAN AREAS（共同、平成26年10月、46th APACPH Conference Kuala Lumpur）／6.ELEMENTS OF SOCIAL CAPITAL IN JAPAN:A QUALITATIVE RESEARCH（共同、平成26年10月、46th APACPH Conference Kuala Lumpur）／7.2型糖尿病患者の首尾一貫感を高めるための支援内容ー把握可能感に焦点を当ててー（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／8.積雪寒冷地における季節変化が要支援高齢者の身体活動と健康に及ぼす影響（共同、平成27年1月、第3回日本公衆衛生看護学会学術集会）／9.都市部の高齢者の暮らしをサポートする地域住民の活動（共同、平成27年1月、第3回日本公衆衛生看護学会学術集会）／10.行政保健師の地域診断の実践に影響する要因（共同、平成27年1月、第3回日本公衆衛生看護学会学術集会）

＜研究会発表等＞1.住民の暮らしからみたソーシャルキャピタル（共同、産学官連携研究発表会）

＜論文査読・学会抄録査読＞日本看護科学学会誌（2件、日本看護科学学会）／日本地域看護学会誌（1件、日本地域看護学会）／日本産業衛生学会誌（1件、日本産業衛生学会）／日本産業看護学会誌（1件、日本産業看護学会）／北海道公衆衛生学雑誌（1件、北海道公衆衛生学会）／日本産業看護学会抄録（3件、日本産業看護学会）

＜学会役員就任状況＞日本産業看護学会（理事（国内外連携委員長））／看護総合科学研究会（理事）／日本産業衛生学会地方会（理事（研修委員長））／日本産業衛生学会（代議員）／北海道公衆衛生学会（常任理事（平成26年12月3日から、その前評議員））／日本公衆衛生看護学会（評議員（平成27年2月1日から））／日本看護科学学会（代議員（平成27年2月27日から））

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本地域看護学会／日本公衆衛生看護学会／日本産業看護学会／日本産業衛生学会／日本産業衛生学会北海道地方会／看護総合科学研究会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本糖尿病教育・看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護師への研究指導と研究発表会講師（札幌市立大学と病院の連携協力）（平成27年2月9日、看護研究発表会）／北海道産業保健推進センター（平成26年4月～平成27年3月、産業保健相談員）／全保教北海道東北ブロック北海道地区会議における教育実践報告として本学の教育実践例を紹介した（平成26年6月21日、平成26年度全国保健師教育機関協議会北海道・東北ブロック北海道地区会議全国保健師教育機関協議、全国保健師教育機関協議会北海道東北ブロック）

川村 三希子

＜調査研究報告書＞1.認知症を伴う高齢がん患者の疼痛アセスメントのプロセス（平成27年2月、笹川記念保健協力財団 研究助成 2014年度ホスピス緩和ケアに関する研究助成報告書）

＜書評＞1.訪問看護で変わる希望の在宅介護（緩和ケア 青海社、24巻、5号、pp.393）／2.やさしい腫瘍学 からだのしくみから見るがん（がん看護 南江堂、20巻、3号、pp.356）

＜学会発表＞1.Some issues with cancer patients with dementia on palliative care unit and special nursing home for the elderly in Japan（共同、平成26年6月、8th World Research Congress of the European association for palliative care）／2.療養病床における認知症とがんを併せ持つ高齢患者の看護に関する困難感（共同、平成26年6月、第19回日本老年看護学会）／3.患者・看護師にとって心理的負担の少ないナースコールシステムのデザインの提案（共同、平成26年6月、日本緩和医療学会）／4.がん診療拠点病院が未整備の二次医療圏内に住むがん患者の医療に対するニーズ（共同、平成27年2月、日本がん看護学会）／5.がん診療拠点病院未整備の二次医療圏看護師に対するアウトリーチプログラム（共同、平成27年2月、日本がん看護学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本緩和医療学会誌（15件、日本緩和医療学会）／2.日本緩和医療学会誌（1件、日本緩和医療学会）

＜学会役員就任状況＞NPO法人日本緩和医療学会（代議員・査読委員・ELNEC-JWPG,看護職セミナーWPG、評議員）／NPO法人日本ホスピス緩和ケア協会（理事・教育委員）／NPO法人日本ホスピス緩和ケア協会北海道支部（役員、委員）／NPO法人日本がん看護学会（評議委員）／札幌ホスピス緩和ケアネットワーク（常任幹事、委員）

＜講演会・講習会活動＞訪問看護 スキルアップ講座 在宅療養者の緩和ケア（平成26年5月31日）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞一般市民を対象に地下歩行空間で情報提供・相談支援を実施「街なか ちえのわ」（平成26年6月28日、NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会 街なかちえ



のわ) / ELNEC-J研修会 (平成26年7月26日~27日、北海道大学病院) / ELNEC-J研修会 (平成26年9月2日~3日、北海道看護協会) / ELNEC-J研修会 (平成26年9月18日~19日、北海道がんセンター) / 日本ホスピス緩和ケア協会北海道支部専門的ホスピス緩和ケアを担う看護師のELNEC-J研修会平成26年10月25日~26日) / 多職種向けの看取りの講義と演習を企画「看取り講座ワークショップ」(平成26年11月30日、札幌ホスピス緩和ケアネットワーク) / 緩和ケアを目指す看護職のためのセミナー「第一回 緩和ケアを目指す看護職のためのセミナー」(平成27年3月21日、日本緩和医療学会)

定廣 和香子

<学術論文> 1. 看護学実習中の医療事故防止に向けた教員の対策と実践 (共著、平成27年3月、看護教育学研究、24巻、1号、pp.41-55)

<受賞等> 1. 学会表彰 (平成26年8月、日本看護教育学学会)

<学会発表> 1. The quality of teaching behaviors at Clinical nursing practicum on nursing faculties of Japanese Universities (共同、平成26年6月、Sigma theta tau international 2nd European Regional conference) / 2. Current Status and Issues about Nursing Practice Ability of Nursing Faculty in BSN (共同、平成26年7月、Sigma Theta tau Internatioal 25th International Research Congress) / 3. 臨床2年目看護師の職業経験 (共同、平成26年8月、第24回日本看護教育学学会学術集会) / 4. 褥婦に対する退院指導時における看護職者の行動 (共同、平成26年11月、日本看護技術学会第13回学術集会) / 5. 新人看護師が行う患者の安全保障に向けた看護実践の特徴 (共同、平成26年11月、日本看護技術学会第13回学術集会) / 6. 自己管理の継続が困難な慢性疾患患者に対する効果的な看護実践の特徴 (共同、平成26年11月、日本看護技術学会第13回学術集会) / 7. 慢性疼痛のある看護師の効果的な自己対処方法 (共同、平成26年11月、日本看護技術学会第13回学術集会) / 8. 疼痛アセスメント行動自己評価尺度-精神科看護師用-の作成と信頼性・妥当性の検討 (共同、平成26年12月、第34回日本看護科学学会学術集会) / 9. 大学院看護学研究科博士後期課程に在籍する学生の学習経験の解明 (共同、平成26年12月、第34回日本看護科学学会学術集会) / 10. OSCEの評価結果の看護技術教育への活用 (第1報) - 血圧測定に焦点を当てて - (共同、平成26年12月、第34回日本看護科学学会学術集会) / 11. OSCEの評価結果の看護技術教育への活用 (第2報) - 上半身寝衣交換に焦点を当てて (共同、平成26年12月、第34回日本看護科学学会学術集会)

<論文査読・学会抄録査読> 1. 日本看護学教育学会誌 (1件、日本看護学教育学会) / 2. 日本看護技術学会 (1件、日本看護技術学会) / 3. 名寄市立大学紀要 (1件、名寄市立大学) / 4. 日本看護学教育学会学術集会 (4件、日本看護学教育学会)

<学会役員就任状況> 日本看護教育学学会 (評議員) / 日本看護学教育学会 (評議員)

<学術集会運営> 日本看護教育学学会第24回学術集会 / 日本看護教育学学会第25回学術集会

<所属学会・研究会> 日本看護教育学学会 / 日本看護学教育学会 / 日本看護科学学会 / 医療の質と安全学会 / sigma theta tau international honor society of nursing

<専門職者・企業・展覧会等への支援> 実習指導者研修会「臨床指導者研修 I」(平成26年5月2日、市立札幌病院) / 実習指導者研修会「看護教育論」(平成26年7月10日・11日、秋田県) / 専任教員養成講習会「看護論」(平成26年7月4日・18日、北海道) / 天使大学FD研修会講師「統合カリキュラム編成の実際」(平成27年3月4日、天使大学)

スーディ神崎 和代

<学術論文> 1. E-KANGOを応用した集合住宅居住者用在宅健康管理システムの検証 (共著、平成26年11月、北海道科学技術総合振興センター、2014巻、pp.31-32)

<その他の論文> 1. 在宅看護と異文化 (単独、平成26年5月、BESTNURSE、5号、pp.29-29) / 2. アルツハイマー病と睡眠の関係 (単独、平成26年7月、BESTNURSE、7号、pp.23-23) / 3. 感染管理 (単独、平成26年9月、BESTNURSE、9号、pp.33-33) / 4. 町内会単位から見た札幌市石山地区の地理的特徴 (共同、平成26年10月、芸術工学会、pp.56-57) / 5. 認知症の人が急性期病院で行方不明になった時の対応 (単独、平成26年11月、BESTNURSE、11号、pp.29-29) / 6. 人は何処で終末期を過ごしたいのか (単独、平成27年3月、BESTNURSE、3号、pp.28-28)

<調査研究報告書> 1. 市民・看取りを経験した家族・専門職者の連携で在宅での看取りを叶えるために



(共同、平成26年12月、3HR研究会、pp.1-22) / 2.北海道江別市：在宅看取りをテーマとした市民の集い(単独、平成27年3月、勇美財団、pp.1-4) / 3.医療事前指示書：終末期を迎える間に伝えておきたいこと(共同、平成27年3月、3HR研究会、pp.1-12) / 4.平成25-26年度南区にお住まいの65歳以上の方の健康に関するニーズ調査(共同、平成27年3月、札幌市立大学、pp.1-32) / 5.人生の終焉を自分らしく生きるためのガイド：意思決定を支援する事前指示書の作成と検証(共同、平成27年3月、札幌市立大学、pp.1-24)

＜実務関係報告書＞1.ウエルネス×協奏型地域社会の担い手育成事業報告書(共同、平成27年3月、札幌市立大学、pp.23-29)

＜受賞等＞1.グッドプレゼンテーション賞(共同、平成26年7月、日本デザイン学会)

＜学会発表＞1.An innovative environment for older adults with dementia(平成26年5月、AAIC) / 2.Development and Evaluation of Coffin for Stillborn baby under 22 weeks gestation in Japan(共同、平成26年6月、第14回 WAIMH Congress) / 3.死産児安置の為のわが子のひつぎプロトタイプデザイン：第5報悲しみを癒す要素の評価(単独、平成26年7月、日本感性工学学会) / 4.第5報悲しみを癒やす要素評価(共同、平成26年7月、日本デザイン学会) / 5.都市部と遠隔地の健康高齢者が抱くICTサービスに対する印象(共同、平成26年7月、日本デザイン学会) / 6.地域住民を対象とした教育支援-医療事前指示書についてのGW参加動機と思いの評価-(共同、平成26年11月、日本在宅ケア学会) / 7.地域住民を対象とした教育支援-在宅看取りに関するシンポジウム型情報交換会の評価-(共同、平成26年11月、日本在宅ケア学会) / 8.介護老人福祉施設において医療処置を必要とする人の入居受け入れ困難要因の明確化(共同、平成26年11月、日本在宅ケア学会) / 9.神経難病療養者の排便に関する訪問看護のケア(平成26年11月、共同、日本在宅ケア学会) / 10.地域住民を対象とした認知症に関する教育支援(共同、平成26年12月、北海道公衆衛生学会)

＜学会シンポジウム＞1.Innovation & Well-being through Multidisciplinary Dialogue：シンポジスト(単独、平成26年11月、Finnish-Japanese Joint Symposium)

＜学会招聘講演＞1.ICT tool development for homehealth care in remote areas(単独、平成26年11月、Finnish-Japanese Joint Symposium)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本ルーラルナーシング学会誌(2件、日本ルーラルナーシング学会)

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会(評議員)

＜学術集会運営＞Sustainability Week Symposium in Finland

＜所属学会・研究会＞日本在宅ケア学会 / 日本遠隔医療学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護学教育学会 / 日本ルーラルナーシング学会 / 北海道公衆衛生学会 / 日本プライマリ連合学会 / 3HR(北海道ホームヘルスケア研究会) / 北のケア環境研究会 / ホタテ外套膜ペプチド研究会

＜講演会・講習会活動＞認知症の予防と進行を遅らせる工夫(平成26年4月19日、3HR研究会・ミヤコーレーション) / E-KURASHI つながる、動かす、シニア力(平成26年6月4日、シニアカパソコン倶楽部新陽会・総務省共催) / 夕張認知症ケアフォーラム「認知症の疾患としての理解」(平成26年10月25日、エーザイ株式会社)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理委員会委員(平成26年4月1日～平成27年3月31日、札幌医科大学) / 定例会議・交流会出席(平成26年4月1日～平成27年3月31日、中小企業家同友会) / 北のケア環境研究会(平成26年4月1日～平成27年3月31日、運営委員) / 第22回記念基調講演(平成26年4月1日～平成27年3月31日、北海道老人保健施設協議会) / 学術集会座長「認知症のあした：私は郵便屋さんです。」(平成26年8月22日、日本在宅ケア学会) / 訪問看護師養成講座講師「対象論と異文化アセスメント」(平成26年9月18日～19日、北海道看護協会) / 第4支部看護師職能委員会企画招聘講演「個を理解して地域につなぐ-異文化アセスメント-」(平成26年10月18日、北海道看護協会第4支部) / 北海道ホームヘルスケア研究会代表として企画運営(3HR研究会)

松浦 和代

＜その他の論文＞1.大学主催による新卒看護職員のためのシームレスな社会化支援 往還型研修の取り組み(共同、平成27年2月、メヂカルフレンド社、40巻、3号、pp.14-19)

＜学会発表＞1.遊び手の操作に応じて反応が変化するメカトロ積木の開発(木材の特性を活用したモデルの検討)(共同、平成26年5月、ROBOMECH2014) / 2.持続性皮下インスリン注入療法を行う思



春期・青年期1型糖尿病患者のQOLに関連する要因（共同、平成26年9月、第19回日本糖尿病教育・看護学会学術集会）／3.特別支援学校における医療的ケアの学校看護師に対する保護者の意識（共同、平成26年10月、北海道成育看護研究会第9回研究会）／4.Interaction System Of Mechatronics - System Embedded Building Blocks ('Mechatro-Tsumiki')（共同、平成26年10月、2014 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics (SMC2014)）／5.A県内の保健の授業に関する実態調査の報告-第1報-小学校の調査（共同、平成26年11月、第61回日本学校保健学会学術大会）／6.A県内の保健の授業に関する実態調査の報告-第2報-中学校の調査（共同、平成26年11月、第61回日本学校保健学会学術大会）／7.卒業前スキルアップトレーニングにインストラクターとして参加したOG・OBの自己評価第34回日本看護科学学会学術集会（共同、平成26年12月／8.卒業前スキルアップトレーニングに参加したOG・OBインストラクターが感じた意義（共同、平成26年12月、第34回日本看護科学学会学術集会）／9.OG・OBインストラクターを起用した卒業前スキルアップトレーニングの効果（第1報）（共同、平成26年12月、第34回日本看護科学学会学術集会）／10.OG・OBインストラクターを起用した卒業前スキルアップトレーニングの効果（第2報）（共同、平成26年12月、第34回日本看護科学学会学術集会）

＜学会シンポジウム＞1.小児看護OSCE-試行錯誤からスタイルの確立をめざして-（共同、平成26年7月、日本小児看護学会第24回学術集会）／2.大学主催による新人看護職員の社会化支援-企画・運用・評価-（平成26年12月、第34回日本看護科学学会学術集会）

＜研究会発表等＞1.親子の活力を引き出す実践（共同、平成26年10月、北海道成育看護研究会第9回研究会）

＜論文査読・学会抄録査読＞日本小児看護学会誌（2件、日本小児看護学会）／日本小児看護学会第24回学術集会講演集（5件、日本小児看護学会）

＜学会役員就任状況＞北海道小児保健研究会（幹事、評議員）／北海道学校保健学会（評議員）／北海道成育看護研究会（理事）／全国病弱教育（東日本ブロック世話人）

＜所属学会・研究会＞日本小児看護学会／日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本小児保健研究会／日本学校保健学会／日本母性衛生学会／日本糖尿病教育・看護学会／北海道成育看護学研究会／北海道小児保健研究会／北海道学校保健学会／全国病弱教育研究会／

＜学術集会運営＞北海道成育看護研究会第9回研究会

＜講演会・講習会活動＞アクティブ・ワークショップ「ユーモアコミュニケーションの実際」企画・運営／思春期保健講演会（対象：高校2年生）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞新人看護職員研修制度における実地指導者研修「新人看護職員の学習支援」（札幌医科大学附属病院）／公開授業：思春期保健講演会（対象：十勝地区養護教諭・一般教諭）（帯広大谷高校）

上村 浩太

＜学会発表＞1.対応困難であった思春期にある小児がん患者とその家族へのケアの検討（共同、平成26年7月、日本小児看護学会第24回学術集会）／2.下痢の多い乳幼児への予防的臀部皮膚ケアの改善と看護師の育成～第3報リレー方式学習の取り組みと反応（共同、平成26年7月、日本小児看護学会第24回学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞札幌市立大学研究論文集（1件）

＜学術集会運営＞北海道成育看護研究会第9回研究会

＜所属学会・研究会＞日本小児看護学会／日本小児がん看護学会／北海道成育看護研究会

＜講演会・講習会活動＞病児・病後児保育 スタッフ研修会（平成26年10月31日・11月10日、緊急サポートネットワーク事業）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞先天性股関節脱臼ハイリスク児の育児指導の講義（平成27年3月、JICA草の根技術協力事業、モンゴル国）

大野 夏代

＜学術論文＞1.熱帯植物温室の環境がもたらす高齢者の心身への効果（共著、平成26年5月、札幌市立大学研究論文集、8巻、1号、pp.3-10）

＜その他の論文＞1.交流セッションIV 技に思想あり（共著、平成26年4月、日本看護技術学会誌、13



巻、1号、pp.24-25) / 2.呼吸・循環フィジカルアセスメントの教え方—技術修得のための授業展開 (共著、平成26年5月、日総研、看護人材育成、11巻、1号、pp.81-83) / 3.フィジカルアセスメントの授業の実践 (共著、平成26年5月、日総研、看護人材育成、11巻、1号、pp.84-89) / 4.大学主催による新卒看護職員のためのシームレスな社会化支援 (共著、平成27年2月、メヂカルフレンド社、看護展望、40巻、3号、pp.14-19)

＜学会発表＞1.交流集会15大学主催による新人看護職員の社会化支援—企画・運用・評価 (共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会) / 2.卒業前スキルアップトレーニングにインストラクターとして参加したOG・OBの自己評価 (共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会) / 3.卒業前スキルアップトレーニングに参加したOG・OBインストラクターが感じた意義 (共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会) / 4.OG・OBインストラクターを起用した卒業前スキルアップトレーニングの効果 (第1報) (共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会) / 5.OG・OBインストラクターを起用した卒業前スキルアップトレーニングの効果 (第2報) (共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会) / 6.OSCEの評価結果の看護技術教育への活用 (第1報)—血圧測定に焦点を当てて (共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会) / 7.OSCEの評価結果の看護技術教育への活用 (第2報)—上半身寝衣交換に焦点を当てて (共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会) / 8.卒業前動向調査にみる就職活動に関する施設訪問の利用の実態—2年間の結果から (共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会) / 9.マッサージによるリスクを最小化する試み (共同、平成26年11月、日本看護技術学会第13回学術集会)

＜学会役員就任状況＞国際看護研究会 (副代表、副会長)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞新入職看護職員の面談「ほっとライン」 (平成26年7月2日、7月7日、7月14日、7月25日) / 勤医協札幌病院看護研究指導 (平成26年8月18日・10月10日・平成27年3月6日・3月9日、大学・病院 連携プロジェクト)

貝谷 敏子

＜学術論文＞1.特定行為としての高度創傷管理技術を臨床導入し定着させるためのプロセスモデルの構築 (共著、平成26年9月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会会誌、18巻、3号、pp.313-318) / 2.Evaluation of an advanced pressure ulcer management protocol followed by trained wound, ostomy, and continence nurses: a non-randomized controlled trial. (共著、平成27年2月、Chronic wound care management and research、2巻、pp.39-51) / 3.Clinical validity of the estimated energy requirement and the average protein requirement for nutritional status change and wound healing in older patients with pressure ulcers: A multicenter prospective cohort study. (共著、平成27年1月、Geriatr Gerontol Int、11巻)

＜著書＞1.Chapter 8. Deployment of Bioengineering Nursing. In: Sanada H, Mori T (Edit). Bioengineering Nursing: New Horizons of Nursing Research. (共著、平成26年4月、Nova Science Pub Inc、9781631173363、pp.203-216) / 2.高度看護OSCE (翻訳) (共著、平成26年12月、へるす出版、9784892698552、pp.129-160)

＜その他の論文＞1.WOC Nursing ストーマ晩期合併症時の装具選択のポイント (監) 石澤美保子 (単独、医学出版、3巻、2号、pp.59-65)

＜学会発表＞1.褥瘡保有患者に対するKing's stool chartを用いた下痢便評価：栄養投与経路別の有病率と褥瘡治癒への影響 (共同、平成26年8月、日本褥瘡学会) / 2.Validity of nutritional requirements for Japanese older patients with pressure ulcers in a multicenter prospective study. (共同、平成26年9月、ESPEN)

＜学会シンポジウム＞1.域連携シンポジウム「病院・在宅・関連施設で取り組むチーム医療～それぞれの機能を生かすために大切なこと～」 (共同、平成26年5月、日本創傷オストミー失禁管理学会)

＜学会招聘講演＞1.教育講演 エビデンスに基づいたドレッシング材の選択—ドレッシング材の基本とスキンケアの基本知識— (単独、平成26年8月、第16回日本褥瘡学会)

＜研究会発表等＞1.看護に取り入れたい経済学的評価方法 (平成26年4月、創傷スキンケア研究会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本創傷オストミー失禁管理学会 (1件、日本創傷オストミー失禁管理学会) / 2.第24回日本創傷オストミー失禁管理学会学術集会 (8件、日本創傷オストミー失禁管理学会)



＜学会役員就任状況＞日本創傷オストミー失禁管理学会（広報委員長、理事）／日本褥瘡学会（評議員）

＜講演会・講習会活動＞市立札幌病院看護研究基調講演「研究法について学ぶ 課題に基づいた研究デザインの選択、概念枠組みを知る」（平成26年8月9日、市立札幌病院看護部）／市民と共につくる看護学教育－看護教育における模擬患者参加型演習（平成26年9月11日、札幌市立大学看護学部）／勤医協西区病院「褥瘡予防について」（平成27年3月19日、勤医協西区病院褥瘡委員会）

菊地 ひろみ

＜著書＞1.在宅看護過程演習（共著、平成27年3月、クオリティケア、9784904363461、pp.46－52、pp.119－131）

＜学会発表＞1.看護系大学における在宅看護技術教育の目標および方法の体系化について考える（共同、平成26年8月、日本看護学教育学会第24回学術集会）／2.多発性硬化症患者の認知行動療法（CBT）に関する国内外の動向と課題（単独、平成26年11月、第2回日本難病医療ネットワーク学会学術集会）／3.がん診療拠点病院未整備の二次医療圏看護師に対するアウトリーチプログラム（共同、平成27年2月、第29回日本がん看護学会学術集会）

＜研究会発表等＞1.E-KANGOのサービス付き高齢者住宅入居者の健康モニタリングにおける有用性（平成26年11月、産学官連携研究発表会）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本難病看護学会／日本難病医療ネットワーク学会／日本プライマリケア学会／日本在宅ケア学会／日本在宅看護学会／日本がん看護学会／日本遠隔医療学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究支援 看護研究導入講義（札幌厚生病院）／訪問看護師養成講習（北海道看護協会）

清水 光子

＜学会発表＞1.Social Capital in Japan:localcommunity support of the elderly in urban areas（共同、平成26年10月、46th APACPH Conference Kuala Lumpur）／2.都市部の高齢者の暮らしをサポートする地域住民の活動（共同、平成27年1月、第3回公衆衛生看護学会学術集会）／3.積雪寒冷地における季節変化が要支援高齢者の身体活動と健康に及ぼす影響（共同、平成27年1月、第3回公衆衛生看護学会学術集会）／4.行政保健師の地域診断の実践に影響する要因（共同、平成27年1月、第3回公衆衛生看護学会学術集会）

＜所属学会・研究会＞日本公衆衛生学会／日本公衆衛生看護学会／日本地域看護学会／日本看護科学学会／北海道公衆衛生学会／北海道公衆衛生セミナー／看護総合科学研究会／

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）

＜講演会・講習会活動＞札幌シニア大学 「認知症の方と家族をサポートする地域福祉活動について」（平成26年7月11日、札幌市老人クラブ連合会）／上級学校セミナー「お腹まわりサイズと病気に予防」（平成26年11月5日、北海道札幌新川高等学校）

菅原 美樹

＜学術論文＞1.救急看護師が外傷看護実践において重要視している看護に関する研究（共著、平成27年1月、日本救急看護学会雑誌、17巻、1号、pp.9－21）

＜著書＞1.改訂第3版 外傷初期看護ガイドライン（共著、平成26年10月、へるす出版、9784892698514、pp.185－186）／2.高度看護OSCE（共著、平成26年12月、へるす出版、9784892698552、pp.1－22）

＜学会発表＞1.救急看護師が外傷看護実践において重要視している看護の特徴（第2報）（共同、平成26年5月、第10回日本クリティカルケア看護学会学術集会）／2.クリティカルケア領域の高度実践看護OSCEの開発と妥当性・信頼性の検討（共同、平成26年10月、第16回日本救急看護学会学術集会）

＜学会シンポジウム＞1.救急領域における看護教育の目標と評価の現状と課題（単独、平成26年10月、第16回日本救急看護学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本救急看護学会雑誌第17巻1号（1件、日本救急看護学会）／2.日本救急看護学会雑誌第16巻3号（5件、日本救急看護学会）／3.日本クリティカルケア看護学会誌第10巻3号



(1件、日本クリティカルケア看護学会)

＜学会役員就任状況＞日本救急看護学会（理事）／日本クリティカルケア看護学会（理事）／日本循環器看護学会（専任査読委員）／北のケア環境研究会（北のケア環境研究会運営委員）

＜所属学会・研究会＞日本救急看護学会/理事/日本クリティカルケア看護学会/理事/日本循環器看護学会/日本臨床救急医学会/日本集中治療医学会/日本看護科学学会/日本看護教育学学会/日本看護研究学会/日本災害看護学会/日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞トリアージナース育成研修会の運営支援（平成26年7月19日～20日、日本救急看護学会）

古都 昌子

＜学術論文＞1.看護学の学士課程修了時の学生が語る「看護職としての『私』」（単著、平成27年3月、東京女子医科大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程学位論文）

＜著書＞1.看護師国家試験問題集Select必修2015 第10版（共著、平成26年4月、メディックメディア、978-4-89632-519-5）／2.クエスチョンバンク2015（共著、平成26年4月、メディックメディア、978-4-89632-520-1）／3.レビューブック第17版（共著、平成27年3月、メディックメディア、978-4-89632-557-7）／

＜解説文＞1.第103回看護師国家試験問題&解説 2015（平成26年4月、メディックメディア）

＜学会発表＞1.急性期実習におけるホスピタルスタジオ活用による周術期シミュレーションの取り組み（共同、平成26年6月、第16回日本医療マネジメント学会学術総会）／2.看護学生のリスク認知・感性を高めるインシデント分析の取り組み（共同、平成26年6月、第16回日本医療マネジメント学会学術総会）／3.社会人経験を有する新人看護師の経験 スタッフナースとの関わりに焦点を当てて（共同、平成26年8月、第18回日本看護管理学会学術集会）／4.医療安全学の講義における教育方法の検討 学生の作成した事例の分析から安全標語を導き出す演習効果（単独、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会/日本看護学教育学会/日本看護管理学会/東京女子医科大学看護学会/日本医療マネジメント学会/国立医療学会/日本医学看護学教育学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞平成26年度中国四国グループ内実習指導者講習会 看護教育評価講義・演習（平成26年10月9日、国立病院機構中国四国グループ）／看護研究講義・演習（平成26年10月10日、国立病院機構中国四国グループ）／平成26年度SCU実習指導者連絡会パネリスト 看護学生の臨地実習指導場面における医療安全教育（平成27年2月24日）

村松 真澄

＜学術論文＞1.大卒看護職の初期キャリアにおける就業満足感と離職願望（共著、平成26年5月、SCU Journal of Design & Nursing、8巻、1号、pp.19-29）／2.ひかりのリビングルームー特別養護老人ホームの空き地を活用した空間デザイン作品による世代間交流の試み（共著、平成26年8月、日本世代間交流学会誌、4巻、pp.110-115）／3.全国の介護施設における口腔ケアに関する看護管理的取り組みの実態調査（共著、平成26年10月、日本老年歯科医学学会誌、29巻、2号、pp.66-76）／4.地域在住高齢者の社会活動と健康習慣指数・健康管理自己効力感との関連について（共著、平成27年3月、北海道公衆衛生学雑誌、28巻、2号、pp.85-90）／5.高齢者の在宅医療・介護推進に向けたインタープロフェッショナル教育プログラムの開発と評価（共著、平成27年3月、北海道公衆衛生学雑誌、28巻、2号、pp.119-128）／6.細菌数測定装置「細菌カウンタ」のモニタリング調査（共著、平成27年3月、日本口腔ケア学会誌9巻、1号、pp.91-96）

＜学会発表＞1.地域自立高齢者のoral Assessment Guide (OAG)と口腔内の状況との関係（共同、平成26年6月、第25回日本老年歯科医学会）／2.療養型入院高齢者のOral Assessment Guide (OAG)と口腔内状態との関連（共同、平成26年6月、第25回日本老年歯科医学会）／3.地域目立局齢者の歯科的保健行動に関連する要因について（共同、平成26年6月、第25回日本老年歯科医学会）／4.サービス付き高齢者向け住宅入居時における自己決定と主観的幸福感に関する研究（共同、平成26年6月、日本老年看護学会第19回学術集会）／5.寒冷地における高齢者の災害に対する備えの実態（共同、平成26年6月、日本老年看護学会第19回学術集会）／6.5分間口腔ケア導入前後の患者の口腔内環境を比較する～エイラーズ口腔アセスメントを使用して～（共同、平成26年6月、第11回日本口腔ケア学会）／7.特別



養護老人ホームのOral Assessment Guide (OAG)と口腔内状況との関連(共同、平成26年6月、第11回日本口腔ケア学会) / 8.介護老人福祉施設高齢者のOral Assessment Guide (OAG)と口腔内状況との関連(共同、平成26年6月、第11回日本口腔ケア学会) / 9.地域在住高齢者の健康管理自己効力感と健康習慣指数との関連について(共同、平成26年8月、日本地域看護学会第17回学術集会) / 10.積雪寒冷地における高齢者の災害に対する備えの実態とその要因(共同、平成26年8月、第16回日本災害看護学会) / 11.健康高齢者を対象とする老年看護学実習における学生の学び—実習レポートの内容を示すキーワードの分析—(共同、平成26年8月、日本看護学教育学会第24回学術集会) / 12.大卒看護師の社会人基礎力と看護の基本的姿勢の実態—卒業直前と就職8か月後の比較—(共同、平成26年8月、第18回日本看護管理学会) / 13.看護護字OSCE(客観低臨床技能試験)と看護技術修得との関係—看護学部卒業直前の質問紙調査から(共同、平成26年8月、第18回日本看護管理学会) / 14.5分間口腔ケア導入前後のICUの患者の口腔ケア回数の変化(共同、平成26年9月、第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会) / 15.高齢者の口腔状態評価Oral Assessment Guide (OAG)の内容妥当性の検討(共同、平成26年9月、第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会) / 16.『のみこみ安心ネット・札幌』を立ち上げて(共同、平成26年9月、第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会) / 17.療養型入院高齢者及び特別養護老人ホーム入居者における口腔内状況の現状報告(共同、平成26年10月、平成26年度日本補綴歯科学会東北・北海道支部総会学術大会) / 18.地域自立高齢者の要介護認定状況に関連する因子について—5年間の縦断的調査—(共同、平成26年11月、第73回日本公衆衛生学会) / 19.老人福祉センター利用者の主観的幸福感の検討—利用する講座(サークル)による比較—(共同、平成26年11月、第73回日本公衆衛生学会) / 20.地域在住高齢者の社会活動と健康週刊指数・健康管理自己効力感との関連について(共同、平成26年11月、第73回日本公衆衛生学会) / 21.介護老人福祉施設の口腔ケアに関する現状と課題—グループワークの結果から—(共同、平成26年11月、第73回日本公衆衛生学会) / 22.日常的な看護行為における熟練した手の使い方の可視化(共同、平成26年11月、第13回日本看護技術学会)

<学会シンポジウム> 1.シンポジウム口腔ケアに関する教育の現状と課題(平成26年6月、第11回日本口腔ケア学会学術大会)

<研究会発表等> 1.のみこみ安心ネット札幌の立ち上げについて(平成26年10月、札幌市立大学・北海道立総合研究機構 第2回研究交流会) / 2.のみこみ安心ネット札幌の立ち上げについて(平成26年11月、SCU産学管研究交流会)

<論文査読・学会抄録査読> 日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌(1件、日本摂食嚥下リハビリテーション学会) / Gerodontology(1件Gerodontology) / 第16回日本認知症ケア学会(10件、日本認知症ケア学会) / the International Journal of Dental Hygiene(1件、the International Journal of Dental Hygiene)

<学会役員就任状況> 日本口腔ケア学会(評議員) / 日本摂食嚥下リハビリテーション学会(評議員) / 日本口腔看護研究会(副代表世話人・事務局、理事) / のみこみ安心ネット札幌(幹事、理事) / 旭川口腔ケア普及研究会(幹事、委員)

<学術集会運営> 第16回日本認知症ケア学会

<所属学会・研究会> 日本看護科学会会員 / 日本看護研究学会会員 / 日本歯科医学会会員 / 北海道歯学会会員 / 日本公衆衛生学会会員 / 日本口腔ケア学会理事 / 日本・摂食嚥下リハビリテーション学会評議員 / 北海道プライマリーケア研究会会員 / 北海道歯学会 / 日本看護学教育学会 / 日本保健福祉学会 / 日本口腔看護研究会 / 飲みこみ安心ネット札幌市 / 日本老年看護学会会員 / 日本がん看護学会会員 / 日本口腔科学会会員 / 北海道口腔ケア研究会会員 / 日本看護管理学会会員 / 日本医療・病院管理学会 / 日本世代間交流学会 / 北海道公衆衛生学会 / 日本地域看護学会 / 日本災害看護学会 / 日本認知症ケア学会 / 日本看護技術学会 / 日本在宅ケア学会

<専門職者・企業・展覧会等への支援> 口腔ケア活動の普及と研究会企画(平成26年4月～平成27年3月、上川中部地域歯科保健推進協議会・旭川口腔ケア普及会) / 北海道における口腔ケア研究会の企画運営(実施平成26年5月10日)(平成26年4月～平成27年3月、北海道口腔ケア研究会) / 食べる支援のネットワークつくりと研修会企画(平成26年4月～平成27年3月、のみこみ安心ネット札幌) / 国際セミナーを企画全国5か所で開催(平成26年4月～平成27年3月、日本口腔看護研究会) / 看護研究指導、倫理審査の支援、中間発表と研究発表会への助言(平成26年4月～平成27年3月、札幌徳洲会病院) / 推薦委員「急性期病院で必要な口腔アセスメント」(平成26年7月4日、北海道看護協会) /



KKR札幌医療センター感染対策委員会 講演会の講師「平成26年度全道ホームヘルプサービス研究大会分科会」（平成26年7月9日、KKR札幌医療センター）／虎の門病院NST委員会主催研修会講師「急性期病院でNSTを進めるための口腔アセスメントと口腔ケアの基本～多職種で連携するために」（平成26年8月21日、虎の門病院）／講義・実技「ホームヘルパーのための口腔ケアの実践」（平成26年10月25日、北海道ホームヘルプサービス協議会札幌・石狩・空知地区）

守村 洋

＜著書＞1.精神看護技術（共著、平成27年1月、メヂカルフレンド社、978-4-8392-1587-3）

＜その他の論文＞1.Nursing Canvas 疾患別看護過程（平成26年10月、学研メディカル秀潤社）

＜調査研究報告書＞1.札幌市内の救急医療機関に搬送された自殺未遂者に関する調査報告書（調査研究報告書平成27年3月、札幌市自殺総合対策推進会議）

＜学会発表＞1.精神障がい者への関わりについての看護学生の自信の変化（共同、平成26年6月、日本精神保健看護学会第24回学術集会・総会）／2.救急医療機関に従事する看護師の自殺未遂者に対する態度（共同、平成26年9月、第38回日本自殺予防学会総会）／3.精神科看護師のメンタルヘルス―患者から暴言・暴力を受けた看護師に焦点を当てて―（共同、平成26年9月、第38回日本自殺予防学会総会）／4.急性期にある精神患者を保護室に隔離する際の看護の思い（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／5.疼痛アセスメント行動自己評価尺度―精神科看護師用―の作成と信頼性・妥当性の検討（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.熊本保健科学大学 保健科学部紀要（1件、熊本保健科学大学 保健科学部紀要）

＜学会役員就任状況＞日本臨床救急医学会（委員）／日本精神保健看護学会（委員）

＜学術集会運営＞第22回日本精神科救急医学会

＜講演会・講習会活動＞精神療養講座（平成26年8月16日）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究支援（勤医協札幌西区病院）／学内演習（日本赤十字秋田看護大学教育研究開発センター認定看護師教育課程）／相談の受け止め方の講義・演習（千歳市こころのケア講座）／医療情報技師検定試験（医療情報技師育成部門）

神島 滋子

＜学術論文＞1.中堅看護職員が副看護師長に求める支援 中堅看護師が受けている支援の実態調査から（共同、平成27年3月、市立札幌病院医誌、74（2）、pp.211-218）

＜著書＞1.高度看護OSCE（共著、平成26年11月、へるす出版、978-4-89269-855-2、pp.25-106）

＜その他の論文＞1.大学主催による新卒看護職員のためのシームレスな社会化支援（共同、平成27年1月、メヂカルフレンド社、40巻、3号、pp.14-19）

＜学会発表＞1.高次脳機能障害当事者とその家族の生活の再構築に影響を与えた「支え」の検討（共同、平成26年7月、第8回日本慢性看護学会）／2.看護師の性生活指導に対する意識調査 生殖系疾患患者対象病棟と一般病棟との比較（共同、平成26年7月、第8回日本慢性看護学会）／3.看護師が認識する頸髄損傷患者の苦痛と看護上の配慮（共同、平成26年7月、第8回日本慢性看護学会）／4.卒業前動向調査にみる就職活動に関する施設訪問の利用の実態 2年間の結果から（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会）／5.OG・OBインストラクターを起用した卒業前スキルアップトレーニングの効果（第1報）（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会）／6.OG・OBインストラクターを起用した卒業前スキルアップトレーニングの効果（第2報）（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会）／7.卒業前スキルアップトレーニングに参加したOG・OBインストラクターが感じた意義（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会）／8.卒業前スキルアップトレーニングにインストラクターとして参加したOG・OBの自己評価（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会）／9.大学主催による新人看護職員の社会化支援 企画・運用・評価（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会）

＜学会役員就任状況＞日本脳神経看護研究学会（北海道地方部会副会長）／日本脳神経看護研究学会（評議員）

＜学術集会運営＞第42回日本脳神経看護研究学会



＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本看護学教育学会／日本脳神経看護研究学会／日本慢性看護学会／日本看護管理学会／日本クリティカルケア看護学会／American Association of Neuroscience Nurses／国際リハビリテーション看護研究会／日本救急看護学会／日本ニューロサイエンス看護学会／日本高次脳機能障害学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究の指導（平成26年4月～平成27年2月、北海道中央労災病院せき損センター）／看護過程の講義、スタッフの指導他（平成26年4月～平成27年3月、北海道済生会小樽病院）

櫻井 蘭子

＜学会シンポジウム＞1.一般演題1座長（平成26年10月、平成26年度 日本産業衛生学会北海道地方会総会（第94回 北海道医学大会 産業衛生分科会））

＜学会役員就任状況＞日本産業衛生学会（産業看護部会幹事（研究担当）、委員）／日本産業衛生学会北海道地方会（産業看護部会幹事、委員）／北海道公衆衛生学会（評議員）

田中 広美

＜実務関係書＞1.呼吸・循環フィジカルアセスメントの教え方（平成26年4月、日総研出版）

＜特許・意匠登録＞「注射針取外し容器」特願2015-025663（平成27年2月）／平成27年3月ベッドと車イス間の人体移動補助装置特願2015-73057

＜学会発表＞1.大学主催による新人看護職員の社会化支援－企画・運用・評価－（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／2.卒業前動向調査による就職活動に関する施設訪問の利用の実態（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／3.卒業前スキルアップトレーニングに参加したOGOBインストラクターが感じた意義（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／4.卒業前スキルアップトレーニングにインストラクターとして参加したOGOBの自己評価（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／5.OGOBインストラクターを紀要した卒業前スキルアップトレーニングの効果（第1報）（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／6.OGOBインストラクターを紀要した卒業前スキルアップトレーニングの効果（第2報）（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／7.osceの評価結果の看護技術教育への活用（第1報）（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／8.osceの評価結果の看護技術教育への活用（第2報）（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／9.看護基礎教育における動画機能活用の有用性（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／10.注射シミュレーションモデルを用いた技術練習の動画撮影・師長による学習内容（共同、平成26年11月、日本看護技術学会第13回学術集会）／11.看護学生の採血手技における注射針の刺入角度と刺入の長さの分析（共同、平成26年11月、日本看護技術学会第13回学術集会）

＜研究会発表等＞1.「からだにやさしい移動・移乗支援補助用具の試作と実用性の検証」（平成26年11月、2014 SCU産学官研究交流会）

＜所属学会・研究会＞日本看護歴史学会／日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本看護技術学会／日本看護学教育学会／日本看護管理学会／日本看護理工学学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞勤医協西区病院研究支援（平成26年4月～9月）／札幌徳洲会病院研究支援（平成26年4月～平成27年3月）

原井 美佳

＜学術論文＞1.Time-series survey of prevalence and severity in urinary incontinence among elderly Japanese women.（共著、平成27年3月、札幌医学雑誌、83巻、pp.17-20）

＜学会発表＞1.健康高齢者を対象とする老年看護学実習における学生の学び－実習レポートの内容を示すキーワードの分析－（共同、平成26年8月、日本看護学教育学会第24回学術集会）／2.高齢女性の尿失禁有病率と骨盤底筋体操の効果（共同、平成26年9月、第21回日本排尿機能学会）／3.老人福祉センター利用者の主観的幸福感の検討－利用する講座（サークル）による比較－（共同、平成26年11月、第73回日本公衆衛生学会総会）

＜研究会発表等＞1.寒冷地に暮らしてきた女性の尿失禁のリスク要因と対処行動に関する研究（単独、平成26年11月、2014年度SCU産学官研究交流会）



＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本老年看護学会／日本看護管理学会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本産業カウンセラー協会／札幌市介護支援専門員連絡協議会／福祉住環境コーディネーター協会／愛知排泄ケア研究会／日本コンチネンス協会／日本老年泌尿器科学会／日本排尿機能学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞社会医療法人鳩仁会 札幌中央病院看護部 看護研究支援（平成26年4月～平成27年3月、社会医療法人鳩仁会 札幌中央病院看護部 研究支援）／「高齢者の尿失禁～アセスメントとケアの方法」（平成26年7月12日、北のくらしと地域ケア研究所）

藤井 瑞恵

＜著書＞1.高度看護 OSCE（翻訳）（共著、平成26年12月、へるす出版、9784892698552、pp.110-132）

＜学会発表＞1.はみがき習慣と心血管疾患リスク因子との関係（共同、平成26年7月、第50回日本循環器予防学会学術集会）／2.地域一般住民における口腔内健康状態とインスリン抵抗性の関係（共同、平成26年7月、第50回日本循環器予防学会学術集会）／3.2型糖尿病を持つ壮年期就労者における食事療法の日常化と対人関係への影響（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会）／4. Relationships of lifestyle with physical health and mental health in Japanese late middle-aged patients on chronic hemodialysis（共同、平成27年2月、18th East Asian Forum of Nursing Scholars）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本糖尿病教育・看護学会誌（4件、日本糖尿病教育・看護学会）／2.札幌市立大学研究論文集（1件）／3.日本糖尿病教育・看護学会誌（1件、日本糖尿病教育・看護学会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員、評議員）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護学教育学科／日本慢性看護学会／日本糖尿病看護・教育学会／日本看護管理学会／日本透析医学会／日本循環器病予防学会／日本疫学会／日本公衆衛生学会／日本公衆衛生学会／日本糖尿病学会／日本老年医学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞外来（透析）と5A病棟の研究支援（平成26年6月～平成27年3月、札幌厚生病院）／研究報告会講評（平成26年11月15日、北海道看護協会札幌第一支部）

三上 智子

＜学術論文＞1.大卒看護職の初期キャリアにおける就業満足感と離職願望（共著、平成26年5月、札幌市立大学）

＜著書＞1.高度看護OSCE 高度な臨床スキル評価成功へのガイド（共著、平成26年12月、へるす出版、9784892698552）

＜調査研究報告書＞1.北海道 保健の授業に関する調査 小学校6年生・中学校3年生（平成26年4月、札幌がんセミナー）

＜学会発表＞1.看護学OSCE（客観的臨床技能試験）と看護技術修得との関係－看護学部卒業直前の質問紙調査から（共同、平成26年8月、第18回日本看護管理学会学術集会）／2.大卒看護師の社会人基礎力と看護の基本姿勢の実態－卒業直前と就職8か月後の比較－（共同、平成26年8月、第18回日本看護管理学会学術集会）／3.A県内の保健の授業に関する実態調査の報告－第1報 小学校の調査－（共同、平成26年11月、日本学校保健学会第61回学術集会）／4.A県内の保健分野の授業に関する実態調査の報告－第2報 中学校の調査－（共同、平成26年11月、日本学校保健学会第61回学術集会）

＜学術集会運営＞第9回北海道成育看護研究会

山内 まゆみ

＜学術論文＞1.看護学部卒業後の目標管理ツールの活用状況に関する実態調査（共著、平成26年5月、SCU journal of design & nursing、8巻、1号、pp.101-105）

＜学会発表＞1.Objective Structured Clinical Examination in Midwifery Education: Health Guidance on the Timing of Hospitalization.（共同、平成26年6月、The 30th triennial congress ICM 2014）／2.現職助産師の職業準備行動能力に関する調査報告（共同、平成26年7月、第40回日本看護研究学会学術集会）／3.現職助産師の周産期関連業務能力自己評価 平成24年度調査報告の一部から（共



同、平成26年8月、第55回日本母性衛生学会学術集会) / 4.客観的臨床能力試験 (OSCE)を用いた「子宮復古の観察」技術修得状況と課題 2年間の試験結果の評価 (共同、平成26年8月、第55回日本母性衛生学会学術集会) / 5.15年間のA病院産科「産後訪問記録」からみえた今後の母子支援への示唆 (共同、平成26年8月、第55回日本母性衛生学会学術集会) / 6.北海道東北圏に勤務する助産師の家族計画ケアに関する業務能力の調査報告 (共同、平成26年9月、第44回北海道母性衛生学会学術講演会)

<学術集会運営>第44回北海道母性衛生学会総会ならびに学術講演会

<所属学会・研究会>日本看護研究学会 / 日本母性衛生学会 / 日本母性看護学会 / 日本看護科学学会 / 日本地域看護学会 / 日本助産学会 / 北海道看護研究学会 / 北海道母性衛生学会 / 日本母乳の会

<専門職者・企業・展覧会等への支援>北海道・東北地区研修会 (平成26年8月21日、全国助産師教育協議会) / 第24回母乳育児ワークショップ ファシリテーター (平成26年11月15~16日、日本母乳の会、)

山本 真由美

<その他の論文>1.大学主催による新卒看護職員のためのシームレスな社会化支援 (共同、平成27年1月、メヂカル出版、40巻、3号)

<学会発表>1.Objective Structured Clinical Examination in Midwifery Education : Health Guidance on the Timing of Hospitalization (共同、平成26年6月、The 30th triennial congress ICM2014) / 2.客観的臨床能力試験 (OSCE)を用いた「子宮復古の観察」技術修得状況と課題-2年間の試験結果の評価- (共同、平成26年10月、第55回日本母性衛生学会学術集会) / 3.大学主催による新人看護職員の社会化支援-企画・運用・評価- (共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会) / 4.卒業前動向調査による就職活動に関する施設訪問の利用の実態 (共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会) / 5.卒業前スキルアップトレーニングに参加したOG・OBインストラクターが感じた意義 (共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会) / 6.卒業前スキルアップトレーニングにインストラクターとして参加したOG・OBの自己評価 (共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会) / 7.OG・OBインストラクターを起用した卒業前スキルアップトレーニングの効果 (第1報) (共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会) / 8.OG・OBインストラクターを起用した卒業前スキルアップトレーニングの効果 (第2報) (共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会) / 9.看護基礎教育における動画機能活用の有用性の検証~採血の技術に着目して~ (共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会) / 10.注射シミュレーションモデルを用いた技術練習の動画撮影・視聴による学習内容 (共同、平成26年11月、日本看護技術学会第13回学術集会) / 11.看護学生の採血手技における注射針の刺入角度と刺入の長さの分析 (共同、平成26年11月、日本看護技術学会第13回学術集会)

<学術集会運営>平成26年度北海道看護協会研究発表会 / 第44回北海道母性衛生学会学術講演会

<所属学会・研究会>日本助産学会 / 日本看護科学学会 / 日本母性衛生学会 / 北海道母性衛生学会 / 日本看護管理学会 / 日本看護学教育学会 / 日本看護技術学会

<専門職者・企業・展覧会等への支援>平成26年度北海道・東北地区研修会 (平成26年8月21日、全国助産師教育協議会) / 平成26年度北海道看護協会教育委員 (北海道看護協会) / 指導者のための看護研究-研究をクリティックしてみよう-研修会企画立案 (平成26年4月~平成27年3月、北海道看護協会) / 看護教員・看護教育担当者のキャリアを充実させる研修会企画立案 (平成26年4月~平成27年3月、北海道看護協会) / 看護研究 (研究計画書、統計処理、質的分析) 講義 (平成26年5月16日、北海道がんセンター) / 働きやすい職場環境づくり研修会の運営 (平成26年7月26日、北海道看護協会) / 看護教員・看護教育担当者のキャリアを充実させる研修会の運営 (平成26年8月2日~4日、北海道看護協会) / 指導者のための看護研究-研究をクリティックしてみよう-研修会の運営 (平成26年8月29日、北海道看護協会) / 看護研究指導 (不定期) (平成26年10月~平成27年1月、北海道がんセンター) / 看護研究発表会講評 (平成27年3月16日、北海道がんセンター)

渡邊 由加利

<学術論文>1.妊娠末期にある夫婦の「情緒的關係」に影響を与える要因 (単著、平成26年5月、札幌市立大学研究論文集)

<学会発表>1.助産師教育における臨床能力試験 (OSCE) : (3) 分娩介助技術 (共同、平成26年6



月、30th Triennial Congress ICM Prague 2014 (於プラハ) / 2.性暴力被害者支援センター北海道SACRACHの相談活動の実態(共同、平成26年8月、第33回日本思春期学会学術集会) / 3.客観的臨床能力試験(OSCE)を用いた「子宮復古の観察」技術修得状況と課題 2年間の試験結果の評価(共同、平成26年8月、第55回母性衛生学会学術集会抄録集)

<学術集会運営>第44回北海道母性衛生学会学術講演会

<所属学会・研究会>日本看護科学学会/日本助産学会/日本看護教育学会/日本人間工学会/看護人間工学部会/母性衛生学会/北海道母性衛生学会/日本思春期学会

<専門職者・企業・展覧会等への支援>「クレーム対応のワークショップ」の企画を行うための講義(平成26年8月、一般社団法人桶谷式乳房管理法研鑽会)/北海道・東北地区研修会(平成26年8月21日、全国助産師教育協議会)/社会貢献委員会委員:地域貢献の活動の実態把握と推進(全国助産師教育協議会)

工藤 京子

<著書>1.高度看護OSCE高度な臨床スキル評価成功へのガイド(共著、平成26年12月、へるす出版、9784892698552、pp.151-160)

<学会発表>1.新人教育を行う女性看護師が捉えた新人男性看護師の特徴と教育的関わり(共同、平成26年9月、第45回日本看護学会-看護教育学術集会)/2.在宅酸素療法患者の災害に対する認識(共同、平成26年10月、第24回日本呼吸ケアリハビリテーション学会)/3.北海道における低肺機能患者の災害に対する認識(共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会)/4.卒業前スキルアップトレーニングに参加したOG・OBインストラクターが感じた意義(共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会)/5.卒業前スキルアップトレーニングにインストラクターとして参加したOG・OBの自己評価(共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会)/6.OG・OBインストラクターを起用した卒業前スキルアップトレーニングの効果(第1報)(共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会)/7.OG・OBインストラクターを起用した卒業前スキルアップトレーニングの効果(第2報)(共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会)/8.卒業前動向調査に見る就職活動に関する施設訪問の利用の実態-2年間の結果から-(共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会)/9.大学主催による新人看護職員の社会化支援-企画・運用・評価-(交流集会)(共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会)

<所属学会・研究会>日本看護学教育学会/日本看護科学学会/日本呼吸ケア・リハビリテーション学会/日本看護研究学会/日本慢性看護学会/日本創傷治癒学会/日本看護技術学会/日本看護管理学会

<専門職者・企業・展覧会等への支援>中堅看護師研修コースの指導、授業への参加、OSCE課題作成指導「中堅看護師ステップアップ研修」(平成26年4月~平成26年6月、平成26年8月~平成27年2月、手稲溪仁会病院)/看護研究計画書の作成指導、看護研究成果発表会での講評(平成26年6月~平成26年12月、札幌中央病院)/学会発表に向けて抄録指導、ポスター指導(平成26年7月、市立札幌病院)

田仲 里江

<学術論文>1.看護学部卒業後の目標管理ツールの活用状況に関する実態調査(共著、平成26年5月、札幌市立大学)

<その他の論文>1.大学主催による新卒看護職員のためのシームレスな社会化支援 往還型研修の取り組み(共著、平成27年1月、看護展望メジカルフレンド社、40巻、3号、pp.14-19)

<学会発表>1.From the Planning to the Practice of the Safe Community Design Part1(共同、平成26年5月、The 7th Asian conference on safe communities in busan, Korea 2014)/2.地域保健活動において保健師が認識するソーシャル・キャピタル(共同、平成26年8月、第17回日本地域看護学会学術集会)/3.住民の暮らしからみたソーシャル・キャピタル(共同、平成26年8月、第17回日本地域看護学会学術集会)/4.Elements of Social Capital in Japan:A Qualitative Research(共同、平成26年10月、46thAPACPH Conference)/5.Socia Capital in Japan : Local Community Support of the Elderly in Urban Areas(共同、平成26年10月、46thAPACPH Conference)/6.A県内の保健の授業に関する実態調査の報告-第1報-小学校の調査(共同、平成26年11月、第61回日本学校保健学会学術大会)/7.A県内の保健の授業に関する実態調査の報告-第2報-中学校の調査(共同、平成26年11月、第61回日本学校保健学会学術大会)/8.積雪寒冷地における季節変化が要支援高齢者の身体活



動と健康に及ぼす影響（共同、平成27年1月、第3回日本公衆衛生看護学会学術集会）／9.都市部の高齢者の暮らしをサポートする地域住民の活動（共同、平成27年1月、第3回日本公衆衛生看護学会学術集会）／10.行政保健師の地域診断の実践に影響する要因（共同、平成27年1月、第3回日本公衆衛生看護学会学術集会）

＜学術集会運営＞北海道成育看護研究会第9回研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞手稲溪仁会病院の看護研究への研究指導（手稲溪仁会病院）

坂東 奈穂美

＜学会発表＞1.看護学生の採血手技における注射針の刺入角度と刺入長さの分析（共同、平成26年11月、日本看護技術学会第13回学術集会）／2.注射シミュレーションモデルを用いた技術練習の動画撮影・視聴による学習内容（共同、平成26年11月、日本看護技術学会第13回学術集会）／3.看護基礎教育における動画機能活用の有用性の検証～採血の技術に着目して～（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞病棟チームリーダー研修の中で、リーダーシップの講義を担当した（滝川市立病院）／看護研究への研究指導（札幌厚生病院）

檜山 明子

＜学術論文＞1.看護学部卒業後の目標管理ツールの活用状況に関する実態調査（共著、平成26年5月、SCU journal of Design & Nursing、8巻、1号、pp.101-105）

＜その他の論文＞1.【「なぜそうするのか」の理解が大切 フィジカルアセスメントの教え方】限られた時間内で成果を上げる！呼吸・循環フィジカルアセスメントの教え方 フィジカルアセスメント技術修得のための授業展開（共同、平成26年4月、看護人材育成、11巻、1号、pp.81-83）／2.フィジカルアセスメントの授業の実際（共同、平成26年4月、看護人材育成、11巻、1号、pp.84-89）

＜学会発表＞1.クリティカルケア領域の高度実践看護OSCEの開発と妥当性・信頼性の検討（共同、平成26年5月、第16回日本救急看護学会学術集会）／2.トリアージ看護師の育成プログラムの検討 OSCEを活用したシミュレーション教育の実践（共同、平成26年5月、第16回日本救急看護学会学術集会）／3.The Quality of Teaching Behaviours at Clinical Nursing Practicum on Nursing Faculties in Japanese Universities（共同、平成26年6月、Sigma Theta Tau International the 2nd European Regional Conference）／4.Current States and Issues about Nursing Practice Ability of Nursing Faculty in BSN Programs in Japan（共同、平成26年7月、Sigma Theta Tau International's 25th International Nursing Research Congress）／5.大学教員の看護学実習における教授活動の質と看護実践能力との関係（共同、平成26年8月、第24回日本看護学教育学会学術集会）／6.北海道地方の看護専門学校教員の教育ニーズの現状と教員特性との関係（共同、平成26年8月、第24回日本看護学教育学会学術集会）／7.入院患者の転倒予防に向けた看護実践（共同、平成26年8月、第40回日本看護研究学会学術集会）／8.新人看護師が行う患者の安全保証に向けた看護実践の特徴～医療事故予防に向けた行動に焦点を当てて～（共同、平成26年8月、第13回日本看護技術学会学術集会）／9.慢性疼痛のある看護師の効果的な自己対処方法（共同、平成26年8月、第13回日本看護技術学会学術集会）／10.褥瘡に対する退院指導時における看護職者の行動（共同、平成26年8月、第13回日本看護技術学会学術集会）／11.転倒事例の分析による入院患者の転倒リスク行動の分類（共同、平成26年8月、第18回日本看護管理学会学術集会）／12.OSCEの評価結果の看護技術教育への活用（第1報） 血圧測定に焦点を当てて（共同、平成26年12月、第34回日本看護科学学会学術集会）／13.疼痛アセスメント行動自己評価尺度 精神科看護師用の作成と信頼性・妥当性の検討（共同、平成26年12月、第34回日本看護科学学会学術集会）／14.OSCE評価結果の看護技術教育への活用（第2報） 上半身寝衣交換に焦点を当てて（共同、平成26年12月、第34回日本看護科学学会学術集会）

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本看護倫理学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／看護総合科学研究会／看護総合科学研究会／日本看護技術学会／日本看護管理学会／北のケア環境研究会／日本医療・病院管理学会／看護総合科学研究会

石引 かずみ

＜学会発表＞1.The Relationship between midwifery autonomy and collaboration with obstetricians



(共同、平成26年6月、第30回国際助産師連盟会議) / 2.客観的臨床能力試験 (OSCE) を用いた「子宮復古の観察」技術習得状況と課題—2年間の試験結果の評価— (共同、平成26年9月、第55回日本母性衛生学会学術集会)

＜学術集会運営＞北海道母性衛生学会総会ならびに学術講演会

＜所属学会・研究会＞日本助産学会 / 日本母性衛生学会 / 北海道母性衛生学会

小田嶋 裕輝

＜学術論文＞1.パーキンソン病患者の介護者の負担に関する文献的考察 (共著、平成26年5月、札幌市立大学研究論文集)

＜学会発表＞1.Elements of Social Capital in Japan: A Qualitative Research (共同、平成26年8月、46th APACPH Conference) / 2.住民の暮らしから見たソーシャル・キャピタル (共同、平成26年8月、第17回日本地域看護学会学術集会) / 3.地域保健活動において保健師が認識するソーシャル・キャピタル (共同、平成26年8月、第17回日本地域看護学会学術集会) / 4.2型糖尿病患者の首尾一貫感を高めるための支援内容—有意味感に焦点を当てて— (共同、平成26年9月、第19回日本糖尿病教育・看護学会学術集会) / 5.自己管理の継続が困難な慢性疾患患者に対する効果的な看護実践の特徴 (共同、平成26年11月、日本看護技術学会第13回学術集会) / 6.2型糖尿病患者の首尾一貫感を高めるための支援内容—処理可能感に焦点を当てて— (共同、平成26年11月、日本看護技術学会第13回学術集会) / 7.2型糖尿病患者の首尾一貫感を高めるための支援内容—把握可能感に焦点を当てて— (共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会) / 8.OSCEの評価結果の看護技術教育への活用 (第1報)—血圧測定に焦点を当てて— (共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会) / 9.OSCEの評価結果の看護技術教育への活用 (第2報)—上半身寝衣交換に焦点を当てて— (共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会) / 10.行政保健師の地域診断の実践に影響する要因 (共同、平成27年1月、第3回日本公衆衛生看護学会学術集会) / 11.積雪寒冷地における季節変化が要支援高齢者の身体活動と健康に及ぼす影響 (共同、平成27年1月、第3回日本公衆衛生看護学会学術集会)

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会 / 日本看護研究学会 / 日本慢性看護学会 / 日本公衆衛生看護学会 / 日本地域看護学会 / 日本糖尿病教育・看護学会 / 日本看護学・教育学会 / 日本看護技術学会 / 看護総合科学研究会 / 看護科学研究学会

柏倉 大作

＜実務関係報告書＞1.大学主催による新卒看護職員のためのシームレスな社会化支援 (共著、平成27年2月、看護展望)

＜学会発表＞1.注射シミュレーションモデルを用いた技術練習の動画撮影・視聴による学習内容 (共同、平成26年11月、第13回日本看護技術学会) / 2.看護学生の採血手技における注射針の刺入角度と刺入の長さの分析 (共同、平成26年11月、第13回日本看護技術学会) / 3.OG・OBインストラクターを起用した卒業前スキルアップトレーニングの効果 (第一報) (共同、平成26年11月、第13回日本看護技術学会) / 4.OG・OBインストラクターを起用した卒業前スキルアップトレーニングの効果 (第二報) (共同、平成26年11月、第13回日本看護技術学会) / 5.卒業前スキルアップトレーニングに参加したOG・OBインストラクターが感じた意義 (共同、平成26年11月、第13回日本看護技術学会) / 6.卒業前スキルアップトレーニングにインストラクターとして参加したOG・OBの自己評価 (共同、平成26年11月、第13回日本看護技術学会)

御厩 美登里

＜学術論文＞1.訪問看護におけるスタッフ教育に関する文献的考察 (単著、平成26年4月) / 2.訪問看護師の職務継続意向に関連する要因—同僚間コミュニケーションと関連職種とのコミュニケーションに焦点をあてて— (単著、平成26年7月) / 3.訪問看護師の職務継続意向に関連する要因—個人属性と働く喜びに焦点をあてて— (単著、平成27年2月)

＜調査研究報告書＞1.北海道江別市での情報交換会報告書 市民・看取りを経験した家族・専門職の連携で在宅での看取りを叶えるために (平成26年12月) / 2.札幌市立大学COC共同研究費助成事業 人生の終焉を自分らしく生ききるためのガイド 意思決定を支援する事前指示書の作成と検証 研究報告書 (平成27年2月) / 3.平成25～26年度報告書 ウェルネス×協奏型地域社会の担い手育成「学び舎」



事業 南区にお住いの65歳以上の方の健康に関するニーズ調査（平成27年3月）

＜その他の論文＞1.看護展望 大学主催による新卒看護職員のためのシームレスな社会化支援 往還型研修の取り組み（平成27年2月、メヂカルフレンド社）

＜学会発表＞1.地域住民を対象とした教育支援 在宅看取りに関するシンポジウム型情報交換会の評価（共同、平成26年11月、第19回日本在宅ケア学会学術集会）／2.地域住民を対象とした教育支援 医療事前指示書についてのグループワーク参加動機と意思の評価（共同、平成26年11月、第19回日本在宅ケア学会学術集会）／3.卒業前スキルアップトレーニングにインストラクターとして参加したOG・OBの自己評価（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／4.卒業前スキルアップトレーニングに参加したOG・OBインストラクターが感じた意義（平成26年11月、共同、第34回日本看護科学学会学術集会）／5.OG・OBインストラクターを起用した卒業前スキルアップトレーニングの効果（第1報）（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／6.OG・OBインストラクターを起用した卒業前スキルアップトレーニングの効果（第2報）（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／7.卒業前動向調査にみる就職活動に関する施設訪問の利用の実態－2年間の結果から－（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／8.地域住民を対象とした認知症に関する教育支援（共同、平成26年12月、北海道公衆衛生学会）

＜学会シンポジウム＞1.大学主催による新人看護職員の社会化支援－企画・運用・評価－（平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）

＜講演会・講習会活動＞認知症の予防と進行を遅らせる工夫（平成26年4月19日、3HR研究会・ミヤコーポレーション）

星 幸江

＜学術論文＞1.看護学部卒業後の目標管理ツールの活用状況に関する実態調査（共同、平成26年5月、SCU Journal of Design & Nursing）

＜研究会発表等＞1.精神障害者への関わりについての看護学生の自信の変化－精神症状を演じる模擬患者との前後比較－（共同、平成26年6月、日本精神保健看護学会第24回学術集会）／2.精神障害者への関わりによる看護学生の自己効力感の変化 精神症状を演じる模擬患者との演習の前後比較（共同、平成26年11月、日本看護科学学会学術集会）

＜所属学会・研究会＞日本精神保健看護学会／日本看護科学学会／日本看護教会／北海道看護協会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞精神科外来における看護過程（札幌鈴木病院）

横川 亜希子

＜学術論文＞1.就職後1年以内に医療事故の当事者となった看護師の職業経験に関する研究－医療事故の克服過程で生じた経験に焦点を当てて－（単著、平成27年3月、札幌市立大学）／2.大卒看護職の初期キャリアにおける就業満足感と離職願望（共著、平成26年5月）

＜学会発表＞1.大卒看護師の社会人基礎力と看護の基本的姿勢の実態－卒業直前と就職8か月後の比較－（共同、平成26年8月、第18回日本看護管理学会学術集会）／2.看護学OSCE（客観的臨床技能試験）と看護技術修得との関係－看護学部卒業直前の質問紙調査から（共同、平成26年8月、第18回日本看護管理学会学術集会）／3.OSCE評価結果の看護技術教育への活用（第2報）－上半身寝衣交換に焦点を当てて－（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／4.OSCE評価結果の看護技術教育への活用（第1報）－血圧測定に焦点を当てて－（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）／5.疼痛アセスメント行動自己評価尺度－精神科看護師用－の作成と信頼性・妥当性の検討（共同、平成26年11月、第34回日本看護科学学会学術集会）

＜研究会発表等＞1.夕張市清水沢地区の炭鉱遺産をめぐるウォーキングマップ作成（平成26年11月、2014SCU産学官研究交流会）

＜学術集会運営＞第24回看護教育学学会学術集会



教育支援プロジェクトセンター

中田 亜由美

＜受賞等＞1.研究奨励賞（平成26年7月、日本看護研究学会北海道地方会）

＜学会発表＞1.一般児童における歯科恐怖の実態－歯科恐怖と歯科受診歴、歯科の印象、保護者の歯科恐怖との関係－（共同、平成26年8月、（一社）日本看護研究学会）／2.町内会単位からみた札幌市石山地区の地理的特性－高齢者の外出困難要因に関する基礎研究－（共同、平成26年11月、芸術工学会）／3.Factors of Child Dental Fear（共同、18th East Asian Forum of Nursing Scholars）

＜学術集会運営＞北海道成育看護研究会第9回研究会 座長（委嘱）

＜所属学会・研究会＞（一社）日本看護研究学会／北海道成育看護研究会／看護総合科学研究会

藪谷 祐介

＜受賞等＞1.真駒内の未来を考えるまちづくりアイデアコンペ優秀賞（平成26年10月、札幌市（市民まちづくり局）

＜学会発表＞1.町内会単位からみた札幌市石山地区の地理的特性－高齢者の外出困難要因に関する基礎研究（共同、平成26年11月、芸術工学会2014年度秋期大会）

＜所属学会・研究会＞芸術工学会

＜講演会・講習会活動＞サイエンストーク「大学の地域連携の役割と未来」（平成26年12月1日、（主催）サイエンストークをやる会（共催）名古屋学院大学）／第一回さっぽろ若者会議（平成27年1月24日、さっぽろ若者会議）／まちの教室公開講座「真駒内のまちづくりを考える－ヨーロッパの先進事例を通して－」（平成27年2月13日、（大）札幌市立大学 COCまちの教室）

「札幌市立大学のシンボルマークについて」

札幌市立大学のシンボルマークは、
英国の著名なクリエイティブグループtomatoの
ジョン・ワーウィッカー氏によってデザインされました。
雪の結晶のイメージは、札幌の自然環境を特徴づけると共に、
大学での学習過程を図像的にあらわしたものです。(登録商標)



札幌市立大学

SAPPORO CITY UNIVERSITY

札幌市立大学年報 平成26年度 第9号

編 集 広報室

担 当 事 務 経営企画課

発 行 日 平成27年12月1日

発 行 行 札幌市立大学

〒005-0864 北海道札幌市南区芸術の森1丁目

TEL : 011-592-2300 FAX : 011-592-2369

URL <http://www.scu.ac.jp>